岸岳古窯跡群Ⅳ

唐津市文化財調査報告書　第178集

2018・3

唐津市教育委員会

唐津市文化財調査報告書　第178集

岸岳古窯跡群Ⅳ

KISHIDAKE　KILNS

―総括報告書―

2018．3

唐津市教育委員会

岸岳古窯跡群Ⅳ

Fig. 1　唐津市北波多の位置

口絵 1

飯洞甕下窯全景

皿屋窯跡上部

皿屋上窯跡

帆柱窯跡燃焼室

飯洞甕上窯跡上部

口絵６

岸岳古窯跡群出土遺物

口絵７

岸岳古窯跡群出土遺物（皿類）

口絵８

岸岳古窯跡群出土遺物（碗類）

口絵９

岸岳古窯跡群出土遺物（小坏・瓶類）

口絵10

岸岳古窯跡群出土遺物（窯道具）

口絵11

岸岳古窯跡群出土遺物（陶製錘）

口絵12

岸岳古窯跡群出土遺物（陶製偶）

序　　文

唐津市は、東アジアに開かれた門戸として、古代よりさまざまな文化や人々が交流する重要な拠点の一つであり、これらを物語る貴重な遺跡が豊富に存在しています。

こうした文化遺産の中でも、史跡「肥前陶器窯跡」は、わが国の近世窯業の成立と発展を理解する上で、欠くことのできない重要な文化財のひとつです。

唐津焼は「一楽、二萩、三唐津」とも称されるほどお茶の世界では珍重されており、愛好家や研究者に広く知られています。

唐津焼の成立に関しては諸説ありますが、おおよそ16世紀の末頃、唐津市の南西部にそびえる岸岳山麓に築かれ５つの窯、つまり本書で報告する「岸岳古窯跡群」に始まると考えられています。これら５つの窯は、朝鮮半島の技術を基盤に肥前陶器が成立した過程を示す、貴重な歴史遺産であるとして、平成17年７月14日に史跡に指定されました。

指定を受け唐津市教育委員会では、その取扱い基準を定めた「史跡 肥前陶器窯跡保存管理基本計画書」を策定し、平成24年度には、保存・整備、公開・活用、管理・運営等を協議する場として、「肥前陶器窯跡保存整備検討委員会」を設置しました。

本書は、平成９年度から同14年度にかけて実施した確認調査及び、平成27年度から29年度に行った、保存整備事業に伴う事前調査の記録です。

最後になりましたが、調査指導委員会の先生方をはじめ、本調査に関係した多くの方々のご理解とご協力に感謝申し上げますとともに、本書が、これら貴重な文化遺産のより良い保存・整備・活用の一助となれば、幸甚に存じます。

平成３０年３月

唐津市教育委員会

教育長　稲 葉 継 雄

例　　言

1．本書は、平成9年度から14年度にかけて、旧北波多村教育委員会が国庫補助金を受けて実施した、「皿屋窯跡」「皿屋上窯跡」「帆柱窯跡」「飯洞甕上窯跡」「飯洞甕下窯跡」における確認調査及び、平成27年度から29年度に唐津市が実施した、保存整備事業に伴う事前調査の総括報告書である。
2．調査については、佐賀森林管理署、文化庁記念物課、佐賀県文化財課の協力を賜った。
3．調査及び本報告書作成にあたっては、文化庁記念物課、県文化財課の指導を受け、(旧)北波多村教育委員会及び唐津市がこれにあたった。
4．本書の執筆・編集は、陣内が担当した。但し、第Ⅶ章第５節の「縄文時代の遺物」については、前唐津市立末盧館館長の田島龍太氏に執筆していただいた。
5．地形測量は、(株)埋蔵文化財サポートシステムに委託した。
6．遺構実測は、皿屋窯跡・飯洞甕上窯跡は陣内が行い、皿屋上窯跡・帆柱窯跡は（株)埋蔵文化財サポートシステム、飯洞甕下窯跡及び周辺遺構については(株)とっぺんに委託した。
7．遺物の実測・製図については、旧北波多村調査分は原田・山本・井手が、平成27年度以降の唐津市調査分については井上、松尾、宮崎、山中が行った。
8．遺構・遺物の写真は陣内が撮影したが、飯洞甕下窯跡の全体写真及び出土遺物の集合写真については、写測エンジニアリング株式会社に委託した。
9．第１章については、一部、合併前の組織名称で記載している。

凡　　例

1．挿図における方位はすべて、旧測地系座標真北(G.N.)である
2．挿図の縮尺は図中に示した。
3．挿図中の高さは標高で表し、遺構の法量はm単位で、遺物の法量㎝単位である。
4．各窯跡の略号は以下の通りである。
　①　皿屋窯跡　YS01（平成9年度調査)、YS02（平成13年度調査）
　②　皿屋上窯跡　YS上01（平成11年度調査）
　③　帆柱窯跡　YB01（平成12年度調査）
　④　飯洞甕上窯跡　YH上01（平成10年度１次調査)、YH上02（平成10年度本調査）
　⑤　飯洞甕下窯跡　YH下01（平成11年度）
　⑥　飯洞甕跡周辺　YH04（平成27年度)、YH05（平成28年度)、YH06（平成29年度）
5．各窯跡のトレンチ番号は以下の通りである。
　①　皿屋窯跡　平成９年度調査区：Ａ～Ｆ　平成13年度調査区：1～8
　②　皿屋上窯跡　平成11年度調査区：1～5
　③　帆柱窯跡　平成12年度調査区：1～11
　④　飯洞甕上窯跡　平成10年度２次調査区：Ａ・Ｂ（窯本体)、1～7
　⑤　飯洞甕下窯跡　平成11年度調査区：1～4
　⑥　飯洞甕上窯・下窯跡周辺　平成27年度調査区：12～15、
　　平成28年度調査区：15（NG･EG･WG)、17～24
6．肥前古窯の部分名称については、第Ⅲ章のFig13を参照されたい。
7．出土遺物の分類については、第Ⅲ章のTab８～10を参照されたい。

目　　次

第Ⅰ章　はじめに
　１．はじめに …… 1
　２．調査体制 …… 1
　３．岸岳古窯跡群の調査歴 …… 3
第Ⅱ章　　環　境
　第１節　　地理的環境 …… 5
　第２節　　歴史的環境 …… 8
第Ⅲ章　　岸岳古窯跡群の概要
　第１節　　唐津焼の誕生と展開 …… 19
　第２節　　岸岳古窯跡群の概要 …… 26
第Ⅳ章　　皿屋窯跡の調査
　第１節　　遺構 …… 33
　第２節　　遺物 …… 34
第Ⅴ章　　皿屋上窯跡の調査
　第１節　　遺構 …… 57
　第２節　　遺物 …… 63
第Ⅵ章　　帆柱窯跡の調査
　第１節　　遺構 …… 73
　第２節　　遺物 …… 80
第Ⅶ章　　飯洞甕窯跡の調査
　第１節　　位置と調査区 …… 90
　第２節　　飯洞甕上窯跡の構造 …… 93
　第３節　　飯洞甕下窯跡の構造 …… 93
　第４節　　周辺部の調査 ……101
　第５節　　遺物 ……107
第Ⅷ章　　史跡整備に向けて
　第１節　　史跡指定の概要 ……133
　第２節　　史跡の本質的価値と構成要素 …134
　第３節　　整備の基本方針 ……135
　第４節　　第Ⅰ期整備計画の概要 ……136

－付－
　１．皿屋窯跡出土遺物一覧
　２．皿屋上窯跡出土遺物一覧
　３．帆柱窯跡出土遺物一覧
　４．飯洞甕窯跡出土遺物一覧
　５．窯道具一覧
　６．主要参考文献

口　絵　目　次

口絵１　飯洞甕下窯跡全景
口絵２　飯洞甕下窯跡隔壁
口絵３　皿屋上窯跡
口絵４　帆柱窯跡燃焼室
口絵５　飯洞甕上窯跡上部
口絵６　岸岳古窯跡群出土遺物
口絵７　岸岳古窯跡群出土遺物（皿類）
口絵８　岸岳古窯跡群出土遺物（碗類）
口絵９　岸岳古窯跡群出土遺物（小杯・瓶類）
口絵10　岸岳古窯跡群出土遺物（窯道具）
口絵11　岸岳古窯跡群出土遺物（陶製錘）
口絵12　岸岳古窯跡群出土遺物（陶偶）

図　版　目　次

ＰＬ.１　皿屋窯跡
ＰＬ.２　皿屋窯跡
ＰＬ.３　皿屋上窯跡
ＰＬ.４　皿屋上窯跡・帆柱窯跡
ＰＬ.５　帆柱窯跡
ＰＬ.６　飯洞甕上窯跡
ＰＬ.７　飯洞甕上窯跡
ＰＬ.８　飯洞甕下窯跡
ＰＬ.９　飯洞甕下窯跡
ＰＬ.10　飯洞甕下窯跡
ＰＬ.11　飯洞甕下窯跡
ＰＬ.12　飯洞甕窯跡周辺
ＰＬ.13　飯洞甕窯跡周辺
ＰＬ.14　飯洞甕窯跡周辺
ＰＬ.15　飯洞甕窯跡周辺
ＰＬ.16　飯洞甕窯跡周辺
ＰＬ.17　飯洞甕窯跡周辺
ＰＬ.18　重ね積みの痕跡
ＰＬ.19　釉薬・底部調整、タタキ痕
ＰＬ.20　皿屋窯跡出土遺物（集合）
ＰＬ.21　帆柱窯跡出土遺物（集合）
ＰＬ.22　皿屋上窯跡出土遺物（集合）
ＰＬ.23　飯洞甕窯跡出土遺物（第1次～第3次集合）
ＰＬ.24　飯洞甕窯跡出土遺物（第4次～第5次集合）
ＰＬ.25　皿屋窯跡出土遺物
ＰＬ.26　皿屋窯跡出土遺物
ＰＬ.27　皿屋窯跡出土遺物
ＰＬ.28　皿屋窯跡出土遺物
ＰＬ.29　皿屋窯跡・皿屋上窯跡出土遺物
ＰＬ.30　皿屋上窯跡・帆柱窯跡出土遺物
ＰＬ.31　帆柱窯跡･飯洞甕窯跡出土遺物（第1次～3次）
ＰＬ.32　飯洞甕窯跡出土遺物（第1次～3次）
ＰＬ.33　飯洞甕窯跡出土遺物（第4次～5次）
ＰＬ.34　飯洞甕窯跡出土遺物（第4次～5次）
ＰＬ.35　飯洞甕窯跡出土遺物（第4次～5次）

表　目　次

Tab.１　北波多地域の遺跡一覧（1）
Tab.２　北波多地域の遺跡一覧（2）
Tab.３　周辺の中・近世遺跡一覧
Tab.４　唐津藩領の窯跡
Tab.５　『喜平次旧記』における記事一覧
Tab.６　肥前陶器の変遷

Tab.７　窯の寸法
Tab.８　出土遺物の分類（1）
Tab.９　出土遺物の分類（2）
Tab.10　出土遺物の分類（3）
Tab.11　窯道具の出土数と出土率
Tab.12　皿屋窯跡出土遺物一覧
Tab.13　皿屋上窯跡出土遺物一覧
Tab.14　帆柱窯跡出土遺物一覧
Tab.15　飯洞甕窯跡出土遺物一覧　第1次～3次
Tab.16　飯洞甕窯跡出土遺物一覧　第4次・5次
Tab.17　窯道具一覧

挿　図　目　次

Fig.１　唐津市北波多の位置
Fig.２　北波多地域の地質
Fig.３　肥前国絵図
Fig.４　北波多の舟着場
Fig.５　周辺の窯跡
Fig.６　北波多地域の遺跡
Fig.７　周辺の中・近世遺跡一覧
Fig.８　波多城イメージ図
Fig.９　岸岳城跡測量図
Fig.10　文禄・慶長の役の経路
Fig.11　肥前陶器窯跡の分布（1）
Fig.12　肥前陶器窯跡の分布（2）
Fig.13　窯構造模式図及び部分名称
Fig.14　皿屋窯周辺地形図（1／400）
Fig.15　皿屋窯跡全体図（１）（1／80）
Fig.16　皿屋窯跡全体図（２）（1／80）
Fig.17　皿屋窯跡4～6、7、8トレンチ図（1／80）
Fig.18　皿屋窯跡1、2、3、トレンチ図（1／80）
Fig.19　皿屋窯跡出土遺物実測図（１）
Fig.20　皿屋窯跡出土遺物実測図（２）
Fig.21　皿屋窯跡出土遺物実測図（３）
Fig.22　皿屋窯跡出土遺物実測図（４）
Fig.23　皿屋窯跡出土遺物実測図（５）
Fig.24　皿屋窯跡出土遺物実測図（６）
Fig.25　皿屋窯跡出土遺物実測図（７）
Fig.26　皿屋窯跡出土遺物実測図（８）
Fig.27　皿屋窯跡出土遺物実測図（９）
Fig.28　皿屋窯跡出土遺物実測図（10）
Fig.29　皿屋窯跡出土遺物実測図（11）
Fig.30　皿屋窯跡出土遺物実測図（12）
Fig.31　皿屋窯跡出土遺物実測図（13）
Fig.32　皿屋上窯跡周辺地形図（1／400）
Fig.33　皿屋上窯跡全体図（１）（1／80）
Fig.34　皿屋上窯跡全体図（２）（1／80）
Fig.35　皿屋上窯跡出土遺物実測図（１）
Fig.36　皿屋上窯跡出土遺物実測図（２）
Fig.37　皿屋上窯跡出土遺物実測図（３）
Fig.38　皿屋上窯跡出土遺物実測図（４）
Fig.39　皿屋上窯跡出土遺物実測図（５）
Fig.40　皿屋上窯跡出土遺物実測図（６）
Fig.41　皿屋上窯跡出土遺物実測図（７）
Fig.42　皿屋上窯跡出土遺物実測図（８）
Fig.43　皿屋上窯跡出土遺物実測図（９）
Fig.44　帆柱窯跡周辺地形図（1／400）
Fig.45　帆柱窯跡全体図（１）（1／80）
Fig.46　帆柱窯跡全体図（２）（1／80）
Fig.47　帆柱窯跡6、10、11トレンチ図（1／80）
Fig.48　帆柱窯跡出土遺物実測図（１）
Fig.49　帆柱窯跡出土遺物実測図（２）
Fig.50　帆柱窯跡出土遺物実測図（３）
Fig.51　帆柱窯跡出土遺物実測図（４）
Fig.52　帆柱窯跡出土遺物実測図（５）
Fig.53　帆柱窯跡出土遺物実測図（６）
Fig.54　帆柱窯跡出土遺物実測図（７）
Fig.55　帆柱窯跡出土遺物実測図（８）
Fig.56　帆柱窯跡出土遺物実測図（９）

Fig.57　飯洞甕窯跡の周辺環境
Fig.58　飯洞甕上・下窯跡周辺地形図（1／400）
Fig.59　飯洞甕上窯跡全体図（１）（1／80）
Fig.60　飯洞甕上窯跡全体図（２）（1／80）
Fig.61　飯洞甕下窯跡全体図（１）（1／80）
Fig.62　飯洞甕下窯跡全体図（２）（1／80）
Fig.63　飯洞甕窯跡周辺12、13、21トレンチ図（1／80）
Fig.64　飯洞甕窯跡周辺15トレンチ図（1／40、1／80）
Fig.65　飯洞甕窯跡周辺1、2、5トレンチ図（1／80）
Fig.66　飯洞甕窯跡周辺22、24トレンチ図（1／80）
Fig.67　飯洞甕窯跡出土遺物実測図（１）
Fig.68　飯洞甕窯跡出土遺物実測図（２）
Fig.69　飯洞甕窯跡出土遺物実測図（３）
Fig.70　飯洞甕窯跡出土遺物実測図（４）
Fig.71　飯洞甕窯跡出土遺物実測図（５）
Fig.72　飯洞甕窯跡出土遺物実測図（６）
Fig.73　飯洞甕窯跡出土遺物実測図（７）
Fig.74　飯洞甕窯跡出土遺物実測図（８）
Fig.75　飯洞甕窯跡出土遺物実測図（９）
Fig.76　飯洞甕窯跡出土遺物実測図（10）
Fig.77　飯洞甕窯跡出土遺物実測図（11）
Fig.78　飯洞甕窯跡出土遺物実測図（12）
Fig.79　飯洞甕窯跡出土遺物実測図（13）
Fig.80　飯洞甕窯跡出土遺物実測図（14）
Fig.81　飯洞甕窯跡出土遺物実測図（15）
Fig.82　飯洞甕窯跡出土遺物実測図（16）
Fig.83　飯洞甕窯跡出土遺物実測図（17）
Fig.84　飯洞甕窯跡出土遺物実測図（18）
Fig.85　飯洞甕窯跡出土遺物実測図（19）
Fig.86　飯洞甕窯跡出土遺物実測図（20）
Fig.87　飯洞甕窯跡出土遺物実測図（21）
Fig.88　飯洞甕窯跡出土遺物実測図（22）
Fig.89　古窯の森公園ゾーニング計画図
Fig.90　整備地完成予想
Fig.91　飯洞甕上窯跡展示施設完成予想図
Fig.92　飯洞甕下窯跡展示施設完成予想図
Fig.93　体験窯・作業棟完成予想図

第Ⅰ章　はじめに

第１節　はじめに

１．はじめに

肥前国内における近世の陶器窯は、現在確認されているだけで200に近い数字となる。地域別では、９割弱が佐賀県に分布しており、残りの20基程度が長崎県に位置する。この内、昭和15年(1940)２月に武雄市の小峠窯跡、大谷窯跡、錆谷窯跡と土師場物原山が国の指定を受け、平成17年７月には新たに、唐津市内の６基（御茶盌窯跡、皿屋上窯跡、皿屋窯跡、帆柱窯跡、飯洞甕上窯跡、飯洞甕下窯跡）と多久市の唐人古場窯跡とが追加された。

御茶盌窯跡は、享保19年(1734)、藩命により唐津城外の唐人町（現在の町田）に築かれた窯で、明治４年(1871)の廃藩により、御用窯としての役割は停止するが、その後も大正期まで使用されていた。現在も天井部を含めて窯体全体が良く残り、かつて御用焼物師を務めていた中里氏が経営する工房内で、保存・公開されている。

これに対し、「岸岳古窯跡群」と総称される、皿屋上窯跡、皿屋窯跡、帆柱窯跡、飯洞甕上窯跡、飯洞甕下窯跡の５基は、唐津市南西部に位置する北波多地域、岸岳の東麓に約1.5㎞ の範囲に分布し、いずれも近世初頭、唐津焼草創期の窯跡であるが、400有余年を経て、天井などの上部構造はほぼ失われている。一部露出展示を行っている飯洞甕下窯跡の他は、全て埋戻し保存の処置が取られているが、これら窯跡については、劣化防止のための保存処理や、盗掘防止についての対策が必要な段階に来ている。

岸岳古窯跡の起源については諸説があるが、文禄・慶長の役に先立ち、上松浦党の盟主である波多氏が、朝鮮半島から陶工を呼んで1580～90年代に開窯したと考えられている。この説によると岸岳古窯跡は、唐津焼の源流であるだけではなく、日本最古の登り窯群ということとなる。

このように窯業史上重要な位置を占める窯であるにも関わらず、その構造自体については、飯洞甕下窯と帆柱窯の一部を除いて不明であったため、旧北波多村教育委員会ではその実態を把握すべく、平成９年度より国庫補助を申請し、岸岳古窯跡の確認調査に着手することとなった。

平成17年４月１日に、１市（唐津市）７町村（浜玉町・相知町・北波多村・厳木町・鎮西町・肥前町・呼子町）が合併したことにより、新唐津市がこれら「岸岳古窯跡群」の調査を引き継ぎ、現在までに合計３冊の報告書を刊行している。また平成17年７月の史跡指定を受けたことに合わせて史跡整備事業に着手することとなるが、平成20年度の「肥前陶器窯跡保管理計画書」以降、同「保存整備基本計画書」（平成26年度)、「保存整備基本設計報告書」（平成28年度）を上梓している。

２．調査体制

調査主体：北波多村教育委員会（平成９～平成16年度）

総　括：教　育　長　　真子幸夫

事務局：教 育 課 長　　合田富士子(平成９年４月～12年３月)

田中宏（平成12年４月～14年６月）

川添勝利(平成14年７月～15年６月)

宮本展光(平成15年７月～)

社会教育係長　宮本展光(平成９年４月～11年３月)
藤川孝司(平成12年４月～15年６月、平成16年７月～)

調査組織

調査担当：社会教育係文化財専門員　陣内康光
調査指導：佐賀県教育委員会文化課
整理作業員：井本早百合、金野尾民子、原田康代、山本弥生、井手好美
発掘作業員：浦方清子、江口サツ子、尾崎靖郎、佐々木美恵子、田中健一郎、中島サヨ子、
藤川ウタ子、松尾金吾、松尾シズ子、松本洋子

調査主体：唐津市教育委員会（平成27～29年度）

総　括：教育長　稲葉継雄
事務局：教育部長　吉田洋司(～平成28年３月)
金嶽栄作(平成28年４月～)
教育副部長　溝上明男(～平成28年３月)
中尾修二(平成28年４月～)
生涯学習文化財課長　中尾修二
生涯学習文化財課副課長　陣内康光
生涯学習文化財課文化財保護係長　藤井浩司(～平成29年６月)
〃　岩尾峯希(平成28年４月～)
生涯学習文化財課文化財調査係長　仁田坂聡
生涯学習文化財課文化財保護係　草場誠司(～平成28年３月)
米倉美和子
生涯学習文化財課文化財調査係　美浦雄二
坂井清春
立谷聡明
鮎川和樹(平成28年４月～)
井本吏沙

調査組織

調査担当：生涯学習文化財課文化財保護係　陣内康光、草場誠司、岩尾峯希
生涯学習文化財課文化財調査係　鮎川和樹
調査指導：佐賀県教育委員会文化財課
整理作業員：井上美代子、松尾あや子、宮崎良子、山中比抄恵
発掘作業員：谷口陽一、宮口眞由美、山口直茂、大石和義、戸田正一、武田照男、野﨑元則
高尾久見恵、藤原和幸、三塩英俊、志氣勝、盛永和恵、小副川初美、
古賀友里菜、北島誠、東島強

調査指導委員

大橋康二　佐賀県立九州陶磁文化館　名誉特別顧問
東中川忠美　元佐賀県立名護屋城博物館長
藤澤良祐　愛知学院大学　教授

３．岸岳古窯跡群の調査歴

①調査に至る経緯と経過

岸岳古窯跡については、戦前・戦後を含めて、好事家により度々発掘が行われていたが、最も大規模な調査は、昭和31年の肥前陶磁研究会・古唐津調査部会によって実施された。調査は、飯洞甕上窯・飯洞甕下窯・帆柱窯・皿屋窯の計４班編成で実施され、多数の陶器（片）が採集されるとともに、飯洞甕下窯の修復作業も行われた。

その後しばらく空白期間を置いて、市町村に文化財担当者が配置されると、岸岳系古唐津の窯跡も徐々に調査が行われるようになる。昭和59年には唐津市が小十古窯を、平成６年度には九州陶磁文化館が帆柱窯を、平成８年度には旧浜玉町が山瀬窯の調査を開始している。平成11年度には、道納屋窯の調査が旧相知町教育委員会により行われ、全長約37m、焼成室推定17の、岸岳系の窯跡群では最大の窯跡であることが確認された。

②旧北波多村教育委員会の調査

平成９年度　皿屋窯跡の窯体検出調査を行った。全長約23mの比較的大型の登窯で、燃焼室から窯尻まで確認した。割石を積み上げて側壁の基礎を作るなど特異な構造を持つことが確認された。

平成10年度　飯洞甕上窯跡の窯体検出調査を行った。燃焼室付近が削平されていたため全長は不明であるが、同下窯と同規模の18m前後になると考えられる。割竹式登窯ではあるが、部屋間の段差が小さく、出入口も右入り・左入りの両方が存在する。

平成11年度　皿屋上窯の窯体検出調査と飯洞甕下窯の周辺確認調査を行った。皿屋上窯は、床面が直線的で隔壁・段差を持たない窯で、全長約15mを測り、幅は約1.5mと比較的狭い。窯構造・製品とも韓国の窯と酷似する。窯道具は、断面くさび型のハマが出土している。

平成12年度　帆柱窯跡の全長検出調査を行った。水平距離で約30mを測り、５基の中では最長である。製品は原則的に重ね積みをせず、藁灰釉の他、一部透明釉も存在する。

平成13年度　皿屋窯の周辺確認調査を行った。新たな窯跡は検出されなかったが、遺物の分布範囲がかなり広がることが確認された。

平成14年度　帆柱窯南の谷奥において確認調査を行ったが、新たな窯跡は検出されなかった。

③唐津市教育委員会の調査

調査は史跡整備に先立ち、下窯跡外周の構造確認と、上下窯跡近くに存在したであろう工房跡の検出を目的とし、「古窯の森公園」内に残る、飯洞甕上窯跡及び同下窯跡周辺において実施した。

飯洞甕下窯付属遺構の調査（平成27年度）

窯の北側から、幅約２m深さ40㎝程度の溝状遺構を検出した。窯の周りから窯構築土を採掘した結果、溝状になったともの考えられる。出土遺物としては、陶器片（古唐津）の他、トチン・ハマ（焼台）が出土している。なおハマには、貝目痕跡を持つ物が多く見られた。

窯跡周辺部の調査（平成27・28年度）

約50m隔てて築かれた上窯と下窯の中間には、上下２段の平坦面が造成されている。

上段平坦面からは、炭混じりの土が互層に堆積した方形土坑と、テーブル状の板石組遺構が検出されたが、いずれも類例が見当たらず、その性格については現在検討中である。なお板石については、史跡の西を隣接して流れる小川の河床から切り出されたものと考えられる。また板石組遺構の南側からは碗・

皿類が集中して出土している。

板石組遺構の約７ｍ南からは、青銅製の箸が１本（両端欠損）出土した。40年ほど前、近辺から同じく青銅製品（匙？）が３本掘り出したとの情報を得ているが、これらの青銅製品については、朝鮮半島製の可能性が高い。またここでも隣接して碗・皿類が集中して出土している。

出土した食器類は、通常銘々器としての利用を連想させるが、朝鮮半島の事例を勘案すると、祭祀に伴う遺物である可能性が高い。

下段では白色粘土ひとかたまりと、ハマが数多く出土しており（貝目痕跡を持つ物は少ない）、作陶および窯出後の作業空間であったと推定される。なお粘土塊は、焼成実験の結果、そのまま陶土として利用可能とのことであった。

飯洞甕下窯遺構再検出調査（平成29年度）

昭和31年の肥前陶磁研究会による発掘調査以降埋め戻されていた、胴木間から第４燃焼室までの再検出を実施した。下窯の胴木間は、当時の実測図により浅く扁平であると考えられてきたが、再検出の結果、深さ約１ｍの舟底状を呈することが確認された。

また第２室と第４室の火床部分において、左側壁が外側にめくれる状況が観察され、下窯についても上窯と同様、当初右だけではなく左にも木口が存在した可能性が高い。

なお覆屋根の柱穴と考えられるピットは、側壁から１ｍ以内の範囲で検出されている。

発掘調査期間

平成27年度　７月１日～８月24日
平成28年度　６月８日～11月２日
平成29年度　７月20日～11月９日

肥前陶器窯跡発掘調査指導委員会

平成27年度　第１回　８月10日、８月13日
平成28年度　第１回　７月21日、８月１日
　　第２回　２月22日
平成29年度　第１回　８月17日
　　第２回　２月14日

第Ⅱ章　環　境

第１節　地理的環境

九州島の北西部を占める松浦郡は、佐賀県の東松浦郡と西松浦郡、長崎県の南・北松浦郡に区分されるが、その中でも東北に位置する東松浦郡は、平成の大合併により唐津市と玄海町の２自治体に再編成された。新唐津市は北西にのびる東松浦半島と玉島川・佐志川・松浦川とその支流が貫流する平野地帯、脊振山地及び玄界灘に浮かぶ島々からなり、南を小城郡の多久市、西を西松浦郡の伊万里市に接している。

岸岳古窯跡は、旧北波多村と同相知町境に位置する岸岳周辺に分布し、北波多の稗田字帆柱に５窯、相知町の大字佐里に３窯が存在する。

北波多地域は、佐賀県の北西部、合併後の新唐津市においてはその南西端に位置し、南の市境で伊万里市に接している。北波多市民センターは、東経129度57分２秒、北緯33度22分29秒に位置し、国道を利用すると、福岡へ約60㎞、佐賀市へ約45㎞の距離にある。

周囲は標高200～300ｍの山々に囲まれ、全体として盆地的地形を成しており、東西におよそ6.4㎞、南北に10㎞の菱形を呈し、その面積は26.5㎢である。河川は、南の伊万里市に源を発した流れが徳須恵川となり、旧村のほぼ中央を流れ、川原橋付近で松浦川に合流し唐津湾に注いでいる。一方、切木方面に発した流れは、北波多に入って田中川となり、竹有において徳須恵川と合流している。これら河川に沿って、中央部に徳須恵盆地、西部にも複数の小平野が形成されている。

１．地形

本地域は東松浦半島の付け根に位置している。周辺は、下部が白亜紀花崗岩類と古第三紀相知・杵島層群の堆積岩類、上部が新第三紀末の松浦玄武岩類などの火山岩からなる丘陵地帯である。北波多地域は、こうした第三紀の丘陵とそれを刻む徳須恵川沿いの沖※積低地からなる。段丘はほとんど形成されていない。おそらく最近数十万年間、地殻変動が安定しているのであろう。

徳須恵川の水系は、本流が北東－南西方向であるが、支流は北西－南東方向である。尾根や谷の方向性から読み取れる地形的な線状構造をリニアメントという。一般的なリニアメントは活断層などのような断層運動によって形成されたものも多いが、断層を含めて地質的弱線を河川などが浸食した組織地形起源のものもある。徳須恵川支流の北西－南東方向のリニアメントは古第三系相知・杵島層群の堆積岩の走向傾斜、断層方向など地質構造におおよそ調和的である。しかし、この地域においては、最近200万年間に活動した断層、活断層がないことから、リニアメントは、断層運動そのものの結果ではなく、地層のなかの泥岩や断層破砕帯などの脆い弱い部分が選択的に浸食された組織地形と考えられる。同様に徳須恵盆地は、砂岩質の厳木層と行合野層に断層でもって、挟まれた砂泥互層の芳ノ谷層が差別的に浸食された盆地である。これは、砂岩より砂泥互層、特に泥岩が相対的に浸食に弱いことを示す例である。一方、北東－南西方向の徳須恵川本流と支流の一つである田中川の流路は、こうしたリニアメントや古第三系の地質構造とは一致しない。これは古第三系が覆っていたであろう、玄武岩の谷地形や隆起時の最大傾斜方向を反映したもの（積載河川と必従河川）と推定される。

２．地質

北波多の地質の基盤をなすのは、およそ１億年前の中生代白亜紀の中期に形成された花崗岩類である。主に地域の東縁を北西－南東に延びる畑島断層の東側に分布し、断層より西側では、地表にわずかに露出する程度である。また畑島断層より西側には、広く新生代古第三紀の堆積岩類が分布する。下半部の厳木層と芳ノ谷層は、合わせて相知層群と称され、両層とも石炭を胚胎する。佐賀県下では相知層群が分布し、石炭が採掘された地域を「唐津炭田」と呼んでいるが、本地域はこの炭田の北西端にあたる。上半部は杵島層・佐里砂岩層・行合野砂岩層・畑津砂岩層・畑津頁岩層からなり、合わせて杵島層群と称されるが、畑津砂岩層の上部と畑津頁岩層はこの地域より西側に分布している。この地域の地表では確認されていないが、石炭採掘のためのボーリング調査では、古第三系中に各所で、肥前粗粒玄武岩類に相当する層状貫入岩類が知られている。この貫入岩類の活動の時期は、第三紀中新世と考えられている。

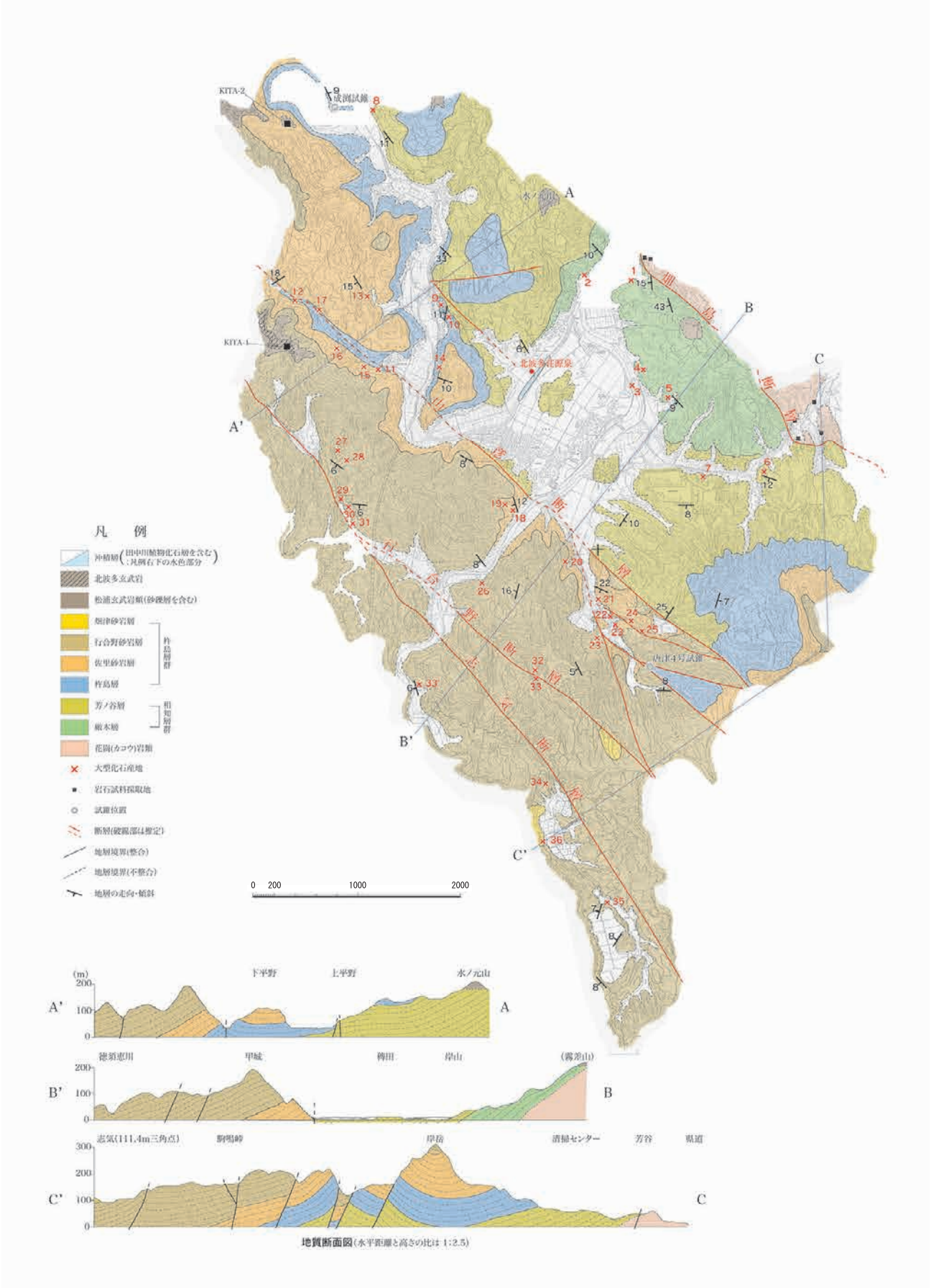
霧差山・水ノ元山の山頂部や成渕の北方と西方、恵木北方の尾根には、およそ300万年前の新第三紀鮮新世後期に噴出した、東松浦玄武岩類の一部が分布しているが、域内の最高所の岸岳には見られない。徳須恵川（波多川）を始めとする河川の流域には、およそ１万年前以降の第四紀完新世に堆積した沖積層が分布する。田中川下流部では、この沖積層の一部に、植物化石に富む粘土層が北波多村史編纂の過程で見出され、「田中川植物化石層」と命名された。

この地域の地質構造は、断層としては、北西－南東に延びる畑島断層と同じ傾向の山彦断層・行合野断層などがある。これらの北西－南東方向の断層の南西側が落下しているため、西側に行くほど古第三系の上部が分布する。それらと斜交する断層もあるため、古第三系の分布がやや複雑となる。徳須恵付近を通る北東－南西方向の軸を持つ、緩やかな背斜ないしドーム構造を、基盤と古第三系がなすため、泥質岩を多く含む相知層群が選択的に解析されて、徳須恵盆地が形成されたことが考えられる。同様な方向性の緩やかな向斜構造が、域内最高所をなす岸岳から南西の尾根部にかけてあるため、そこには古第三系の上部が分布している。

３．植生と気候

北波多の植物分布を見るには、まず、佐賀県全体の植物分布状況から考えなければならない。現在、佐賀県の植物分布は地形や地質の状況から、次のように大きく５つに分けられている。「玄界灘沿岸」、「西部丘陵地」、「太良山地」、「脊振山地」、「佐賀平野」である。北波多地域は、「玄界灘沿岸」よりのやや「西部丘陵地」地域に入るものと思われる。北の方角が玄界灘に向かって開け、北東に霧差山、南東に岸岳、南に甲城、南西に日岳があり、麓は上平野、下平野の丘陵地につながり、低い盆地地形となっている。ちょうど、丘陵地の屏風で囲んでいるような地形である。

唐津市・東松浦郡の玄界灘一帯は、黒潮の分流である対馬海流の流動区域にあり、その影響を受けて温暖な気候で、海岸地帯および丘陵地帯は、琉球・台湾などの南方系の樹木や草本類、シダ植物が多い。かつて、北波多ではほとんどの山は、山頂周辺を残して伐採され、果樹園や茶園が造成され、そしてスギ、ヒノキの植林がなされた。しかし、残された山林は長い年月とともに、岸岳を中心に自然の回復が徐々に進み、多様な植生が見られるようになってきている。佐賀県の温暖な気候と豊富な降水量は、北波多地域にも通じるもので、多種多様な植物の分布が見られる。中でもバリバリノキ、ヤマヒハツ、カンザブロウノキなどの南方系の植物や、ここが北限となる植物などが多数生育している。また、シダ植物分布の豊富な所で、県内に分布するシダ植物の大半が岸岳を中心に生育している。



地質断面図（水平距離と高さの比は 1:2.5）

Fig. 2　北波多地域の地質

東から南そして西側まで低い丘陵地で囲まれ、北側に開けている当地域は、大気中に大量の水蒸気を含んだ季節風が吹き大量の雨を降らせ、植物の生育に必要な水量が豊富である。新生代第三紀に堆積した古い地層（第三紀層）から成り、至る所に古い砂岩や泥岩の崖や谷間が見られる。これらの崖や谷間、そして川は湿潤で水量が豊かなため、豊富なシダ類や貴重な植物が分布している。

第２節　歴史的環境

東松浦地方は、その北端にある呼子から壱岐まで約28㎞、壱岐と対馬の間は73km、さらに対馬と韓国釜山の間は約93㎞をはかり、島伝いに朝鮮半島と往来のできる地域である。当地方の遺跡には旧石器時代はもちろん縄文・弥生時代、古墳時代から中世にかけて、半島及び大陸の強い影響を指摘することができ、古くから大陸文化の門戸として発展していたことが窺える。

中世の東松浦地方は、上松浦党の活躍した時代であり、特に後期は前代に比較して遺跡数、出土遺物の量・質とも格段に豊富になる。当該期の集落遺跡からは必ずと言ってよいほど輸入陶磁器が出土し、いたる所に宝篋印塔や五輪塔が存在する。その数は、市内全てを合計すると万余となろう。さらに城跡・館跡も、その伝承地を含めると、現時点でも三十数箇所を数える。

１．交通と宿場

北波多の徳須恵を通る国道202号線（福岡―長崎）は、江戸時代からの主要道路で、長崎への街道であった。長崎警備に行く福岡藩の一行は朝浜崎を発ち、昼食を徳須恵でとる。そのあと道を左にとり立川道（右は伊万里道）に入ると、稗田から波多八幡神社前・志気を経て、馬も辛くて鳴くほどの難所であるという駒鳴峠を越えて立川に入り、立川泊まりとなる。昼食時となった徳須恵は、武士・駕籠かき・人足・馬など大勢で混み合ったと思われる。

徳須恵から武雄への道は、稗田から波多八幡宮の前を通り志気への道を南下する。ほどなく駒鳴峠にたどり着く。馬でさえも峠の険しさに鳴いたという駒鳴峠の道は、今は廃道となり通る人もいないが、伊万里市との境付近の草原に、「とくすえ　しげつゝみ道」と彫られた石柱が立っている。

北波多の中心である徳須恵は、歴代唐津藩主の長崎巡見の際における休憩所や駄馬人足継立所の設けがあり、古い宿駅の名残を留めている。往時は、北波多より陸路で唐津に出るには、往還（本道）は畑島・千々賀を経由し、川原橋より松浦川沿いに出たが、ほとんどは畑島・山田を通り、山田峠を越えて神田に出るのが普通であった。一方、伊万里へは徳須恵より稗田を経て、駒鳴峠を越え、大川野に出ていた。昭和11年(1936)頃までは、稗田の波多八幡神社前、御殿坂と呼ばれる場所に巨大な三本松（根元より幹が三本に分岐していた）があったが、ここは一里塚であり、千々賀の神社

Fig. 3　肥前国絵図

前よりここまでが正一里といわれていた。

「松浦拾風土記」（『松浦叢書』第一巻）「唐津より駅場所々道法御高札前並人馬賃御定通」によれば、唐津から徳須恵までは、徳須恵迄二里二十八丁・本馬六十六文・半馬四十四文・惣町ヨリ百二十文出ス・人足三十六文、とあり、一里＝3.927キロメートル、一町＝約0.109キロメートルなので、唐津から徳須恵まではおよそ11キロメートルとなる。

また、河川交通・運搬も盛んに行われ、荷物はもちろん、人もこれを利用して徳須恵を上下していた。波多川（徳須恵川）には数か所の土場や舟場があり、伊万里・波多津の分岐点である行合野は、「波多津の板木組から唐津城下に年貢米を運ぶには行合野まで馬に乗せて陸路で運び、行合野からは船で満島に運んだ。」（『伊万里市史』近世・近代編）とあるように、舟揖の要所であった。これは寺沢氏時代以来、昭和初期に至るまで、300年の長きにわたって利用されたものであった。

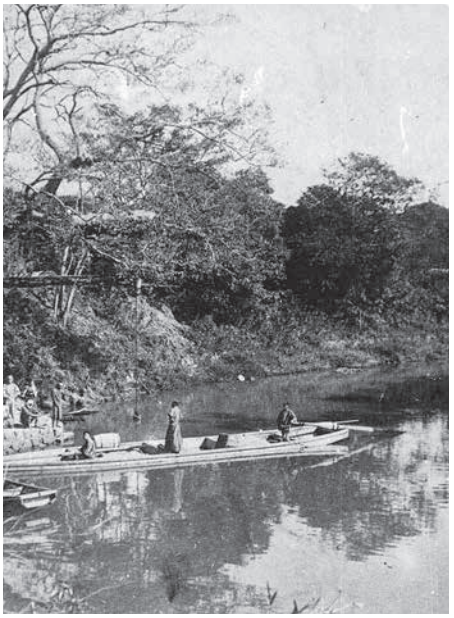


Fig. 4　北波多の舟着場

2．波多氏と岸岳古窯跡

唐津市の北波多地域は、その位置が東松浦半島の扇の要にあたることから、中世末期には、戦国大名への歩みを始めた波多氏の本拠地として栄え、数多くの遺跡が存在している。波多氏は、平安時代末期より肥前松浦郡を中心に活動した、嵯峨源氏を称する「松浦党」の一員とされ、南北朝以来しだいに力を貯え、戦国時代には上松浦党の盟主として、一時期壱岐をもその支配下に置く勢いを示したが、文禄２年(1593)豊臣政権により改易となった。

岸岳古窯跡とは、この波多氏の居城とされる岸岳城（昨今の研究成果によると慶長期まで改修が加えられ、近世城郭化している）の周辺に分布する窯跡の総称で、旧北波多村に皿屋窯、皿屋上窯、帆柱窯、飯洞甕上・下窯の５窯が、旧相知町には道納屋窯、平松窯、大谷窯の３窯がそれぞれ確認されている。これらは、波多氏が朝鮮半島の陶工を招聘して築いたと伝えられ、諸説が有るものの、その始まりは、1580年代から90年代と考えられている。

3．肥前陶器窯跡

岸岳山麓は、唐津焼初期の窯跡が集中する地域として著名である。韓半島の甕器窯と、窯構造および製品ともに酷似する皿屋上窯跡、初期唐津焼の特徴の一つとされる、連房式登窯のプリミティブな形態の割竹式登窯で、藁灰釉製品を製陶した皿屋窯と帆柱窯、土灰釉及び長石釉製品を焼成した飯洞甕上窯と同下窯跡。以上大まかに言って３つのグループに分けることができるが、これら窯跡の相違は、近世窯業の揺籃期における多様な姿を表している。しかし岸岳古窯跡群は短期間でその操業を終え、唐津市内では小十冠者窯、山瀬上・下窯、道納屋窯、大谷窯、平松窯が、その直後もしくは一部併行して作陶を開始している。しかしいずれの窯も唐津焼の最盛期、いわゆる絵唐津の盛行する時期までは継続していないようで、唐津藩における陶器生産の中心は、藩領の中・北部から南部の伊万里市南波多・大川野地域に移っている。

1610年代を境に、唐津藩領における陶器生産は下火になるが、南波多椎峯地区には、窯の集中を見て

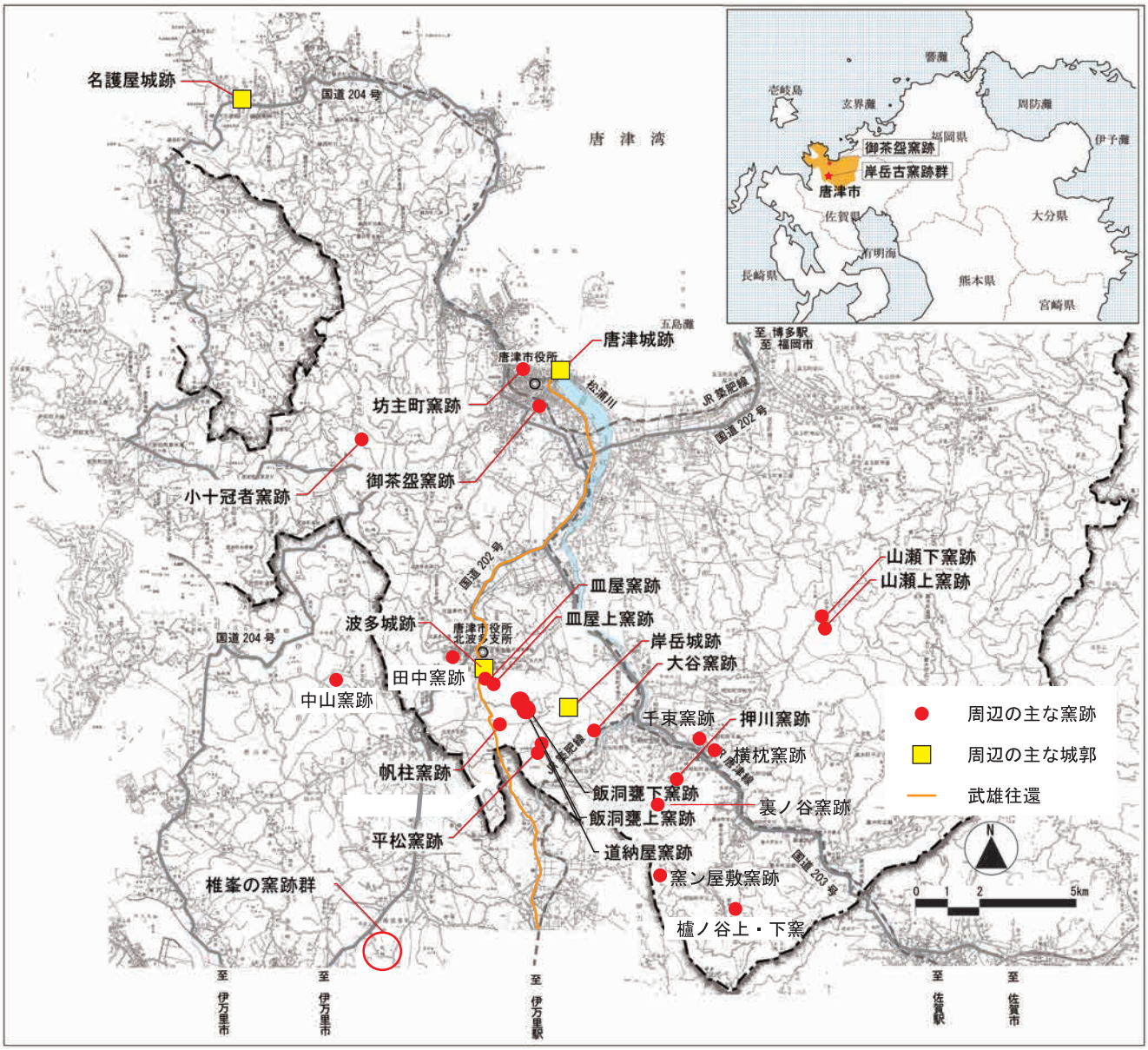


Fig. 5　周辺の窯跡

取れる。1620～1630年頃、寺沢氏は椎ノ峰に集った陶工の中から３名を藩の御用焼物師に任じ、扶持を与え、年一回藩御用の焼物を作らせたとされる。その後、宝永４年(1707)には四代中里太郎衛門、四代大島弥治兵衛が藩命により唐津市坊主町に御用窯を築き、さらに享保19年(1734)には、五代中里喜平次、五代大島弥吉が藩命により、窯を坊主町から唐人町に移した。この窯が現在唐津市町田に現存する御茶盌窯跡で、明治の廃藩まで藩の御用窯を務めた。特に坊主町窯で焼かれたものは土井唐津、御茶盌窯で焼かれたものは献上唐津ともよばれる。

４．集落遺跡等

北波多地域では座主遺跡・田中遺跡・稗田遺跡・大杉高野遺跡において多数の輸入陶磁器が採取されているほか、川畦遺跡が徳須恵川の河畔に存在しここからは木製井戸枠を据えた井戸跡が２基出土している。相知町では伊岐佐伊良尾遺跡で掘立柱建物が検出されている他、同じく伊岐佐で墓墳出土と考え

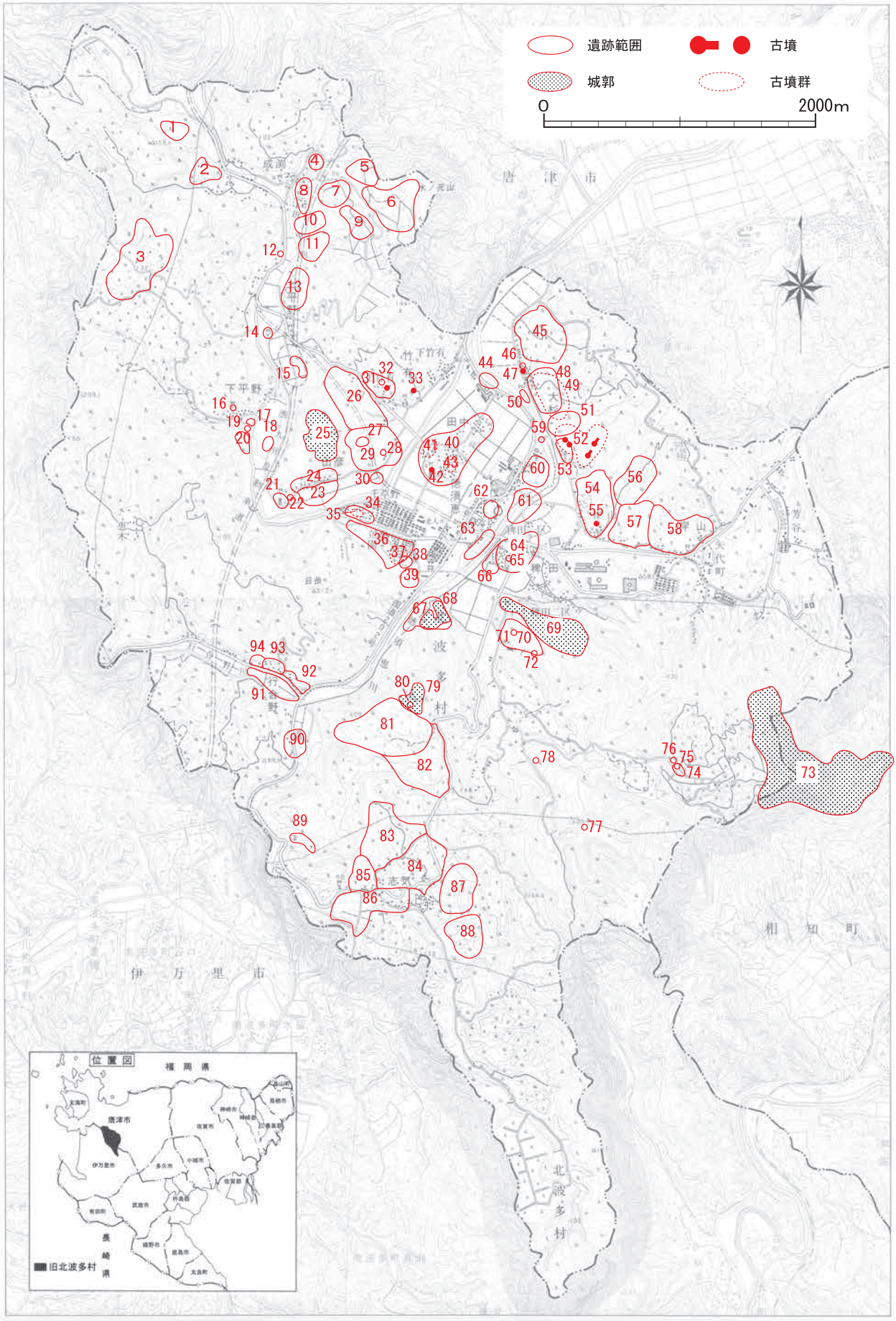


Fig. 6　北波多地域の遺跡

番号	遺　跡　名	所　在　地	旧石器	縄　文	弥　生	古　墳	奈　良	平　安	中　世	近　世	備　　考
001	池畑遺跡	成渕字池畑									
002	小深け遺跡	成渕字小深け									
003	大坂遺跡	成渕字大坂									
004	駄道遺跡	成渕字駄道									
005	太田遺跡	成渕字太田									
006	神山尻遺跡	成渕字神山尻									
007	大久保遺跡	成渕字大久保									
008	竹ノ木場遺跡	成渕字竹ノ木場									
009	堂ノ前遺跡	成渕字堂ノ前									
010	向山遺跡	成渕字向山									
011	一ツ枝岩陰遺跡	上平野字一ツ枝									壊滅
012	曲り遺跡	上平野字曲り									
013	下千田遺跡	下平野字下千田、千田									細石器、尖頭器、石匙
014	蔵谷遺跡	上平野字蔵谷									石鏃
015	上平野遺跡	上平野字下ノ原、中の間								土坑	石鏃
016	石敢富	下平野字下平野								石造物	
017	下平野前田Ｂ遺跡	下平野字前田									石鏃
018	下平野前田Ａ遺跡	下平野字前田									細石核、石鏃
019	―	下平野字前田							墓地		五輪塔、宝篋印塔
020	金之手遺跡	下平野字金之手									
021	桑原遺跡	山彦字桑原			墳墓						甕棺
022	―	山彦字桑原							墓地		五輪塔、宝篋印塔
023	前田原遺跡	山彦字前田原									剥片鏃、石匙、スクレイパー、土器、陶磁器
024	山彦遺跡	山彦字山彦									
025	城跡	山彦字座主、山彦、西平、竹有字綿打							城跡？		
026	綿打遺跡	竹有字綿打、山ノ口									
027	座主岩陰遺跡	山彦字座主									剥片　（旧綿打岩陰遺跡）
028	―	山彦字座主							墓地		五輪塔、宝篋印塔
029	座主遺跡	山彦字座主					土坑		掘立柱		石鏃、土器、陶磁器、石帯、墨書土器
030	大坪遺跡	山彦字大坪									土器、陶磁器
031	山川遺跡	竹有字山川									
032	山川須恵器窯跡	竹有字山川					窯跡				壊滅か
033	屋敷谷古墳群	竹有字屋敷谷				墳墓					円墳１基
034	峰ノ辻遺跡	田中字峰ノ辻									
035	峰の辻古墳群	田中字峰ノ辻				墳墓					前方後円墳１基、円墳３基（壊滅）
036	千草野遺跡	田中字千草野、峰ノ辻、皆木									
037	千草野古墳群	田中字千草野									古墳５基（壊滅）
038	立園遺跡	徳須恵字立園			墳墓						甕棺（壊滅？）
039	瑞巌寺跡	徳須恵字立園							寺院跡		伝波多氏菩提寺
040	島遺跡	田中字島、牟田、バン道							城館跡		伝島村城跡
041	薬師堂古墳群	田中字島				墳墓					古墳５基
042	親王塚古墳	田中字島				墳墓					古墳　村史跡
043	島古墳群	田中字島				墳墓					古墳４基
044	びわのくび遺跡	田中字正町									
045	大杉高野遺跡	大杉字高野、北平			住居跡						
046	庚申山古墳	大杉字溝添				墳墓					古墳
047	―	大杉字溝添							墓地		五輪塔、宝篋印塔
048	立山遺跡	大杉字立山、風呂の谷									
049	立山古墳群	大杉字立山				墳墓					２０数基（ほぼ壊滅）
050	大杉溝添遺跡	大杉字溝添									土器、陶磁器
051	笹山遺跡	大杉字笹山									
052	木の下古墳群	大杉字笹山、竹の下				墳墓					石棺2基(正福寺裏古墳)、前方後円墳2基、他10数基壊滅
053	竹の下遺跡	大杉字竹の下									土器、陶磁器
054	桜木遺跡	岸山字桜木、岩谷									
055	桜木古墳	岸山字桜木				墳墓					箱式石棺？
056	七ツ枝遺跡	岸山字七ツ枝、桜木									

Tab. 1　北波多地域の遺跡一覧（1）

番号	遺　跡　名	所　在　地	旧石器	縄 文	弥 生	古 墳	奈 良	平 安	中 世	近 世	備　　考
057	有ノ木遺跡	岸山字有ノ木				■					
058	地蔵木遺跡	大字岸山字地蔵木				■					
059	大杉橋遺跡	大字大杉字桜木					■				
060	瀬戸口遺跡	徳須恵字瀬戸口			■						
061	川畦遺跡	稗田字川畦､徳須恵字瀬戸口､前田			支石墓	集落跡	■	■	井戸		銅矛出土
062	徳須恵前田遺跡	徳須恵字前田			■	■					
063	馬場ノ川遺跡	徳須恵字四道、 前田		■	■	■	■	■	■		石器、土器、陶磁器、土製鏡他
064	稗田遺跡	稗田字稗田、杭木、 川畦			■	■	■	■	■		壊滅古墳より銅釧出土？
065	天神心月御前墓	稗田字稗田								墓地	五輪塔、 宝篋印塔
066	松葉遺跡	稗田字松葉			■	■	■	■	■		
067	佐々木城跡	稗田字佐々木、 楢山							城館跡		堀切、 切岸
068	佐々木遺跡	稗田字佐々木､行合野字牛ヶ谷				■					土師器多数出土
069	波多城跡	稗田字裏ノ谷、 杉谷、 畑中							城館跡		堀切、 堀、 畝状縦堀、 切岸
070	杉谷遺跡	稗田字杉谷				■			■		
071	**皿屋窯跡**	稗田字杉谷								窯跡	別名：杉谷窯跡　国史跡
072	**皿屋上窯跡**	稗田字杉谷								窯跡	国史跡
073	岸岳城跡	稗田字稗田 （国有林）							城館跡	山城	石垣、 堀切　県史跡
074	帆柱(飯洞甕)遺跡	稗田字帆柱		■							石鏃、 石匙
075	**飯洞甕上窯**	稗田字帆柱								窯跡	国史跡
076	**飯洞甕下窯**	稗田字帆柱								窯跡	国史跡
077	**帆柱窯跡**	稗田字帆柱 （国有林）								窯跡	国史跡
078	鮎帰り遺跡	稗田字鮎帰り		■							石鏃、 石匙
079	甲城跡	稗田字佐々木、 畑河内							城館跡		伝承地
080	甲城遺跡	稗田字畑河内		■	■						石鏃、 石匙
081	畑河内遺跡	稗田字畑河内､行合野字中村		■							
082	倉谷遺跡	稗田字倉谷		■							
083	池石遺跡	志気字池石		■							
084	裏ノ谷遺跡	志気字裏ノ谷		■							
085	辻ノ上遺跡	志気字辻ノ上		■							
086	志気前田遺跡	志気字前田、 大久保		■	■	■	■	■	■		石鏃、 石匙、 石斧
087	芋木場遺跡	志気字芋木場、 三ツ石		■							
088	川頭遺跡	志気字川頭		■							
089	中ノ瀬遺跡	志気字吉田		■							石鏃、 石匙
090	土元遺跡	行合野字土元		■	■						石鏃
091	前遺跡	行合野字前				■					須恵器多数出土
092	大久保遺跡	行合野字大久保				■			■		
093	銅金谷遺跡	行合野字銅金谷				■			■		
094	天狗谷遺跡	行合野字天狗谷				■			■		

Tab. 2　北波多地域の遺跡一覧（2）

No	遺　跡　名	No	遺　跡　名	No	遺　跡　名	No	遺　跡　名	No	遺　跡　名
1	呼子殿館	14	菜畑内田遺跡	27	田中城	40	中山氏館	53	大川野南館
2	名護屋城	15	神田城	28	座主遺跡	41	池田城	54	新久田城
3	値賀城	16	唐津城	29	恵木城山城	42	梶山城	55	椎ノ峰城
4	高江城跡	17	鏡神社	30	日岳城	43	長部田城	56	姥ヶ城
5	長倉遺跡	18	鏡山	31	甲城	44	城跡	57	牧島城
6	塩鶴遺跡	19	袈裟丸城	32	川畝遺跡	45	獅子城	58	観音屋敷
7	湊松本遺跡	20	市丸城	33	稗田遺跡	46	木場城	59	木須城
8	日高城	21	草野氏館	34	佐々木氏館	47	筒井城	60	金毘羅城
9	名場越後田遺跡	22	鬼ヶ城	35	波多城	48	畑津城	61	里館
10	佐志中通遺跡	23	谷口石切丁場跡	36	岸岳城	49	法行城	62	楠久城山
11	徳蔵谷遺跡	24	久里城	37	大谷城	50	本城		
12	浜田城	25	青山城	38	山崎城	51	大曲館		
13	辻ノ尾遺跡	26	石志氏館	39	相知氏館	52	日在城		

Tab. 3　周辺の中・近世遺跡一覧

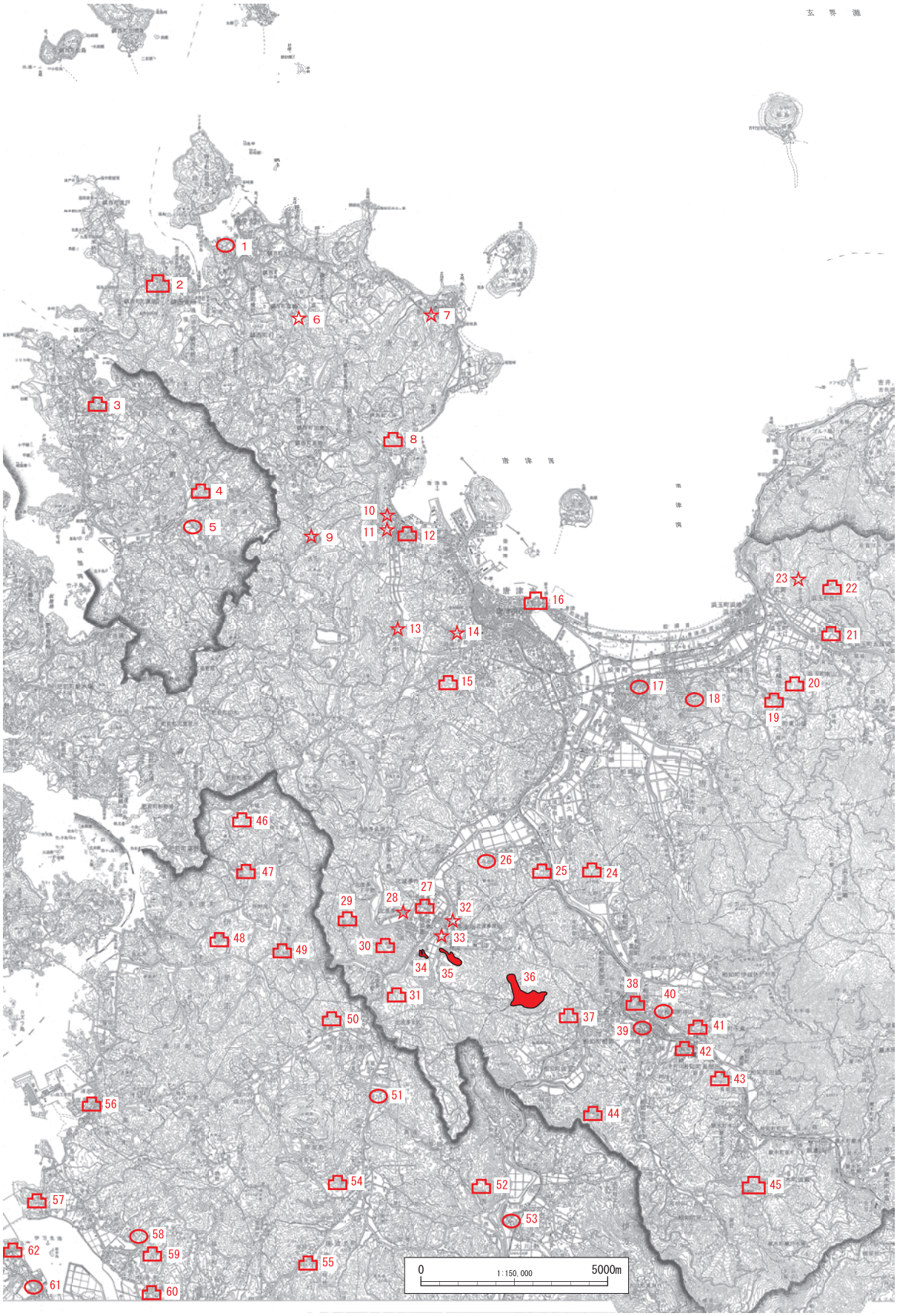


Fig. 7　周辺の中・近世遺跡一覧

られる青磁碗が採取されている。また岸岳の東南麓に存在した塚(伝お万塚)からは岸岳系古唐津の皿・碗・片口碗と土師皿が２点の計５点が発掘されている。

昭和60年に調査された名場越後田は、掘立柱建物群を中心に柵列・溝・土坑・井戸などによって構成される集落跡であるが、中国・朝鮮半島産の陶磁器とともに、唐津焼の小十窯や山瀬窯の製品が出土している。また、唐津城内及び城下町では、近年の調査により唐津焼の出土が増加しており、初現期の唐津焼をはじめ、肥前陶器における流通の実態が徐々に明らかになりつつある。

５．城郭

遺跡東松浦郡には伝承地を含め幾多の城郭が存在するが、発掘が行われた遺跡は少なく、その実態には不明な点が多い。※①所在地　②標高　③規模　④主な遺構

青山城跡

①唐津市山本 ②200m ③400×400m ④曲輪、堀切、竪堀、畝状竪堀、土塁

波多氏被官の青山采女の居城と伝えられるが、その実際は不明である。東松浦郡の中世山城としては岸岳城に次ぐ規模を誇り、遺構の保存状況も良好である。

獅子城跡

①唐津市厳木町岩屋 ②228m ③500×200m ④曲輪、堀切、竪堀、石垣、井戸跡、櫓台、虎口

平安時代末期の築城と伝えられるが、創建時期については不明である。戦国期には波多氏一門である鶴田氏の居城となり、佐賀龍造寺氏への押さえとして重要な位置を占めたが、波多氏改易にともない廃城になったと考えられてきた。獅子ヶ城は岸岳城と同タイプの石垣を築いているが、その発掘成果によると、岸岳城と同范瓦や志野焼が出土していることから、現在の石垣については、波多氏改易後である慶長以降のものである可能性が高い。

唐津城跡

①唐津市東城内・西城内・南城内・北城内 ②62m ③1.3× 1 ㎞ ④曲輪、堀、石垣、天守台、櫓台、虎口、門、井戸

寺沢志摩守広高により、慶長７年(1602)から慶長13年(1608)にかけて築城されたと伝えられている。その形は、唐津湾を臨む満島山を本丸として、南北に広がる砂丘上に二の丸、三の丸を配置したもので、三の丸周辺には城下町が形成されている。唐津藩は正保４年(1637)の寺沢氏の改易後、一時天領の時代を経て、譜代大名の大久保・松平・土井・水野・小笠原と五つもの家が転封を繰りかえしている。なお、現在石垣改修に伴う発掘調査が行われているが、肥前名護屋城跡・岸岳城跡・獅子城跡と同范の瓦や、唐津焼を含む大量の陶磁器が出土している。

名護屋城並陣跡

①唐津市鎮西町・呼子町・東松浦郡玄海町 ③170,000㎡ ④曲輪、堀、石垣、天守台、櫓台、虎口、門、井戸

文禄・慶長の役(1592～1598)で朝鮮半島への侵略の根拠地となった城であり、佐賀県立名護屋城博物館により、精力的な調査が進行中である。周囲には、豊臣秀吉の号令一下参集した、全国諸大名の陣跡が広域に分布している。築城は、各大名の割普請でおこない、天正19年(1591)に築き始め、わずか５ヵ月で一応の完成を見たといわれる。当時としては大阪城に次ぐ大きさの本格的な城郭であり、総面積170,000㎡に及ぶ。３段構えの渦郭式で、本丸を中心に、二の丸、三の丸、弾正丸、東出丸を設け、またその北側下段には遊撃丸、水手曲輪、さらにその下段に山里丸と台所丸を配置し、北側を鯱鉾池で囲

んでいる。

陣跡は、徳川家康陣跡、堀秀治陣跡、豊臣秀保陣跡など現在120か所あまりが確認されている。石垣・土塁・堀・建物跡・門跡などの遺構が良好に残存しているものが多く、それぞれが中世山城を思わせる規模・構造を持っている。

波多城跡

①稗田字裏の谷、杉谷 ②50.4m ③40×170m ⑤曲輪、堀切、空堀(横堀)、竪堀、土塁、虎口、畝状竪堀群、石垣、「水手」関係遺構

岸岳の北西麓一帯は放射状に伸びる幾筋もの尾根から構成されており、その内の稗田川と徳須恵川との旧合流点（稗田集落の西脇）を見下ろす丘陵先端に、「岸岳城祈願所」と伝わる波多八幡神社が鎮座している。波多城は、この神社境内を抱える山丘全体を城地と成し、南東から北西へ直線的に伸びる、幅員50～200mの狭長な低山の上に約700mの長さで遺構が展開している。皿屋上窯跡は、この波多城跡

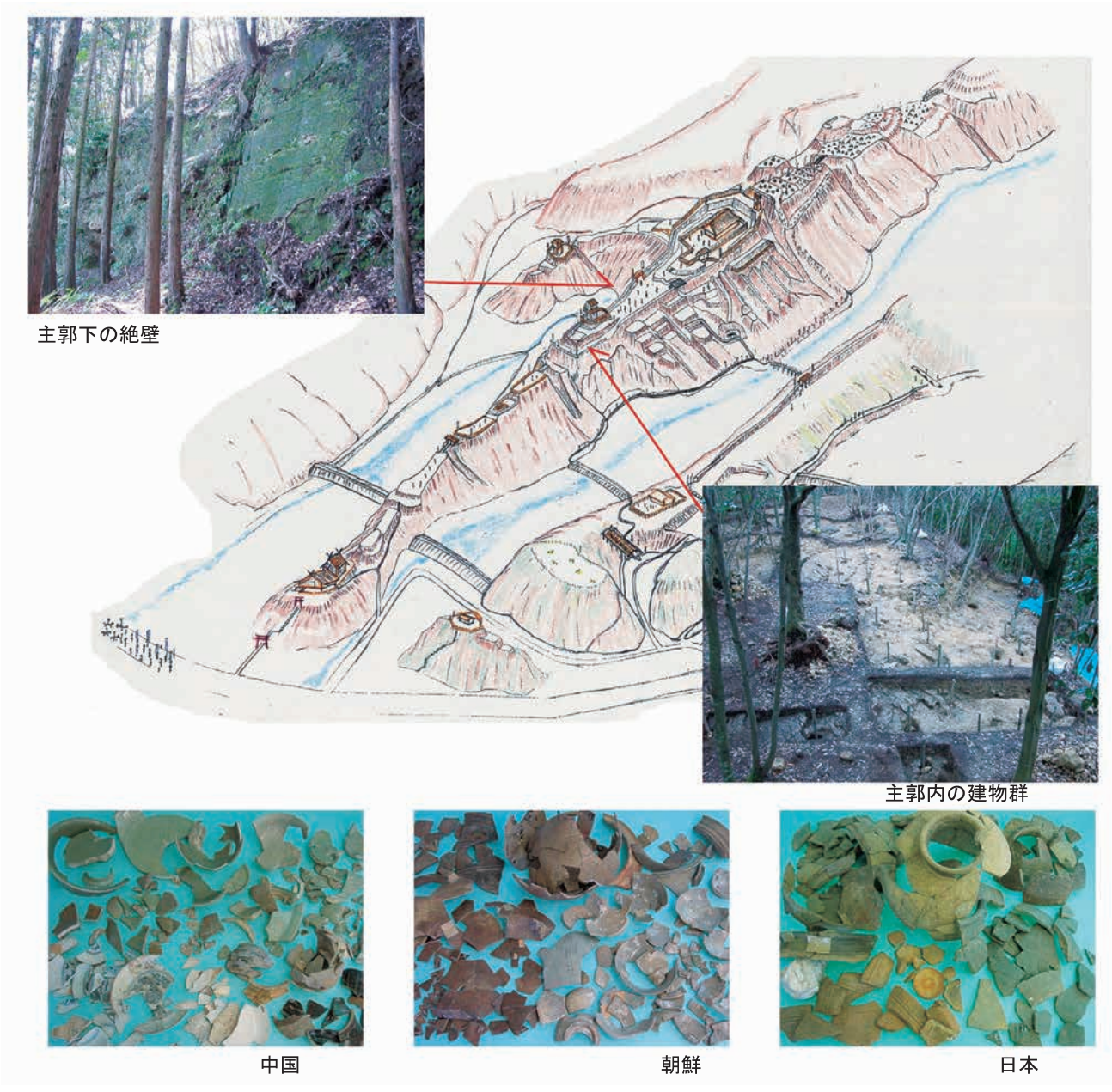


Fig. 8　波多城イメージ図

と小枝谷を隔てて、南約200mに位置する。

発掘調査（平成13年～17年）の結果、複雑な建物跡が検出されるなど、様々な遺構が良好に残ることが確認された。また遺物では、14世紀後半代から16世紀後葉にかけての中国(明)・東南アジア各地(タイ、ベトナム）のほか、朝鮮王朝期の陶磁器類が多量に出土しており、肥前陶器生産前夜の状況を示す消費地遺跡として重要である。

国産陶器では、備前・瀬戸・常滑などが出土しているが、藁灰釉（わらばいゆう）・土灰釉（どばいゆう）等、いわゆる岸岳系古唐津をはじめ、唐津焼は検出されていない。なお、皿屋上窯製品と酷似する、叩き成形の甕が多く出土しているが、胎土の科学成分分析の結果、両者は異なる分布領域を示すことが確かめられている。

岸岳城跡

①北波多稗田字帆柱・岸山字本城、相知町佐里字岸岳・防中字荒平 ②標高約315m ③1000×650m

④曲輪、土塁、石塁、虎口、櫓台、堀切、竪堀、

岸岳城跡は、唐津市北波多と相知町の境にそびえる岸岳山頂にあり、唐津城から南へ約10㎞に位置する中近世の山城である。南北朝時代（1336～1392年）に力を蓄え、戦国時代には上松浦党の盟主として活躍した、波多氏累代の本城として名高い。

江戸時代に入ると北波多一帯も唐津藩初代である寺沢氏所領となり、この時に、竪堀や堀切を多用した土造りの城を、石垣造りに大きく作りかえている。当時の状況や岸岳城とセットとなる獅子城（厳木町岩屋・波瀬）の発掘成果から考えると、遅くとも1630～1640年頃には破却（意図的に城を破壊すること）され、廃城になったと考えられる。

藩政期の編纂書では鬼子岳城、吉志岳城などと記されることもあるが、松浦氏族の系譜類の中でさえ明確な沿革が記されておらず、ましてや信憑性の高い史料上に現れる姿となれば、非常に漠然としている。郷土史上では、平安末期の松浦持（たもつ）の入部にまでその創築を遡及させる向きさえあるが、あくまでも想像の域を出ない。

観応三年(1352)三月十八日付の沙弥蓮迎田地寄進状写（妙音寺文書）には、北波多、相知地域の松浦氏族が連署をしているが、その中に「きし山の二郎　源知しらす」「はた又三郎源至いたる」の名が見える。この頃には「岸山」・「波多」に根拠を置く領主層が成長していたことを明示しているが、後世、岸岳城を「岸山」城とも表記する場合が多々あることから、この南北朝期頃に城史の起点が求められるかもしれない。

標高300m余の峻嶺「岸岳」の山並みは、７合目を越えるとさらに傾斜を急にし、唐津湾に向けて巨大な屏風を立て廻らせたが如き絶勝を形成している。稀に見る天険を選んだこの城は、山上の隅々にわたって優に100箇所を超える曲輪を配置しており、その曲輪群の連続帯の延長距離は1.5㎞にもおよぶ。山城としては佐賀県下最大で、北部九州屈指の大規模山城にも数えられる。

なお岸岳城跡においては、唐津城や獅子城と同様、藁灰釉をかけた岸岳系古唐津や絵唐津、美濃の志野焼等が出土しており、肥前陶器生産が開始した直後の状況を示す遺跡として重要である。

はたざおいし
旗竿石
物見の場所と伝えられています。

旗竿石

旗竿石より徳須恵方面を望む

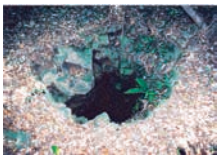
みずのてぐるわ
水の曲輪
本丸の西斜面に築かれた曲輪。上下２段の石垣に、それぞれ櫓台が付きます。

①虎口状の石垣

②上段櫓台

③下段櫓台

いどあと
井戸跡



たてぼり
縦堀
波多氏時代の遺構か？
土造りのお城の一部

姫落岩より唐津湾を臨む

さんのほりきり
三の堀切

石塁

建物跡

ちゃえんのたいら
茶園平
武家屋敷の跡と伝えられ、
現在でもお茶の木が自生しています。

にのほりきり
二の堀切

石垣

うずめもん
埋め門
門にしては小さいので
排水口かもしれません。

石垣

さりやぐら
佐里櫓

佐里櫓から大川野方面を臨む

石垣

岸岳城遠景

獅子城跡遠景

Fig. 9　岸岳城跡測量図

第Ⅲ章　岸岳古窯跡群の概要

第１節　唐津焼の誕生と展開

１．唐津焼の誕生と展開

唐津焼とは、肥前国で近世以降製作された陶器の総称であり、現在確認されている窯跡は200か所近くを数えるが、近世初頭16世紀末頃に、松浦党の後裔である波多氏が、朝鮮半島より陶工を呼び寄せて開窯したのが始まりと言われている。

肥前陶器は、慶長年間（1596～1615）頃には急速に商圏を広げ、伝統的な窯業地である瀬戸・美濃製品と、国内市場をほぼ２分するまでに成長する。「瀬戸・美濃焼」が従来の国産技術により製作されたのに対し、「唐津焼」はその当初から、朝鮮半島の先進的な技術体系を、丸ごと移植した形で生産を開始しており、特に「登窯」と呼ばれる大型の窯は、一度に大量の製品を低コストで焼くことが可能で、国産高級陶器と同等品を、より低価格で供給できるようになった。なおこの技術体系は、肥前では陶器のみならず磁器生産においても根幹的技術として共有され、さらに「登窯」の構造は、肥前国内だけではなく瀬戸・美濃など全国の窯業地に伝わっていく。

波多氏の改易後、寺沢氏の時代に入っても、岸岳諸窯の一部は、短期間操業していたと考えられるが、その多くは岸岳山麓を離れ、新たに窯を開いたと言われている。さらに文禄・慶長の役により、多くの陶工が朝鮮半島より渡来し、ここ肥前の地では、伊万里・武雄・多久・有田など、各地で陶器生産が開始される。

全国から出土する大量の唐津焼や、佐賀県下の窯跡の多さから、慶長・元和（1596～1624）の時代に肥前陶器の量産体制が確立され、唐津焼の全盛期を迎えたことがわかる。「絵唐津」と呼ばれる鉄絵装飾が盛行し、茶の湯で使用する茶碗・皿・向付(むこうづけ)、叩きの水指や花入などが数多く焼かれ、肥前の陶器生産は急成長を遂げることとなる。

しかし1610年代には、肥前における窯業体制は大きな転換期を迎える。国産磁器の誕生である。最高級の食器として磁器が位置づけられると、絵唐津は急速に衰え、肥前窯業における主役の座を下りることになる。一方有田地域周辺では廉価な無文の碗・皿が量産され、武雄地域では、鉄絵に代わり白化粧や象嵌手法を用いた、三島手や二彩手と呼ばれる装飾が主流となる。さらにその後は、京焼風陶器の製作や、甕・壺類に特化した窯などを含め、肥前における陶器生産は複雑な様相を示すようになる。

２．唐津藩領の唐津焼

唐津焼草創期の窯は、波多氏の本貫地であった唐津市北波多に築かれ、当初素朴な日常容器が焼かれていたが、1590年代中頃になると、絵唐津に代表される茶陶の生産が始まる。唐津藩領における窯跡は、成立期から絵唐津全盛期の

Fig. 10　文禄・慶長の役の経路

窯が約半数を占めるが、その中心は、岸岳山麓から松浦川中流の大川野地域（伊万里市大川町）に移る。ここでは、神谷窯跡や焼山窯跡群など、優れた絵唐津を焼いた窯が集中し、全体として大きな窯場を形成している。

1610年代になると、唐津焼の代名詞とも云うべき絵唐津（鉄絵装飾）は急速に衰え、川原地域の窯場もほぼ姿を消す。1610～1650年代の窯は、伊万里市南波多椎の峯地域に集中するが、唐津藩全体としては窯数も少なくなり、生産量もまた減少に向かう。肥前全体では磁器生産開始の一方、陶器の窯も多く築かれているので、絵唐津以降、唐津藩領内での陶器生産は、佐賀本藩・武雄領の量産体制とは異なった道を歩み始めたと言える。

絵唐津の衰退以降、唐津藩領内での陶器生産の中心は、先に述べたように伊万里市南波多椎の峯地域に移る。寛文元年(1661)頃の椎の峯山は、１基20室程度の登窯が３基有り、約350戸が集まる大きな焼物町であったが、元禄13年(1700)、貸し借りのトラブルにより、伊万里商人から訴えられるという、いわゆる「椎の峯事件」が起こる。裁判の結果、関係した陶工８人は唐津藩内の村々へと追放され、椎の峯山の窯場は衰退していく。

事件に関係しなかった５名により、規模を縮小して椎の峯の「御用窯」は維持されていたが、宝永４年(1707)、中里家四代の太郎右衛門、大島家四代弥次兵衛の手で、新たに、坊主町の御用窯が築かれる。さらにその後、享保19年(1734)、五代中里喜平次と五代大島弥吉が、藩命により唐人町（現在の町田）へと窯を移す。これが国史跡の「御茶盌窯」であり、その製品は、「献上唐津」と呼ばれている。

寺沢家改易後、慶安２年(1649）に譜代大名の大久保家が唐津に藩主として入封するが、この時代から唐津焼の将軍家献上が文献に現れ、その後土井・水野・小笠原と藩主家は変わっても、将軍家への「茶碗献上」は幕末まで続く。また同時に、藩主が初めて国元に入った時に焼物師から「茶碗」を献上することが恒例化する。

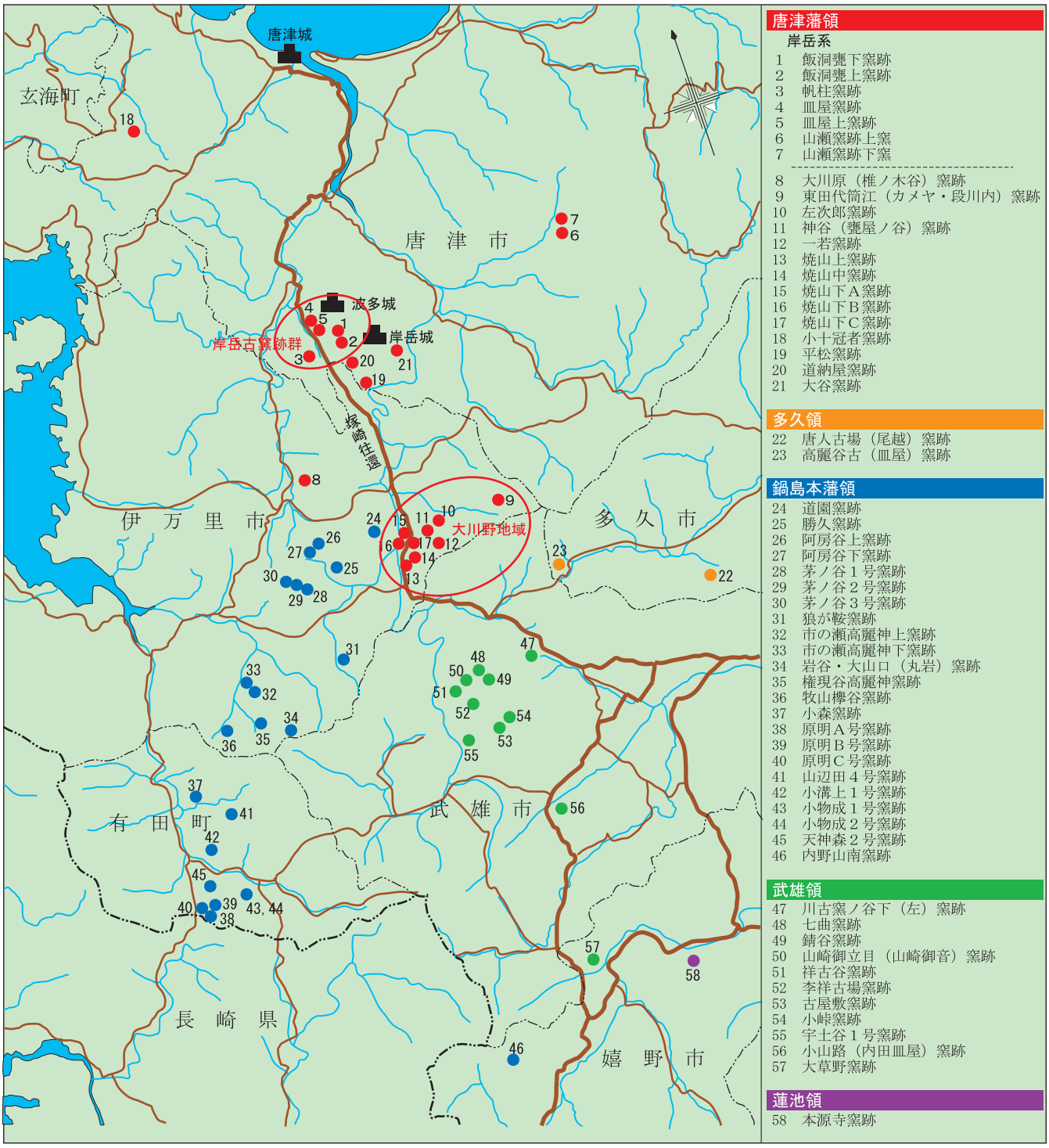
幕藩体制の崩壊により、唐津藩の庇護を失った御用窯を始めとして、唐津の陶器生産は低迷期を迎えることとなるが、昭和に入り、十二代中里太郎右衛門（無庵）の手により最盛期の唐津焼、つまり「古唐津」の技術・技法が再生・復興されたことにより、今日では、市内で70軒もの窯元が操業するほどの隆盛をみることになった。

表４は、文献６より唐津藩領の窯跡を抽出し、一覧表にしたものである。時期・推定年代については、文献４を基本に、調査報告書等の記載を参考に示した。なお各期はおおむね、Ⅰ期：1580～1610年代、Ⅱ期：1610～1650年代、Ⅲ期：1650～1690年代、Ⅳ期：1690～1780年代、Ⅴ期：1780～1860年代である。

肥前の陶器生産は、唐津市北波多の岸岳北麓において、朝鮮半島の技術をベースに、国内の嗜好を敏感に取り入れて成立した（Tab4-1～5)。これらの窯跡群は、16世紀末頃の開窯と考えられているが、その窯構造・製品の特長には３つのバリエーションが有り、揺籃期の複雑な様相が見て取れる。また唐津藩領では、これら岸岳古窯跡群の直後、もしくは数年重複して、岸岳南麓などにいくつかの窯が築かれるが（Tab4-9～14)、いずれも短期間で操業を終えている。

唐津焼の最盛期は、1590～1610年代、いわゆる絵唐津の時代であり、文禄・慶長の役により渡海した朝鮮半島の陶工達の手により、唐津藩領をはじめ、鍋島本藩領・武雄藩領などに数多くの窯が築かれる。しかし1610年代頃、磁器生産が始まり、文様を施した染付磁器生産が盛んになると、絵唐津は急速に姿を消し、有田・伊万里地域などで口縁部を「N」字状に折り返した無文の皿（灰釉溝縁皿）などが量産され、国内各地に流通した。その後肥前における陶器生産は、寛永14年(1637)、佐賀藩の手により窯場の整理・統合が行われたことにより、伊万里・有田地方から陶製雑器は姿を消し、その中心は、二彩手や三島手の大型製品を焼成した武雄地域へ移ることになる。

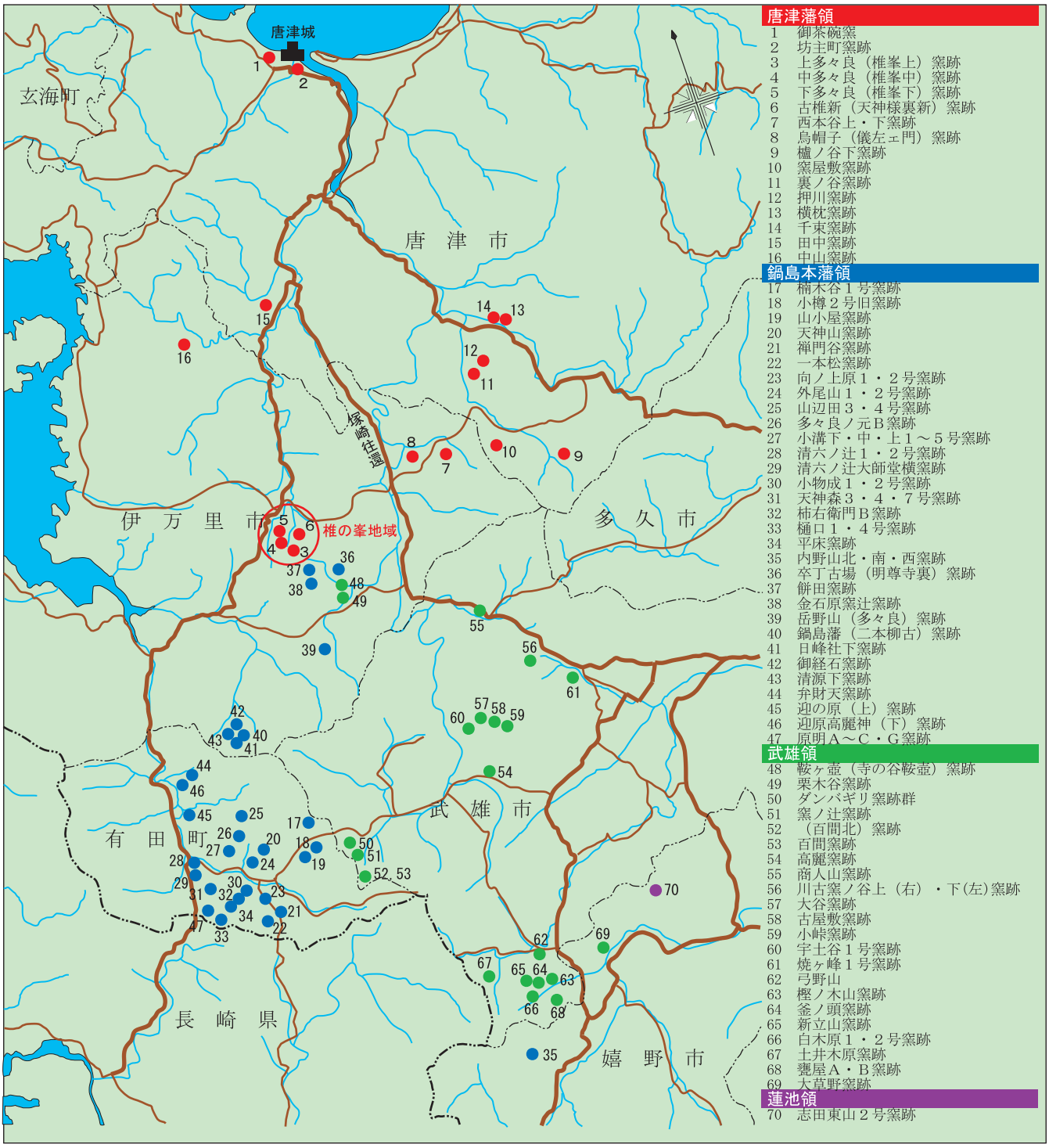
唐津焼古窯分布図 1 （1580年代～1610年頃）



「土の美　古唐津　ー肥前陶器の全てー」 2008　佐賀県立九州陶磁文化館をもとに、
「慶長国絵図」記載の街道を加筆して作成した。

Fig. 11　肥前陶器窯跡の分布（１）

唐津焼古窯分布図 2（1610～幕末）



「土の美　古唐津　ー肥前陶器の全てー」 2008　佐賀県立九州陶磁文化館をもとに、「慶長国絵図」記載の街道を加筆して作成した。

Fig. 12　肥前陶器窯跡の分布（２）

Ｎｏ	窯　　名	所在地	時期	推定年代	備考
1	飯洞甕下窯跡	唐津市北波多	Ⅰ	1580～1600年代	
2	飯洞甕上窯跡	唐津市北波多	Ⅰ	1580～1600年代	
3	帆柱窯跡	唐津市北波多	Ⅰ	1580～1600年代	
4	皿屋（杉谷）窯跡	唐津市北波多	Ⅰ	1580～1600年代	
5	皿屋上窯跡	唐津市北波多	Ⅰ	1580～1600年代	
6	田中窯跡	唐津市北波多	Ⅳ	1700年代前後	
7	坊主町窯跡	唐津市坊主町	Ⅳ	1707～1734	消滅か
8	御茶碗窯跡	唐津市町田	Ⅳ	1734～近代	
9	小十窯跡	唐津市梨川内	Ⅰ	1580～1600年代	
10	山瀬窯跡上窯	唐津市浜玉町	Ⅰ	1580～1600年代	
11	山瀬窯跡下窯	唐津市浜玉町	Ⅰ	1580～1600年代	
12	平松窯跡	唐津市相知町	Ⅰ	1580～1600年代	
13	道納屋窯跡	唐津市相知町	Ⅰ	1580～1600年代	
14	大谷窯跡	唐津市相知町	Ⅰ	1580～1600年代	消滅か
15	櫨ノ谷下窯跡（平山下窯）	唐津市相知町	Ⅲ	17Ｃ後半？	
16	櫨ノ谷（上）窯跡（平山上窯）	唐津市相知町	Ⅲ・Ⅳ	17Ｃ後半～18Ｃ	
17	裏ノ谷（浦ン谷）窯跡	唐津市相知町	Ⅲ・Ⅳ	17Ｃ後半～18Ｃ	
18	横枕窯跡	唐津市相知町	Ⅳ？	江戸後期？	甕類
19	押川窯跡	唐津市相知町	Ⅳ・Ⅴ	18C～19C	甕類
20	窯ン屋敷窯跡	唐津市相知町	明治中期		
21	焼山上窯跡	伊万里市大川町	Ⅰ	1580～1600年代	
22	焼山中窯跡	伊万里市大川町	Ⅰ	1580～1600年代	
23	焼山下Ａ窯跡	伊万里市大川町	Ⅰ	1580～1600年代	
24	焼山下Ｂ窯跡	伊万里市大川町	Ⅰ	1580～1600年代	消滅か
25	焼山下Ｃ窯跡	伊万里市大川町	Ⅰ	1580～1600年代	窯か不明
26	神谷（甕屋の谷）窯跡	伊万里市大川町	Ⅰ	1590～1600年代	
27	一若窯跡	伊万里市大川町	Ⅰ	1590末～1610年代前半	
28	牟田良窯跡	伊万里市大川町	Ⅰ	1590～1610年代	不明
29	東田代筒江（カメヤ・段川内）窯跡	伊万里市大川町	Ⅰ	1590～1610年代	消滅か
30	梅坂窯跡	伊万里市大川町	Ⅰ・Ⅱ	1600～1620年代	ほぼ甕類
31	左次郎窯跡	伊万里市大川町	Ⅱ・Ⅲ	江戸時代前期	消滅か
32	善徳窯跡	伊万里市大川町	Ⅳ	18Ｃ	
33	西本谷上窯跡	伊万里市大川町	Ⅳ	江戸時代中期	
34	西本谷下窯跡	伊万里市大川町	Ⅳ・Ⅴ	江戸時代中期・後期	消滅
35	片草窯跡	伊万里市大川町	Ⅳ・Ⅴ	江戸時代中期・後期・大正	
36	烏帽子（儀左エ門）窯跡	伊万里市大川町	Ⅴ	1830～1843	植木鉢
37	大川原（樅の木谷）窯跡１号	伊万里市南波多町	Ⅰ	1590～1600年代	
38	櫨ノ谷窯跡	伊万里市南波多町	Ⅰ	1590～1610年代	消滅か
39	笠椎窯跡	伊万里市南波多町	Ⅰ	1590～1610年代	消滅か
40	中多々良（椎峯中）窯跡	伊万里市南波多町	Ⅱ～Ⅳ	江戸時代前期～中期	
41	下多々良（椎峯下）窯跡	伊万里市南波多町	Ⅱ～Ⅳ	江戸時代前期・中期	
42	古椎新（天神様裏新）窯跡	伊万里市南波多町	Ⅱ・Ⅲ	17Ｃ	
43	上多々良（椎峯上）窯跡	伊万里市南波多町	Ⅲ	1650～1670年代	
44	大川原（樅の木谷）窯跡２号	伊万里市南波多町	Ⅲ	17Ｃ後半（1657～1707？）	
45	符招新（古道）窯跡	伊万里市南波多町	Ⅳ	18Ｃ	
46	中山（梅の木谷）窯跡	伊万里市波多津町	Ⅳ	18世紀前半	

Tab．4　唐津藩領の窯跡

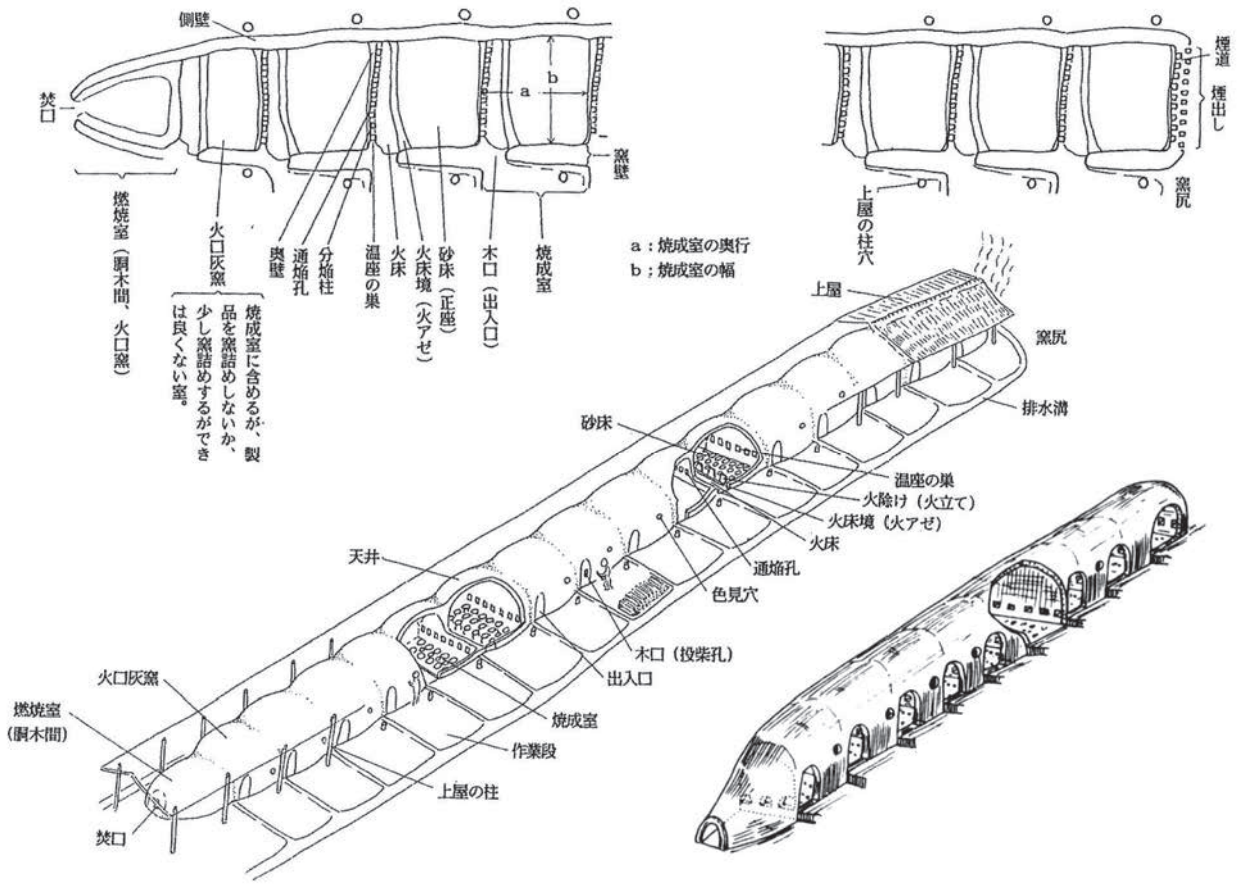
年　　号	西　暦	記　　事	備　　考	周辺の窯跡	
文禄末～慶長初期	～1596～	大川野組田代村窯立	御茶碗は焼かず、壺瓶抔を焼く	東田代筒江窯跡	1590～1610年代
慶長10年頃	1605	大川野組川原村窯立	御茶碗は焼かず、壺瓶抔を焼く	一若窯跡等	1590末～1610年代前半
元和元年頃	1615	府招村椎峯に移り窯立	唐津領内の陶工集まる	中・下多々良窯等	Ⅱ期（1610年代）～
承応２年	1653	平山御用窯廃止（梅村和兵衛）	1650頃開窯？	櫨ノ谷上・下窯跡	17C後半～18C
明暦３年	1657	大川原古窯の側に、３代中里甚右衛門開窯	～1707（坊主町窯開窯）？	大川原窯跡２号	17C後半
寛文元年頃	1661	椎峯には20室の登り窯が３基。350戸	年に１回藩御用焼成（通常雑器）	上・中・下多々良窯等	Ⅱ期～Ⅳ期（1780年代）
元禄13年	1700	陶工、伊万里商人から訴えられる	椎峯事件	中山窯跡、田中窯跡他	Ⅳ期
元禄14年	1701	椎峯、規模を縮小し新しく御用窯を作る	３代中里甚右衛門他	上・中・下多々良窯等	
元禄16年	1703	椎峯事件解決	陶工８人を藩内の村々に追放 ３代中里甚右衛門他、５名無関係		
宝永４年	1707	４代中里太郎衛門他、坊主町に御用窯築く	「土井唐津」	坊主町窯跡	1707～1734
享保６年	1721	椎峯御用窯を大島加平次らに預け維持		上・中・下多々良窯等	
享保８年	1723	椎峯御用窯を椎峯の陶工に払い下げる		上・中・下多々良窯等	
享保19年	1734	坊主町から唐人町に御用窯を移す（御茶盌窯）	「献上唐津」	御茶盌窯跡	1734～

Tab．5　『喜平次旧記』における記事一覧

時期区分	Ⅰ期 1580年代～1610年代	Ⅱ期 1610年代～1650年代	Ⅲ期 1650年代～1690年代	Ⅳ期 1690年代～1780年代	Ⅴ期 1780年代～1860年代
肥前陶磁に関わる主な出来事	千利休没(1591) 文禄・慶長の役(1592-1598) 波多氏改易(1593) 寺沢唐津藩成立(1594) 徳川幕府成立(1603)	古田織部(1615) 泉山陶石の発見(1616) 有田・伊万里の窯場強制統合(1637) 寺沢氏改易(1647年)	中国(明)の禁輸政策(1644～84)	土井氏唐津に入部(1691～) 幕府倹約令(1709, 1722) 御茶盌窯築窯(1734～)	小笠原氏唐津に入部(1817～) 明治政府廃立(1868年) 廃藩置県(1871)
唐津焼生産の移り変わり	唐津焼の誕生 絵唐津・桃山茶陶の隆盛	磁器の誕生 三島唐津の出現 絵唐津の衰退	京焼風陶器の出現 食器生産の復活 (安価な碗・皿類)	献上唐津の成立(唐津藩御用窯) 食器生産の衰退(佐賀藩領) 会食用大皿類の衰退	佐賀藩領では、甕類の生産は続くが、碗・皿類はほとんど途絶える。唐津藩領では、引き続き様々な陶器が作られ続ける。
藁灰釉	斑唐津		陶器碗		
(土)灰釉	青唐津・黄唐津	灰釉碗・皿(雑器)			
長石系釉	彫唐津★				
鉄釉	黒唐津		陶器碗		
青緑釉			陶器碗		
藁灰鉄釉掛分	朝鮮唐津				
鉄絵(絵唐津)	絵唐津				
三島唐津 三島手(象嵌)		●			
三島唐津 二彩手 鉄絵緑彩		◎ ●			
三島唐津 二彩手 掛け分け					
三島唐津 刷毛目 櫛目		●		○	
灰釉茶碗	奥高麗	高麗茶碗写し	呉器手碗		
京焼風陶器			●		
献上唐津				●	
叩き甕		●			

★東京国立博物館所蔵　画像提供:東京国立博物館　Image: TNMImageArchives
● 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵・画像提供
◎ 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵・画像提供　佐賀県重要文化財
○ 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵・画像提供　高取紀子氏寄贈

Tab. 6　肥前陶器の変遷



『肥前古陶磁窯跡』1999より　　『多治見市史通史編上』1980より

Fig. 13　窯構造模式図及び部分名称

	皿屋上窯		飯洞甕上窯			飯洞甕下窯			帆柱窯			皿屋窯		
	幅	奥行き	幅	奥行き	面積	幅	奥行き	面積	幅	奥行き	面積	幅	奥行き	面積
第１室			2.25	2.20	4.95	2.10	2.50	5.25	2.24	2.21	4.95	2.56	2.44	6.25
第２室			2.24	2.31	5.17	2.00	2.20	4.40	2.00	2.12	4.24	2.60	2.16	5.62
第３室			2.24	2.24	5.02	2.30	2.20	5.06	2.36	2.06	4.86	2.76	2.08	5.74
第４室	1.00		2.24	2.30	5.15	2.20	2.30	5.06	2.30	2.06	4.74	2.75	2.05	5.64
第５室			2.24	2.30	5.15	2.20	2.30	5.06	2.20	1.90	4.18	2.75	2.00	5.50
第６室						2.40	2.30	5.52	2.15	1.90	4.09	2.75	1.75	4.81
第７室	～	14.40				2.20	2.10	4.62	2.10	2.15	4.52	2.75	1.72	4.73
第８室									2.10	2.00	4.20	2.75	1.72	4.73
第９室									2.10	2.00	4.20	2.80	1.72	4.82
第10室	1.50								2.10	2.00	4.20	2.76	1.76	4.86
第11室									2.10	2.00	4.20			
第12室									2.10	2.00	4.20			
第13室									2.10	2.00	4.20			
小　計		14.4		11.35	25.45		15.90	34.97		26.40	56.77		19.40	52.69
面積の平均					5.09			5.00			4.37			5.27
火口灰窯									2.00	1.4	2.80	2.40	1.60	3.84
胴木間		1.50					2.90			2.5			2.50	
合　計		15.90		11.35	25.45		18.80	34.97		30.30	59.57		23.50	56.53
窯勾配角	22.0度		16.0度			15.5度			21.0度			26.0度		

Tab. 7　窯の寸法

※単位はメートル
※焼成室は窯尻からのカウント
※明朝体は推定値　幅は上下の焼成室から推定。奥行きは上下の焼成室間距離を推定室数で割り戻し。

Ⅰ期は、肥前陶器生産の成立期から絵唐津全盛期の窯であり、唐津藩領では全体の約半数を占めている。唐津藩領における中心は、岸岳山麓から松浦川下流の川原地域（伊万里市大川町）に移るが、神谷窯跡や焼山窯跡群など（Tab4-20～28）、優品を数多く製作した窯が集中し、全体として大きな窯場を形成している。

Ⅱ期になると肥前全体では、磁器生産開始の一方、陶器の窯も多く築かれるが、唐津藩領では、当該期の窯は極端に減少し、唐津焼の代名詞とも云うべき絵唐津（鉄絵装飾）は急速に衰え、川原地域の窯場もほぼ姿を消す。さらに上記の「灰釉溝縁皿」も一般的ではなく、佐賀藩領の生産体制と異なった動向を示すようになる。

Ⅱ期の窯は伊万里市南波多、椎峯地域に集中するが、Ⅲ期以降はそれに加え、松浦川支流の厳木川の中流域にもまとまりが見られる。しかし全体としての窯数は少なく、生産量もまた、多くはなかった。

Tab５は、『喜平次旧記』から関連すると思われる記事を抽出し、該当する地域に存在する窯跡を加え、一覧表にまとめたものである。『喜平次旧記』は、中里家５代の喜平次が、享保５年(1720)・同６・11年に記した、幕府閣老からの諮問書に対する写しであり、同時代史料として貴重である。

本史料により窯の変遷を簡単にまとめると、①田代村→②川原村→③椎峯(1615年頃～)→④平山(1650年頃～1653)→⑤大川原(1657～)→⑥坊主町(1707～)→⑦唐人町(1734～)となり、それぞれの地区に存在する窯跡の編年時期と良く一致する。

第２節　岸岳古窯跡群の概要

１．窯の構造と特徴

唐津焼の成立については諸説あるが、現在の研究では、文禄・慶長の役に先立ち上松浦党の盟主である波多氏が、朝鮮半島から陶工を呼び1580～1590年代に開窯したのがその始まりと考えられている。

波多氏の居城が築かれた岸岳の西麓には５つの窯跡が確認されているが、いずれも肥前型の登窯が定型化する以前の窯とされている。これらは成品及び窯構造の上で、おおむね３つのグループに分類が可能である。その第１は無段単室の皿屋上窯跡で、主に甕・壺など、叩き成形による貯蔵具を焼成しており、肥前古窯全体の中でも特異な位置を占めている。第２は飯洞甕上窯・同下窯跡で、主に土灰釉の碗・皿類と貯蔵具を焼成し、窯の勾配角も16度前後と比較的緩やかである。第３は皿屋窯跡および帆柱窯跡で、主に藁灰釉の碗・皿類を焼成し、窯の勾配角も20度以上と急傾斜地に築かれ、共に火口灰窯を備えている。

皿屋上窯跡は、床面が直線的で、焼成室を仕切る壁も無い無段単室の窯で、肥前古窯の構造と大きく異なっている。このような窯は朝鮮半島に普遍的に存在するが、その一例として韓国慶尚道蟾池里（せんちり）で発掘された甕器窯に酷似する。この窯は焚口が削平されているためその詳細は不明であるが、同じく無段の単室窯であり、製品も甕・甕の蓋・瓶といった陶器製の貯蔵器を中心に焼成している。

飯洞甕上窯跡と同下窯跡は同一グループに属し、焼成室の平均面積はそれぞれ5.09㎡と5.00㎡であり、構造・形態・寸法など多くの要素で類似するが、縦断面を観察すると、飯洞甕上窯跡は下窯跡に比べ焼成室間の段差が小さく、火床の凹を除くと、全焼成室の床面がほぼ一直線となっている。肥前古窯の変遷において、焼成室間の段差が小→大という流れが指摘されているが、この点を考慮すると、飯洞甕上窯跡→同下窯跡という時間的前後関係を指摘しうる。

帆柱窯跡と皿屋窯跡は、藁灰釉碗・皿類の集中的焼成という点では共通するが、窯構造ではいくつかの相違点が見られる。その最も大きな違いは、焼成室の数とその床面積である。帆柱窯跡が推定焼成室数13であるのに対し皿屋窯跡は10室であり、その平均床面積も前者が4.37㎡であるのに対し後者は5.27

㎡である。焼成室規模の拡大傾向という肥前古窯の変遷に照らし合わせると、両者の編年は帆柱窯跡→皿屋窯跡となろう。

①皿屋上窯跡

窯の構造　・無段単室（傾斜）窯。塗壁式壁体。
・胴木間（燃焼室）は、円形の浅い窪み状を呈する。
・窯構造、窯道具・製品とも、韓国甕器窯と酷似。
※類似窯：鹿児島県加治木町串木野窯、同宇都窯　韓国慶尚道蓴池里甕器窯

遺存状態　・焼成室・燃焼室とも、床面のみ残存。窯中央部は、里道により削平。
・燃焼室のすぐ南に溜池が存在。全体的に、遺存状態は不良。

工　　房　・未検出

物　　原　・窯跡南斜面部に散在。厚い堆積は見られず。

遺　　物　・叩き技法の甕・壺等を製作。

立　　地　・丘陵地ではあるが、集落に近くアクセスは比較的容易。

②飯洞甕上窯跡

窯の構造　・割竹式登窯（火口灰窯無）。　塗壁式壁体。
・火床の掘り窪みは浅く、※火床境の仕切り（粘土製）も低い。
・焼成室の奥壁は低く、窯勾配角と焼成室床面傾斜角がほぼ等しい。
・分焔柱は７本で、割石を芯に粘土を巻いて形作る。
・窯尻の煙出しは、焼成室と同様、分焔柱を立てた状態で一列に配置する。
・各焼成室の入り口が、左右に存在する。
・焼成室の平面プランは整った方形となる。

遺存状態　・第１室以下が道路により削平されている。
・床面の遺存状態は良好。

工　　房　・窯跡北平坦部で柱穴等確認。

物　　原　・窯跡周辺部に散在。厚い堆積、特定位置への集中は見られず。
・焼成室間の段差がほとんど無く、傾斜窯に近い。下窯に先行。

遺　　物　・土灰釉・長石釉の碗・皿のほか、甕・壺等も製作。

立　　地　・整備された自然公園内に存在。駐車場有。アクセス容易。

③飯洞甕下窯跡

窯の構造　・割竹式登窯（火口灰窯無）。塗壁式壁体。
・燃焼室は舟底状で、奥壁は高く立ち上がる。
・火床の掘り窪みは浅く、火床境の仕切り（粘土製）も低い。
・焼成室の奥壁は上窯より高く、窯勾配角より焼成室床面傾斜角がやや緩やか。
・隔壁の構築芯材に砂岩を使用。分焔柱は６本で、割石を芯に粘土を巻く。
・各焼成室の入り口は、向かって右に統一されている。
・焼成室の平面プランは整った方形となる。

遺存状態　・岸岳窯跡群の中では、唯一上部構造（隔壁）が残存。
・床面の遺存状況も良好。最も残りの良い窯跡。

工　　房　・未検出
候補地：窯跡北東・西平坦部。なお上窯跡の工房を継承した可能性も有り。

物　原　・窯跡周辺部に散在。厚い堆積、特定位置への集中は見られず。
遺　物　・土灰釉・長石釉の碗・皿のほか、甕・壺等も製作。
立　地　・整備された公園内に存在。駐車場有。アクセス容易。

④帆柱窯跡

窯の構造　・割竹式登窯（火口灰窯有）。塗壁式壁体。
・岸岳古窯跡群で最長の窯跡。（全長30.3m）
・胴木間奥壁には一枚岩を置き、高く立ち上がる可能性が高い。
・焼成室の奥壁は低く、窯勾配角と焼成室床面傾斜角がほぼ等しい。
・分焔柱は６本で、粘土塊を芯に粘土を巻いて形作る。
・窯尻の煙出しは、焼成室と同様、分焔柱を立てた状態で一列に配置する。
・焼成室の入り口は、右方向が確認されている（左右の可能性も残る）。
・焼成室の平面プランは、やや歪んだ方形を呈する。
遺存状態　・全体的に盗掘の被害が大きい。燃焼室奥壁には一枚岩を置くが、かく乱が激しく、形状不明確。
工　房　・窯跡東平坦部において、方形土坑を検出。
物　原　・窯跡周辺部に散在。厚い堆積、特定位置への集中は見られず。
遺　物　・主に藁灰釉の碗・皿を製作。重ね積みは少ない。
立　地　・集落から離れた丘陵地に存在するため、アクセスは不便。

⑤皿屋窯跡

窯の構造　・割竹式登窯（火口灰窯有）。塗壁式壁体。
・最上室の側壁は、割石をレンガ状に積み、表面を粘土で塗り込めて構築。
・窯尻後方の煙出し空間は、地山（砂岩質）を２段に削り込み、幅20㎝ほどの溝を巡らす。
・焼成室床面積は、岸岳古窯跡群で最大（平均5.27㎡）
・焼成室の奥壁は高く、床面の傾斜は上の焼成室ほど緩やかになる。
・焼成室の奥行きは、下の部屋ほど短くなる。
・各焼成室の入り口が、左右に存在する。
・各焼成室で、床面の左右の傾斜方向が異なる
・燃焼室は船底状で、奥壁は高く立ち上がる。
遺存状態　・全体的に盗掘の被害が大きいが、燃焼室の床面残存状況は良好。
工　房　・窯跡南東平坦部において、段切りの平坦面検出。北平坦部も可能性有り。
物　原　・窯跡周辺部に散在。厚い堆積、特定位置への集中は見られず。
遺　物　・主に藁灰釉の碗・皿を製作。胎土目積みの皿が多い。
立　地　・丘陵地ではあるが、集落に近くアクセスは比較的容易。

２．遺物の特徴と分類

岸岳古窯跡群は、①甕類を集中的に焼成した皿屋窯上窯跡、②土灰釉と長石釉製品を中心とする飯洞甕上窯跡と同下窯跡、③主に藁灰釉製品を焼成した、帆柱窯跡・皿屋窯跡の３グループに分かれる。

土灰釉系列では、皿屋上窯跡→飯洞甕上窯跡→飯洞甕下窯跡、藁灰釉系列では、帆柱窯跡→皿屋窯跡の順序で諸要素の変遷が認められる。但しこれら要素の変遷が、時間的前後関係を反映しているかは、

さらに消費地における出土状況、国内外の窯業技術の分析を通して総合的に判断することが必要であろう。

土灰釉系列と藁灰釉系列は、多くの要素で明確に区分できるが、飯洞甕下窯跡と帆柱窯跡において同じ口縁形態が共有されており、少なくとも両窯間には、時間的または技術的接点が存在する。

皿屋上窯跡は、韓国蕓池里甕器窯など半島の窯構造に酷似し、その製品もまた形態・器種構成・マーブル状に煉り込んだ胎土など、あらゆる点で朝鮮半島産と区別がつかないほど似ている。さらに、蕓池里甕器窯で見られた複合口縁形態が、甕・鉢類の製作において、全ての窯に採用されていることからも、皿屋上窯跡だけではなく、岸岳古窯跡群全体の甕・鉢類の製作技法が、半島のオンギ（甕器）製作の系譜上に位置することは明らかである。

これら甕・鉢類に対し、茶陶をはじめ食器類の多くは、朝鮮半島と異なる器形の製品により構成されている。最も普遍的に出土している丸皿の器形は、朝鮮半島の粉青沙器系の窯で焼かれた青磁皿にも類似するが、小坏や向付、装飾を施す碗などは、当時の国内嗜好、流通していた器の形を基に製作された器種と考えられるのである。これらの日本的器種を、肥前地域が独自で開発した可能性も有るが、皿屋窯跡や飯洞甕上窯跡と同下窯跡間のトレンチから、瀬戸美濃大窯第４段階末の志野向付と天目碗が出土しており、このことは、近世的器種・器形の成立において、肥前及び美濃地方が密接に連携し、重要な役割を果たしたことを示唆している。

以上甕・鉢類の製作技術が、朝鮮半島の系譜に連なることを確認したが、碗・皿類においてはその器形・器種と同様、製作技法も国内に求められるのであろうか。ここで注目すべきは窯道具である。

トチンとハマを多用する窯積め方法は、当時の国内では見られない特徴であり、その祖源は半島に求められる。また底部調整（削り）におけるロクロは左回転で、国内伝統的窯業地とのそれとは逆であり、半島の回転と同一である。

これらの事実により、碗・皿類の製作技法もまた朝鮮半島に系譜が求められ、ここ肥前の地においては、朝鮮半島的技法を用い、当時国内で嗜好されていた器形と器種の製作が開始されたと考えることが出来る。

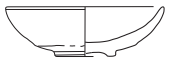
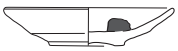
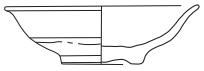
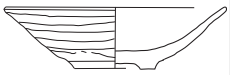
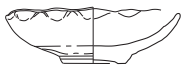
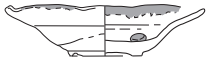
出土遺物の分類

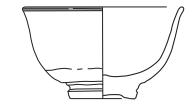
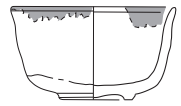
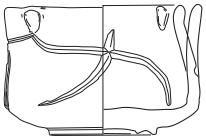
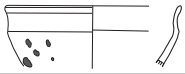
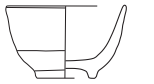
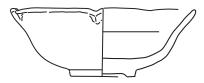
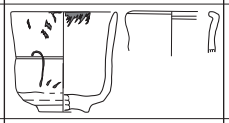
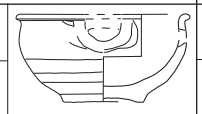
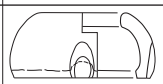
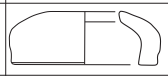
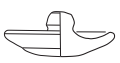
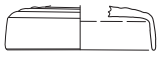
皿・碗類をはじめロクロ水引き成形による製品（但し擂鉢は紐造り）をTab８・９に、甕・壺類等タタキ成形の製品をTab10に掲載した。また、鉢及び壺類については、ロクロ水引き成形とタタキ成形の両者が存在するので、それぞれTabを分けて載せている。

なお本表は、発掘調査により出土した陶器に限った分類であり、肥前陶器全体を俯瞰した場合は、また異なった表となる。さらに煩雑さを避けるため、出土量が少ない器種については、細分可能でも１つに纏めたため、分類基準レベルは器種間で異なっている。

主要参考文献

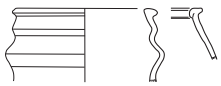
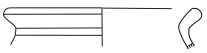
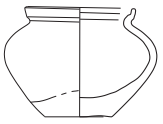
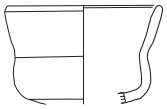
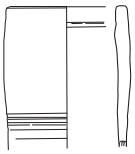
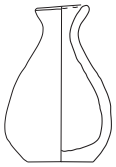
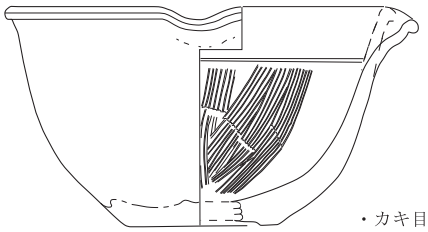
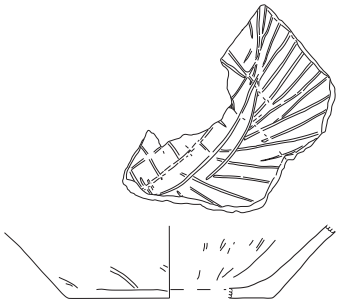
（１）伊万里市史編纂委員会(2006)『伊万里市史　陶磁器編　古唐津・鍋島』伊万里市
（２）大橋康二(1993)『肥前陶磁』考古学ライブラリー55ニューサイエンス社
（３）唐津市教育委員会(2011)『岸岳古窯跡群Ⅲ』唐津市文化財調査報告書第159集
（４）九州近世陶磁学会(2000)『九州陶磁の編年』
（５）九州近世陶磁学会(2005)『十六・十七世紀における九州陶磁をめぐる技術交流』
（６）佐賀県肥前古陶磁窯跡保存対策連絡会(1999)『肥前古陶磁窯跡　基礎調査・基礎方針策定報告書』
（７）佐賀県立九州陶磁文化館(2008)『 土の美　古唐津－肥前陶器のすべて－』佐賀県立九州陶磁文化館
（８）中里逢庵(2004)『唐津焼の研究』中里太郎衛門工房
（９）水町和三郎・鍋島直紹(1963)『唐津』白鳳社

皿	Ⅰ（丸皿）	a		・体部が内湾する
		b		・体部が浅く内湾 （内湾度の弱いものも含む）
		c		・腰部に弱い稜を持つ ・口唇が僅かに肥厚する
		d		・腰部に弱い稜を持つ ・口唇が僅かに肥厚する ・浅い体部
		e		・体部は腰部で弱く屈曲し、 緩やかに立ち上がる。
	Ⅱ（端反皿）	a		・腰部に弱い稜を持つ ・口縁は外反
		b		・腰部に弱い稜を持つ ・口縁は外反 ・体部が浅い
		c		・体部は逆「ハ」字状に開く ・口縁は緩く外反
		d		・肩部に段を持つ ・口縁は緩く内湾し短く開く
	Ⅲ（溝縁皿）			・体部は直線的に開き、 口唇部に浅い溝を持つ
	Ⅳ（縁立皿）			・体部は腰部で屈曲し、 上方へ立ち上がる ・向付？
	Ⅴ（波縁皿）			・口縁部が波状を呈する
	Ⅵ（変形皿）	a		・体部は腰部で屈曲し、外へ開く。 ・四方手を基本とする ・口縁に鉄釉を施すことが多い ・向付？
		b		・口縁部に間隔を開けて 複数箇所押捺を施す ・向付？
	Ⅶ			・その他 輸入陶磁器等
	Ⅷ（中皿）	a	口径２０㎝程度。	・皿Ⅰ類（丸皿）に類するもの
		b		・皿Ⅱ類（端反皿）に類するもの
		c		・皿Ⅲ類（溝縁皿）に類するもの
		d		・皿Ⅴ類（波縁皿）に類するもの
	Ⅸ（大皿）	a	口径３０㎝程度。	・皿Ⅰ類（丸皿）に類するもの
		b		・皿Ⅱ類（端反皿）に類するもの
		c		・皿Ⅲ類（溝縁皿）に類するもの
		d		・皿Ⅴ類（波縁皿）に類するもの

碗	Ⅰ			・体部は内湾し、口縁が外反
	Ⅱ			・体部が内湾し、口縁に至る
	Ⅲ			・腰部が張り、 半筒形を呈するもの。
	Ⅳ			・半筒形を呈する。 胴部・口縁部に装飾を 施すことが多い。
	Ⅴ			・天目形の茶碗。
小坏	Ⅰ			・碗形を呈する 高台を削りだすことが多い。
	Ⅱ			・筒形又は半筒形を呈する 碁笥底を呈することが多い。
	Ⅲ			・浅い碗形を呈する
鉢	Ⅰ			・浅い碗形を呈する ・口縁に装飾（変形・文様） を持つものが多い ・向付？
	Ⅱ			・筒形又は半筒形を呈する ・文様を描くものが多い ・向付？ ・香炉？
	Ⅲ			・その他 （中・大型の鉢等）
片口碗	Ⅰ	a		・口径が11㎝程度のもの
		b		・口径が15㎝以上のもの
ロクロ軸受け	Ⅰ	a		・ドーム状を呈するもの ・側面に押捺を施すもの
		b		・ドーム状を呈するもの
	Ⅱ			・円盤状を呈するもの
蓋	Ⅰ	a		・扁平でつまみを持つもの 底部が水平
		b		・底部が弧を描く
	Ⅱ			・逆円筒形を呈する
水滴	Ⅰ			

Tab. 8　出土遺物の分類（1）

0　10cm

（小）壺	Ⅰ	a		・無頸壺 ・単純口縁 ・短く立ち上がる口唇
		b		・無頸壺 ・複合口縁（玉縁状の口唇）
		c		・無頸壺 ・口唇に蓋受けを造る。
	Ⅱ	a		・短頸壺 ・単純口縁
		b		・短頸壺 口唇に蓋受けを造る。
	Ⅲ			・小壺 ・単純口縁
	Ⅳ			・筒型の長い頸部
瓶	Ⅰ			・無花果形の胴部。
	Ⅱ			・扁平な胴部。
擂鉢	Ⅰ			・カキ目は複線。
	Ⅱ			・カキ目は単線。
叩き成型				
花生？				・叩き成型の後 ナデ調整。

Tab. 9　出土遺物の分類（2）

0　10cm
（※壺Ⅰb・Ⅱa任意縮尺）

甕	Ⅰ			・逆「L」字状の口縁 ・単純口縁
	Ⅱ			・頸部が「く」字状に屈曲し、直線的に外方へ開く ・単純口縁
	Ⅲ			・頸部が比較的長く上方に立ち上がり、口縁部が逆「L]字状のを呈する ・複合口縁
	Ⅳ			・頸部が短く内傾し、口縁部が逆「L」又は「T」字状を呈する ・口唇末端は摘み上げることが多い。 ・複合口縁
	Ⅴ			・頸部が「く」字状に屈曲し、逆「L」字状の短い口縁部を持つ ・複合口縁
	Ⅵ			・頸部が不明瞭
壺	Ⅴ	a		・頸部は「く」字状に屈曲し、外方へ開く ・肩部は強く張る ・横耳を持つ
		b		・頸部は「く」字状に屈曲し、外方へ開く ・肩部は強く張る ・縦耳を持つ
	Ⅵ			・短頸壺 ・口頸部は上方に立ち上がる
	Ⅶ			・無頸壺 ・口唇に蓋受けを造る。
蓋（大）	Ⅲ	a		・天井部が平坦 ・単純口縁
		b		・天井部が平坦 ・複合口縁
	Ⅳ			・三角形の体部 ・天井部に取っ手を持つ
	Ⅴ			・円盤状を呈する ・取っ手を持つ
片口鉢	Ⅰ	a		・口頸部が逆「L」字状を呈する ・単純口縁
		b		・口頸部が逆「L」字状を呈する ・複合口縁
	Ⅱ			・頸部が内傾する ・複合口縁
	Ⅲ			・頸部が不明瞭

鉢	Ⅳ	a		・胴部はほぼ垂直に立ち上がる ・直口縁 ・中型
		b		・胴部はほぼ垂直に立ち上がる ・口頸部が逆「L」字状 ・中型
	Ⅴ	a		・胴部は内湾しつつ上方へ立ち上がる ・口頸部が逆「L」字状 ・取っ手を付ける
		b		・胴部は上方へ立ち上がる ・口頸部が逆「L」字状 ・突起をつける
	Ⅵ			・扁平で内湾する胴部
	Ⅶ			・胴部は外方へ開く ・口頸部が逆「L」字状 ・複合口縁
	Ⅷ			・胴部は外方へ開き口唇に注ぎ口を持つ ・複合口縁
	Ⅸ			・幅の広い複合口縁
徳利	Ⅰ			・無花果形の胴部 ・口頸部が緩やかに外反
	Ⅱ			・胴部は強く張る（船徳利） ・口頸部が緩やかに外反
	Ⅲ			・口縁が緩やかに内湾
錘				

甕・鉢類の口縁の形態

単純	複合	
1a 外折	2a 外重	3a 横貼付
	2b 挟込	3b 横貼付
	2c 内重	3c 上貼付

Tab. 10　出土遺物の分類（3）

第Ⅳ章　皿屋窯跡の調査

第１節　遺　構

位置と調査区（Fig14）

皿屋窯跡は、唐津市北波多稗田字杉谷に所在し、小枝谷を１本隔てた北方には戦国時代における波多氏の本城である波多城跡が、南東約120ｍには無段単室窯という肥前では特異な構造の皿屋上窯跡が存在する。平成９年度の調査区は（YS下01）、窯が遺在する範囲の上部にAトレンチ、下部にBトレンチを設定して調査を行った。また傾斜等地形条件や壁材などの分布から、窯存在の可能性が考えられる場所にCからFトレンチを設定したが、明確な遺構は検出されなかった。

平成13年度の調査区（YS下02）は、皿屋窯跡本体の南方、稜線上と斜面部において合計８本のトレンチを設定して行った。調査範囲には、窯壁片をはじめ多くの遺物が散布しており、別窯の存在が期待されたが、残念ながら検出することはできなかった。調査トレンチは、それぞれ第１から第３が斜面部、第７・８が傾斜変換点、そして第４から第６を稜線上に設定した。

窯跡の構造（Fig15・16）

皿屋窯跡は、北東から南西に延びる低丘陵の南東斜面に築かれるが、平成９年度の調査では、燃焼室及び火口灰窯、焼成室６室（下部２室と上部４室分）と奥壁後方の空間を検出した。その平均勾配角度は26度を測り、北波多の５窯の中では最も急な斜面に構築されている。急勾配のため、各焼成室は奥行きが短く横長となり、奥壁もまた高くなっている。砂床の傾斜も、勾配の影響を受けてかなり急だが、最上室に関しては比較的緩やかになっている。

本窯跡は、焚口から窯尻までの長さ約23.5ｍを測り、10から11の焼成室を持つ登窯と推定されるが、その中心線は若干東に湾曲している。焼成室は楷段状に連なり、それぞれの床面は前方に向かって緩く傾斜し、薄く砂が敷かれていた。なおその傾斜角は、下の焼成室ほど強い。

窯尻の背後は、幅約20㎝の溝が半円形を描いて廻り、さらにその後方は地山である砂岩を約１ｍの深さで削り落して平坦面を形成している。この空間は、焔の引きを強める、言わば煙突の機能を有していたと考えられる。

最上室も地山を掘り込んで床面を整えており、その側壁には砂岩の割石が積み上げられていた。またその表面にはガラス化した粘土が付着していることから、割石表面に粘土を塗り込めて側壁を構築したことがわかる。

焼成室の略寸法は、奥行170～240㎝、幅250～280㎝で、その形は上位の部屋ほど横長から正方形に近くなる。また焼成室の傾斜は上→下の他に、下から２室目は右→左に、３室目は左→右に僅かに傾斜していた（Fig16）。出入口については下から２室目と最上室においては右側に設けられていることが確認されたが、その他の焼成室については撹乱を受けていたため不明である。しかし床面左右の傾斜を考慮すると、下から１室目と３室目は、向かって左に出入口が存在した可能性が高い。

火床境は上面から前面にかけて粘土を貼って補強しており、どの焼成室のそれもおおむね良く焼け締まっているが、下部の火床境ほど高温を受けてガラス化しており、下から２室目には藁灰釉の皿が釉着していた。隔壁は各焼成室間において部分的に検出されたが、分焔柱は第２と３室間に１本残存しているにすぎなかった。燃焼室の床面は現表土面より、約２ｍも下に存在した。舟底形を呈し良く焼け締まっており、撹乱におけるその断面を観察すると、少なくとも４回の補修が想定できる。さらにその奥壁は、比較的高く立ち上がって火口灰窯に続くなど、帆柱窯跡に類似する構造となっている。

周辺部の調査

第３トレンチ（Fig18）の土層を観察すると、この斜面部は少なくとも３回掘り起こされていることが判る。第１から第15層は、いずれも締りが弱く、最近の撹乱と判断された。トレンチの西部分には焼土が存在するが、地山は硬化しておらず、窯跡本体に関連するものでは無い。

第７トレンチ（Fig17）には、直径１m程の浅い土坑が存在している。淡灰色粘質土層の地山を20㎝ほど掘り窪め、下層には炭化物を多く含み、さらに底面は焼けて硬化していた。なお第１から第４層については、後世の再堆積である可能性が高い。

第８トレンチ（Fig17）においては、第２層以下は硬く締まった粘質土となる。第３層からは遺物や平石が多く検出されており、この面以下に何らかの遺構が存在した可能性が高い。

第４から第６トレンチは（Fig17）、稜線上に設定した長さ25mの直線的な試掘溝である。第５・第６トレンチでは、ほぼ表土直下で岩盤を検出できるが、北端の第４トレンチでは、大きな撹乱を受けてはいるものの、約１mの深さでも岩盤に達しない。北端の浅い溝の存在も何らかの遺構を予想させる。

第５・６トレンチにおける段差・平坦面など、これらの遺構の中には、製陶に関する施設の他に、波多城跡に関連する曲輪・堀切等が含まれている可能性も高い。

第２節　遺　物

本報告書に掲載した５つの窯跡の中で、皿屋窯跡からが最も多数の遺物を出土している。器種としては、窯の名のとおり「皿」が最も多く、以下碗、小坏、片口碗、瓶等と続く。製品のほとんどはロクロで成形されたもので、釉薬は失透白色の藁灰釉が基本である。タタキ技法は甕・鉢などに見られるが、全体量に対する割合はごく少ない。また生焼けや熱を受けすぎて変形した製品が数多く見受けられ、本窯の歩留まりはかなり悪かったと想定できる。

皿屋窯出土の皿類には、重ね積みにおいて、釉剥ぎの胎土目積という特徴的な技法が存在する。皿の内面、高台畳付が接する部分の釉薬を３か所、四角く剥ぎ取り、そこに直径１㎝ほどの団子状粘土を置き、器を重ねて焼き上げるものである。この技法の痕跡が認められるものは、実測図の右下に●を付している。その他の重ね積み技法としては、釉剥ぎを伴わないもの（○）、ピン状の胎土目を挟むもの（△）が存在する。また高台畳付の調整では、回転糸切痕をそのまま残すものと、工具で糸切痕を削り落として平らに仕上げるものの２者が見られるが、出土した全ての碗・皿の底裏は露胎である。

皿類　Fig19－1からFig21－25までが丸皿（Ⅰ）であり、最も出土量が多い。器形から述べると、体部が素直に内湾するものと、腰部で屈曲度が変わり、口唇が僅かに肥厚するものの２タイプが存在する。前者の内、体部の深いものを「ａ」、浅いものを「ｂ」、後者も同様に、体部の深いものを「ｃ」、浅いものを「ｄ」として分類した。またⅠaと縁立皿（Ⅳ）との中間形態を示すものを、Ⅰeとした。

Fig19－１は２枚が釉着した皿であるが、下皿の高台にも胎土目の痕跡があることから、最低４枚以上重ね積みを行っていたことが確認できる。Fig20－24は口縁に鉄釉を施すいわゆる皮鯨手の皿で、重ね積みにはピン状の胎土目を用いている。Fig21－18は口縁内面に「Ｖ」字状の鉄絵を描くが、釉薬は透明の石灰釉である。また皿類において体部の深いものはおおむね重ね焼きを行わないが、Ⅰeでも胎土目の痕跡は見られない。

端反皿（Ⅱ）は出土数が少なく、本窯では客体的存在である。腰部に弱い稜を持つもの（ａ・ｂ：Fig22－１～４）、は、全て釉剥胎土目積痕を遺す。Ⅱｃの器形は本窯では中皿において見受けられる（Fig24－16・18）。またⅡｄはFig24－14のみであるが、胎土・釉薬とも皿屋窯製品とは明確に異なり、後世に他窯から持ち込まれたものと考えられる。口唇内面に溝を設ける皿（Ⅲ）は、１点（Fig24－15）出土しているが、外面には鉄絵が描かれているようである。

縁立皿は（Ⅳ：Fig22－５～８）向付として使用された可能性が高いが、No５・６は藁灰釉、７・８は長石釉の製品である。波縁皿（Ⅴ：Fig22－９～Fig23－15）は全て単独焼成で、重ね積みの痕跡は持たないが、Fig23－14・15は口縁に鉄釉を流しがけする、いわゆる皮鯨である。

変形皿Ⅵaは（Fig23－16～Fig24－８）、口縁鉄釉掛けと四方手を基本とする。器種では皿に分類したが、向付として使用された可能性が高い。また、出土したほとんどに釉剥ぎ胎土目痕跡が見られる。

中皿と大皿（Ⅷ・Ⅸ：Fig24－16～19、Fig25－１～３）では、口縁が緩く外反するものと波縁状を呈するものの２者が確認されているが、破片では体部が素直に内湾する器形も出土している。なお、Fig29－12は、一覧表では中皿に分類しているが、内面が無釉であることから蓋の可能性も有る。

碗類　碗については、体部が内湾し口唇が外反するもの（Ⅰ：Fig25－４～18）、体部が内湾し素直に口縁に至るもの（Ⅱ：Fig25－19・Fig26－１）、半筒形を呈するもの（Ⅲ：Fig26－２～５）の他に、鉄釉の天目碗（Ⅴ）が出土している。またFig26－No19は藁灰釉製品ではあるが、胴下部に四条の平行沈線が巡る特殊な例である。なおFig26－22～30は白磁の碗であるが、隣接して存在する波多城に関連する遺物であると考えられる。

鉢類　鉢として分類したものはバリエーションが多く、その用途別によりさらに細分が可能である。ロクロで成形された小型のもの、タタキもしくはロクロ成形の中・大型品に大別される。（小）鉢（Fig26－17・18・20・21）は、Ⅰ・Ⅱ類に分類しているが、いずれもその用途は向付であろう。No17は長石釉に鉄絵を施す志野焼の向付で、大窯第４段階末に比定されている（註１）。

小坏　小坏も数多く出土した器種である（Fig27）。碗形を呈するもの（Ⅰ）、筒型を呈するもの（Ⅱ）、浅い碗形を呈するもの（Ⅲ）者が出土しているが、Ⅲ類は皿屋窯跡だけで確認されている器形である。

瓶・軸受け・小蓋等

瓶類は、Fig28－５が土灰釉である以外はいずれも藁灰釉である。

Fig28－７～９はロクロの軸受で、これらも藁灰釉製品である。

Fig28－10～14は、つまみを持つ小型の蓋であるが、13のみが土灰釉を掛けている。これらの蓋とセットとなる器種は出土しておらず、不明である。

Fig28－15は無釉で、皿状の底部には方形の孔を数箇所持つ。用途は不明である。

片口碗　ロクロ成形される片口を、片口碗とした。皿屋窯跡からのみ出土している器種で、口径11㎝程度のものと、16㎝以上の２者が認められる。なおFig28－19は、接合しないものの同一個体の片口が出土しており、片口碗であることを確認している。外面には鉄絵文様を描いている。

壺　Fig29－１・２は口縁をS字状に仕上る端正な小壺であるが、No１には釉薬の発色は見られず、焼き締めのような風合いを示す。

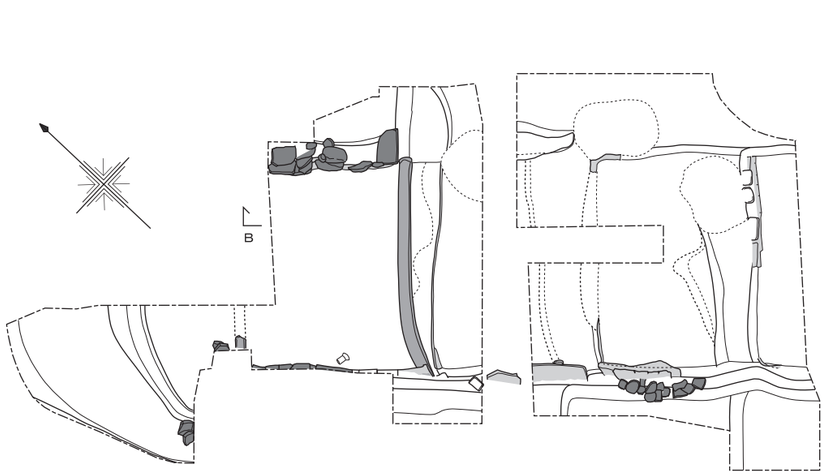
擂鉢　Fig29－13・14は、外面に藁灰釉をかけた擂鉢である。口径26㎝にもおよぶ大型品であるが、タタキではなくロクロ水引きで成形されている。

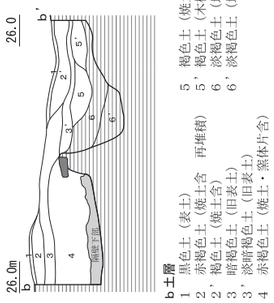
甕・鉢類　Fig30には、タタキ成形の甕・鉢類を掲載した。No１・２は小型の甕であるが、口唇を内に折り返して複合口縁としていることが特徴である。

窯道具　皿屋窯跡からは、サヤやハマは出土しておらず、窯道具はすべてトチンである（Fig31）。その大きさは小から大まで様々であるが、中～小型は上下端が広がる「I」形のみである。

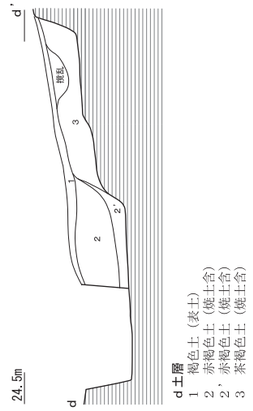
註１　藤沢良祐氏と楢崎彰一氏のご教示による。

Fig. 14　皿屋窯周辺地形図（1／400）

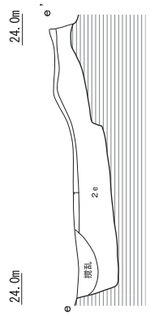




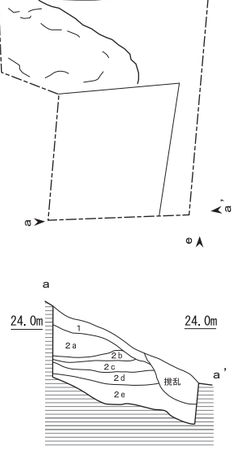
b土層
1　黒色土（表土）
2，赤褐色土（焼土含　再堆積）
2'，褐色土（焼土含）
3　暗褐色土（旧表土）
3'，淡暗褐色土（旧表土）
4　赤褐色土（焼土・窯体片含）
5　褐色土（焼土含）
5'，褐色土（木根）
6　淡褐色土（地山上層）
6'，淡褐色土（地山下層）

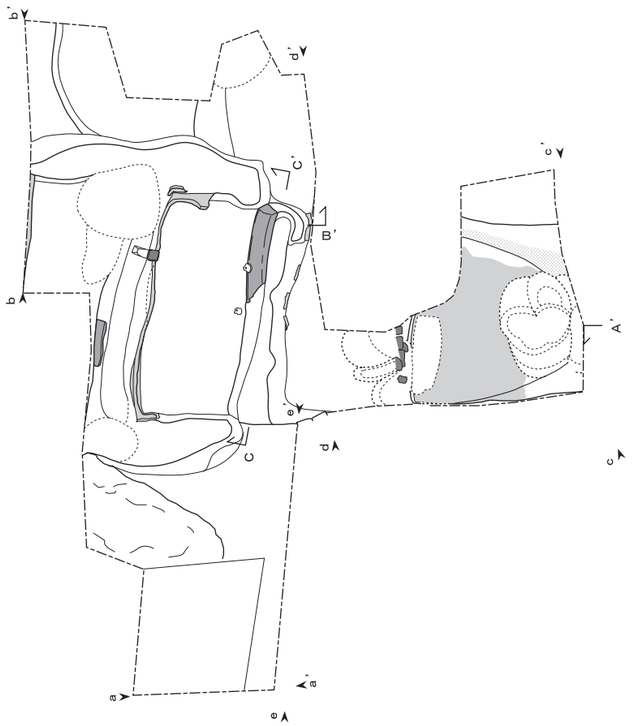


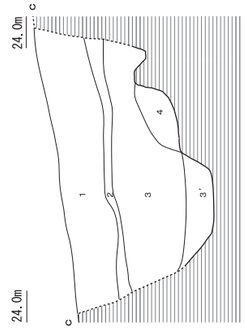
d土層
1　褐色土（表土）
2，赤褐色土（焼土含）
2'，赤褐色土（焼土含）
3　茶褐色土（焼土含）



a．e土層
1　褐色土（表土）
2a　赤褐色土（焼土含）
2b　暗赤褐色土（焼土含）
2c　赤褐色土（焼土含）
2d　暗赤褐色土（焼土含）
2e　赤褐色土（焼土含）







c土層
1　灰色粘質土（新盛り土）
2　黒褐色土（旧表土）
2，赤褐色土（撹乱層　窯体片・焼土含）
3，赤褐色土（撹乱層　窯体片・焼土含）
3'，赤褐色土（撹乱層　窯体片・焼土含）
4　赤褐色土（撹乱層　割り石・焼土含）

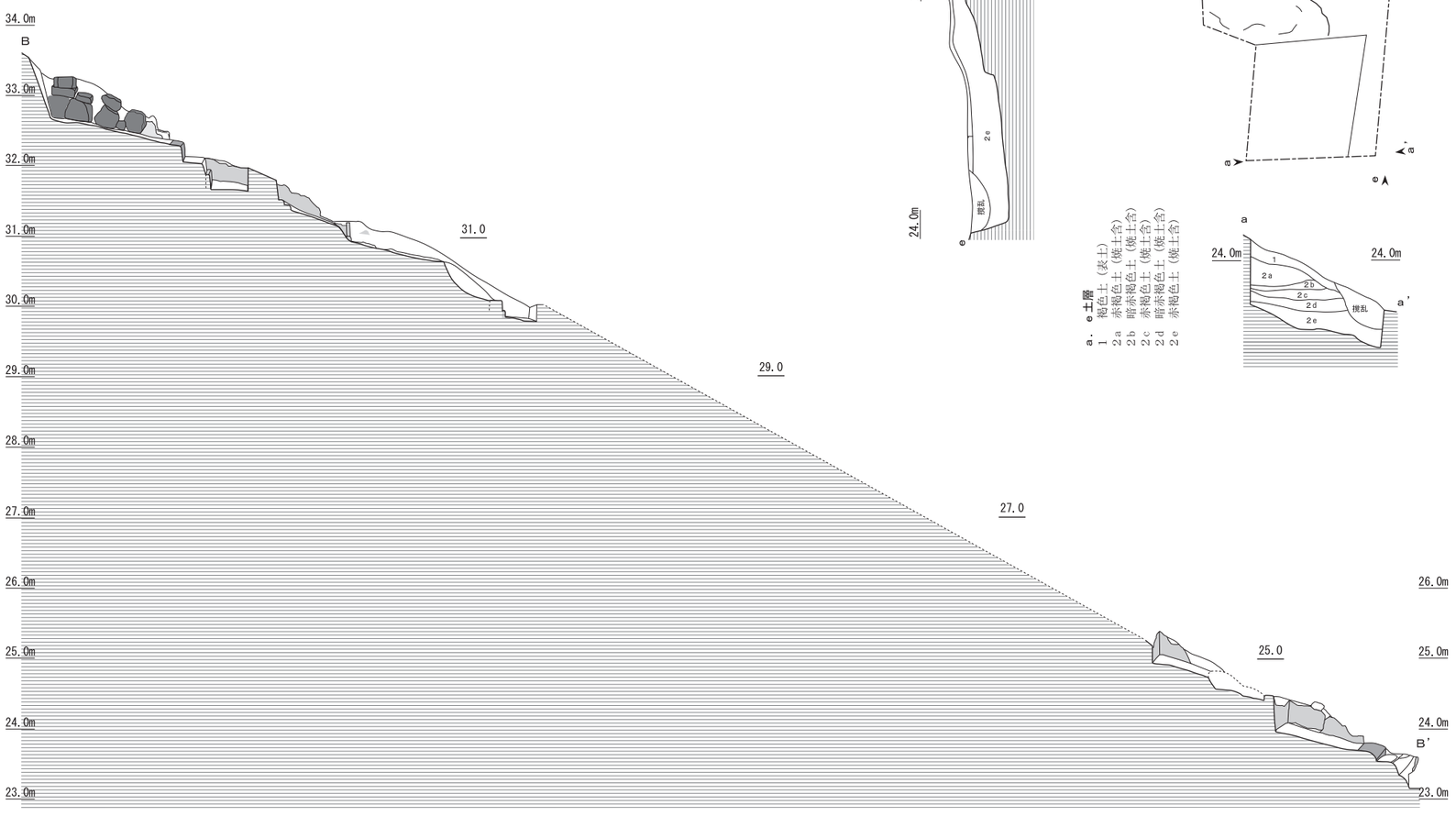


Fig. 15　皿屋窯跡全体図（1）（1／80）

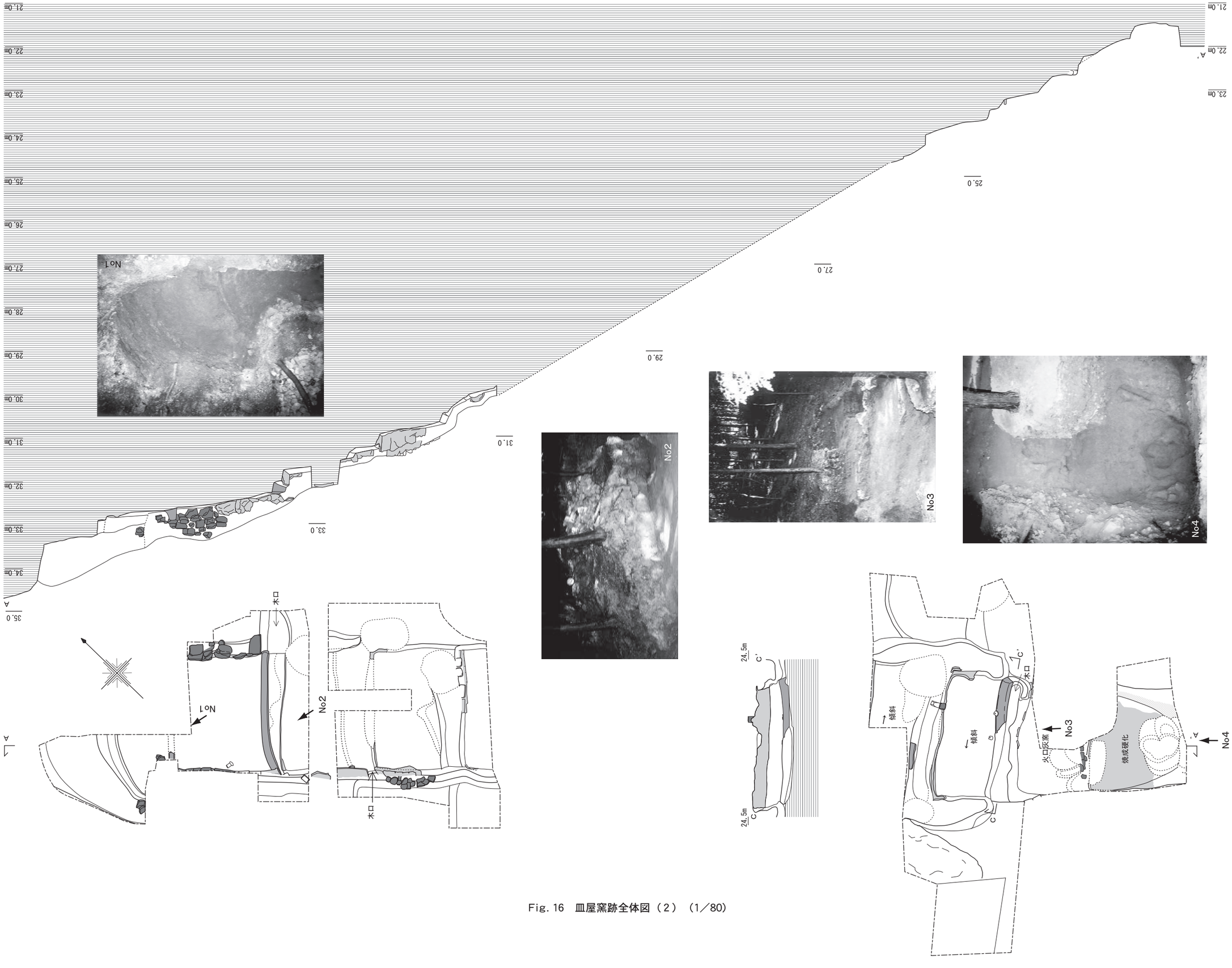
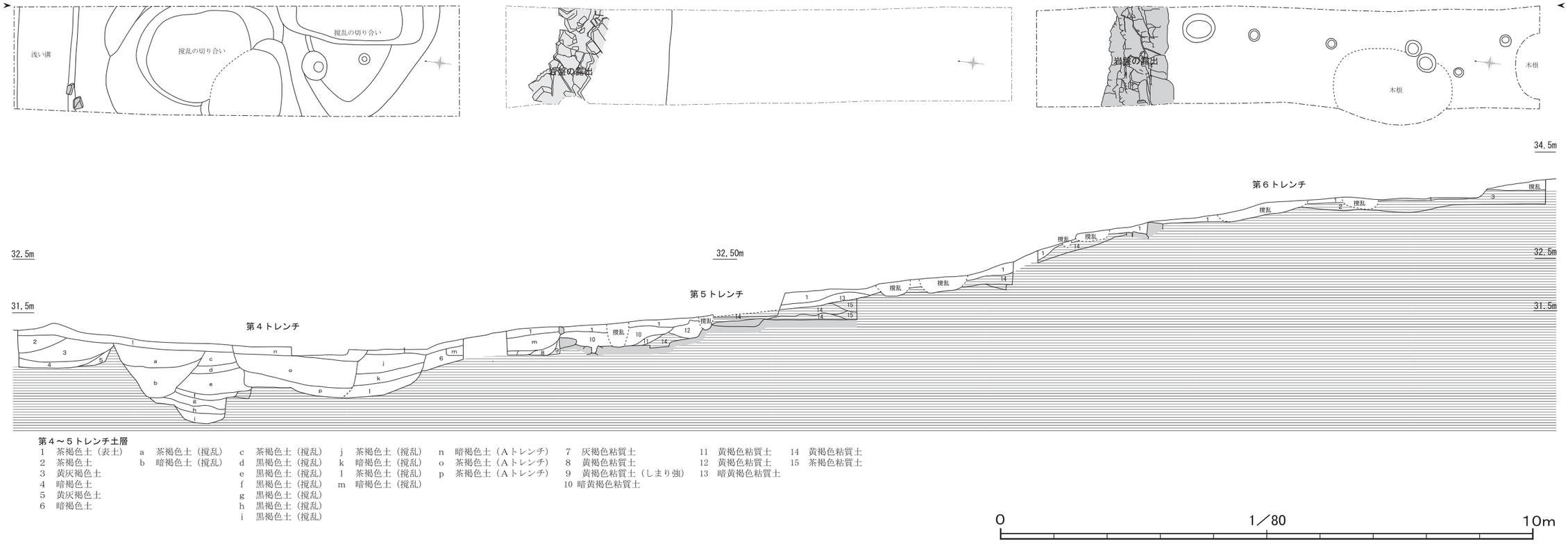
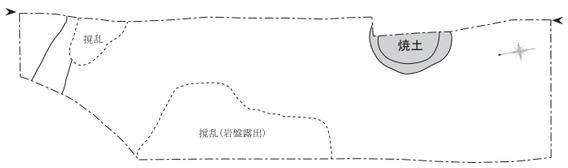


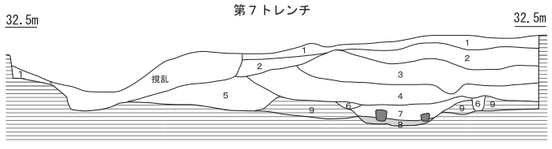
Fig. 16　皿屋窯跡全体図（2）（1／80）



第４～５トレンチ土層

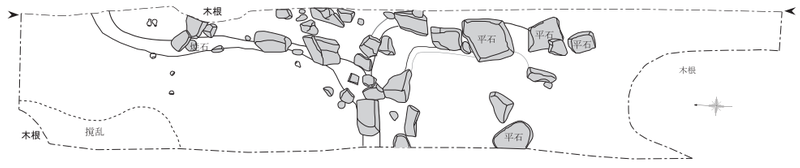
1　茶褐色土（表土）
2　茶褐色土
3　黄灰褐色土
4　暗褐色土
5　黄灰褐色土
6　暗褐色土
a　茶褐色土（撹乱）
b　暗褐色土（撹乱）
c　茶褐色土（撹乱）
d　黒褐色土（撹乱）
e　黒褐色土（撹乱）
f　黒褐色土（撹乱）
g　黒褐色土（撹乱）
h　黒褐色土（撹乱）
i　黒褐色土（撹乱）
j　茶褐色土（撹乱）
k　暗褐色土（撹乱）
l　茶褐色土（撹乱）
m　暗褐色土（撹乱）
n　暗褐色土（Ａトレンチ）
o　茶褐色土（Ａトレンチ）
p　茶褐色土（Ａトレンチ）
7　灰褐色粘質土
8　黄褐色粘質土
9　黄褐色粘質土（しまり強）
10　暗黄褐色粘質土
11　黄褐色粘質土
12　黄褐色粘質土
13　暗黄褐色粘質土
14　黄褐色粘質土
15　茶褐色粘質土

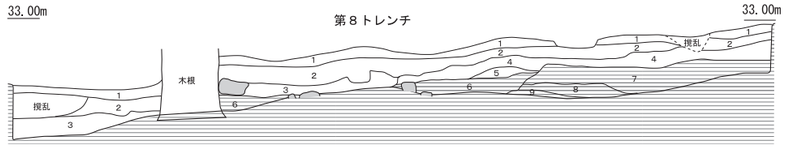




第７トレンチ土層

1　表土
2　橙灰色粘質土（焼土多）
3　暗灰色粘質土（焼土含）
4　灰色粘質土（焼土多）
5　淡灰色粘質土（酸化）
6　黒褐色土（炭多）
7　暗褐色土
8　暗褐色土（焼土含）
9　淡灰色粘質土（地山）

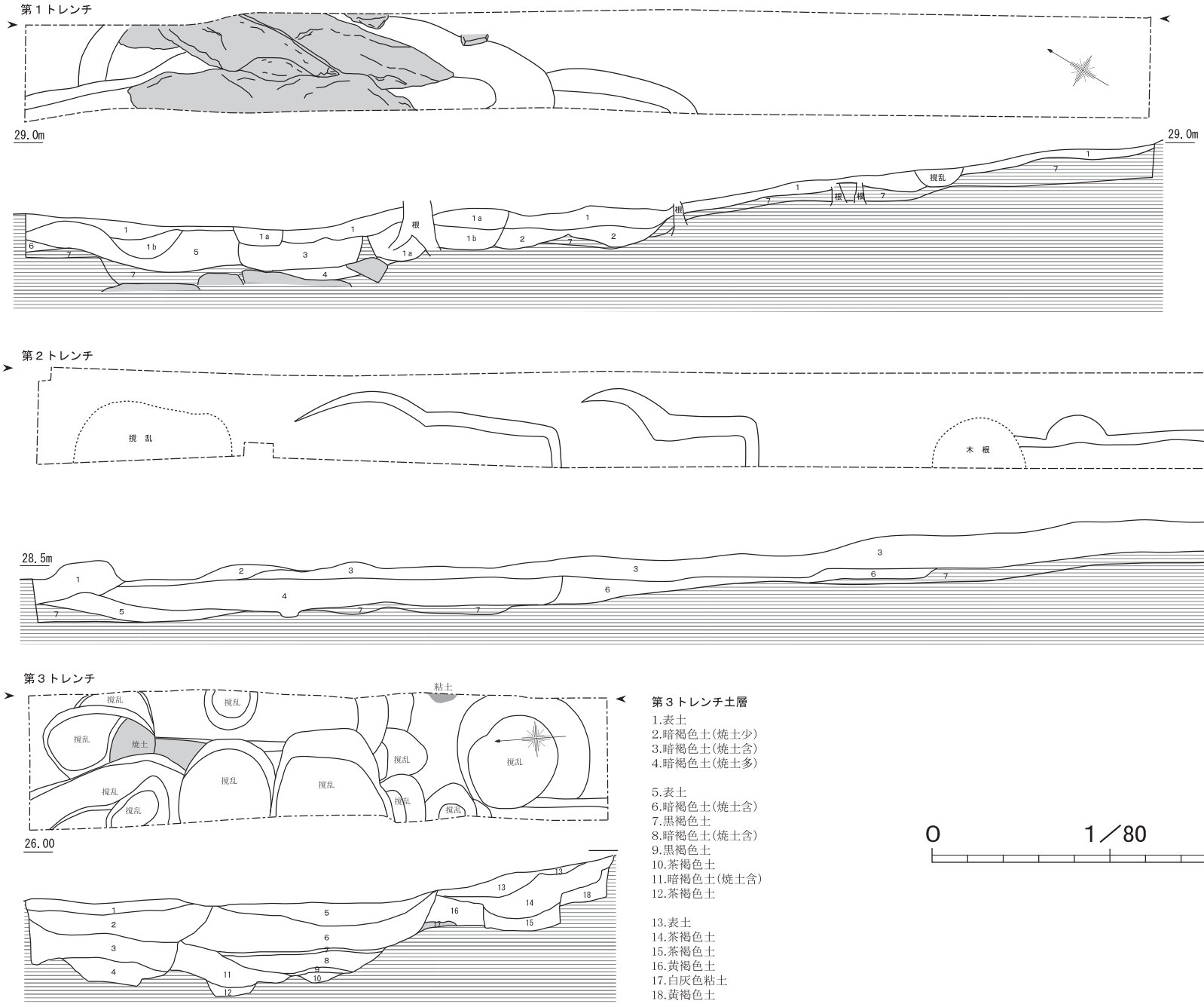




第８トレンチ土層

1　表土
2　橙褐色粘質土
3　灰色粘質土
4　灰白色粘質土
5　淡橙褐色粘質土
6　淡橙褐色粘質土（地山　しまり強）
7　灰白色粘質土（地山）
8　淡橙灰色粘質土（地山）
9　灰白色粘質土（地山）

Fig. 17　皿屋窯跡４～６、７、８トレンチ図（1／80）



第１トレンチ土層

1　表土（腐食土）
1a　暗褐色土（窯体片多含）
1b　暗褐色土（窯体片含）
2　茶褐色土（窯体片多含）
3a　暗褐色土（窯体片含）
4　暗赤褐色土（焼土含）
5　茶褐色土（窯体片小含）
6　黄褐色土（地山漸移層）
7　黄褐色土（地山）

第２トレンチ土層

1　茶褐色土（再堆積土）
2　黒色土（表土）
3　茶褐色土
4　暗黄褐色土（焼土少含）
5　黄褐色土（地山漸移層）
6　黄褐色土（地山？）
7　黄褐色土（地山）

第３トレンチ土層

1.表土
2.暗褐色土(焼土少)
3.暗褐色土(焼土含)
4.暗褐色土(焼土多)

5.表土
6.暗褐色土(焼土含)
7.黒褐色土
8.暗褐色土(焼土含)
9.黒褐色土
10.茶褐色土
11.暗褐色土(焼土含)
12.茶褐色土

13.表土
14.茶褐色土
15.茶褐色土
16.黄褐色土
17.白灰色粘土
18.黄褐色土

0　1／80　5m

Fig. 18　皿屋窯跡1、2、3、トレンチ図（1／80）

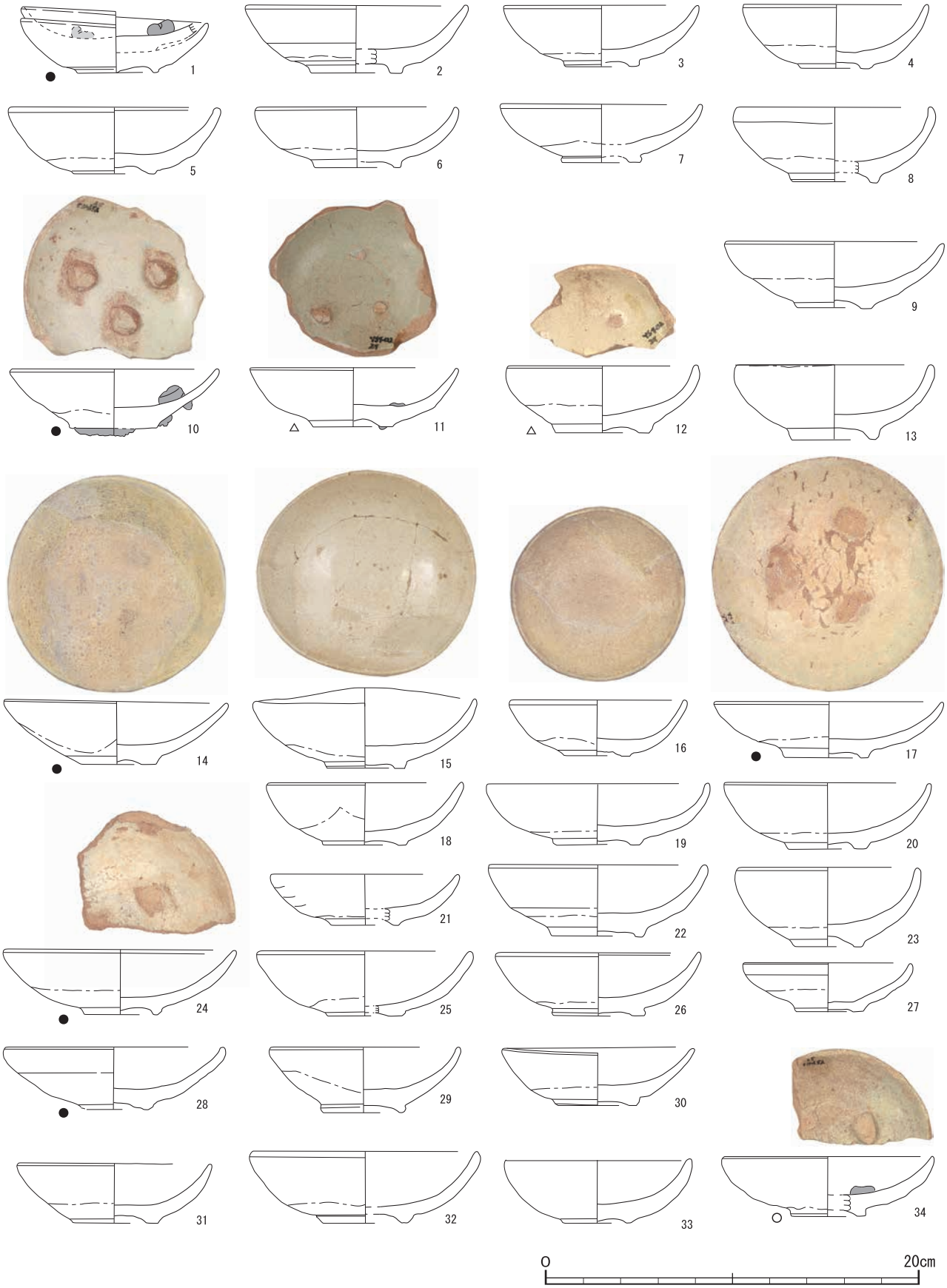


Fig. 19　皿屋窯跡出土遺物実測図（1）

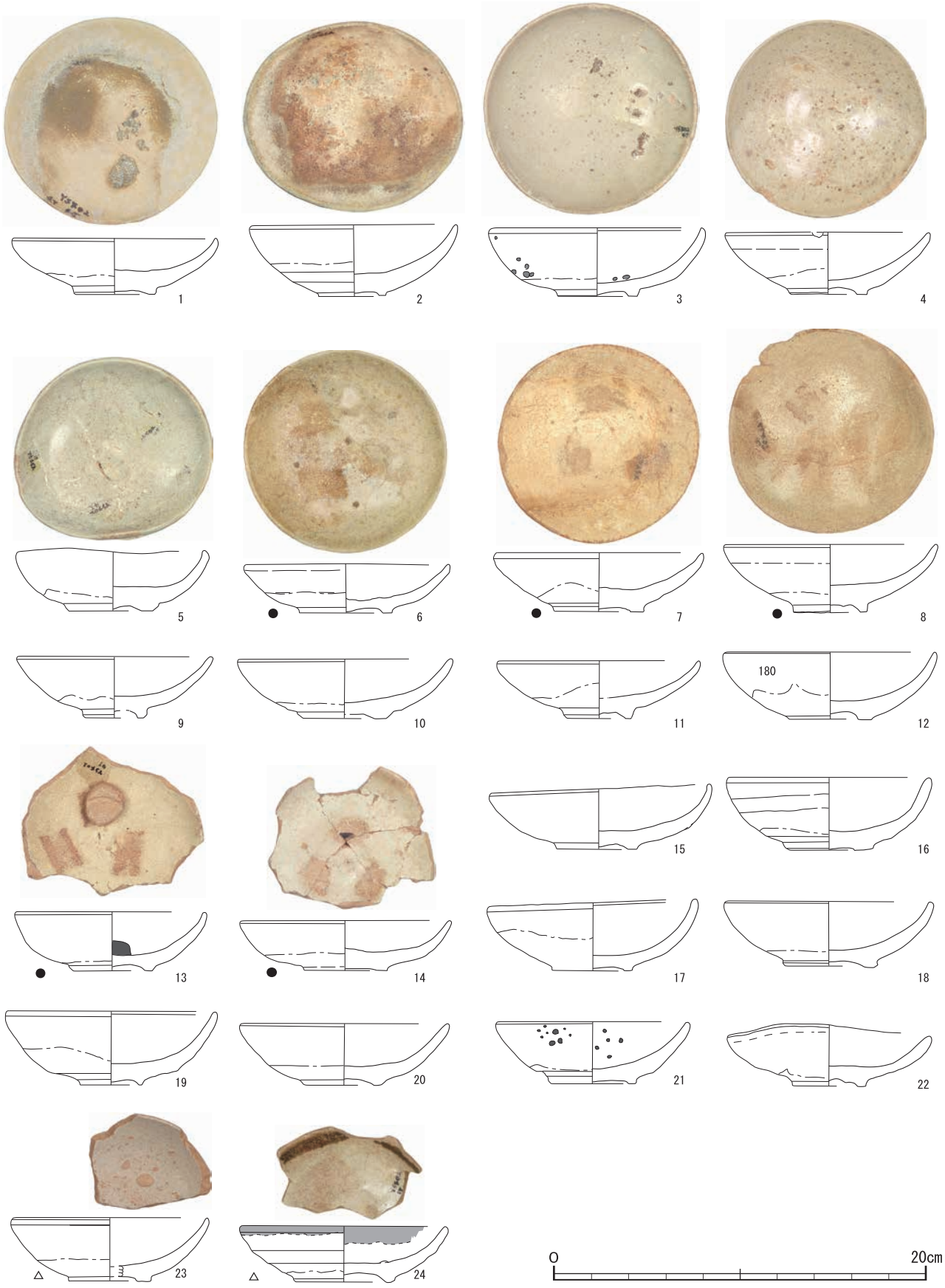


Fig. 20　皿屋窯跡出土遺物実測図（2）

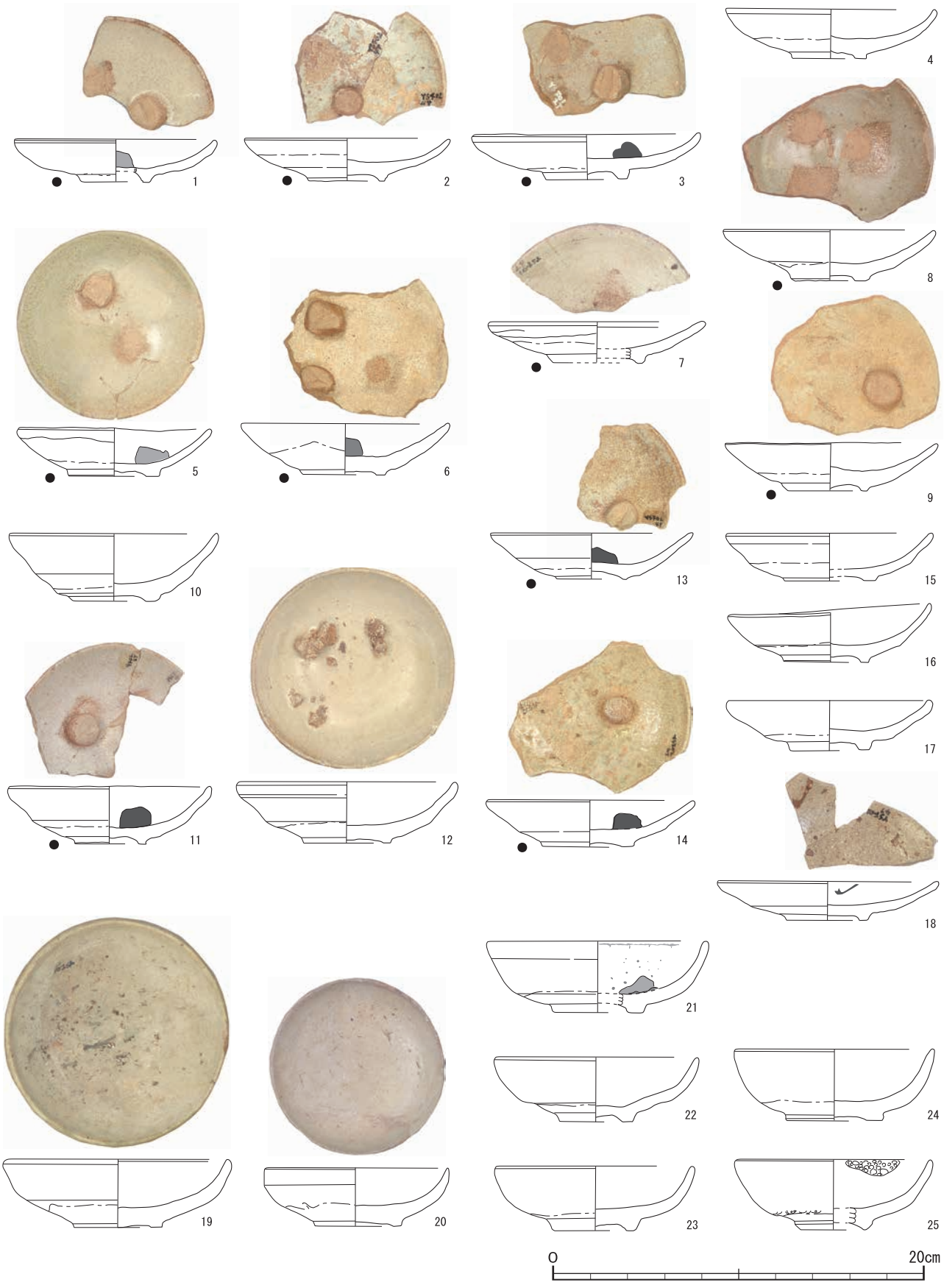


Fig. 21　皿屋窯跡出土遺物実測図（3）

Fig. 22　皿屋窯跡出土遺物実測図（４）

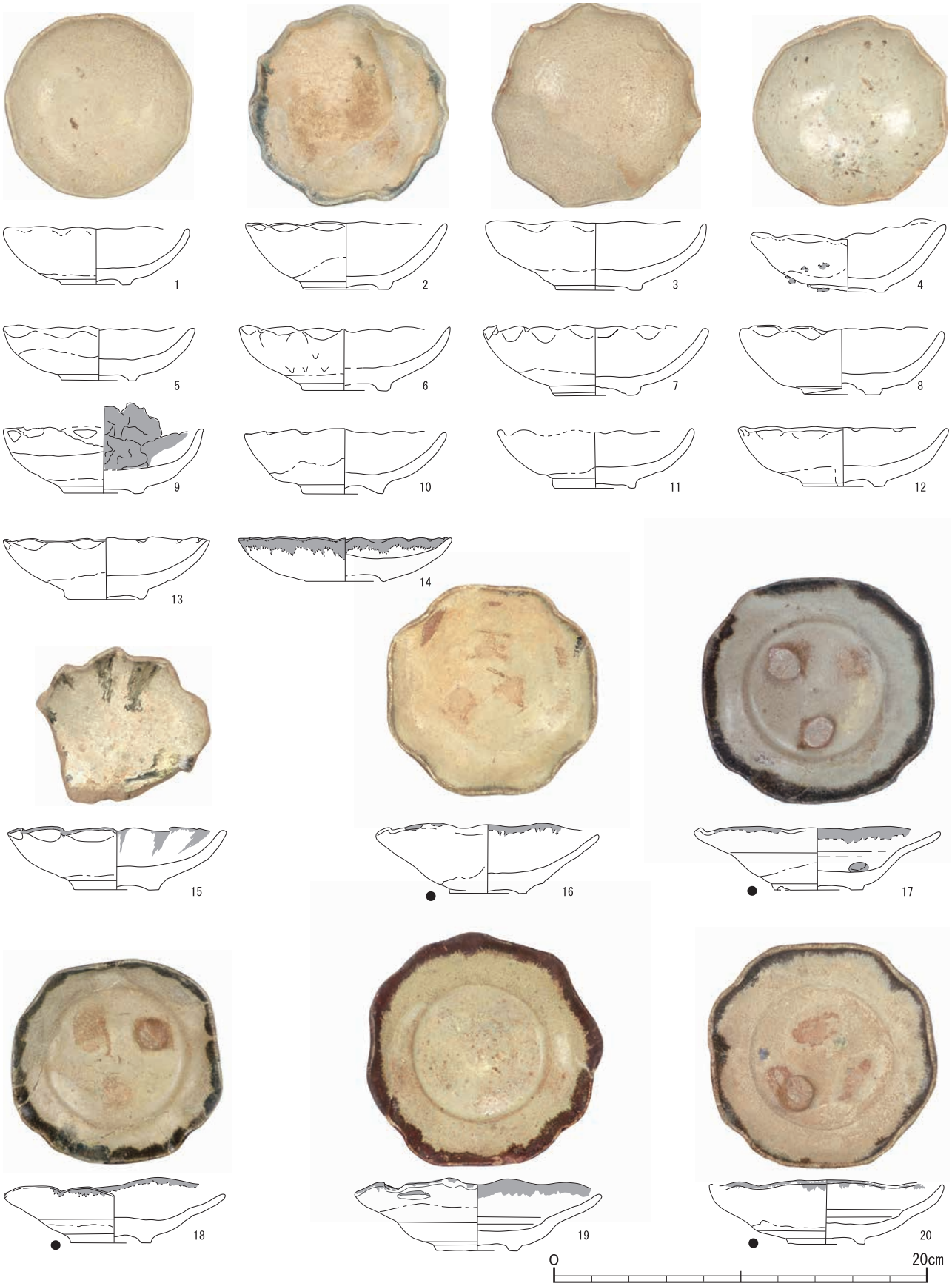


Fig. 23　皿屋窯跡出土遺物実測図（５）

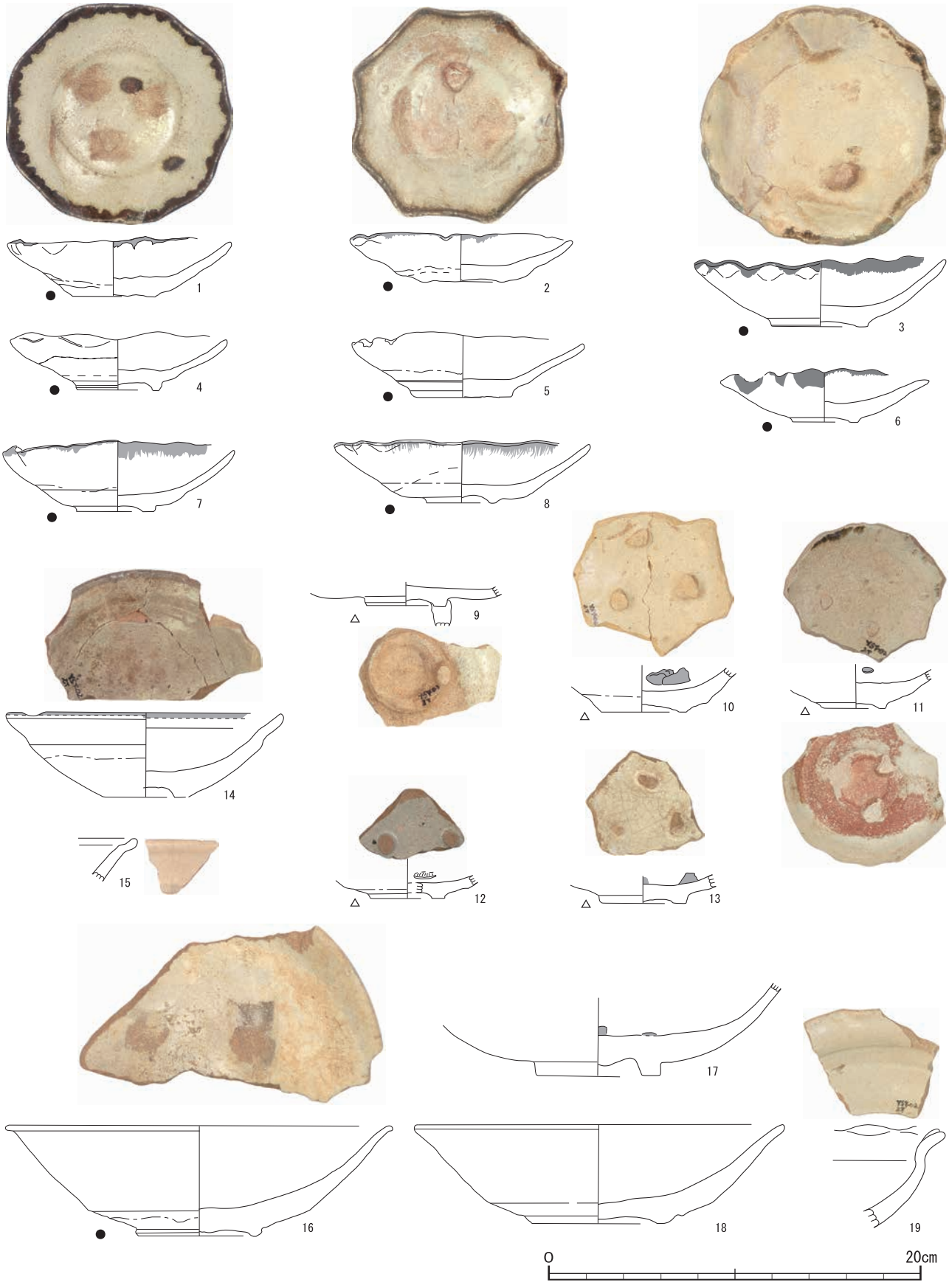


Fig. 24　皿屋窯跡出土遺物実測図（6）

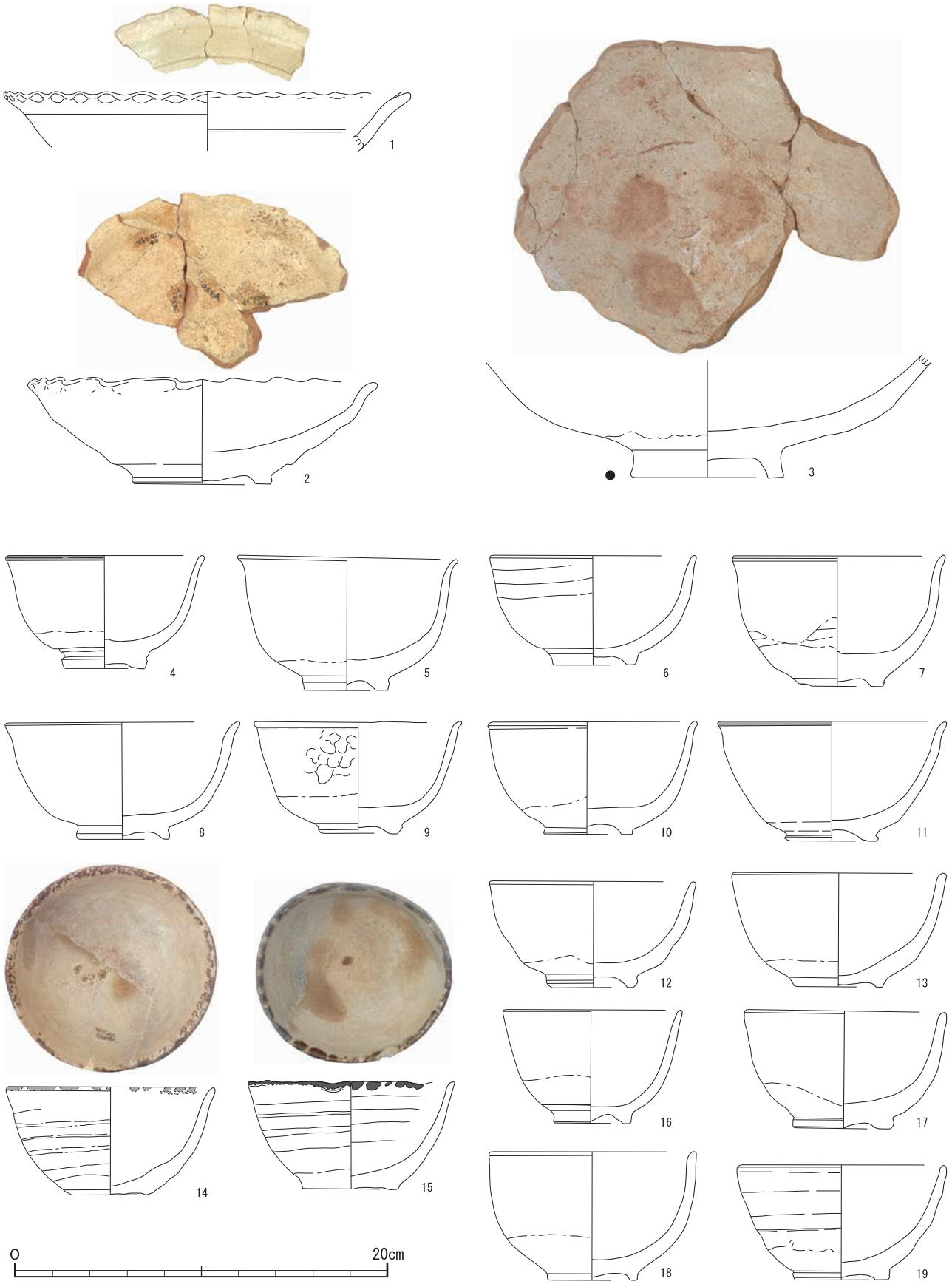


Fig. 25　皿屋窯跡出土遺物実測図（7）

Fig. 26　皿屋窯跡出土遺物実測図（8）

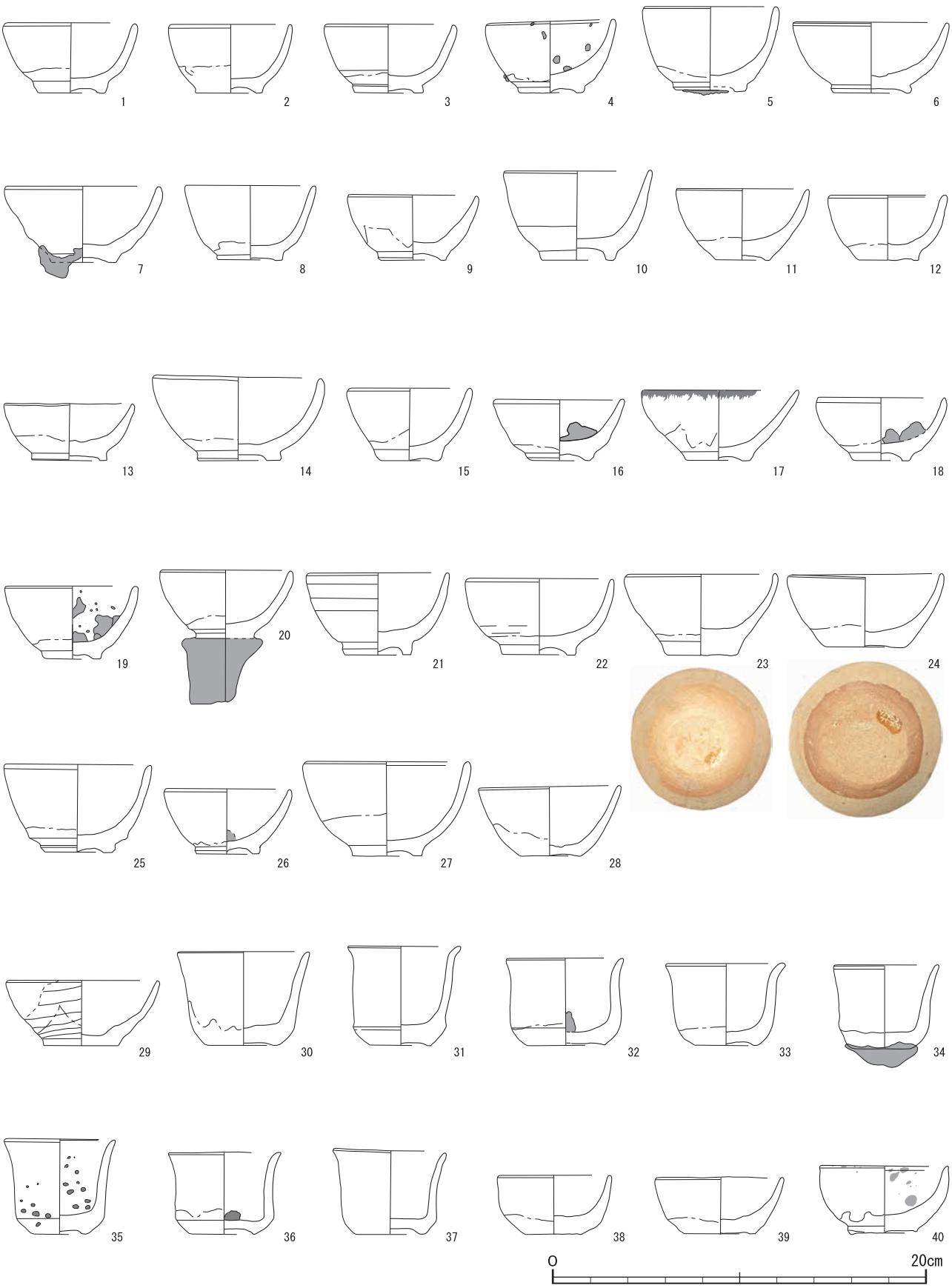


Fig. 27　皿屋窯跡出土遺物実測図（9）

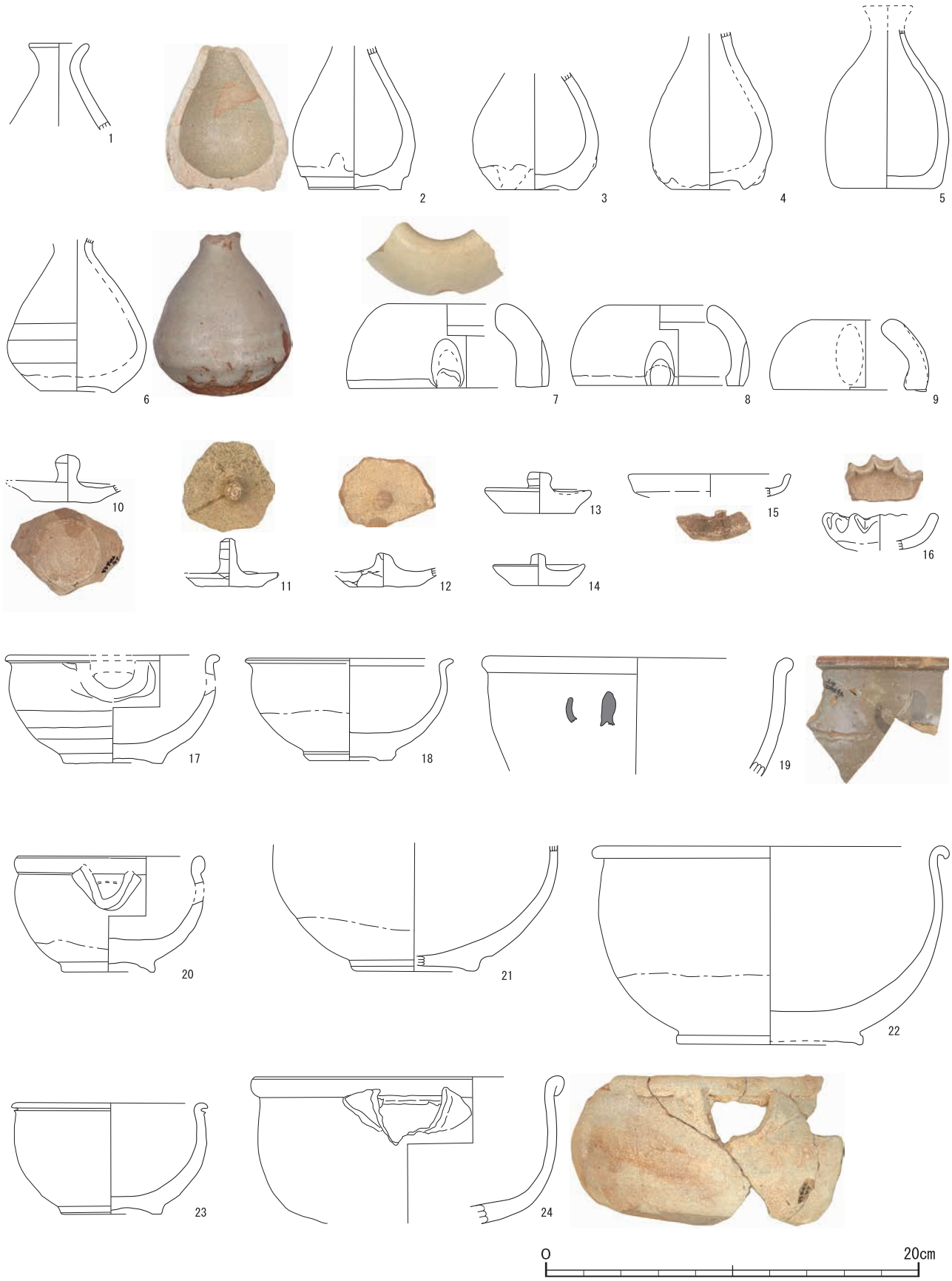


Fig. 28　皿屋窯跡出土遺物実測図（10）

Fig. 29　皿屋窯跡出土遺物実測図（11）

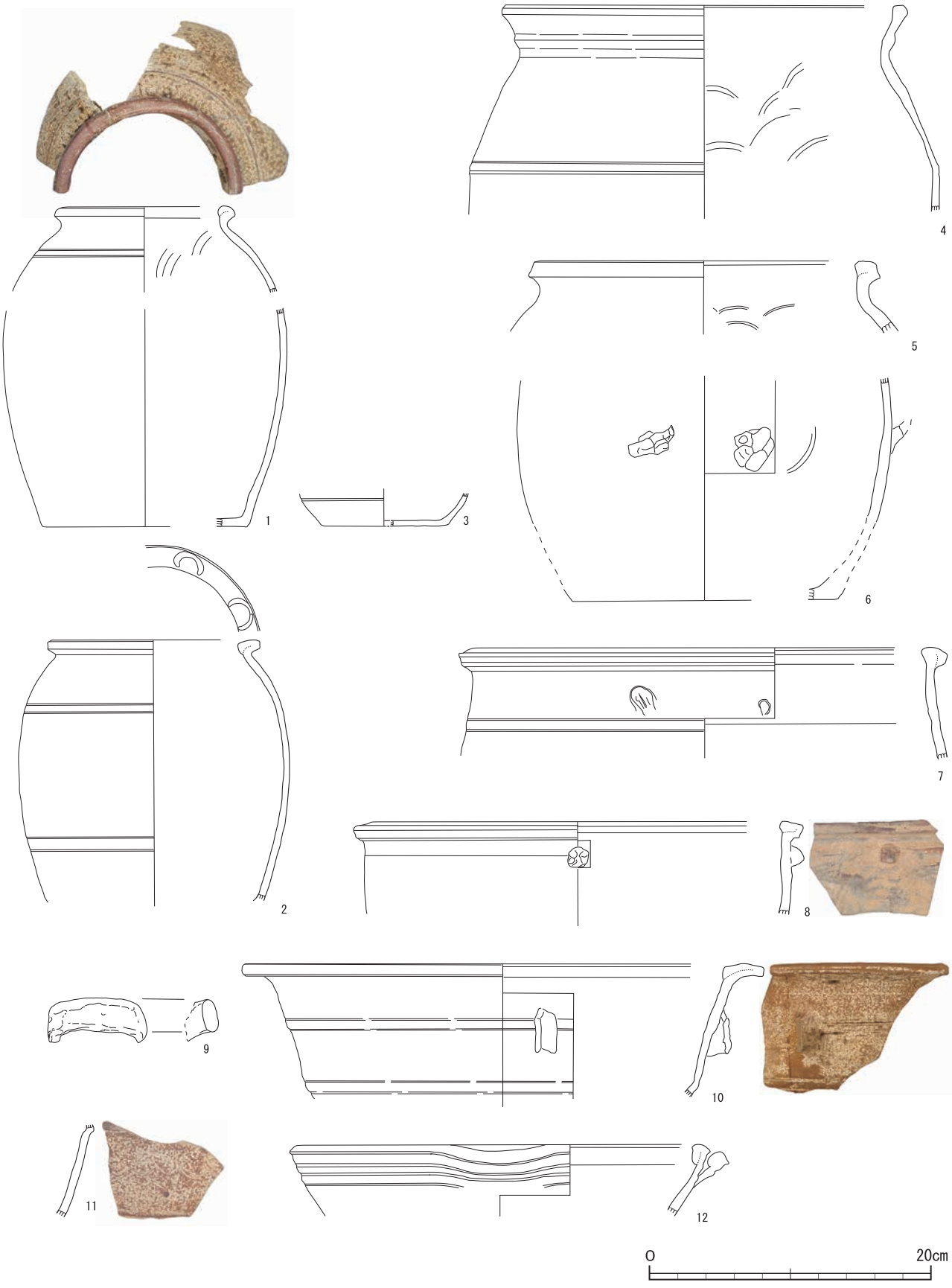


Fig. 30　皿屋窯跡出土遺物実測図（12）

Fig. 31　皿屋窯跡出土遺物実測図（13）

第Ⅴ章　皿屋上窯跡の調査

第１節　遺　構

位置と調査区

皿屋上窯は、大字稗田字杉谷の溜池に面した丘陵の南斜面に築かれており、皿屋溜池窯と呼ばれたこともあるが、その北西約120ｍには平成９年度に調査を行った皿屋窯跡が存在する。平成11年度の調査区（YS01）では、胴木間から上に約４ｍと窯尻から下に約５ｍを検出したが、その間は農道のために削平されていた。その断面を観察すると、床面は地山を約30㎝掘込んで設けられていた。また床面の焼土化している厚さが薄いことから、その操業期間は比較的短期間であったと考えられる。

露出している窯跡断面を基準に、地形の傾斜に沿って中心線を想定し、農道の下に第１トレンチ、上部に第２トレンチを設けたが、第１トレンチにおいては窯体が東隅で検出されたため、さらに調査区を東に拡張した。また物原を確認するため第３、第４トレンチを設定したところ、第３トレンチにおいて大量の陶器が出土したが、その堆積状況よりこれらは物原というよりも、農道掘削の際の再堆積と判断された。

窯跡の構造（Fig33・34）

窯体の勾配角は約22度で、全長は水平距離で16.4ｍを測る。その幅は胴木間直上で約1.5ｍ、窯尻で約1.0ｍを測り、窯尻に向けて狭くなっている。胴木間は円形で、径約２ｍの浅い摺り鉢状を呈し、左右に直径約30・深さ15㎝程のピットが存在する。窯尻は直線的で、ほぼ垂直に20㎝ほど立ち上がっている。

また窯の上部構造物については、天井・側壁とも全て崩れ落ちているため不明であるが、色見孔の蓋が出土している。窯横からの出入口については、本窯跡の中央部が大きく削平されていることからその存否は不明であるが、薪の投入口は設けられていたと思われる。胴木間周辺においては数個のピットが検出されていることから、何らかの上屋施設があったことが予想される。また窯尻の東にサブトレンチを設定したところ、焼土を含み固く締まった淡褐色と茶褐色の土層が確認され、その中にパックするように藁灰釉の碗が据えられていた。窯祭祀に伴う遺物と考えられよう。

現在肥前で確認されている窯跡は、他の岸岳系古窯跡群を含め、全て燃焼室の床面が階段状に連なり、その間に各部屋を仕切る壁が設けられている登窯である。これらに対し皿屋上窯は、床面が直線的で焼成室を仕切る壁も無い無段単室の窯で、韓国慶尚道蓴池里で発掘された甕器窯に酷似する。この窯は焚口が削平されているためその詳細は不明であるが、同じく無段の単室窯であり、製品も甕・甕の蓋・徳利といった陶器製の貯蔵器を中心に焼成しており、皿屋上窯と同様の特徴を持っている。なお日本国内では、鹿児島県の加治木町で類似する窯が発見されている。

Fig. 32　皿屋上窯跡周辺地形図（1／400）

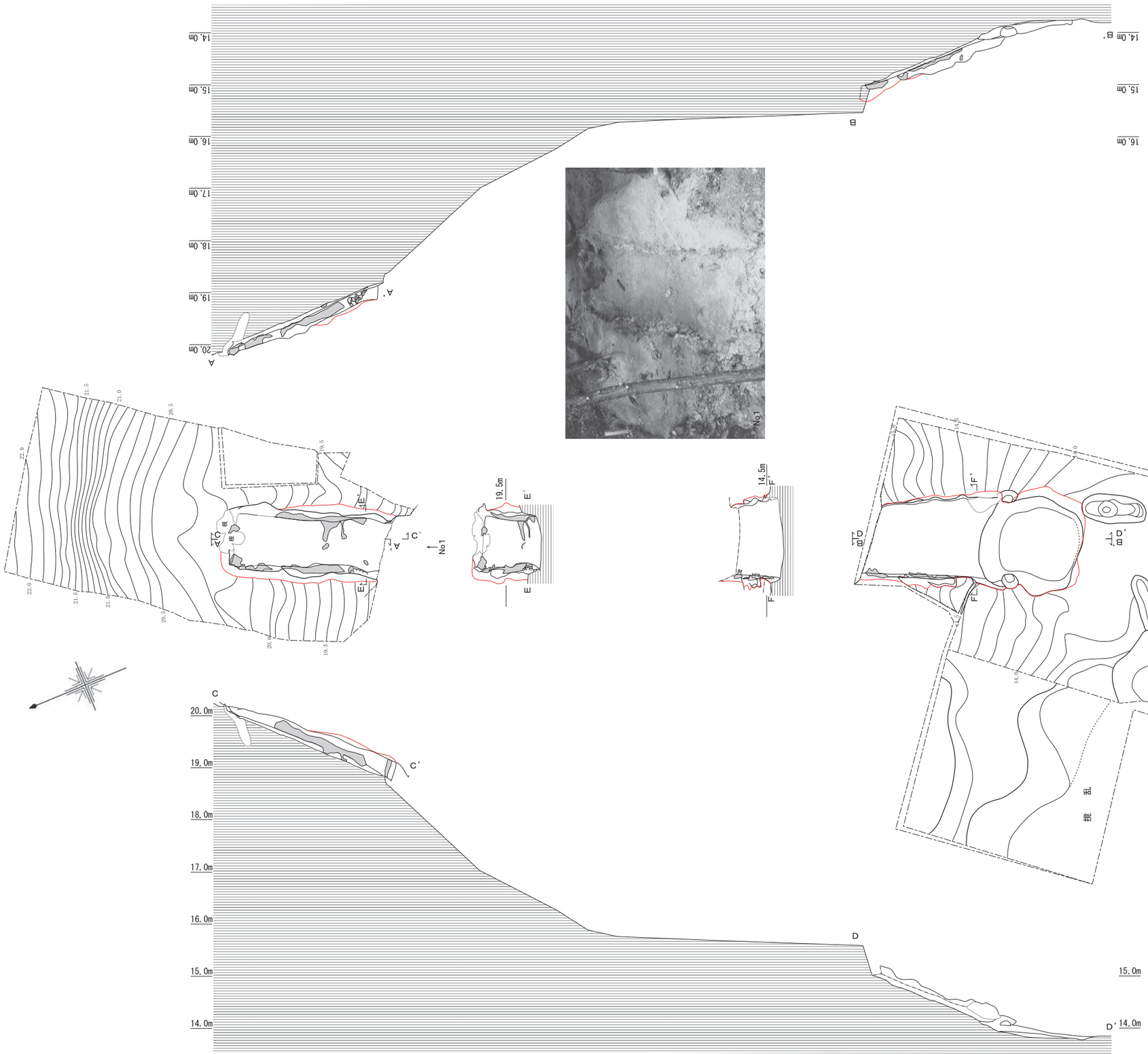


Fig. 33　皿屋上窯跡全体図（1）（1／80）

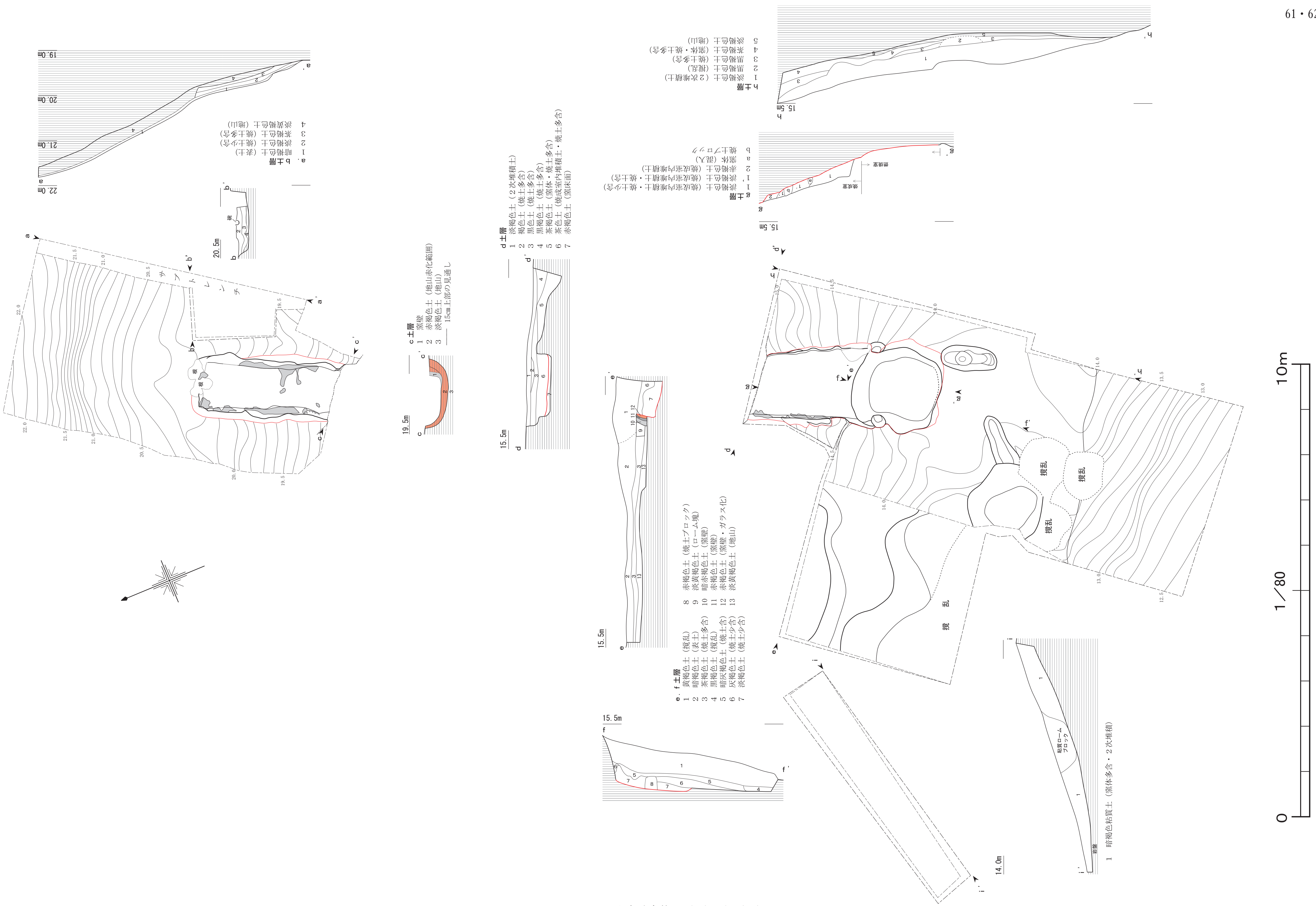


Fig. 34　皿屋上窯跡全体図（２）（1／80）

第２節　遺　物

出土した陶器は甕・壺・蓋・片口鉢・鉢・徳利などがほとんどで（Fig36～42）、碗・皿類（Fig35）は極端に少なく、本窯は基本的にタタキ成形の貯蔵器を焼成した窯である。Fig35－１は藁灰釉の碗で、胎土・釉薬の特徴から皿屋窯または帆柱窯の製品と考えられる。第１節で述べたように、この碗は窯に伴う出土状況を示しており、その先後関係は即断できないが、少なくとも皿屋上窯と皿屋窯、または帆柱窯が、同時に創業していた時期があったと考えて良いだろう。

甕などの貯蔵器は全て土灰釉を掛けているが、焼成温度が低いためか発色の弱いものも多い。また素焼き状態のものも存在することから、現在の製法と同様に、素焼きと釉掛け後の２段階の焼成を行っている可能性もある。内面の叩き痕は青海波紋を呈していないことから、その当具は彫り込みを施さない平滑なものと想定される。また、この叩き痕をきれいになで消して仕上げている製品が多い。

窯積めの方法は、床面にハマ（一方が厚く一方が薄い）を置き、甕などの大型製品を水平に据え、背を上に向けた貝を口唇に並べ置き、その上に片口鉢などの中型製品を乗せて焼いている。上に重ねた製品における貝目は、片口鉢などは口唇に、瓶類や甕蓋などは底部に存在する。

碗・皿類　Fig35には、ロクロ成形の製品を一括して掲載した。No１は、藁灰釉の碗（Ⅱ）で、多少の歪みはあるもののほぼ完形であり、内面には窯灰の釉着が見られる。No２から５までが土灰釉の碗で、Ⅱ類とⅢ類が存在する。No６は土灰釉の皿（Ⅰａ）であるが、見込み中央には施釉後焼成前に「×」の窯印を刻んでおり、No５の碗と同様、畳付けを除き全面に釉薬が掛かっている。

壺　Fig36－１～８は壺で、横耳の付くもの（No１）と縦耳のもの（No２・５・６）の２者が出土している。

鉢　No11と12はタタキ技法の鉢で、前者は単純口縁のⅣｂ類、後者は扁平な胴部のⅥ類と考えられる。

徳利　No13以降は、いわゆる船徳利（Ⅱ）である。胴部はタタキ技法で成形されるが、頚部から口縁にかけてはロクロ回転により形が整えられている。

甕　Fig37－１からFig40－９は、皿屋上窯から最も多く出土した器種である甕である。分類でいうとそのほとんどがⅣ類に該当し、器高40㎝にもおよぶ大型品から30㎝前後の中型品、10㎝以下の小型品まで焼成しているようである。器壁は良く叩き締められており、持ち上げてみると驚くほど軽い。大型品の口縁部は複合口縁となっており、基本的に外に折り返して重ねるもの（２ａ・２ｂ）と外方に粘土帯を貼り付けるもの（３ａ・３ｂ）の２者が存在する。また胴上部の装飾としては、併行沈線文と押捺を施す横帯文が見られる。※Tab10 甕・鉢類の口縁形態参照

甕蓋　Fig40－10から18は甕類の蓋で、その多くは天井部が平坦なⅢ類であるが、胴部が弱く内湾しつつ開くⅢｂ類については、浅鉢となる可能性もある。なおNo15は取っ手が付く特異な器形（Ⅳ類）で、岸岳古窯跡群では、唯一の出土例である。

鉢　No19から22は鉢の取っ手で、No22は皿屋窯（Fig30－10）や飯洞甕上窯（Fig72－11）のような鉢に付くものであろう。No19～21は、朝鮮半島の甕器分類における釜の把手に類似する。

片口鉢　皿屋上窯において、甕の次に多く出土したのが片口鉢である（Fig41･42）。皿屋窯ではロクロ成形の碗に片口が付くものであったが、本窯では逆「Ｌ」字形口縁、タタキ成形の鉢に注ぎ口が付けられている。ほぼ全ての口唇に貝目が残り、甕または鉢同士で重ね焼きが行われていたことがわかる。

窯道具では、トチンは出土しておらず、断面が三角形の大型のハマが特徴的である。また色見孔の蓋も２個体出土しており、窯上構造の推定にとって重要である。

Fig. 35　皿屋上窯跡出土遺物実測図（1）

Fig. 36　皿屋上窯跡出土遺物実測図（2）

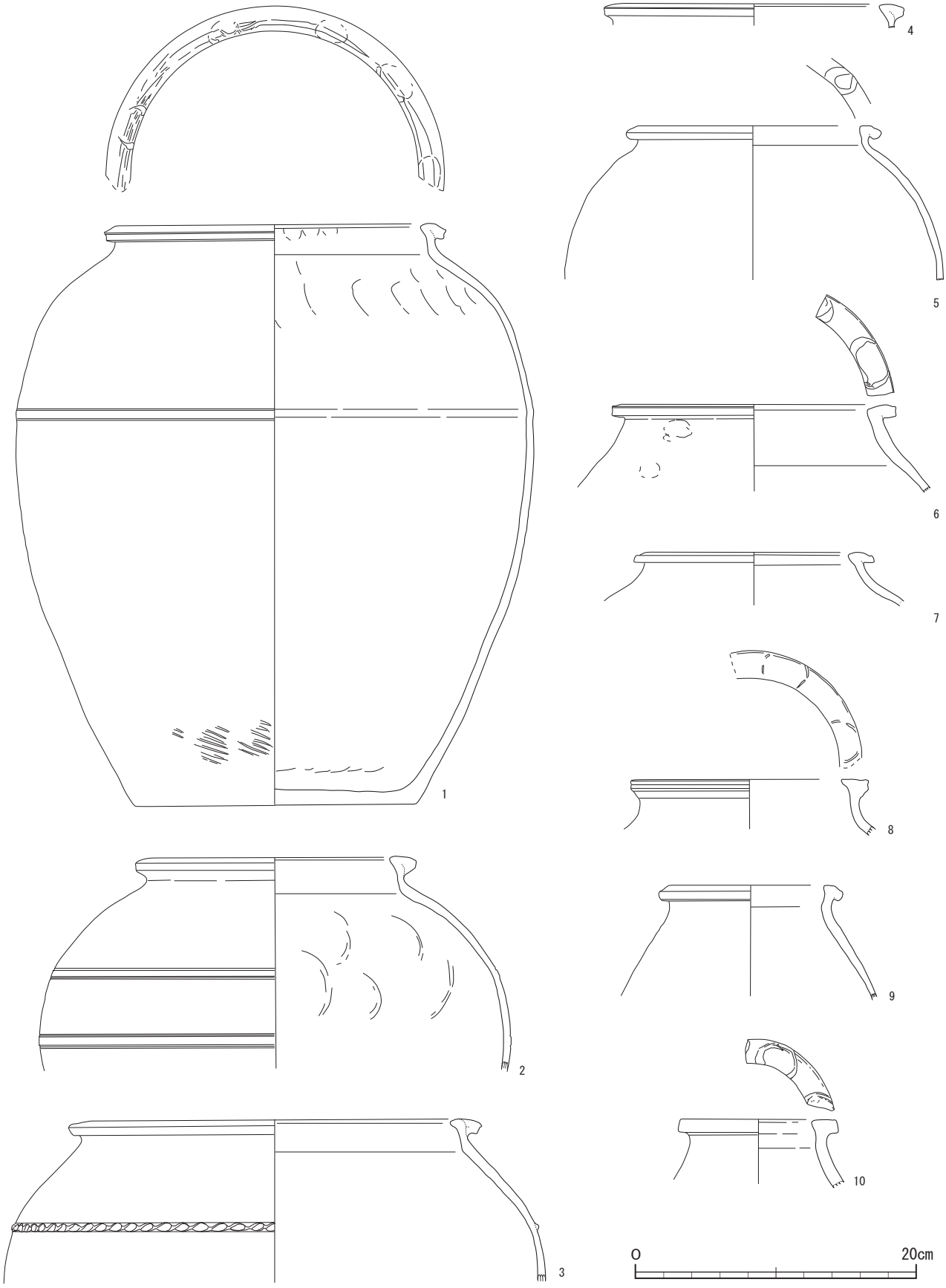


Fig. 37　皿屋上窯跡出土遺物実測図（3）

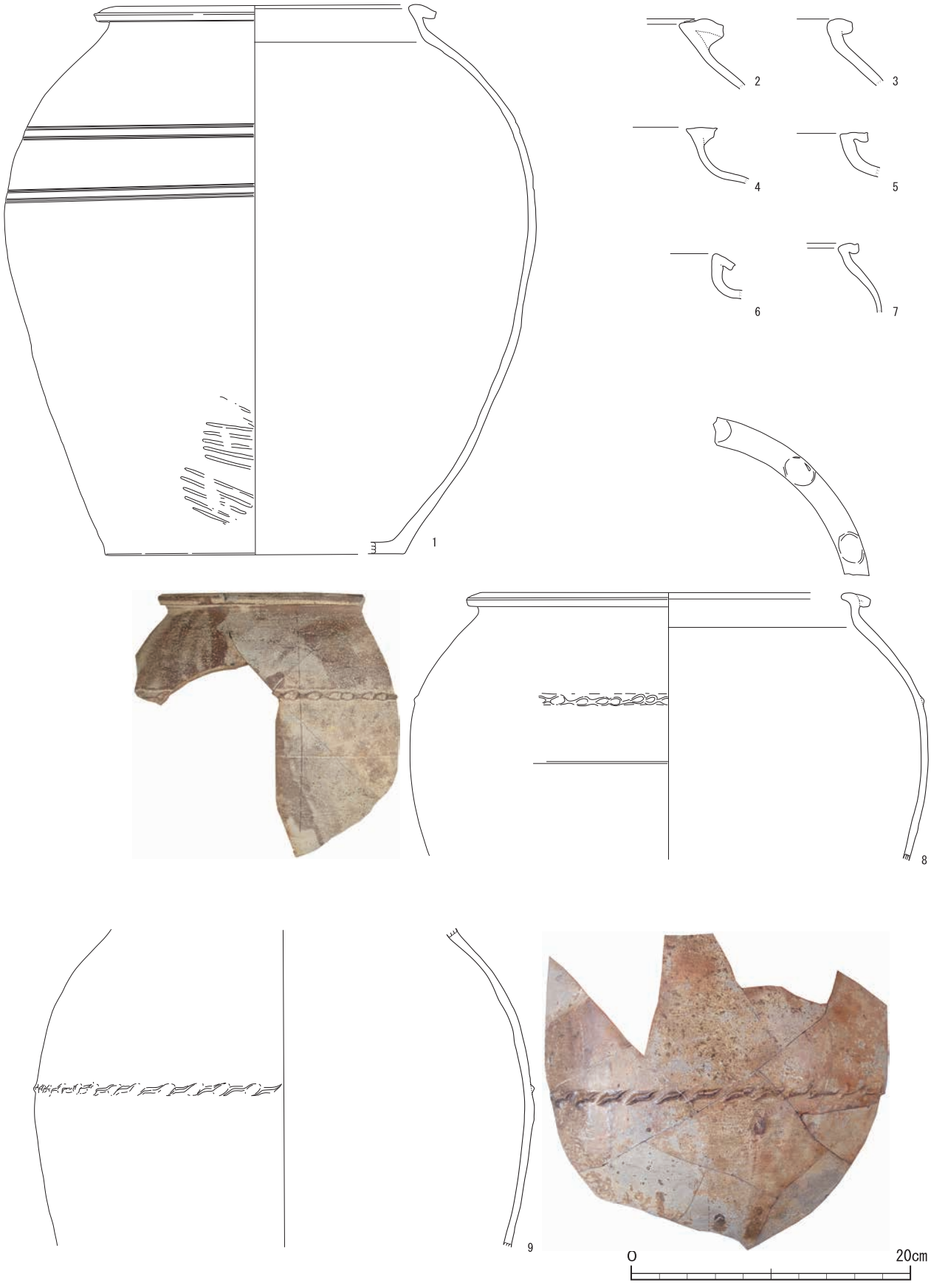


Fig. 38　皿屋上窯跡出土遺物実測図（4）

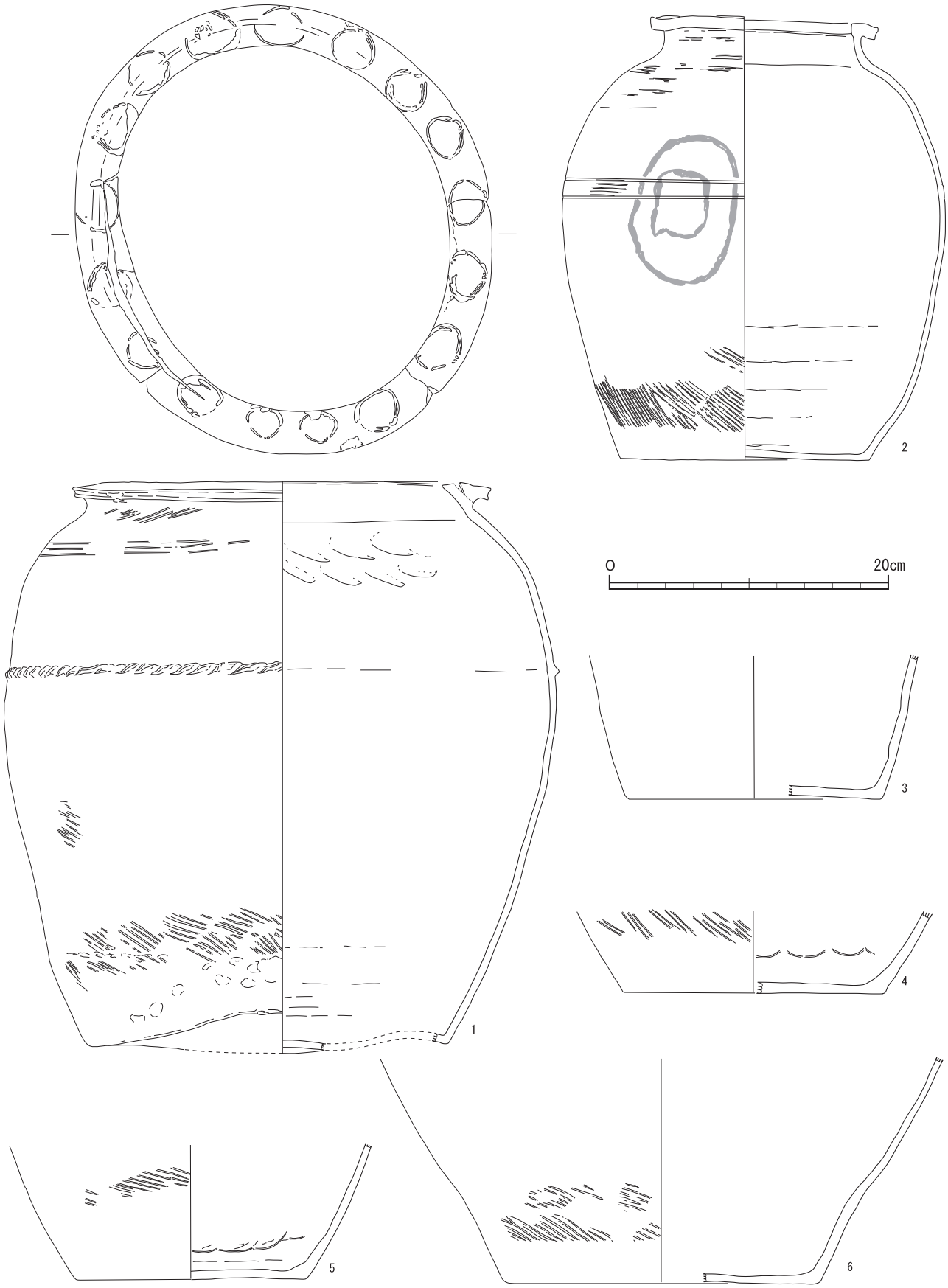


Fig. 39　皿屋上窯跡出土遺物実測図（5）

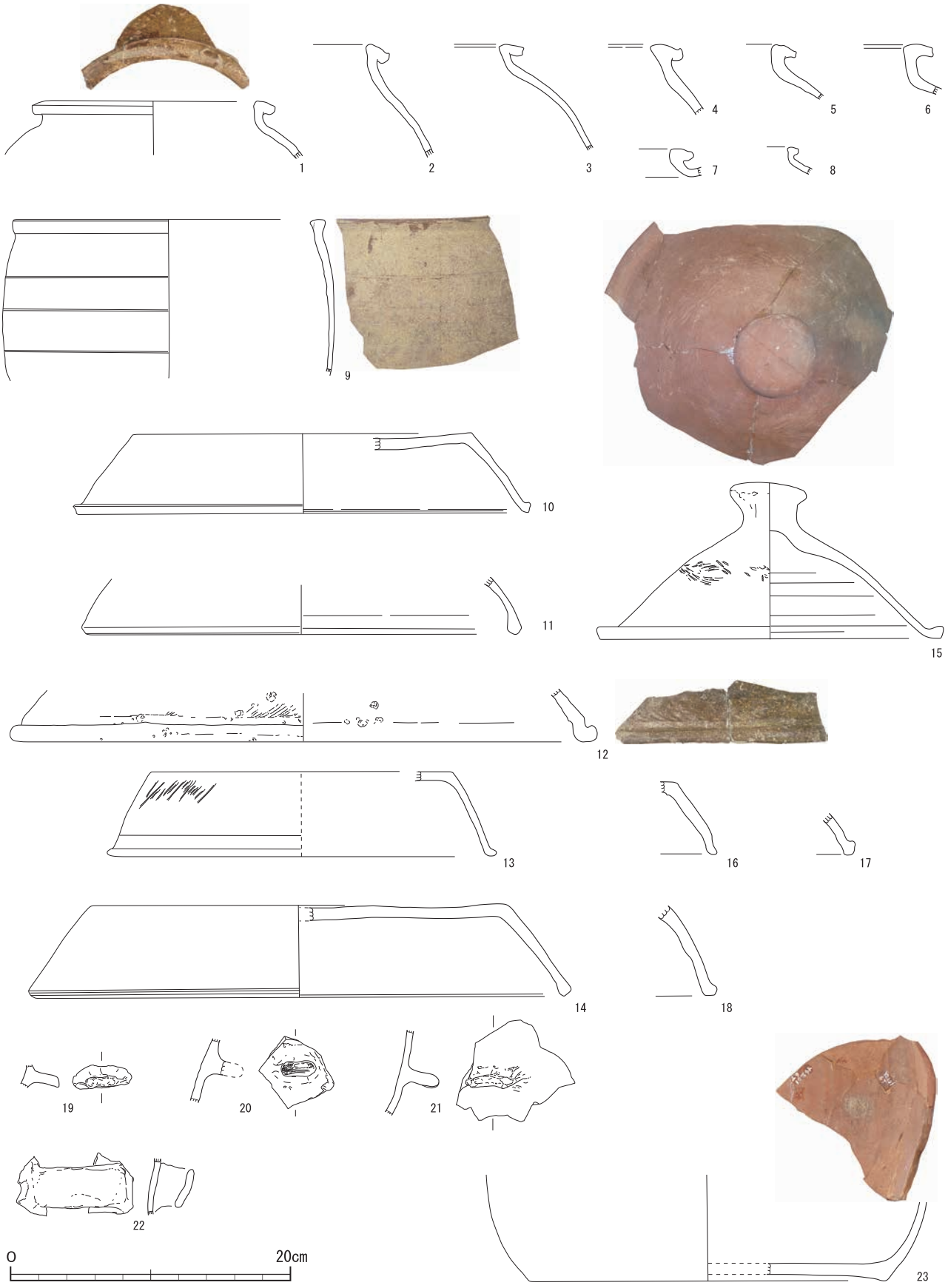


Fig. 40　皿屋上窯跡出土遺物実測図（6）

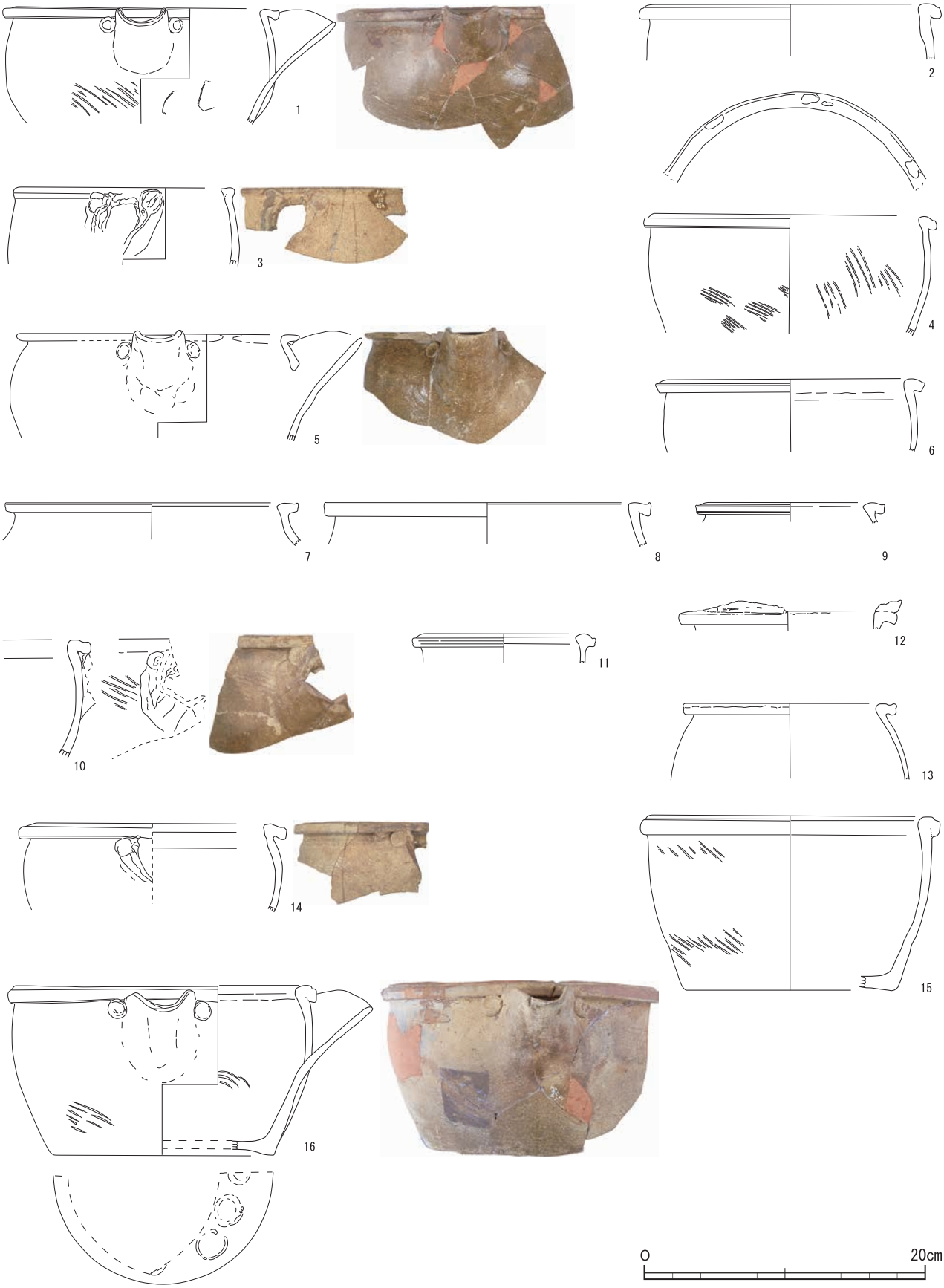


Fig. 41　皿屋上窯跡出土遺物実測図（7）

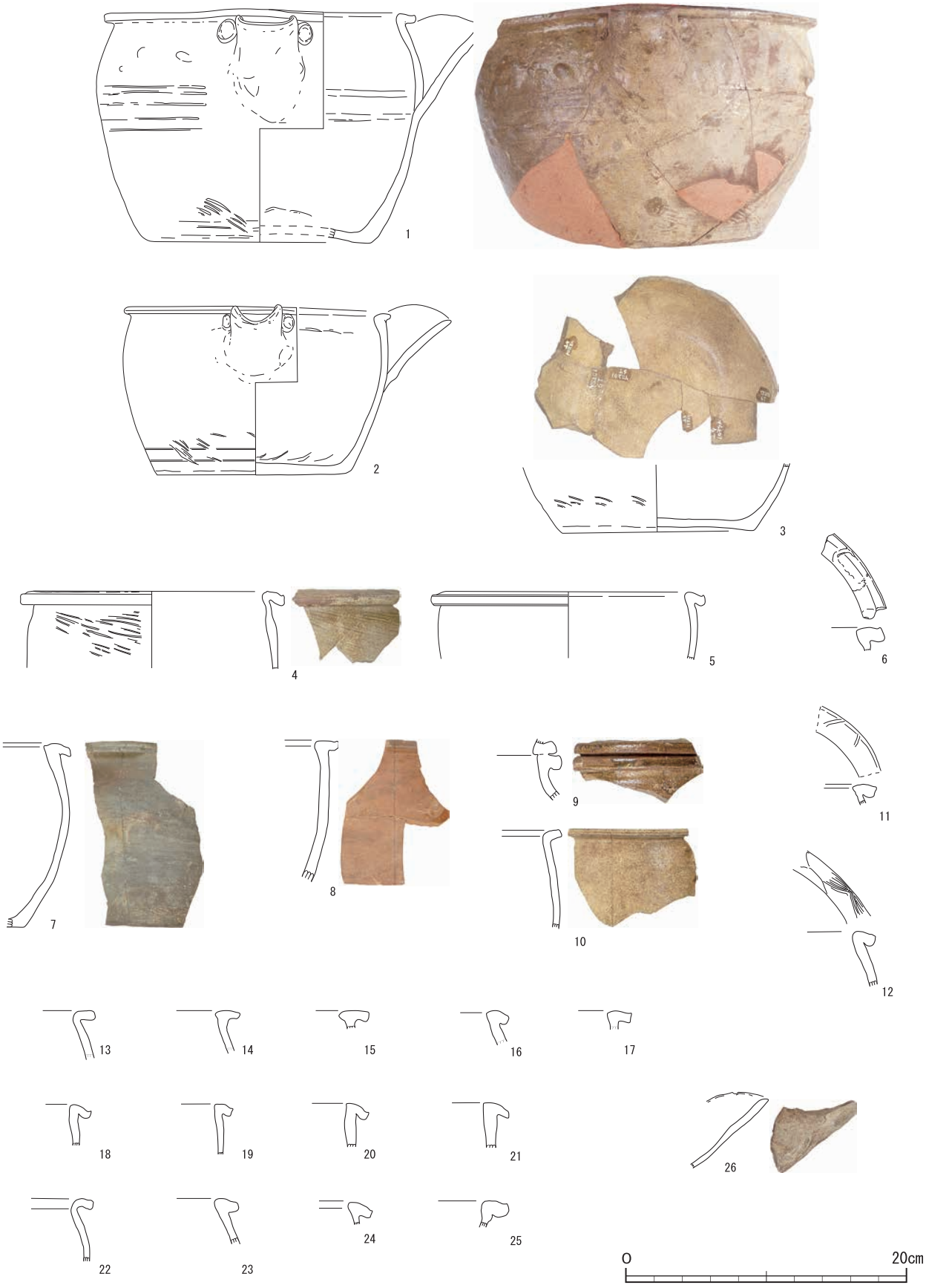


Fig. 42　皿屋上窯跡出土遺物実測図（8）

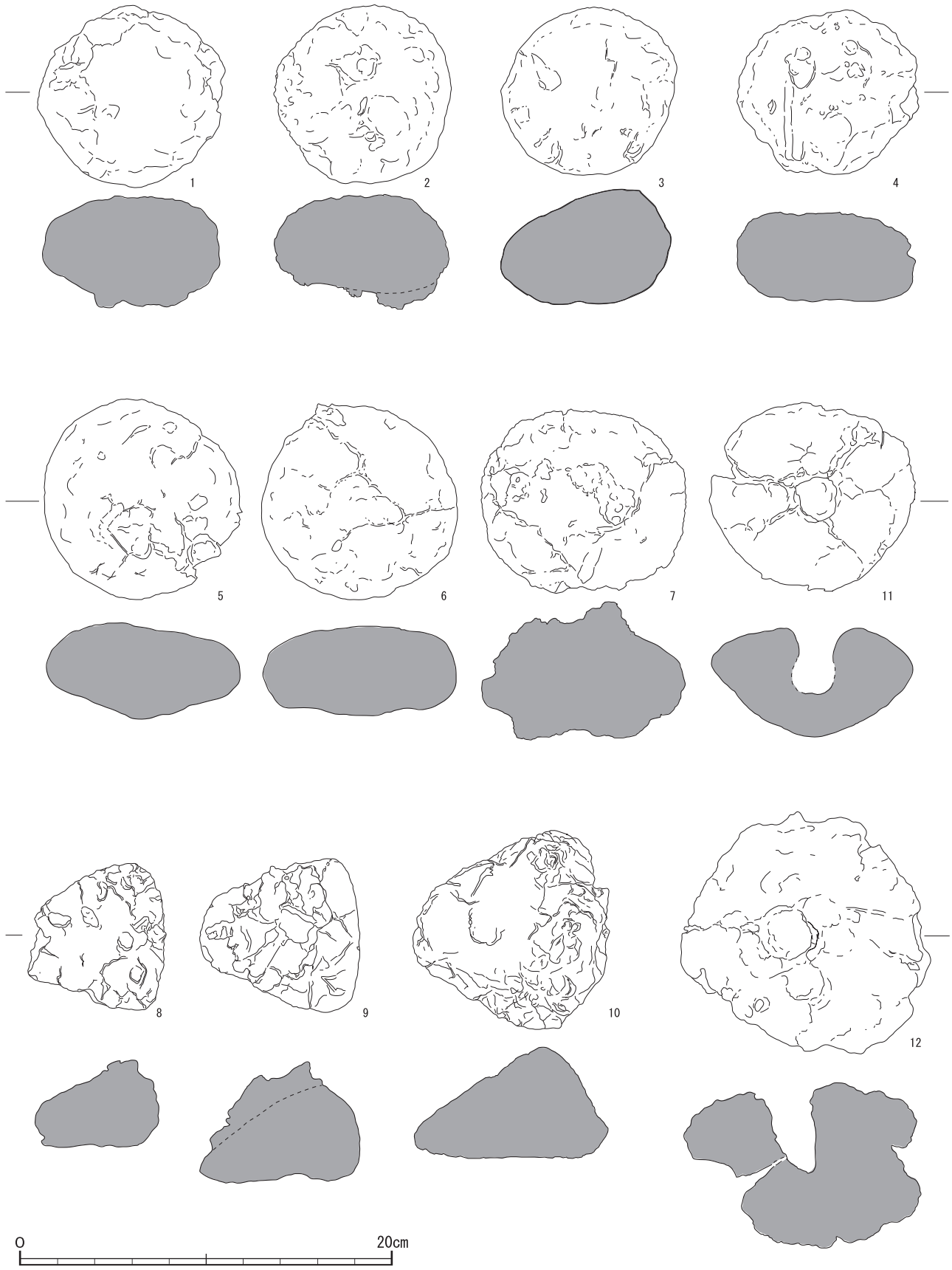


Fig. 43　皿屋上窯跡出土遺物実測図（9）

第Ⅵ章　帆柱窯跡の調査

第１節　遺　構

位置と調査区

帆柱窯は、唐津市北波多稗田の帆柱国有林地内、帆柱の新溜池をさらに遡った谷奥の杉林内に存在する。帆柱窯跡は、九州陶磁文化館の調査によってすでに燃焼室が１室（Ｂトレンチ）検出されているが、窯跡全体の規模を確認するため、Ｂトレンチの上方、標高約71m付近に第１トレンチ、以下１ｍ刻みで第２トレンチ、第３トレンチ、そしてＢトレンチの下方に第４・５トレンチを設定した。さらに、窯跡北東の緩斜面にも窯壁片が散布していることから、第６・７・11トレンチを、物原の確認のため、北側に回りこむ小枝谷との境に第８から10トレンチを設定した。

窯跡の概要

窯跡は、標高約61から71ｍの斜面部に、等高線に対してやや斜行して築かれている。全長は、未発掘の焚き口までを含めると30ｍを越え、北波多に残る古窯跡の中では最も長い窯である。また焼成室は火口灰窯を含めて14室程度と考えられるが、その平面プランは、方形でもやや歪んだ形状を呈している。

また燃焼室(胴木間)の直上には、大きく撹乱を受けているものの、奥行きの狭い火口灰窯と思われる部屋が存在しており、同構造の部屋が皿屋窯においても検出されていることから、両者は製品の共通性が示すとおり、同系列の窯であったと理解できる。

窯跡の構造

以下その構造について述べると、

①出入り口については、撹乱を受けている部分が多いため、確認できたのは右方向だけであるが、逆方向のものも存在した可能性がある。

②胴木間（燃焼室）奥壁には、大きな一枚岩が存在していた。胴木間から火口灰窯にかけて最も激しく撹乱を受けているが、奥壁はこの一枚岩を取り込み、高く立ち上がる可能性が高い。岩は約1/3より上の部分が、特に強く火をうけていた。

③PL４－５は第２・３室間の隔壁であるが、その段差は比較的低い。

④分焔柱は、粘土塊を芯にさらに粘土を巻いて形作っており、その数は６本である。各隔壁における通焔孔の幅は、おおむね15から20㎝程であるが、外側ほど幅広になるという、飯洞甕下窯で指摘されているような、明確な規則性は窺えない。

⑤窯尻の煙出しも、焼成室と同様、分焔柱を立てた状態で一列に配置している。その後方には浅い溝が存在するものの、奥壁がそのまま窯尻になっており、煙突等の特別な施設は持たないようである。

⑥火床境は何回も補修され前面にせり出しており、それに伴い火床の幅が狭くなっている。

⑦窯の左（南西側）には、上屋の柱穴（直径約30㎝）がほぼ１ｍ間隔で並び、焼成室に付随してフラットな面が存在する。

周辺の調査

第６トレンチのほぼ中央より、長さ約３ｍ、深さ50㎝の長方形の土坑が検出されている（SK01）。底面は炭化物が堆積し、側面は火を受けて赤化していた。同様な土坑は、皿屋窯付近でも確認されているが、その性格は不明である。また丘陵の東は急傾斜で谷となっているが、その裾部に設置した第10トレンチからは、生焼けの碗・皿類が比較的まとまって出土している（PL５－８）。

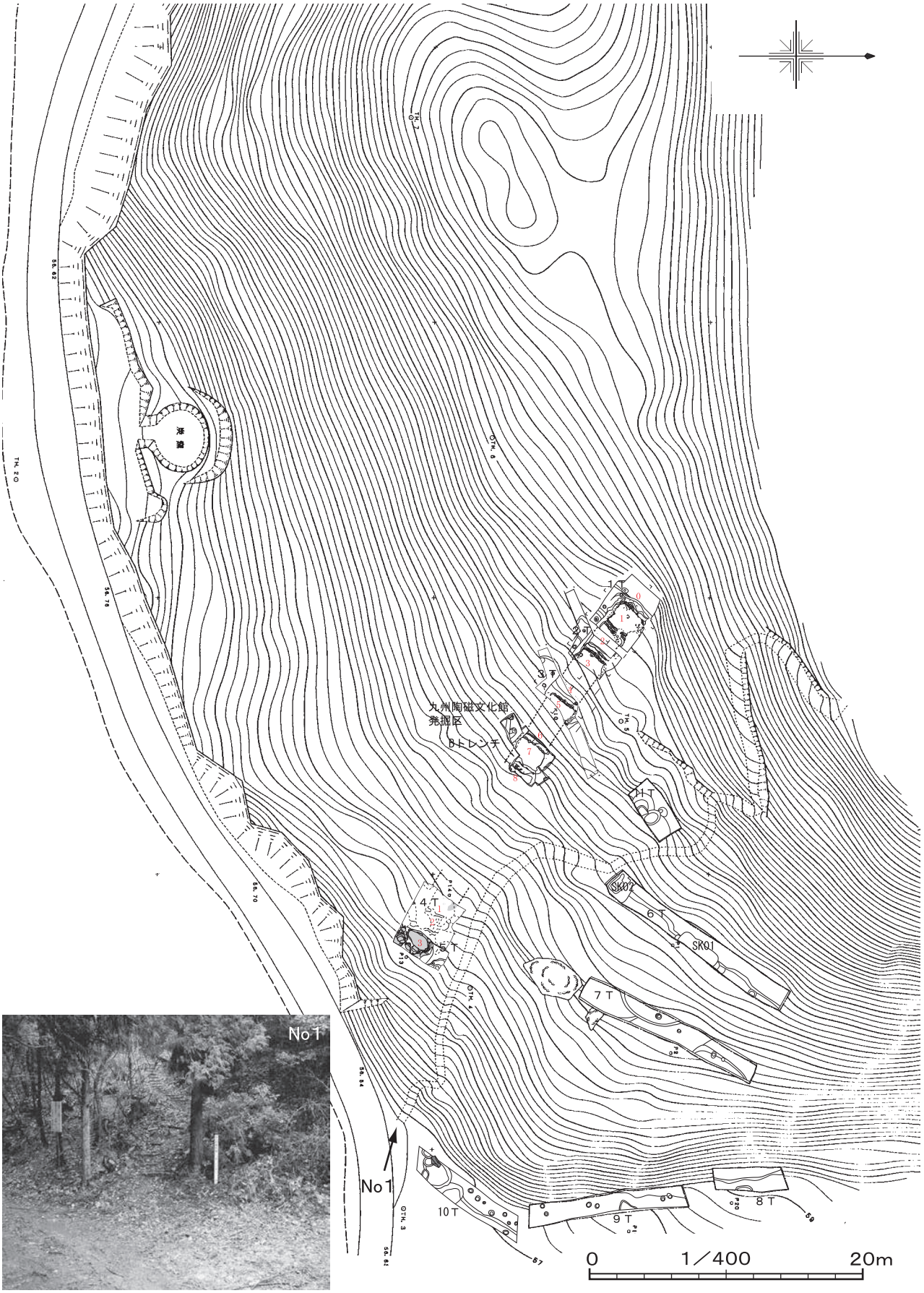


Fig. 44　帆柱窯跡周辺地形図（1／400）

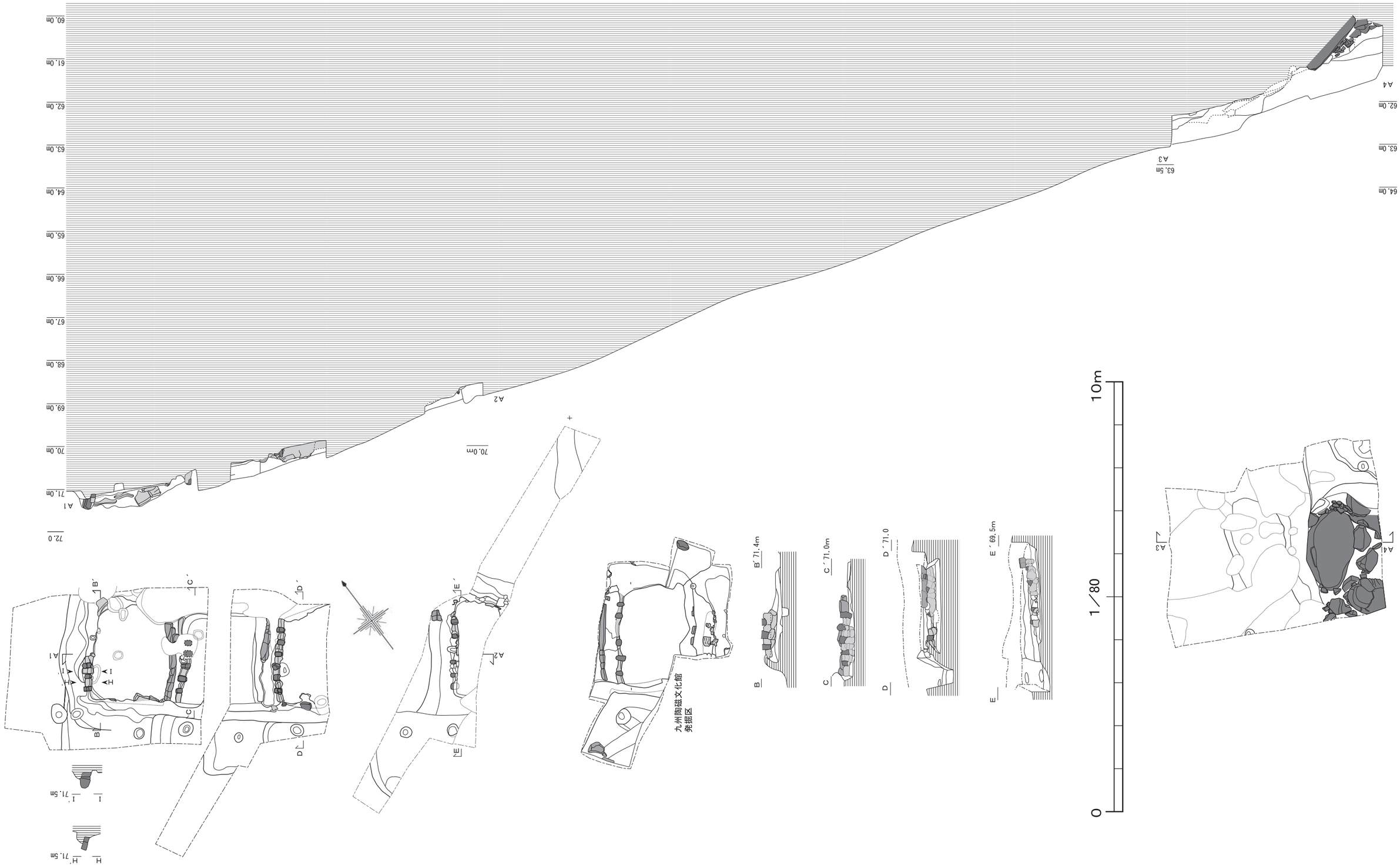


Fig.45　帆柱窯跡全体図（1）（1／80）

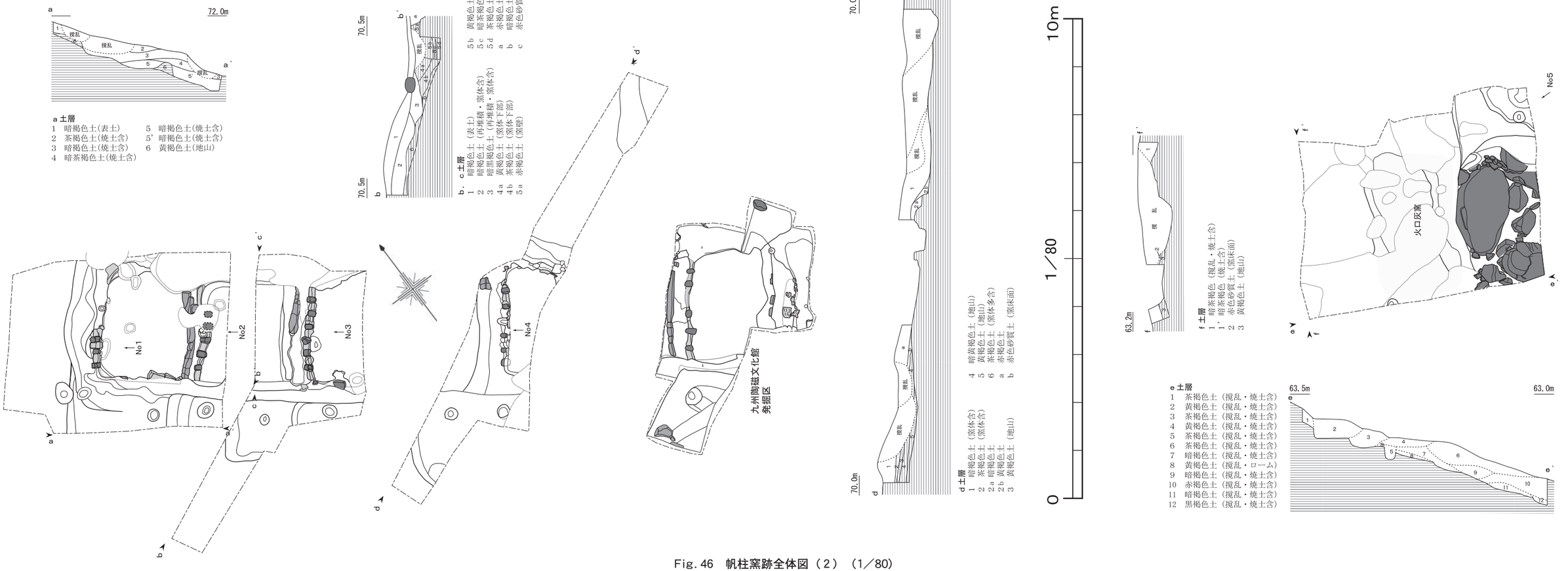
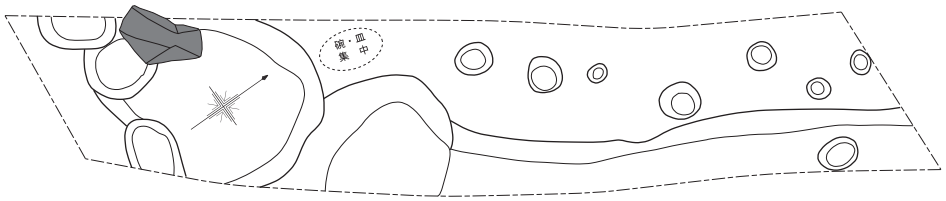
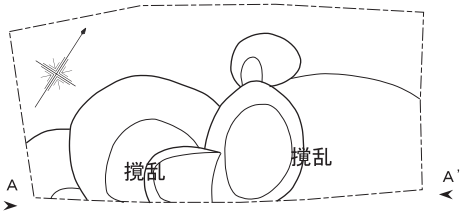


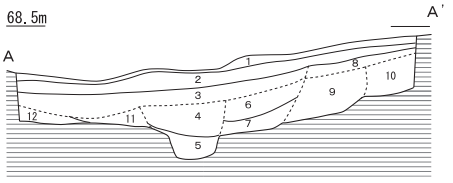
Fig.46　帆柱窯跡全体図（2）（1／80）

第10トレンチ



第11トレンチ

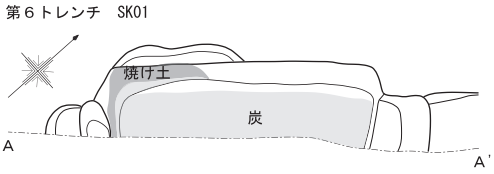


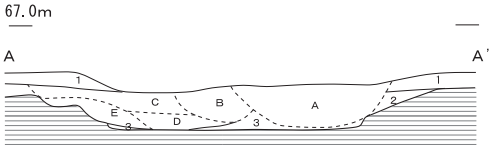


第11トレンチ土層

1	褐色土（表土）	7	茶褐色土（窯体片少含）
2	褐色土	8	茶褐色土（窯体片少含）
3	暗褐色土	9	褐色土（窯体片少含）
4	茶褐色土（陶器片・窯体片含）	10	褐色土（窯体片少含）
5	褐色土（陶器片・窯体片少含）	11	茶褐色土（窯体片含）
6	暗褐色土（陶器片・窯体片多含）	12	褐色土（窯体片少含）

第６トレンチ　SK01





SK01土層

1	表土	A～D	攪乱層（茶褐色）
2	暗褐色土層	E	攪乱層（暗茶褐色）
3	黒褐色炭化物層		

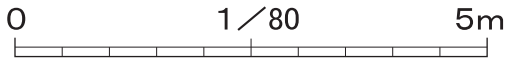


Fig. 47　帆柱窯跡６、10、11トレンチ図（1／80）

第２節　遺　物

帆柱窯からは、碗、皿、小坏、鉢、片口鉢、瓶、壺、甕などが出土している。製品の多くはロクロで成形されたもので、釉薬は皿屋窯と同様、失透白色の藁灰釉を基本とし、石灰釉（透明釉）や土灰釉製品は客体的存在である。なおタタキ技法は、甕・片口鉢・徳利などに見られる。

皿屋窯出土の皿類には、釉剥ぎの胎土目積という特徴的な技法が多く見られたのに対し、帆柱窯では重ね積みの痕跡を持つ製品は少ない。また生焼けの製品は比較的少なく、皿屋窯よりは歩留まりの良い窯であったと考えられる。

皿類　丸皿（Ⅰa・b・e類）、端反皿（Ⅱa・c類）、縁立皿（Ⅳ類）、波縁皿（Ⅴ類）、大皿（Ⅸ類）が出土している。その多くは、重ね積み痕跡を持たない藁灰釉製品である。Fig48－12・13・15・16は、石灰釉（透明釉）製品で、前３者はピン状の胎土目が付着している。No14は藁灰製品で団子状の胎土目が釉着しているが、釉薬を剥いだ痕跡は見受けられない。No18～20は、土灰釉製品である。

波縁皿（Ⅴ）は比較的多く出土しているが、口縁に鉄釉をかけるものも存在する（Fig49－１～３）。Fig49－５～14は縁立皿。Fig49－16・17は大皿であるが、同一個体の可能性もある。なお特殊なものとして、口唇に間隔をあけて押捺を施す皿も出土している（Ⅵb：Fig48－24）。

碗類　Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ類ともに出土しており（Fig49－18～Fig51－16）、Ⅰ類には口縁に鉄釉をかける皮鯨手のものが存在する（Fig50－８～10）。またⅢ類の２個体（Fig50－27・28）が石灰釉である以外は、全て藁灰釉製品である。また碗・皿類の底裏は全て露胎であり、腰部はロクロ左回転で工具削りが施されている。さらに高台畳付の調整については、回転糸切痕をそのまま残すものも少量存在するが、工具で糸切痕を削り落として平らに仕上げるものが多い。なおFig52－No19と20は土灰釉の大型品である。

小坏（Fig52－１～14）では、碗形を呈するもの（Ⅰ類）と筒形を呈するもの（Ⅱ類）が出土している。

壺類　Fig52－No15は、頚部が強く括れる土灰釉の小壺であるが、その口縁を欠いている。Fig53－No24から33は無頸壺で、No25～29・31には鉄絵が描かれている。また、特殊な器形として、円筒形の素焼き製品（Fig52－No16）が出土しているが、花入れと考えることもできよう。

鉢類　Fig51－17～24は、鉢に分類したが、向付などを想定して製作されたものであろう。No17・21～24は施釉の跡が見られず、本窯では特別な製品について、二度焼きを行った可能性も有る。Fig53－20から23は鉢Ⅱに分類しているが、用途としては香炉が考えられる。

瓶・徳利　瓶（Fig53－１～４）は全て藁灰釉であるが、無花果形の徳利には土灰釉も存在する。No５から14は徳利であるが、いずれもⅠ類であり、胴下部が強く張る船徳利（Ⅱ類）は出土していない。施釉には藁灰と土灰の両者が存在し、胴部は紐作りの後タタキ、口頚部はロクロ調整である。

片口碗　Fig53－No15から19は片口？碗で、全て藁灰釉の製品である。

甕・片口鉢・擂鉢　帆柱窯においては、甕類の出土は少なく、その器形が明確なのはⅢ類の１個体のみである（Fig54－１）が、タタキの当て具としては、No３の内面に見られるように同心円を刻み込んだものが使用されているようである。Fig54－４から11が片口鉢であるが、その口縁は全て内重の複合口縁を呈しており、本窯の特徴と言える。また破片ではあるが擂鉢も出土している。

窯道具は、トチンとハマが出土している（Fig55･56）。トチンでは「Ⅰ」形がその大分部を占めるが、大型品では円筒形に近い形態のものも見受けられる。製品が釉着しているものが２個体出土しており、Fig51－15がトチン、同16がハマである。また、高台畳付けに砂粒が付着する碗・皿が多く存在することから、窯床面は砂が敷かれていた、いわゆる砂床であった可能性が高い。なお３足の付く、素焼きでハマ状の遺物（Fig56－10）が出土しているが、１点のみの出土であり、窯道具であるかは類例を待ちたい。

Fig. 48　帆柱窯跡出土遺物実測図（1）

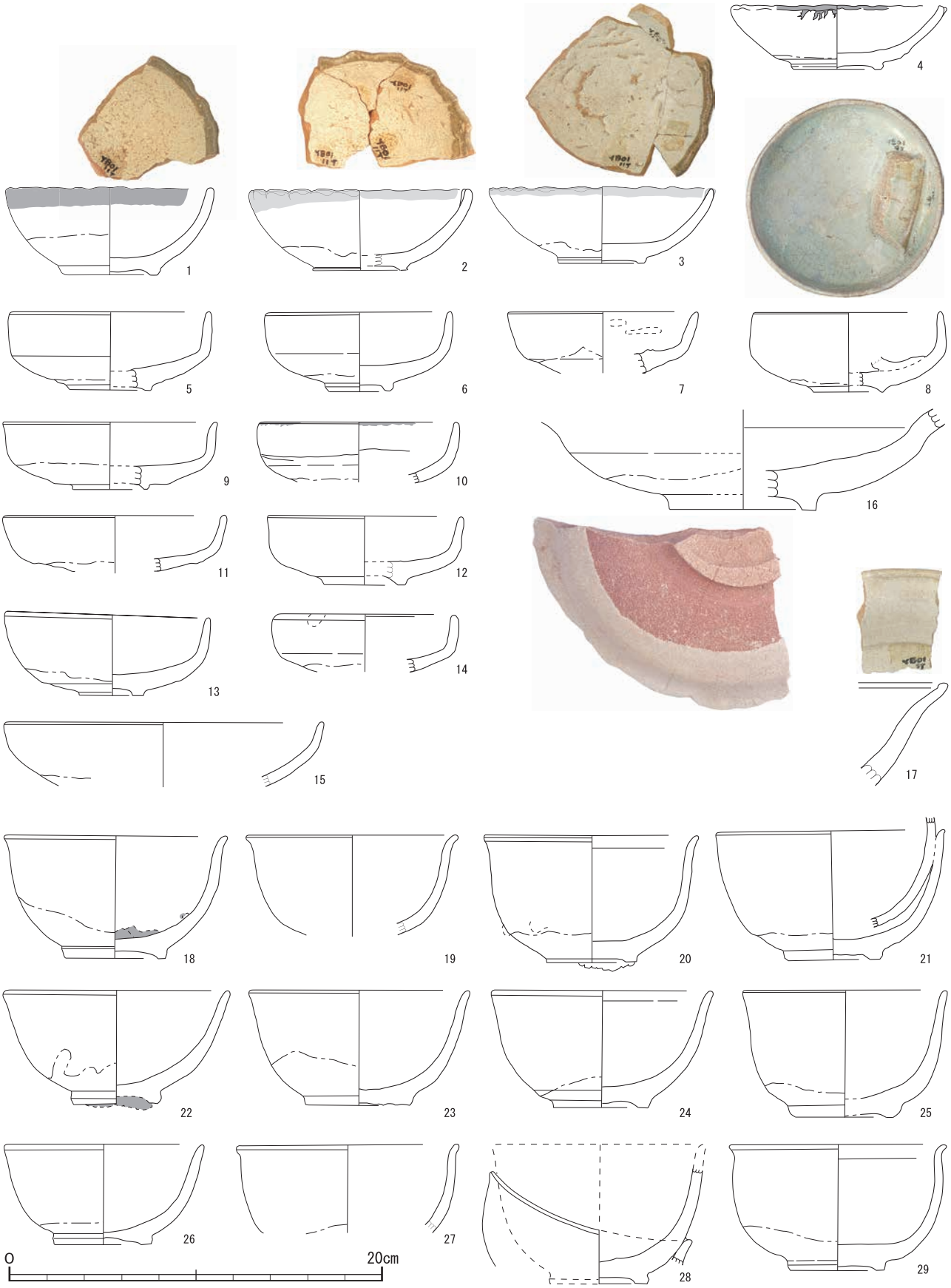


Fig. 49　帆柱窯跡出土遺物実測図（２）

Fig. 50　帆柱窯跡出土遺物実測図（3）

Fig. 51　帆柱窯跡出土遺物実測図（４）

Fig. 52　帆柱窯跡出土遺物実測図（５）

Fig. 53　帆柱窯跡出土遺物実測図（6）

Fig. 54　帆柱窯跡出土遺物実測図（7）

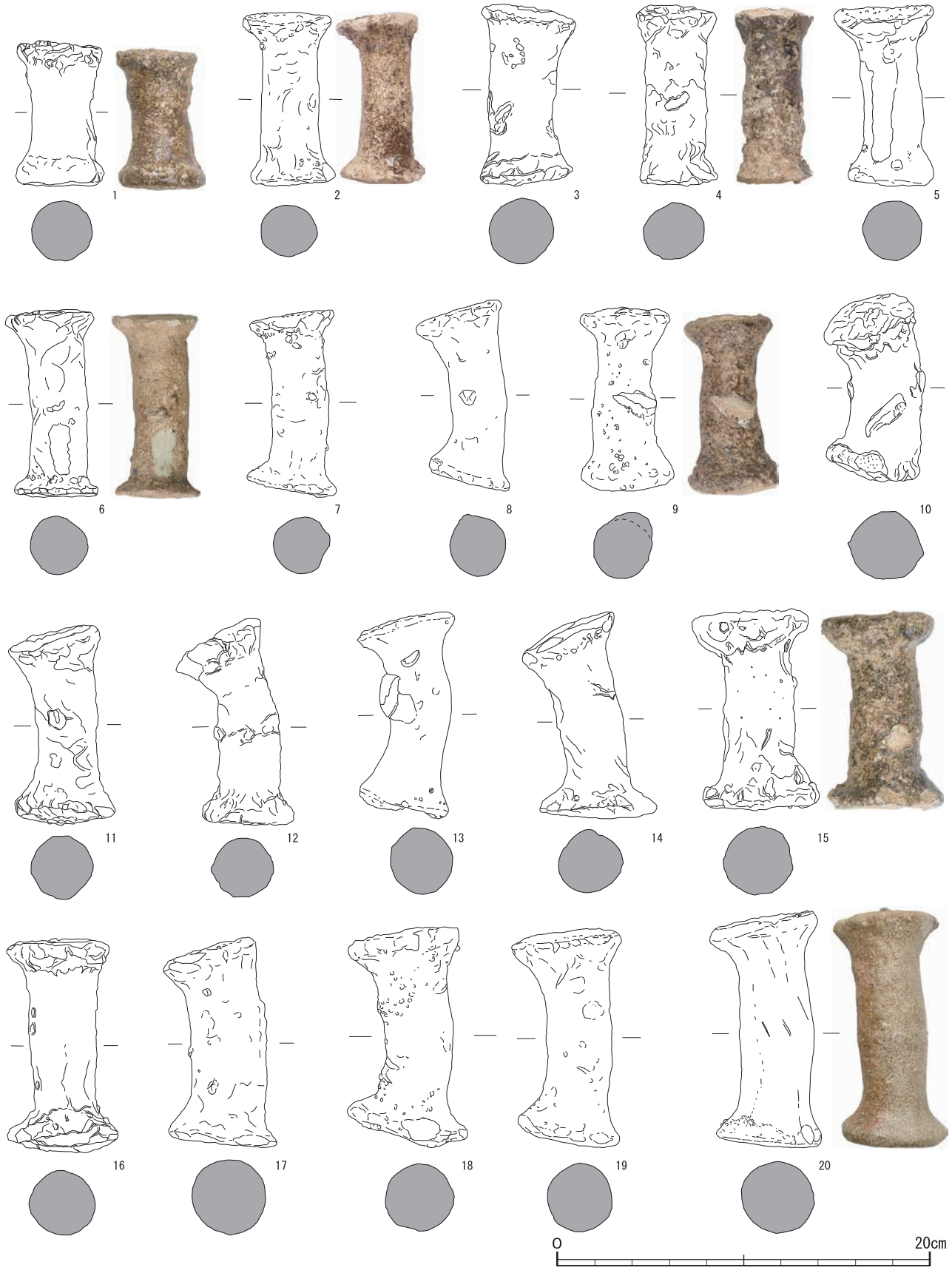


Fig. 55　帆柱窯跡出土遺物実測図（8）

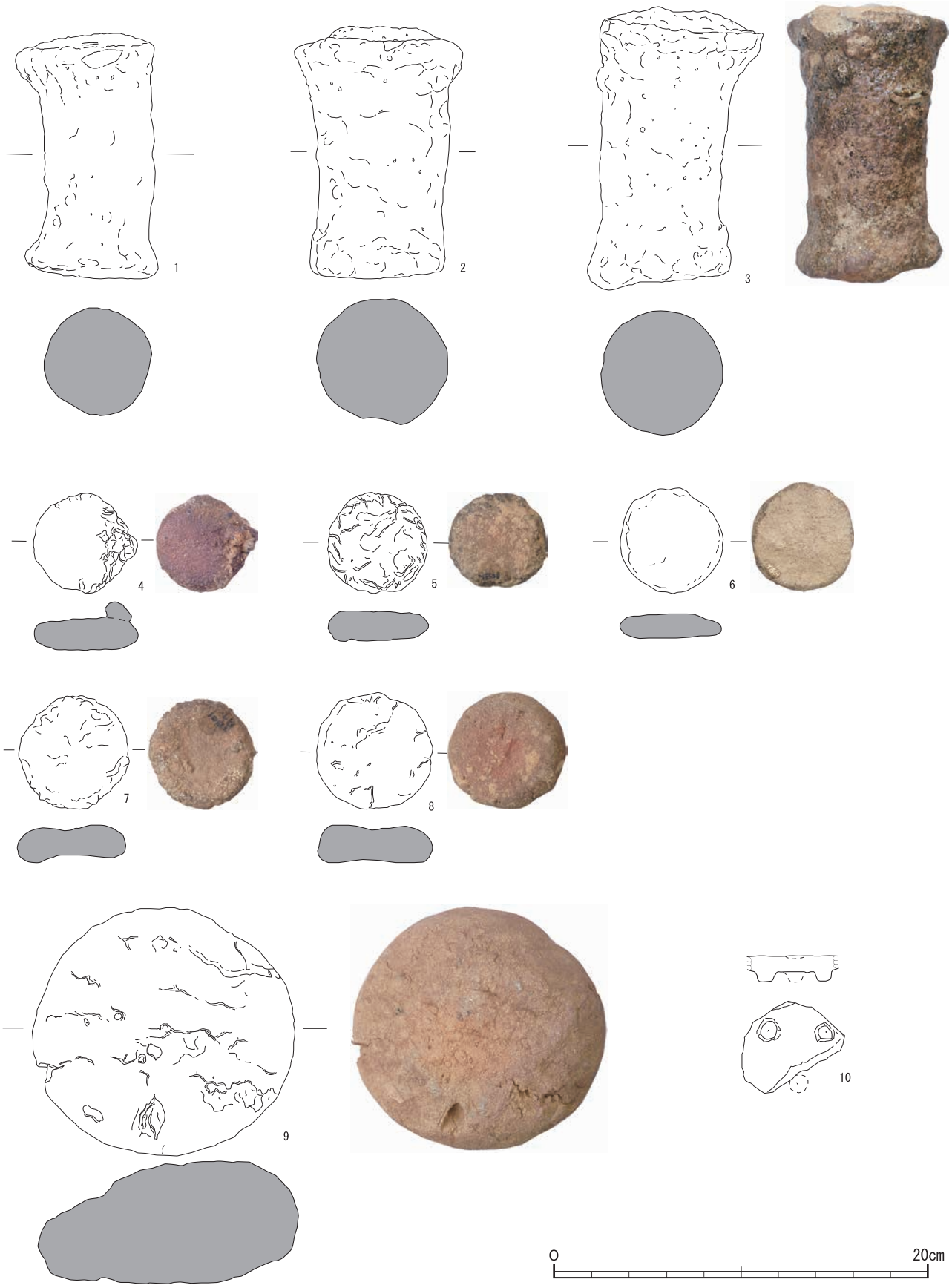


Fig. 56　帆柱窯跡出土遺物実測図（9）

第Ⅶ章　飯洞甕窯跡の調査

第１節　位置と調査区

１．位置と環境

飯洞甕窯は、大字稗田字帆柱の通称「鮎帰り」という岸岳山麓に所在する。北波多地域の中心である徳須恵から橋を渡り、稗田の集落を過ぎると、波多総鎮守社である波多八幡神社に出る。ここから小川に沿い、岸岳を目指して20分ほど歩くと、「古窯の森公園」に至る。飯洞甕窯はこの公園の最奥部、檜林中に存在し、そのすぐ下を渓流が流れている。上窯と下窯は、丘陵の西斜面に約50m隔てて築かれている。

２．調査区

①平成10・11年度の調査

道路拡張工事に伴って実施した小規模な緊急調査を、１次調査とした。その調査区は、当時の川の対岸にあたる。飯洞甕上窯ついては、上方をＡトレンチ、下方にＢトレンチを、周辺部左斜面に１・２・５・６、窯跡上方に７、右斜面に３・４の合計７つのトレンチを設定した。

飯洞甕下窯は、昭和31年の調査により全面が発掘され、第５室と６室間の隔壁が完全に残るなど保存状態の良い窯跡であることが確認されていた。平成元年に東中川氏等により実測図が作成されて以降、長らく調査は行われていなかったが、別窯の存否確認のため、平成11年度に窯跡の周辺において小規模なトレンチ（１～４）調査を行った。

②平成27年度～H28年度の調査

飯洞甕下窯及び、飯洞甕上・下窯の窯場遺構を確認するため、両窯周辺に12か所のトレンチ(12～15、17～24)を設定した。下窯に設定したトレンチは、窯尻部に１か所(17)及び下窯左右にそれぞれ２か所(18～20.23)である。

下窯の北斜面に３段存在、上・下窯間にも２段の平坦面が存在する。これらは窯場における作業面であったと考えられるが、上窯南の平坦面２か所については、旧坑口が隣接することから、窯場操業時の地形であるかは不明である。また地形図では明瞭でないが、上・下窯間上段平坦面（15トレンチ）から下窯に続く切岸状の段が存在し、両窯と作業空間をつなぐ道であった可能性を指摘できる。

また上窯の南東約30mには、差し渡し20m以上の岩陰が存在するが、奥行き５mほどにもなり、ここも作業スペースとして利用されたと考えられる。

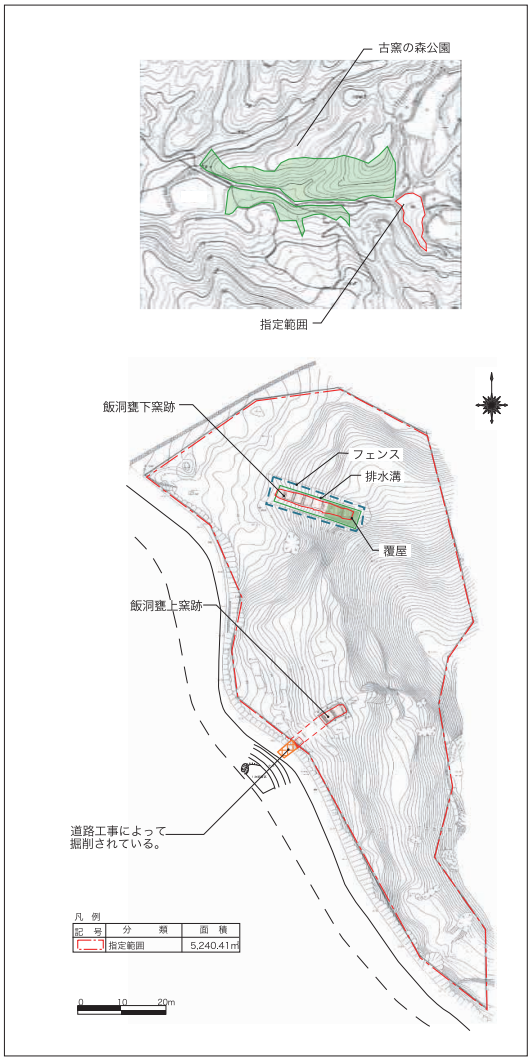


Fig. 57　飯洞甕窯跡の周辺環境

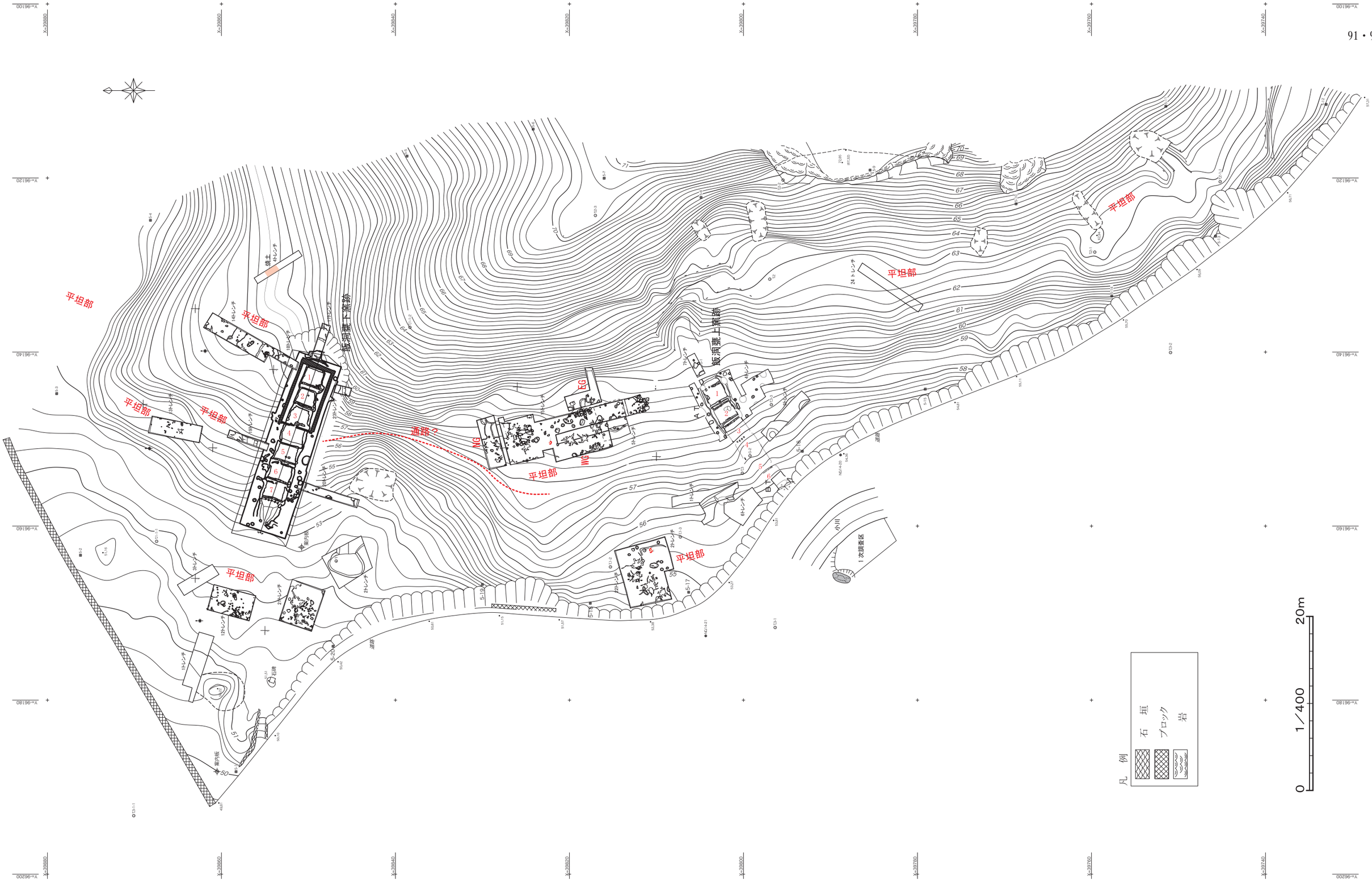


Fig. 58　飯洞甕上・下窯跡周辺地形図　(1／400)

これら窯場遺構を確認するために設定したトレンチの位置は、下窯北斜面に２箇所（13.14）、前庭部に２か所（12.21）、上・下窯間に2か所（15.22）、上窯の南に1か所（24）である。

なお15トレンチに関しては、石組み遺構の広がりを確認するため北への拡張（Ｎグリッド）、平坦部と斜面部との境を確認するため東への拡張（Ｅグリッド）、掘立柱建物存否確認のため西への拡張（Ｗグリッド）を行った。

第２節　飯洞甕上窯跡の構造

飯洞甕上窯の勾配角は約16度で、下窯の15.5度と近似する。

今回の調査では、焼成室2室分を検出したが、その下方にはさらに４から５室の存在が推定され、全部で６から７室程度の登窯と考えられる。胴木間及び下の数室は道路により切り取られているため全長は不明であるが、窯の中心線はやや北に湾曲している。

最上室は、奥行約220㎝、幅225㎝を測り、奥壁の煙出には、分焔柱が直線上に並んでいる。分焔柱は６ないし７本で砂岩割石を芯に、粘土を巻いて方形の柱としている。窯尻は側壁からつながって閉じているが、奥壁と窯尻間には約60㎝の空間が存在し、その上部から煙を排出していたと考えられる。

第２室目の法量は、奥行約231㎝、幅224㎝で、上下隔壁の分焔柱の数はともに７本である。なお第３室以下の未発掘区においても、4.7ｍの間隔で分焔柱が露出しており、これを２等分すると2.35ｍとなり、第３室以下の焼成室も上記２室とほぼ同じ規模になると考えられる。

隔壁は砂岩の割石を横に積み上げ、粘土で表面を塗りこめて仕上げている。火床境は皿屋窯と同じくその上面から前面にかけて粘土を貼っており、火を強く受けてガラス化し、ハマや皿が釉着していた。さらに火床境と火床は何回も補修されているようで、最終段階の火床境は、火床内のかなり浅い位置でその裾がめくれていた。

通常肥前の登窯の出入り口（木口）は、次節の飯洞甕下窯に見られるように、焚口から向かって右に設けられることが多いが、本窯の火床側壁を観察すると、最上室は向かって右側が、２室目は左側が平坦になっており、交互に木口が設けられているようである。

また縦断面を観察すると、飯洞甕上窯は同下窯や皿屋窯と比べ焼成室間の段差が小さい。焼成室の奥壁が低いため、窯勾配角と焼成室床面傾斜角が同じで、火床の凹を考慮から外すと、焼成室の床面はほぼ一直線となっている。窯壁の外側には上屋の柱穴と思われるピット（Ｐ１～６）が存在するが、側溝は検出されなかった。

第３節　飯洞甕下窯跡の構造

昭和31年の発掘調査以降、埋め戻されていた胴木間から第４燃焼室までの再検出を、平成29年度に実施した。窯跡は焚口から窯尻まで残り、焼成室は７室である。飯洞甕下窯の勾配角は約15.5度で、下窯の16度と近似する。窯の全長は、第1室奥壁から焚口まで18.8ｍを測り、中心線はほぼ直線となる。また奥壁背後のＵ字溝の位置に窯尻を想定すると、全長は19.6ｍとなる。

各焼成室の入り口は、上窯と異なり、向かって右に統一されているが、第4室目と第6室目の火床部分において、側壁が外側にめくれる状況が観察され、木口については左側にも存在した可能性を指摘しうる。また胴木間については、浅く扁平な構造と考えられてきたが、再検出の結果、深さ約１ｍの舟底状を呈することが確認された。また皿屋窯や帆柱窯で見られた火口灰窯は存在しない。

下窯の北斜面に設定した18.19トレンチにおいて、幅約２ｍ深さ40㎝程度の溝状遺構を検出した。但し両トレンチでは、窯からの距離が異なる。窯を構築する際、壁土となる粘土を周りから採掘した結果、

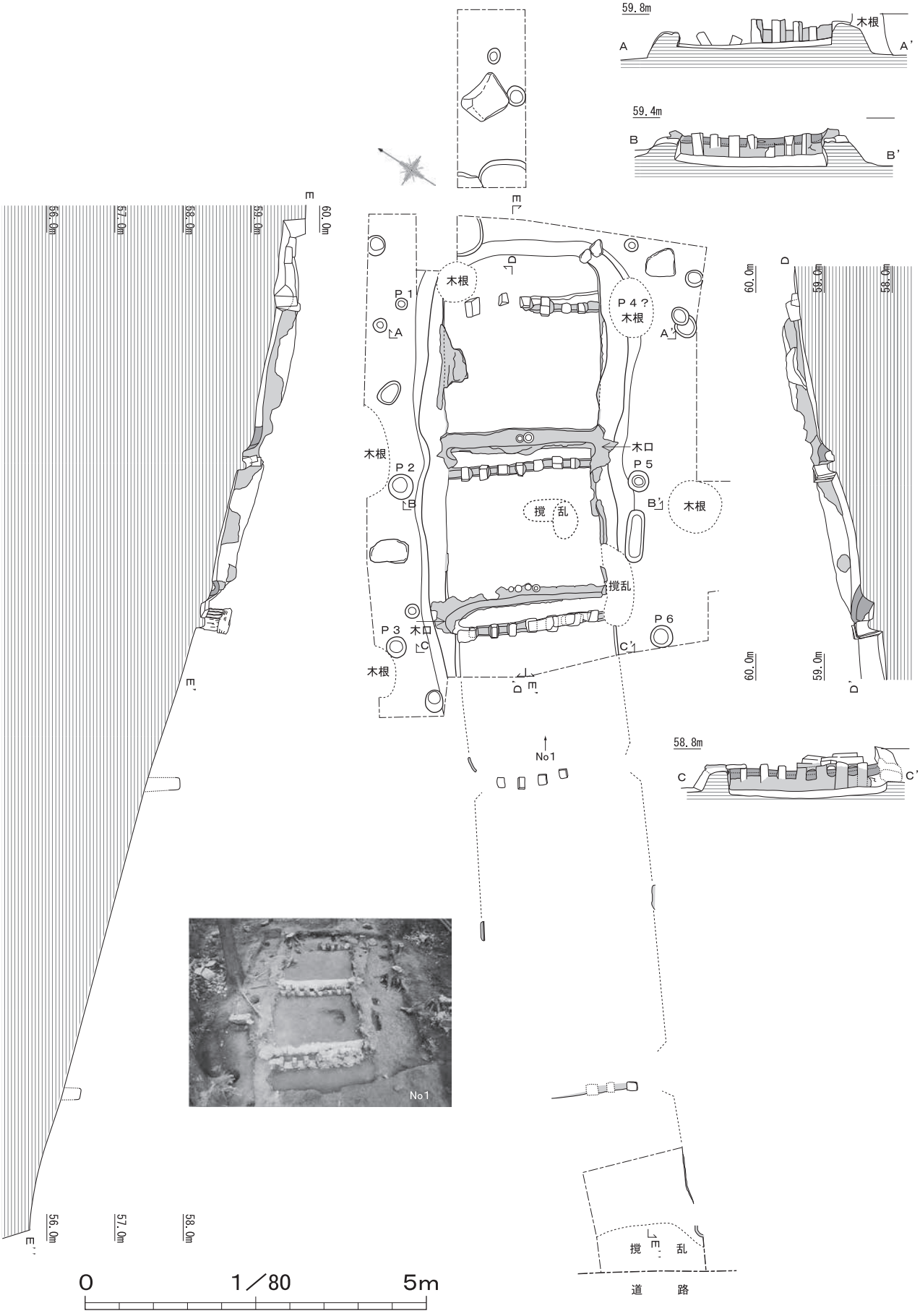


Fig. 59　飯洞甕上窯跡全体図（1）（1／80）

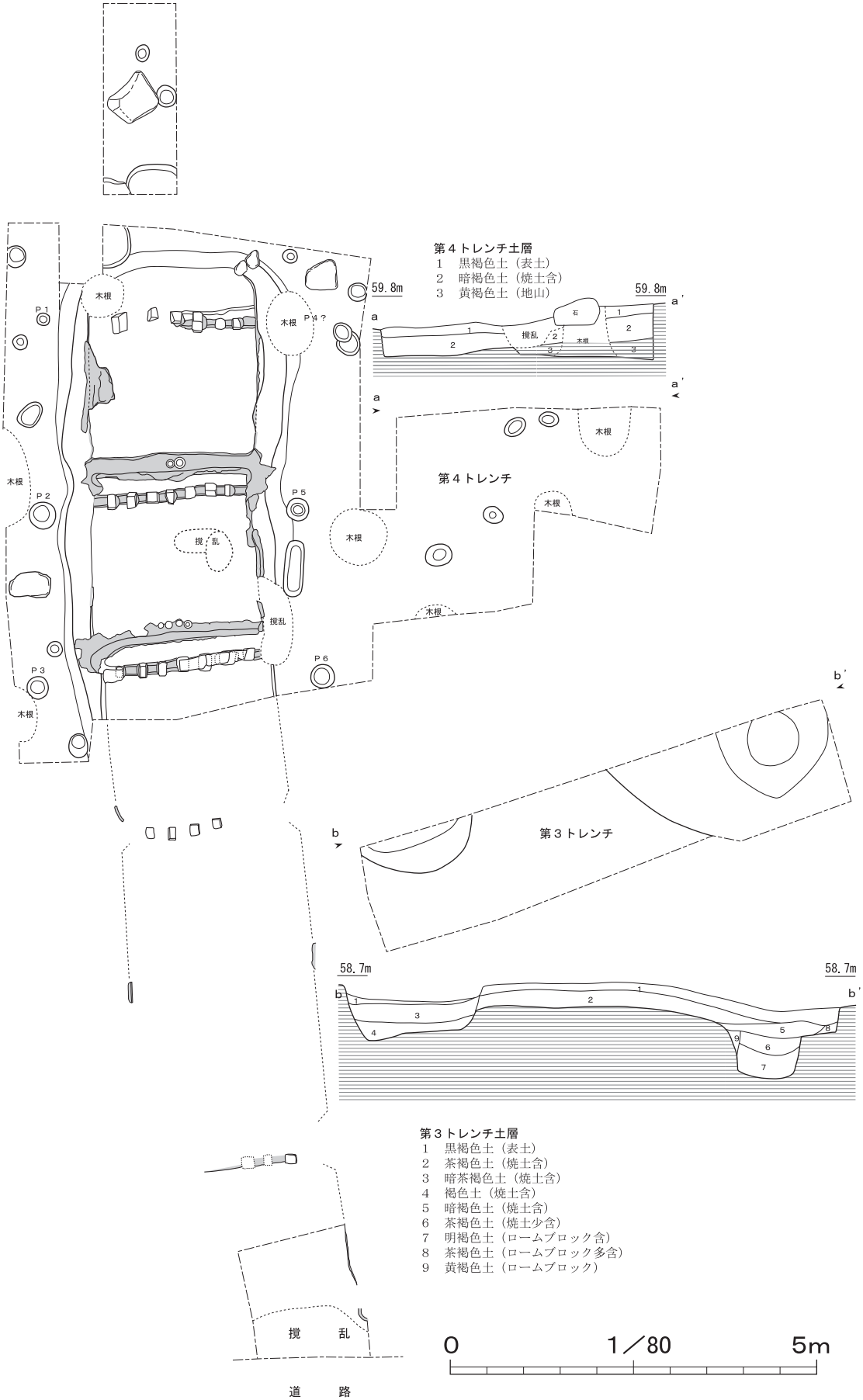


Fig. 60　飯洞甕上窯跡全体図（２）（1／80）

周囲に溝状の掘り込みが残ったものと考えられる。

また覆屋根の柱穴と考えられるピットは、側壁から１m以内の範囲で検出されているが、桁・梁とも直線的には並ばない。

最上室は、奥行約250㎝、幅210㎝を測る。奥壁の煙出には、分焔柱の痕跡が直線的に並んでおり、その数と間隔を測ると、第２－３室間の隔壁と同様６本程度と考えられる。強い火力を受け、ガラス化した火床境が残るが、隔壁は基部の段差が存在するのみである。また床面南東隅には、窯道具であるハマのスタンプが合計11か所残っている。出入口は、窯尻に向かって右側で確認されている。

第２室目の法量は、奥行約220㎝、幅200㎝で、第1室同様火床境が良好に残る。第２－３室間の隔壁は、現況で高さ120㎝を測るが、その上部が僅かにカーブすることから、旧天井もほぼこの高さであったことがわかる。また隔壁背後（火床境）の高さは80㎝以下と低く、ほぼ四つん這いの状態で窯詰は行われたと考えられる。隔壁は粘土の塗込式であるが、崩落している部分を観察すると、少なくともその下半は砂岩割石を心材として積み上げている。また分焔柱の数は、１本欠落しているが６本で、上窯同様砂岩割石を芯に粘土を巻いて方形の柱としている。

第３室目の法量は、奥行約220㎝、幅230㎝を測る。隔壁から続く側壁が比較的良く残るが、東部分は内側に倒れ込んでおり、不安定である。火床境は南半分が残存しているが、北半分はモルタルによる後世の補修である。出入口は、第１・２室同様向かって右側に設けられている。

第４室以下胴木間（燃焼室）までが、平成29年度に再検出した範囲である。

第４室目の法量は、奥行約230㎝、幅220㎝を測る。出入口は他の燃焼室同様右側に設けられているが、先に述べたように、木口については左側にも存在した可能性が高い。

第５室目の法量は、奥行約230㎝、幅220㎝を測る。火床境はガラス化し、第６室間との隔壁には分焔柱心材の砂岩下部が５か所に残る。なお欠落部を含めると、分焔柱は６本となる。

第６室目の法量は、奥行約230㎝、幅240㎝である。火床境はガラス化して良く残るが、隔壁分焔柱は１本しか残っていない。なお左側壁の外側において、床面のように焼土化した硬化面が検出されたが、その範囲は部分的であり性格は不明である。

第７室目の幅は220㎝であるが、奥行きは210㎝と、他の焼成室と比べやや短い。

焼成室（胴木間）との境には、５個の砂岩が弧状に埋め込まれているが、ここから急角度で落ち込み、燃焼室床面に至る。床面は比較的平坦で、砂岩が平面的に敷かれていた。

燃焼室の土層観察において、最上層がかつて床面と考えられていた面である。堅く締まった焼砂が厚く堆積していたことから、この面を燃焼室の床面と判断したのであろう。焼砂層の下には、天井や側壁の崩落窯体片を多量に含む焼土層が存在し、その最下部には炭化物層が薄く堆積している。なお焼土層からは、多量のトチンが出土している。

焼成室は、焚口から分焔柱まで長さ290㎝幅約200㎝で、深さ約100㎝の舟底状を呈する。焚口には地山を掘りこみ２本の立石が据えられており、さらに付近より大量の砂岩ブロックが検出されたことから、砂岩を組んで焚口を構築していたと考えられる。

なお焚口の右側には土坑状の掘り込みが存在し、炭化物が堆積していた。掻き出した燠（おき）を集めた穴ではないか、という指摘を受けたが、その性格は今後の検討課題である。

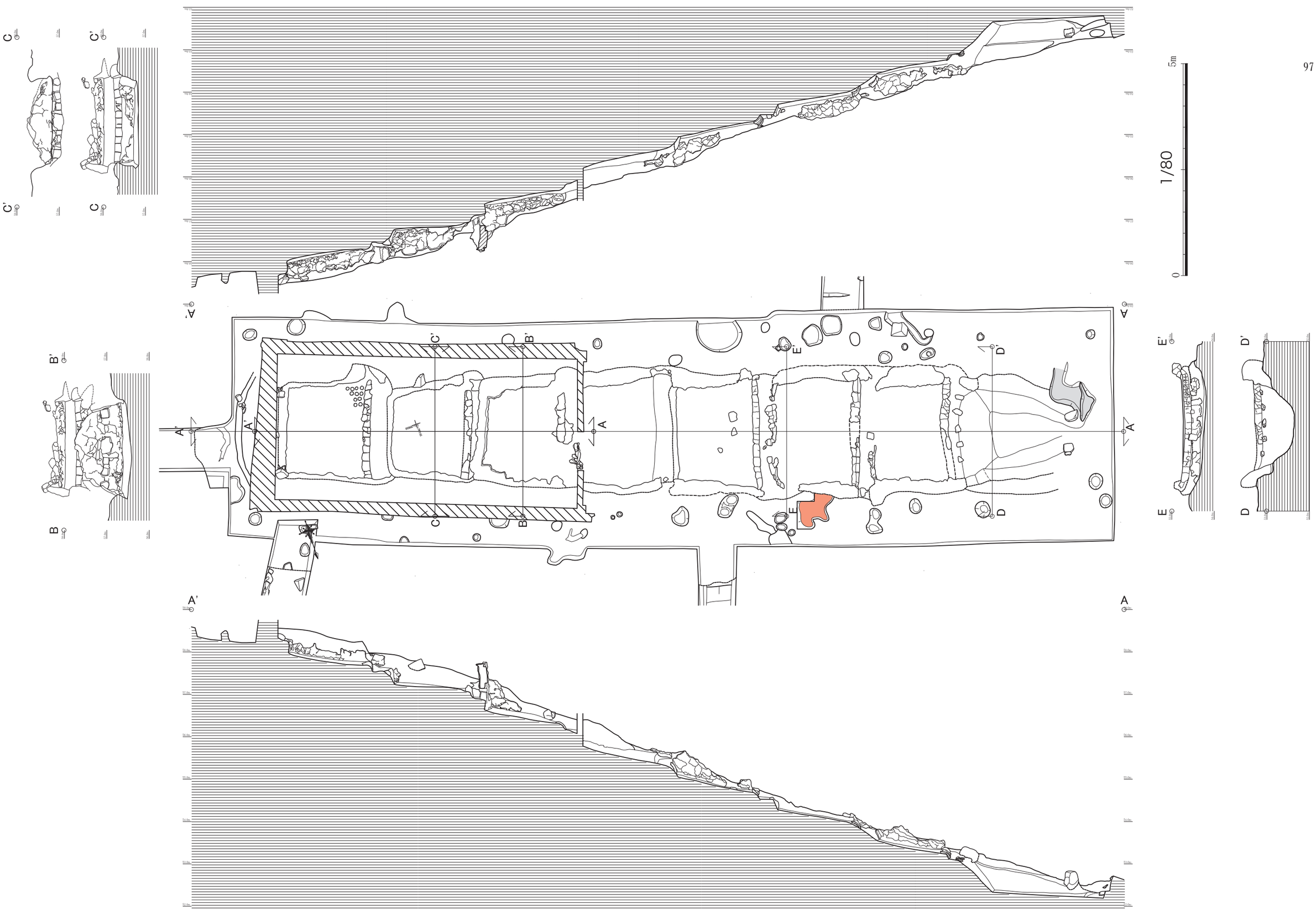


Fig. 61　飯洞甕下窯跡全体図（1）（1／80）

14トレンチ
17トレンチ
18トレンチ
19トレンチ
20トレンチ
23トレンチ
SP01
SP02
SP03
SX01
58.5m
60.2m
60.0m
56.2m
54.5m
53.5m
第14・18トレンチ土層
1．表土
2．堆積土　明黄褐色砂質土（2.5Y6/4）
3．堆積土　黄褐色砂質土（2.5Y8/6）
4．礫土　黄褐色砂質土（2.5Y7/4）
5．礫土　明黄褐色砂質土（2.5Y7/6）
6．黄褐色砂質土（2.5Y8/8）
第17トレンチ土層
1．表土　灰オリーブ色砂質土（7.5Y5/2）
2．堆積土　明黄褐色砂質土（2.5Y6/8）
3．堆積土
4．地山
第19トレンチ土層
1．撹乱
2．堆積土　明黄褐色砂質土（2.5Y6/8）
3．堆積土　黄褐色砂質土（2.5Y7/8）
4．地山？　明黄褐色砂質土（2.5Y8/8）
5．地山？　黄褐色砂質土（2.5Y7/8）
6．地山？　黄褐色砂質土（2.5Y/7）
7．地山？　浅黄褐色砂質土（2.5Y7/4）
第23トレンチ土層
1．表土
2．撹乱土　黄橙色砂質土（10YR8/8）
3．堆積土　褐灰色砂質土（10YR5/6）
4．堆積土　黄橙色砂質土（10YR8/6）
20トレンチ土層
1．表土
2．二次堆積土　黒褐色土（2.5YR5/6）
3．二次堆積土　明赤褐色土（7.5YR6/6）
4．ピット覆土　明黄褐色土（10YR7/6）
5．堆積土　黄橙褐色砂質土（2.5YR7/8）
6．堆積土　明黄褐色砂質土（10YR7/6）
7．地山　明黄褐色砂質土（2.5YR7/6）
燃焼室土層
1．撹乱
2．床砂2次堆積土　橙色砂質土（10YR6/8）
3．床砂2次堆積土　赤色砂質土（2.5YR6/8）
4．床砂2次堆積土　橙色砂質土（10R5/8）
5．堆積土　黄褐色土（2.5YR5/6）
6．天井部崩落土　赤色砂質土（10R5/8）
直下に薄く炭化物層有り
案内板
0
5m
1:80

Fig.62　飯洞甕下窯跡全体図（2）（1/80）

第４節　周辺部の調査

１．平成10年度　飯洞甕上窯跡周辺の調査

第１・５トレンチでは傾斜に併行して段切りが施され、平坦面を形作っている状況が観察された。また第２トレンチでは、１辺３ｍ以上・深さ30㎝ほどの掘り込みの中から、白色粘土の固まりが出土しており、生産に関わる遺構が窯周辺に存在することが確認された。

また１次調査区は焚口の前方にあたるが、彫唐津碗をはじめ比較的多くの遺物が出土している。調査区の南西端は落ち込みが土砂により埋められており、かつての川はこの南西を流れていたと考えられる。

２．平成11年度　飯洞甕下窯跡周辺の調査

飯洞甕下窯跡の南に南北方向の落ち込みが見られたため、その中程にトレンチを設定した（第２トレンチ）。遺物は比較的多く出土したものの遺構は検出されず、この落ち込みは後世の坑口の一部であると想定している。

窯後方の緩傾斜面に設定した第４トレンチでは焼土が検出されたが、周辺に窯構築材の散布は見られず、窯場施設に伴う遺構と考えられる。

３．平成27・28年度　飯洞甕上・下窯周辺の調査

約50m隔てて築かれた上窯と下窯の中間には、上下２段の平坦面が造成されている。

上段平坦面からは、炭混じりの土が互層に堆積した方形土坑と、テーブル状の板石組遺構が検出されたが（15トレンチＮグリッド）、いずれも類例が見当たらず、その性格については現在検討中である。なお板石については、窯跡の西を隣接して流れる小川の河床から切り出されたものと考えらえる。また板石組遺構の南側からは碗・皿類が集中して出土している。

板石組遺構の約７ｍ南からは、青銅製の箸が１本（両端欠損）出土した（15トレンチＷグリッド）。40年ほど前、近辺から同じく青銅製品(匙？）が３本掘り出されたとの情報を得ているが、これらの青銅製品については、朝鮮半島製の可能性が高い。またここでも隣接して碗・皿類が集中して出土している。

なお出土した食器類は、通常銘々器としての利用を連想させるが、朝鮮半島の事例を勘案すると、祭祀に伴う遺物である可能性が高い。

下段（５･22トレンチ）では白色粘土塊および、ハマが数多く出土しており（貝目痕跡を持つ物は少ない)、作陶および窯出後の作業空間であったと推定される。なお粘土塊は、そのまま陶土として利用可能とのことである。

・13トレンチ

２段掘り込みのロクロピットを1個検出した。唐津焼及び曾畑式土器、石器類が少量出土した。

・14トレンチ

溝状の落ち込みと小穴2個を検出した。小穴については、掘立柱建物である可能性が有る。当該期の唐津焼の他、縄文土器及び石器類が少量出土した。

・12トレンチ

当該期（近世初頭）の小穴１個と縄文時代前期の集石遺構を検出した。陶器（唐津焼）少量と、曾畑式土器及び石鏃等石器類が出土した。

・21トレンチ

北半では地山平坦面が検出されたが、南半部分は下窯跡南小谷（旧坑口）からの水みちとなり、礫が露出していた。

・15トレンチ

全体的に攪乱を受けていたが、調査坑北端では板石組の遺構が、中央では焼土坑が検出された。

板石組遺構の南から、完形品を含む碗皿類がまとまって出土した。

Ｎグリッドからは、テーブル状の板石組遺構の北で炭混じりの土が互層に堆積した方形土坑を検出した。

Ｅグリッドでは小ピット以外の遺構は検出されなかったが、平坦面東端で斜面を切岸状に掘削した状況を確認した。

Ｗグリッドの表土直下には、堅く締まった層が存在する。その下から青銅製の箸（両端欠損）が１本出土し、隣接して碗・皿類が集中して出土している。

・22グリッド

隣接する平成10年度第２試掘抗からは粘土塊が検出されているが、本試掘抗ではハマ（焼台）が数多く出土している。

・24トレンチ

ボーリングステッキ調査により、飯洞甕上窯跡の南約20mで焼土が確認されたため、追加調査を実施した。５×５ｍの範囲で表土を除去した後に、約１×８ｍの試掘抗を設定し掘り下げを行った。

マーブル状胎土の甕や高台内まで施釉する土灰釉の皿が数多く出土しており、これらは皿屋上窯跡の製品様相と一致する。約１ｍの深さで焼けたボタ（石炭屑）が厚く堆積しており、かつて存在していた窯が、採炭により破壊された可能性も有る。

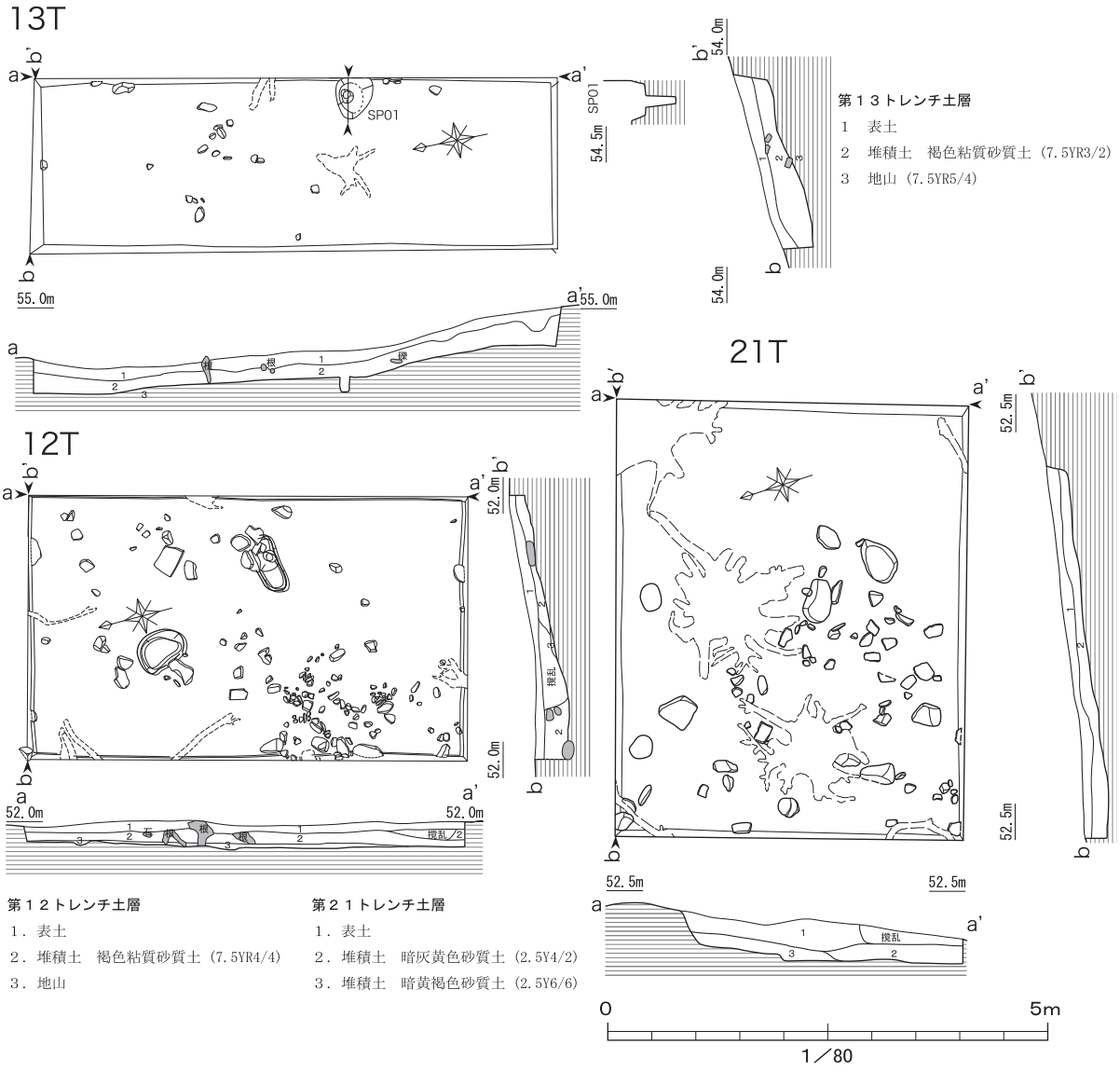
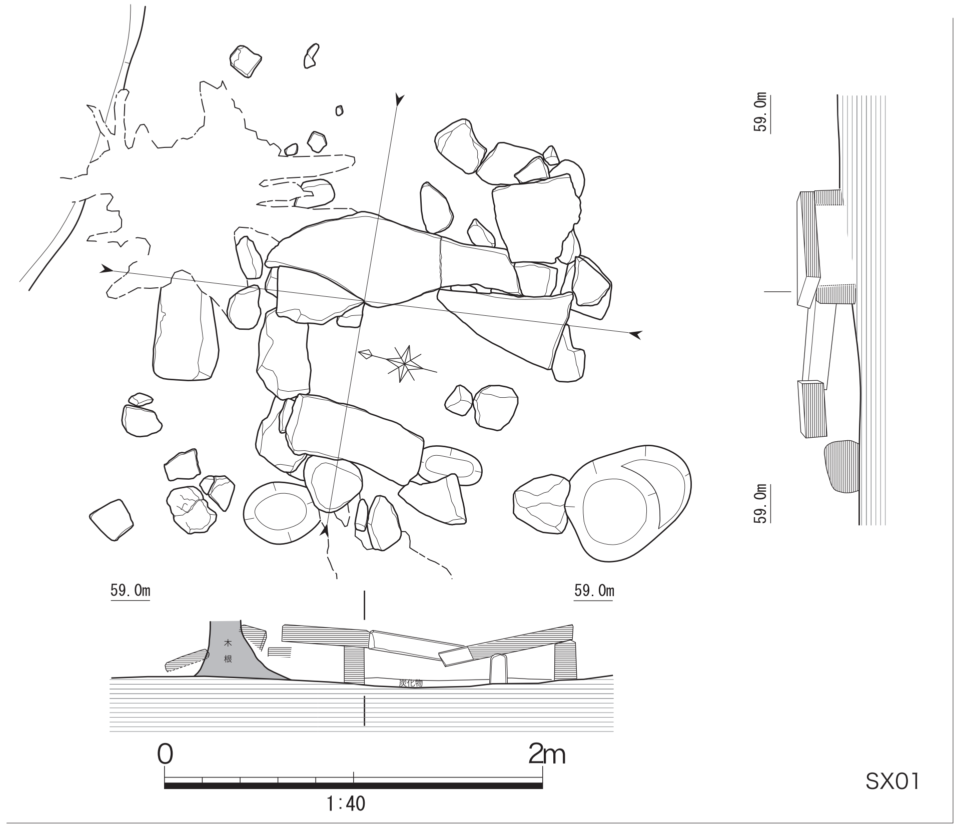
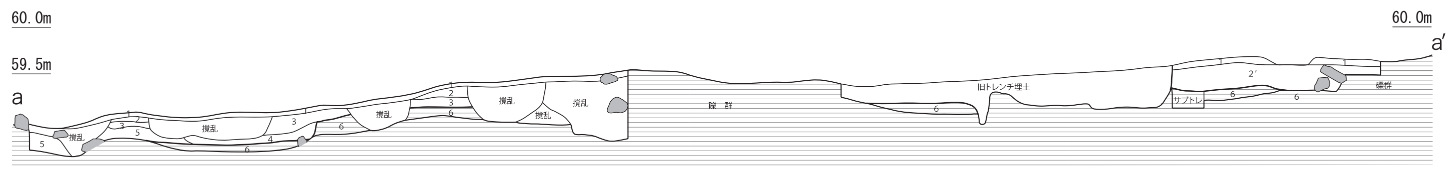


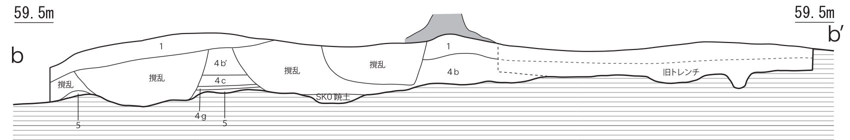
Fig. 63　飯洞甕窯跡周辺12、13、21トレンチ図（1／80）





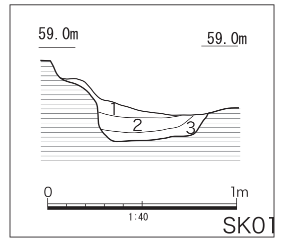
１５トレンチ土層

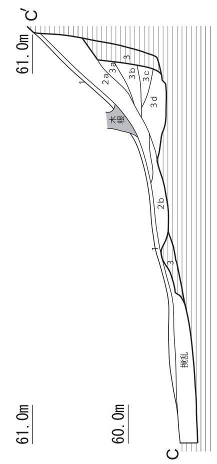
1. 表土
2. 堆積土　灰褐色粘性砂質土（7.5YR4/2）
2’堆積土　灰褐色粘性砂質土（7.5YR5/2）
3. 堆積土　褐色粘性砂質土（7.5YR4/4）
4. 堆積土　褐色粘性砂質土（7.5YR5/4）
5. 堆積土　にぶい褐色粘性砂質土（7/5YR5/2）
6. 地山



１５トレンチ　ＳＫ０１土層

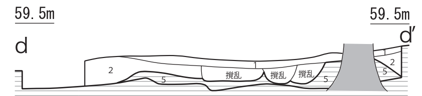
1. 覆土　灰褐色砂質土（7.5YR5/2）
2. 覆土　にぶい赤褐色砂質土（5YR4/4）
3. 覆土　にぶい褐色砂質土（7.5YR5/4）

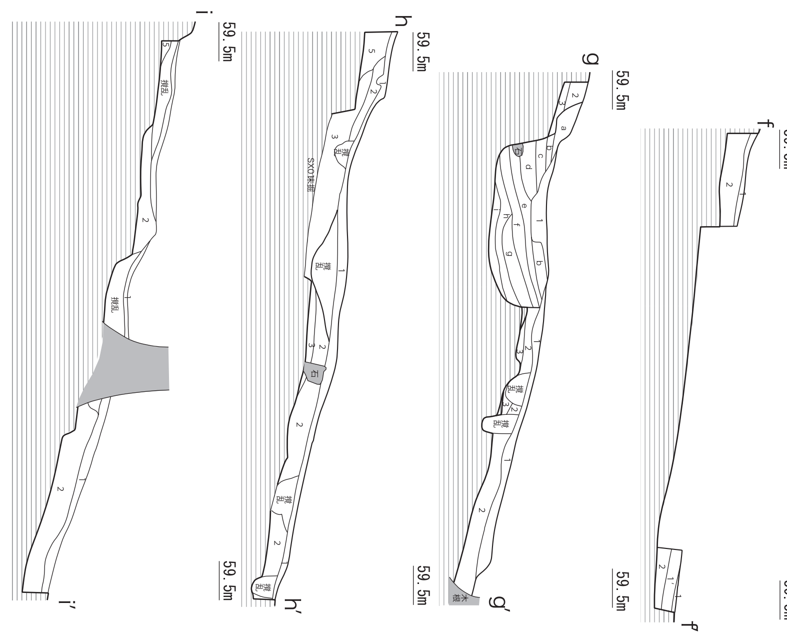


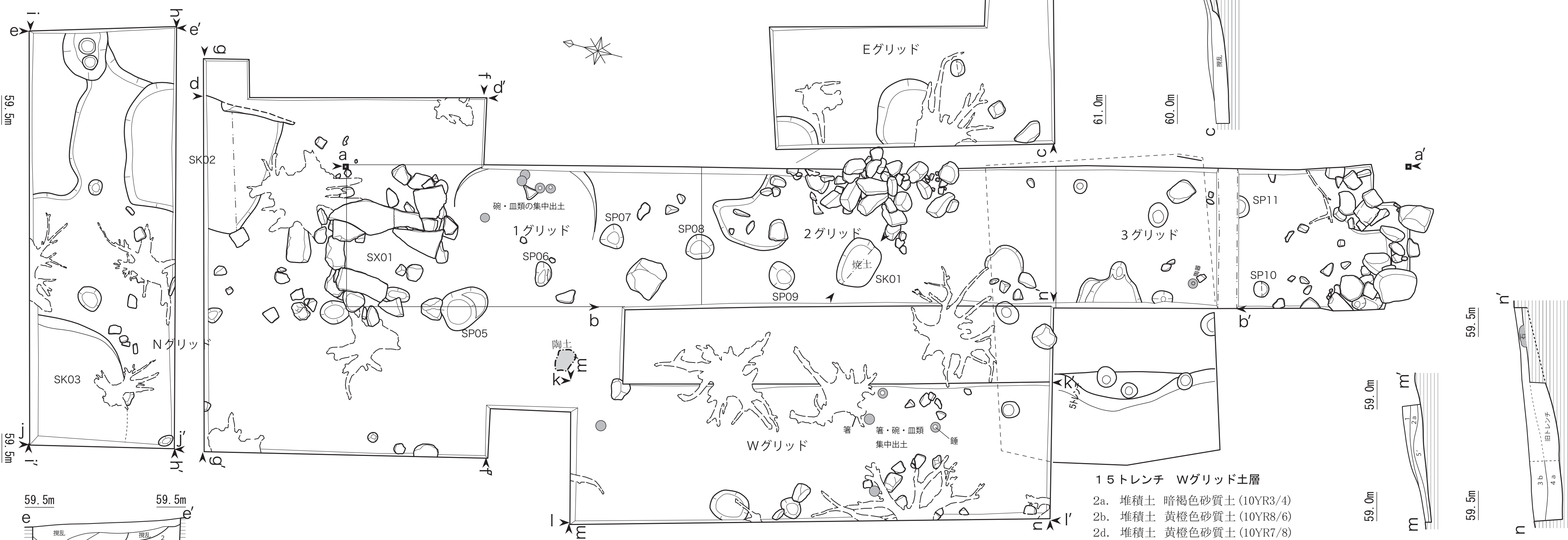


１５トレンチ　Ｅグリッド土層

2a. 堆積土　にぶい黄橙色砂質土（10YR7/3）
2b. 堆積土　黄橙色砂質土（10YR7/8）
3a. 堆積土　黄橙色砂質土（10YR7/8）
3b. 再堆積土？　黄橙色土砂質土（10YR8/8）
3c. 再堆積土？　黄橙色土砂質土（10YR8/8）
3d. 再堆積土？　黄橙色土砂質土（10YR8/8）





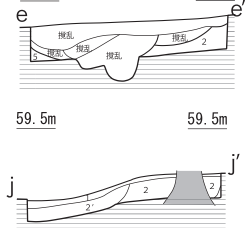


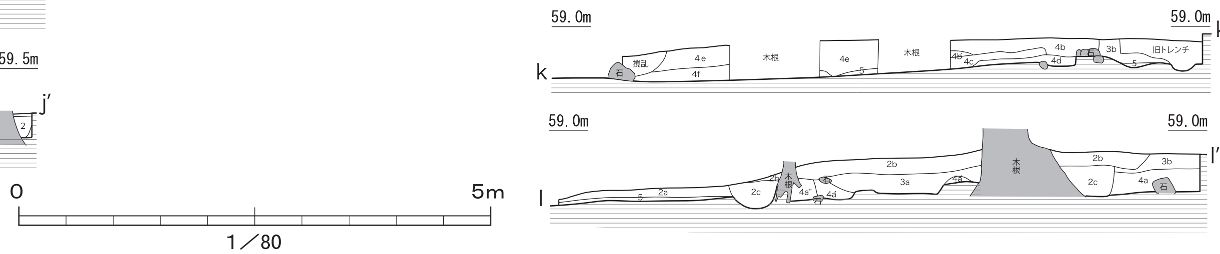
１５トレンチ　Ｎグリッド土層

1. 表土
2. 堆積土　明黄褐色砂質土（10YR6/6）
3. 堆積土　黄橙色砂質土（10YR8/8）

１５トレンチ　ＳＫ０２土層

a. 覆土　褐色粘性砂質土　炭化物少（10YR4/6）
b. 覆土　褐灰粘性色砂質土　炭化物含（10YR4/1）
c. 覆土　明黄褐色粘性砂質土　炭化物少（10YR6/8）
d. 覆土　黄橙色粘性砂質土　炭化物含（10YR7/8）
e. 覆土　明黄色粘性砂質土　炭化物含（10YR6/8）
f. 覆土　黄橙色粘性砂質土　炭化物含（10YR7/8）
g. 覆土　褐灰色粘性砂質土　炭化物多（10YR4/1）
h. 覆土　黄橙色粘性砂質土　炭化物含（10YR7/8）
i. 覆土　黒色粘質土　炭化物多（7.5Y2/1）





１５トレンチ　Ｗグリッド土層

2a. 堆積土　暗褐色砂質土（10YR3/4）
2b. 堆積土　黄橙色砂質土（10YR8/6）
2d. 堆積土　黄橙色砂質土（10YR7/8）
3a. 堆積土　明黄褐色砂質土（10YR7/6）
3b. 堆積土　明黄褐色砂質土（10YR6/6）
4a. 整地土（締り強）黄色橙色砂質土（10YR8/8）
4a’. 堆積土　黄橙色砂質土（10YR8/6）
4a”. 堆積土　明黄褐色砂質土（10YR7/6）
4b. 整地土（締り強）黄橙色砂質土（10YR8/6）
4b’. 整地土（締り強）橙色砂質土（10YR7/8）
4c. 盛土　明黄褐色砂質土（10YR7/6）
4d. 盛土　明黄褐色砂質土（10YR7/8）
4e. 堆積土　明黄褐色砂質土（10YR7/6）
4f. 堆積土　明黄褐色砂質土（10YR7/6）
4g. 堆積土　赤褐色土（10R4/4）下部に白色灰が堆積
4h. SK01 覆土　暗赤色土（7.5R3/4）
5. 地山　黄橙色砂質土（10YR8/8）

Fig. 64　飯洞甕窯跡周辺15トレンチ図（1／40、1／80）

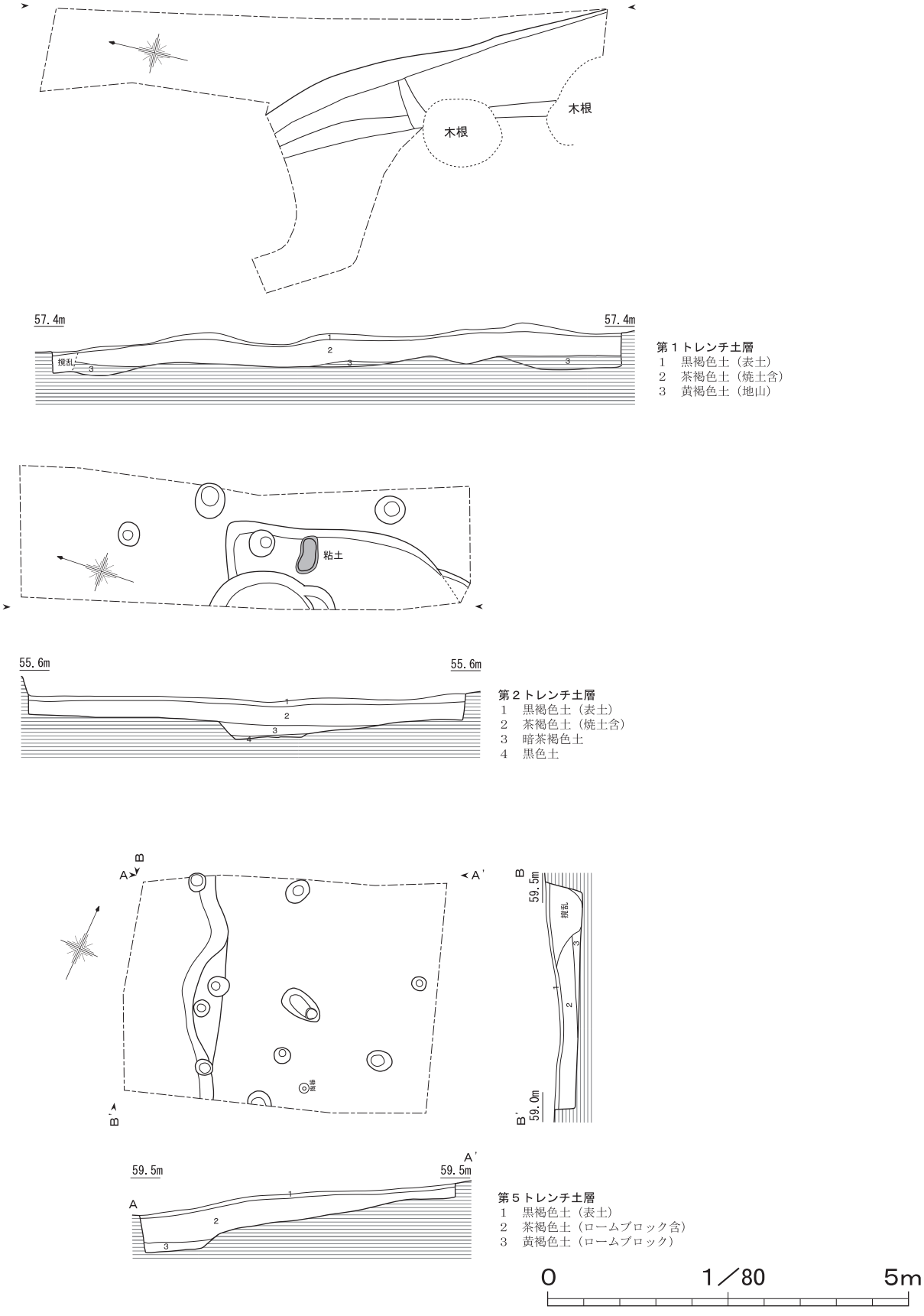
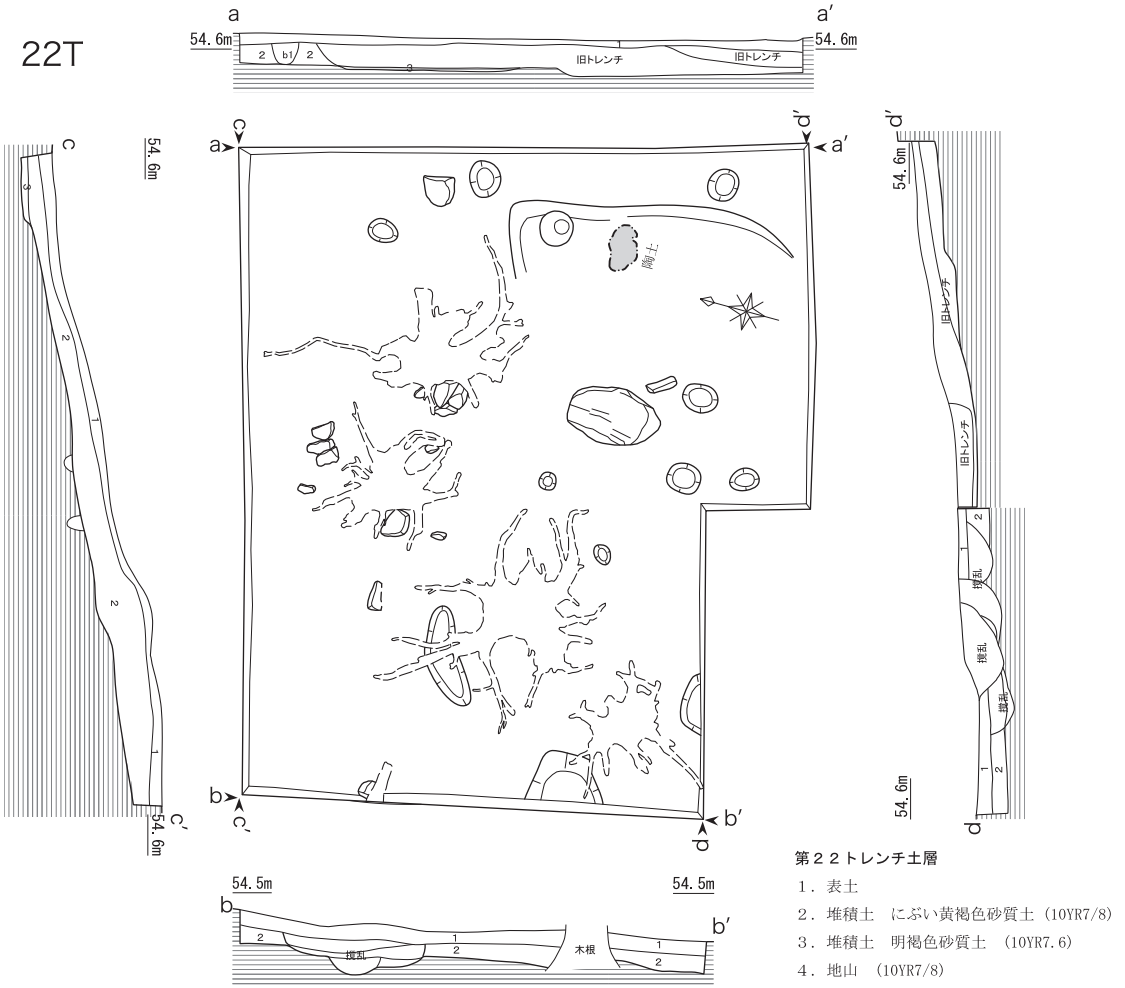


Fig. 65　飯洞甕窯跡周辺１、２、５トレンチ図（1／80）



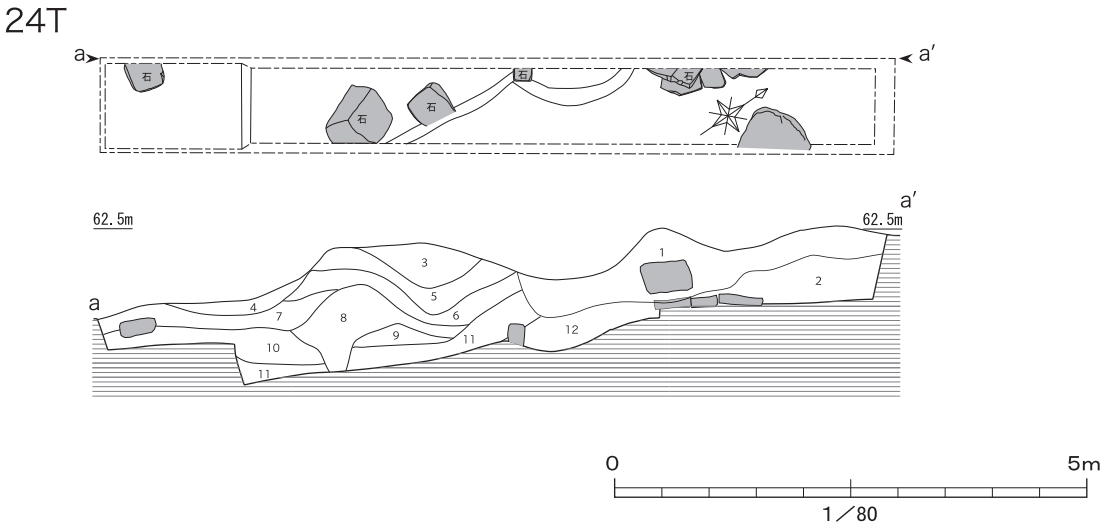


Fig. 66　飯洞甕窯跡周辺22、24トレンチ図（1／80）

第５節　遺　物

Fig67～81が平成10・11年度、Fig82～88が平成27・28年度の調査で出土した遺物である。

「岸岳古窯跡群Ⅲ」においては、Fig67～75を飯洞甕上窯跡出土、Fig76～81を飯洞甕下窯跡出土として報告している。

Fig82～86（平成27・28年度）が上窯と下窯間の斜面平坦部（15・22トレンチ）と、上窯南東に設定した24トレンチからの出土遺物、Fig86が下窯周辺（12～14・17～20・21・23トレンチ）から出土した遺物である。またFig88には、縄文時代の遺物を一括して掲載した。

発掘された陶器には、皿・碗・鉢・壺・小坏・瓶・蓋・壺・鉢・徳利・ロクロの軸受け・錘・片口鉢・甕・甕蓋などがあるが、特殊なものとして水滴や陶偶などが出土している。

飯洞甕上・下窯で焼成された製品は、土灰釉を主体とし、客体的に長石系釉が存在する。皿類では原則的に重ね積みを行わない。皿屋窯や帆柱窯で見られた胎土目は確認されていないが、蛇目釉剥ぎ（◎）や砂目（∵）、陶石目（□）などが少量出土している。底部の施釉範囲については、腰部以下が露胎となるものが最も多いが、高台脇まで施釉するもの、高台内部まで全面施釉するものも一定量存在する。高台畳付の調整においても、工具削りによって平らに仕上るものと、端部が丸く納まるものの２者が有るが、全面に施釉する場合、高台調整は全て後者である。なお、全面施釉の高台畳付けには砂粒が付着しており、窯の床面は砂床であったと推定できる。

皿類　丸皿（Ⅰa・b類）、端反皿（Ⅱa～d類）、溝縁皿（Ⅲ類）、縁立皿（Ⅳ類）、波縁皿（Ⅴ類）が出土しているが、そのほとんどは丸皿と縁立皿であり、その他の器形は僅かである。

釉薬に関して述べると、丸皿は、Fig68－12・13・15、Fig82－1・2・10、Fig85－５が長石系釉である以外は全て土灰釉である。Fig68－12・13、Fig85－5が文様を持つことからも、長石系釉製品は丸皿の中では特殊例として考えて良いだろう。なおFig68－6は土灰釉の上に濃緑色の釉薬を流しかけているが、縁立皿（Fig68－27）や小鉢（Fig70－1・2・5・6）などに類例があることから、一定の施釉技法として確立していたのであろう。縁立皿では、土灰釉と長石系釉がほぼ半々の割合で施釉されているが、Fig68－31と32に関しては、絵付けを施すことから有脚（Fig71－22）の向付である可能性もある。

Fig85－1は、内面はもとより高台内にも鉄絵を描いている。岸岳古窯跡群出土とされる製品によく見られる抽象的な文様で、見込みには３か所の陶石目が存在する。一覧表では皿に分類しているが、残存する口縁のカーブを詳細に観察すると、器形は隅丸方形となる可能性が高い。また飯洞甕窯から出土する波縁皿（Ⅲ類）には文様を描くものがあるが（Fig85－3・4）、本窯から出土する絵唐津には、黒色ではなく濃緑色に発色するものが多い。

また目跡について述べると、丸皿では蛇目釉剥ぎが1点（Fig82－20）見られるのみであるが、端反皿には一定量の蛇目釉剥ぎや砂目（Fig68－7、Fig77－14、Fig82－36、Fig83－1・3、Fig87－11）が存在する。さらに陶石目は、鉢Ⅰ（向付？）や中・大型の皿で使用している。

なお、朝鮮半島産の灰青沙器が２点出土している（Fig70－21・22）。

碗類　Ⅰ類からⅤ類の全てが出土しているが、通常サイズのものはほぼⅡ類で、土灰釉製品である。またⅠ類でも大型品の２個体（Fig69－9・11）と装飾を施す茶碗であるⅣ類は、長石系釉製品となっている。No９は見込みから底裏にヒビが貫通しており、これに鉄釉を垂らして塞いでいる。Ⅳ類は、Fig69－1・4・6が彫唐津、２が絵唐津、３と５が彫絵唐津であり、No１の高台は二重高台となっている。なおFig84－4は作りが薄手で、茶碗と評価しても良い仕上がりである。

さらに注目すべき出土遺物として、天目茶碗（Fig69－21、Fig84－16）があげられる。上窯北西平坦面からの出土であるが、美濃大窯第４段階末の製品で、16世紀末の年代が与えられている。（註１）

またFig77－22の鉄釉碗も胎土が異なっており、他窯からの搬入品であろう。

鉢類　小鉢では、碗形を呈するもの（Ⅰ類）と筒形を呈するもの（Ⅱ類）、大型の鉢（Ⅲ類）が出土している。Ⅱ類（Fig70－1～8、Fig84－19・20・22・23）には、土灰釉の上にさらに濃緑色の釉薬を上掛するものが多く見られる。Fig70－19～20は口縁が内側に屈曲する器形で、帆柱窯の例と同様（Fig53）香炉と考えたい。

またⅠ類では、変形皿Ⅵa類と類似したものが比較的多く出土している（Fig70－11・12、Fig78－15、Fig83－4・5・6）。皿屋窯のように口縁鉄釉掛けはしないが、長石系釉を厚くかけ、貫入が景色となっている。一方、単純口縁のものには文様を描くことが多く、Fig78－7・8は幅広の外反する口縁内面に列点文を廻らし、後者は見込みにも文様を描いている。なお描画の釉薬は、前者が濃緑釉、後者が鉄釉である。

さらに、いずれも破片ではあるがFig70－13～18、Fig84－19・20は筒形（Ⅱ類）を呈すると推定され、Fig70－13とFig84－19は四方手の筒向付となろう。なお、Fig70－9・10は破片資料であるが、内面と外面とで釉薬が異なる（透明－緑色、透明－褐色）、特殊な施釉を行っている。またFig71－12は、長石系釉を掛けた耳付鉢の破片であり、濃緑色の筆絵が描かれている。

叩き成形で大型の鉢（Fig72－11～15）には、取手の付くもの、幅広の複合口縁を持つものなどが出土している。またFig87－25は、皿屋上窯出土例と同様釜の把手部分と考えられる。

小坏　Ⅰ類とⅡ類が出土している。小坏については、長石系釉が主体で、土灰釉が客体的である。底部は高台を削り出すものと、碁笥底の２者が存在する。また口縁に鉄釉で黒く輪を描く、いわゆる皮鯨手（Fig84－24・25）も出土している。

壺類　ロクロ成形と叩き成形の２者が出土している。両者とも無・短頸で中型のもの（Fig71－3・4・9・10）、もしくは蓋受を作り出すもの（Fig71－8、Fig79－14）は、水指への転用も可能である。Fig71－9・10は土灰釉製品で、その器形から水差しと考えたい。

甕類　叩き成形の甕にも、小型の甕（Fig71－5～7等）と比較的大型の甕が存在する。小型の甕のNo５は、内外面にタタキ痕跡を明瞭に残すが、それが一種の模様となっている。また口縁は「Ｌ」字形を呈するが、通常外に折り返すところを、上部から粘土帯を貼り付けている。なお極小の甕も２個体出土している（Fig71－6・7）。大型の甕にはⅠ類・Ⅳ類・Ⅵ類が存在するが、内面のタタキ目を撫でて磨り消しているものが多く、皿屋上窯製品と類似する。口縁形態には、１a・２a・２b・３bと幾つかのバリエーションが見られる。

瓶・徳利　瓶はⅠ類とⅡ類が出土している（Fig71－1・2、Fig85－8）。岸岳古窯跡群でのⅡ類の出土は本例（Fig71－2）のみで、さらに鉄釉を掛けるなど特殊である。またFig85－8は口縁を欠損するもの、肩部以上には土灰釉に濃緑釉を上掛けしている優品である。

胴部が比較的細い徳利Ⅰ類は、2例（Fig79－8、Fig86－17）出土しているが、いずれも濃緑の飴釉を掛けている。胴下部が張るⅡ類（舟徳利）が数多く出土し、皿屋上窯との関連性をうかがわせる。胴部は紐作りのタタキ成形、口頸部はロクロ整形であるが、胴部内面には、細かい同心円を刻んだ当て具痕跡が明瞭に残る。なおFig71－16は、朝鮮半島産のものに良く見られる、口縁下部が膨らむ器形であるが（Ⅲ類）、長石系釉の上に緑色の釉薬で文様を描く特殊例である。

片口鉢　朝鮮王朝期における、甕器主要器種（甕・甑・片口）の内の一つである。本窯からは数多く出土している。口縁形態は、１a類、２a類、２c類、３類が出土している。

蓋　小型でロクロ成形と、中・大型の叩き成形の２者が存在する。口径から類推すると、前者は徳利とセットになるのであろうか。Ⅲ・Ⅳ類は甕の蓋であるが、Ⅴ類は伝世品の類似から水指の蓋と考えられる。

擂鉢　釉薬は不明であるが、Ⅱ類が出土している（Fig71－39～41、Fig78－18・19）。

ロクロの軸受け　土灰釉（Fig71－24・25 、Fig86－23）と長石系釉製品（Fig71－No26）が出土している。

錘　無釉と土灰釉製品が出土している。

水滴　土灰釉製品で、扁平な体部である（Fig71－21）。

陶偶　動物を手づくねで成形し鉄釉を掛けた陶製品である（Fig85－21）。頭部と脚を１本欠損しており、背面に別個体の接続痕跡がある。

特殊な器形　Fig85－7は、頸部が緩やかに屈曲し直線的に立ち上がる、薄づくりの叩き成形の製品である。茶道具の水指の可能性もあるが、径が小さい。花生か？

不明製品　Fig71－22・23とも長石系釉を掛けている。22は向付の脚とも考えられるが、玉状の23は何に使用されるものなのか不明である。

硯　粘板岩製の硯である（Fig71－42）。

青銅製箸　両端を欠損しているが、残存長16.3㎝を測る（Fig85－20）。基部は断面長方形を呈すが、約1/3から先は円形となる。付近からは、完形に近い碗皿類がまとまって出土している。朝鮮半島産か？

窯道具　トチンには「I」形（A）と円柱形（B）の両者がみられ、ハマも出土している。ハマには貝目痕跡を残すものや２つ重ねたものが存在する。またFig86－21・22は素焼きの製品で、ロクロに据える削り台と考えられる。

その他、平成27・28年度の調査で取り上げたトチンとハマの数量は、以下のとおりであるが、トチンは「Ｉ形」が85％と主体を占める。円柱型は15％に留まり、21Ｔと22Ｔで比較的多く出土しているが、下窯周辺と上窯周辺での出現率は、ほぼ変わらない。

ハマは、貝目無が82％、有が18％であるが、その出現率を見ると、134点出土した22トレンチにおいては僅か２％で、貝目痕跡を持つハマは下窯周辺から多く出土していることがわかる。

トチン				
トレンチ	A	B	合計	出土率
19Ｔ		1	1	100％
20Ｔ	4		4	0％
23Ｔ	2		2	0％
21Ｔ	39	5	44	11％
15Ｔ	2		2	0％
22Ｔ	96	22	118	18％
24Ｔ	12		12	0％
計	155	28	183	15％
	85％	15％		

ハマ				
トレンチ	無	貝	合計	出土率
18Ｔ		13	13	100％
19Ｔ	14	11	25	44％
20Ｔ	4	2	6	33％
21Ｔ	10	9	19	47％
15Ｔ	6		6	0％
22Ｔ	131	3	134	2％
24Ｔ	13	1	14	7％
計	178	39	217	
	82％	18％		

Tab. 11　窯道具の出土数と出土率

註１　藤沢良祐氏と楢崎彰一氏のご教示による。

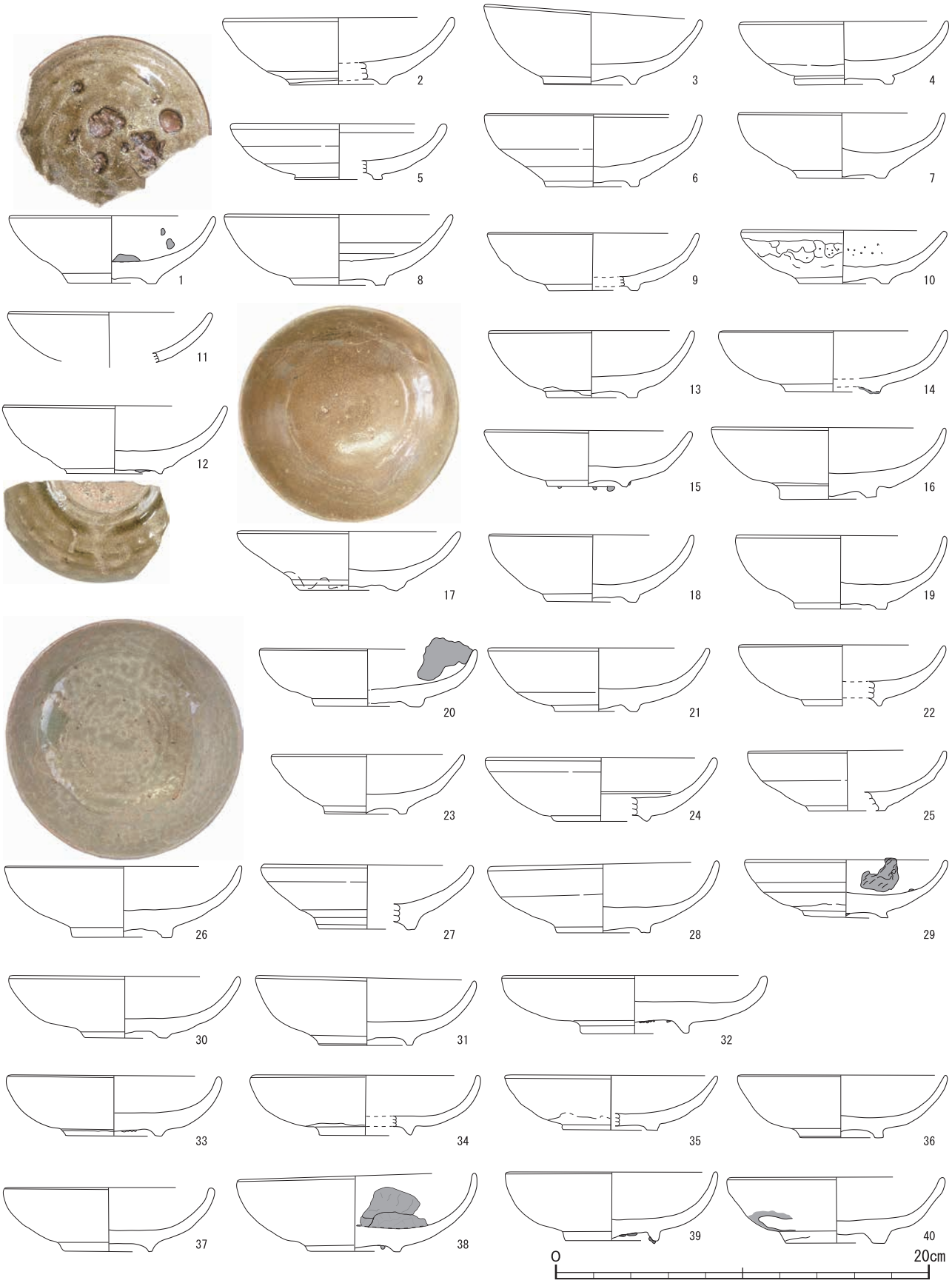


Fig. 67　飯洞甕窯跡出土遺物実測図（1）

Fig. 68　飯洞甕窯跡出土遺物実測図（2）

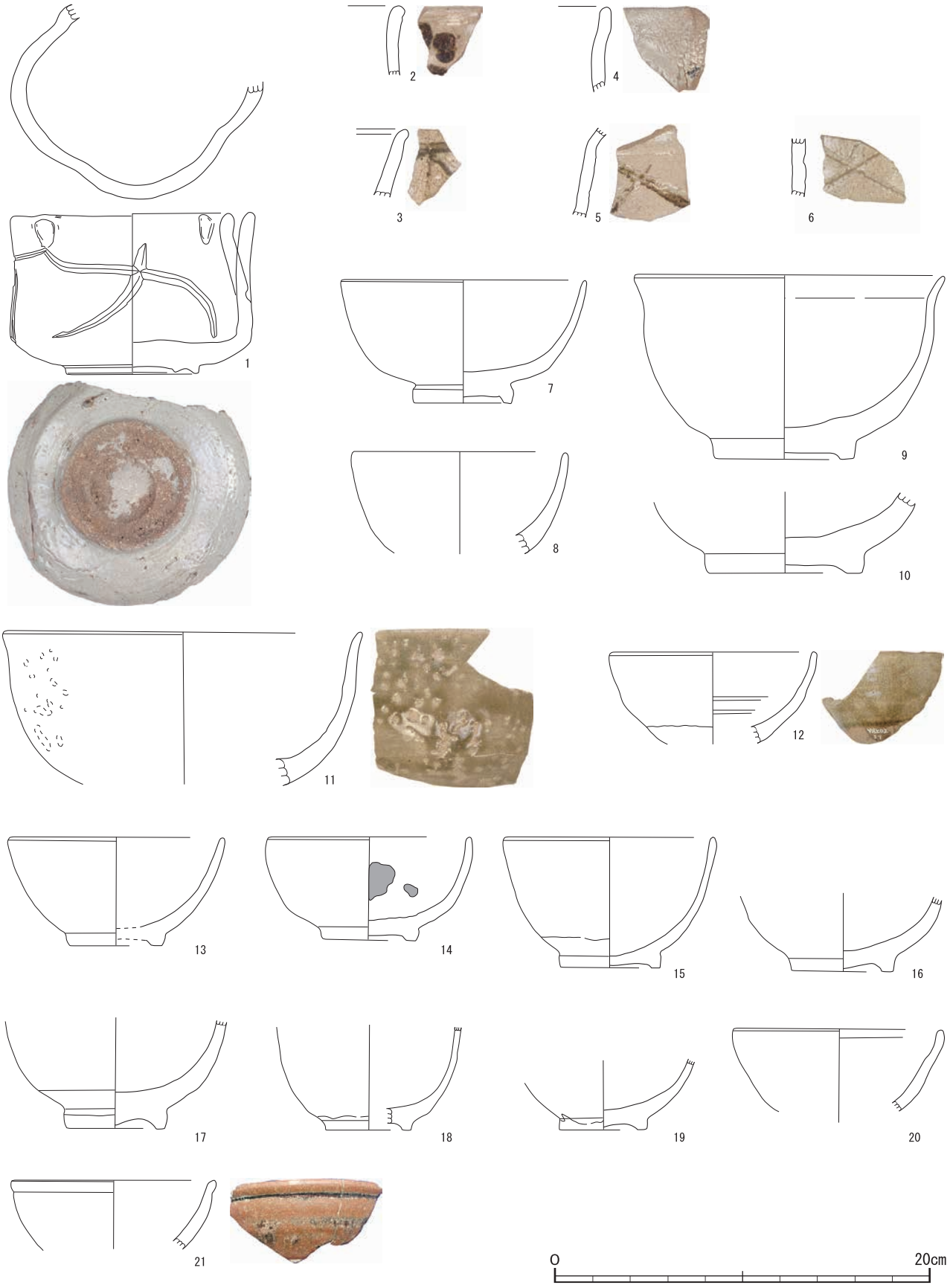


Fig.69　飯洞甕窯跡出土遺物実測図（3）

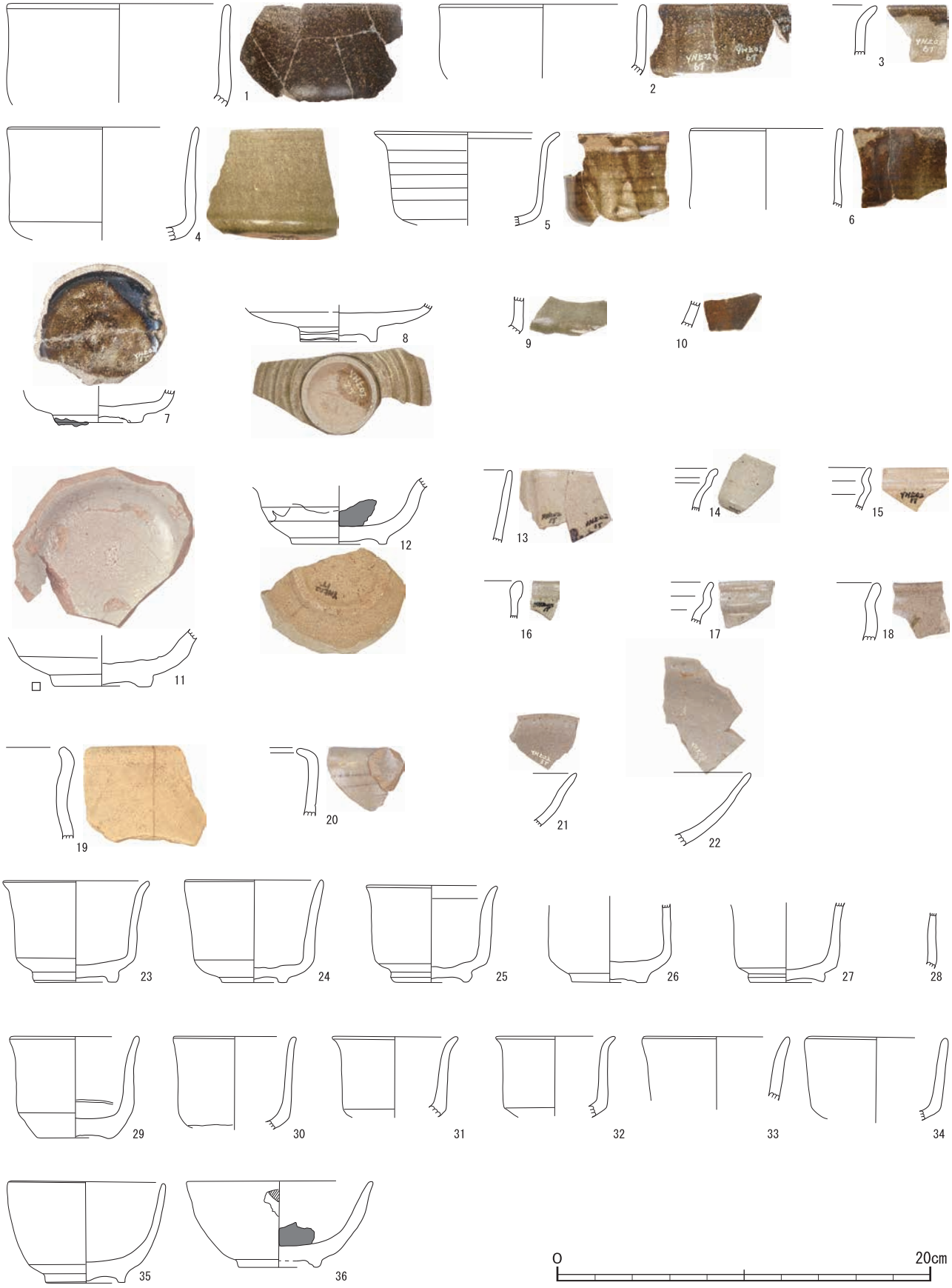


Fig. 70　飯洞甕窯跡出土遺物実測図（４）

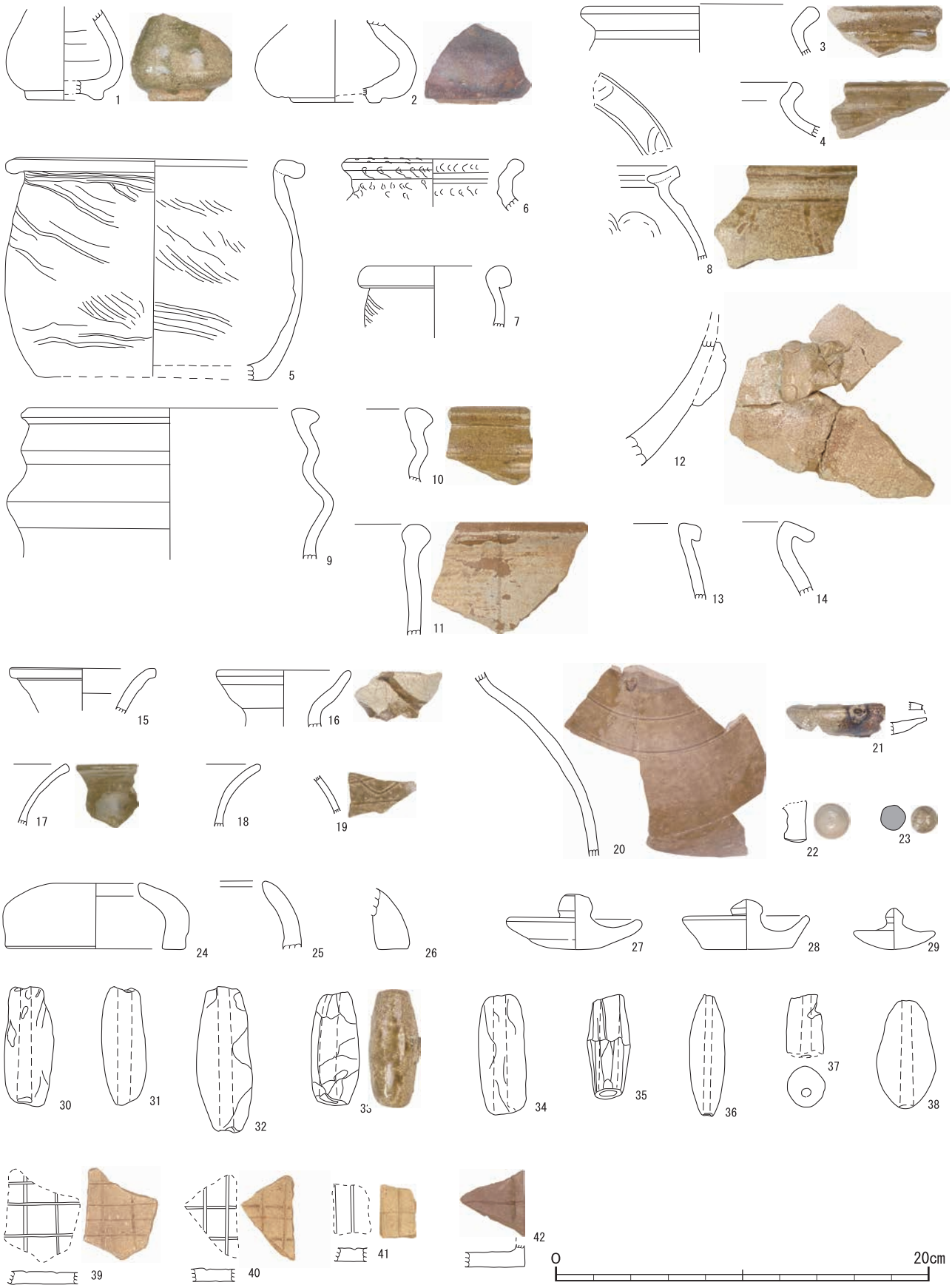


Fig. 71　飯洞甕窯跡出土遺物実測図（５）

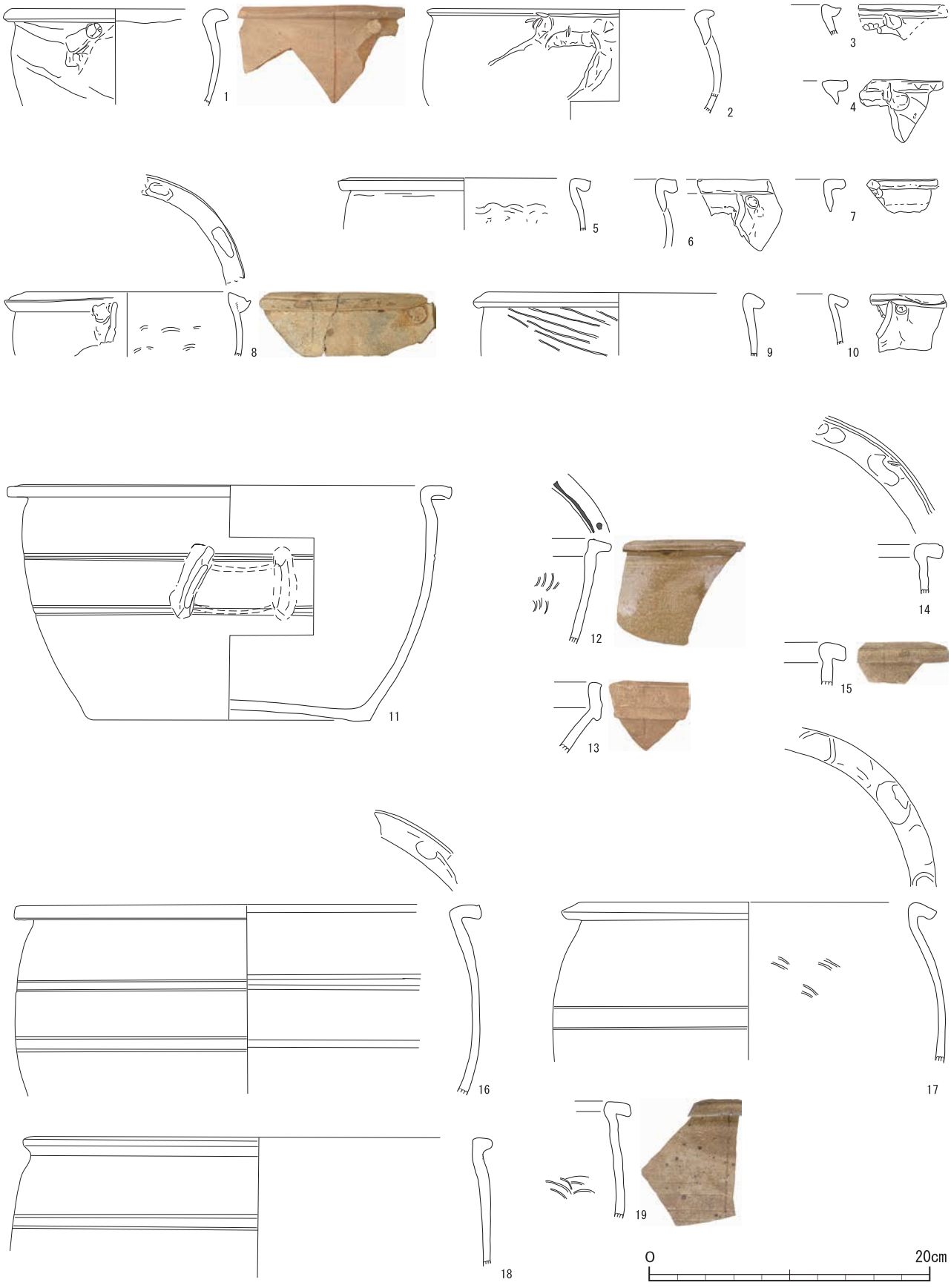


Fig. 72　飯洞甕窯跡出土遺物実測図（6）

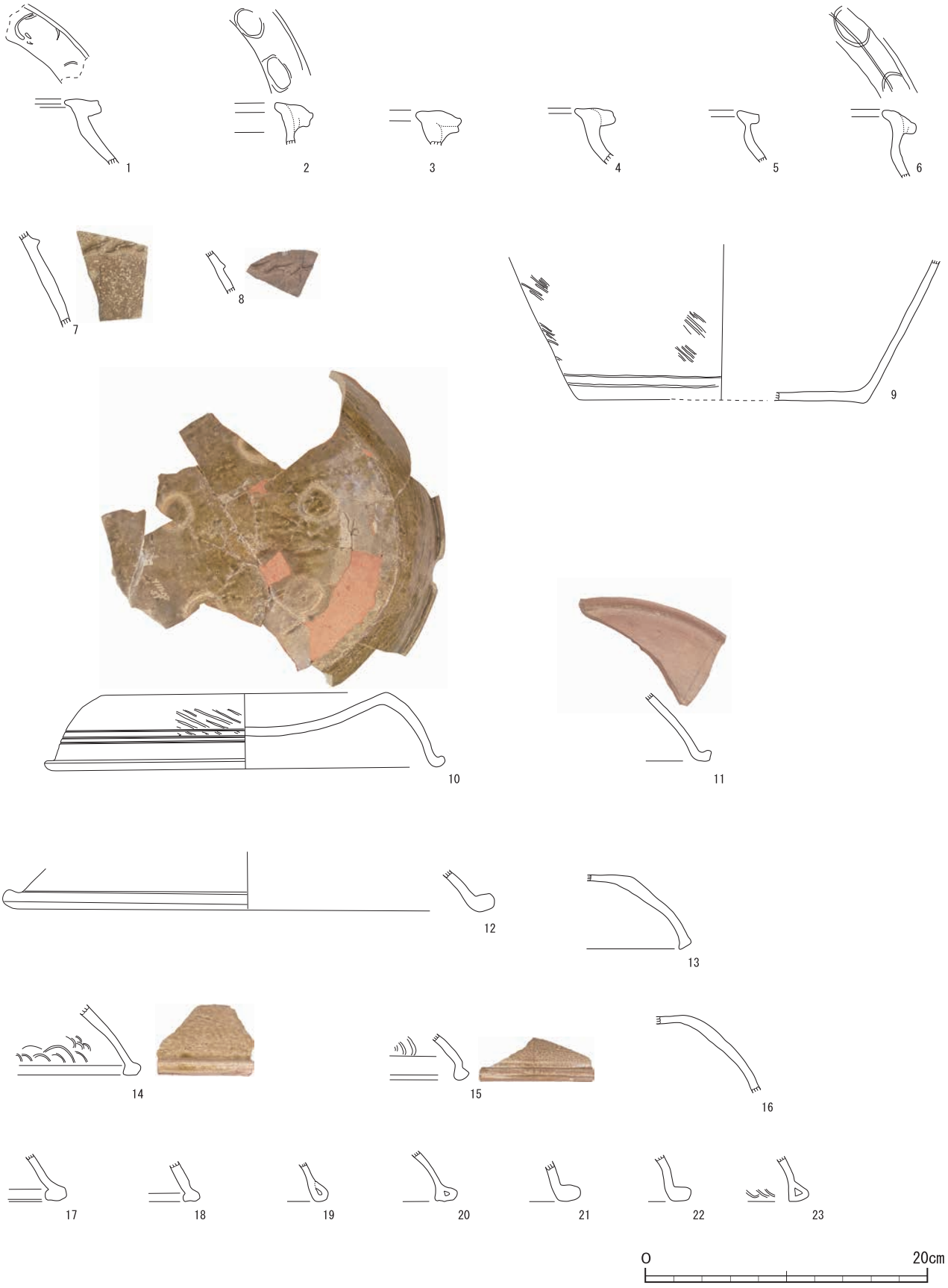


Fig. 73　飯洞甕窯跡出土遺物実測図（７）

Fig. 74　飯洞甕窯跡出土遺物実測図（8）

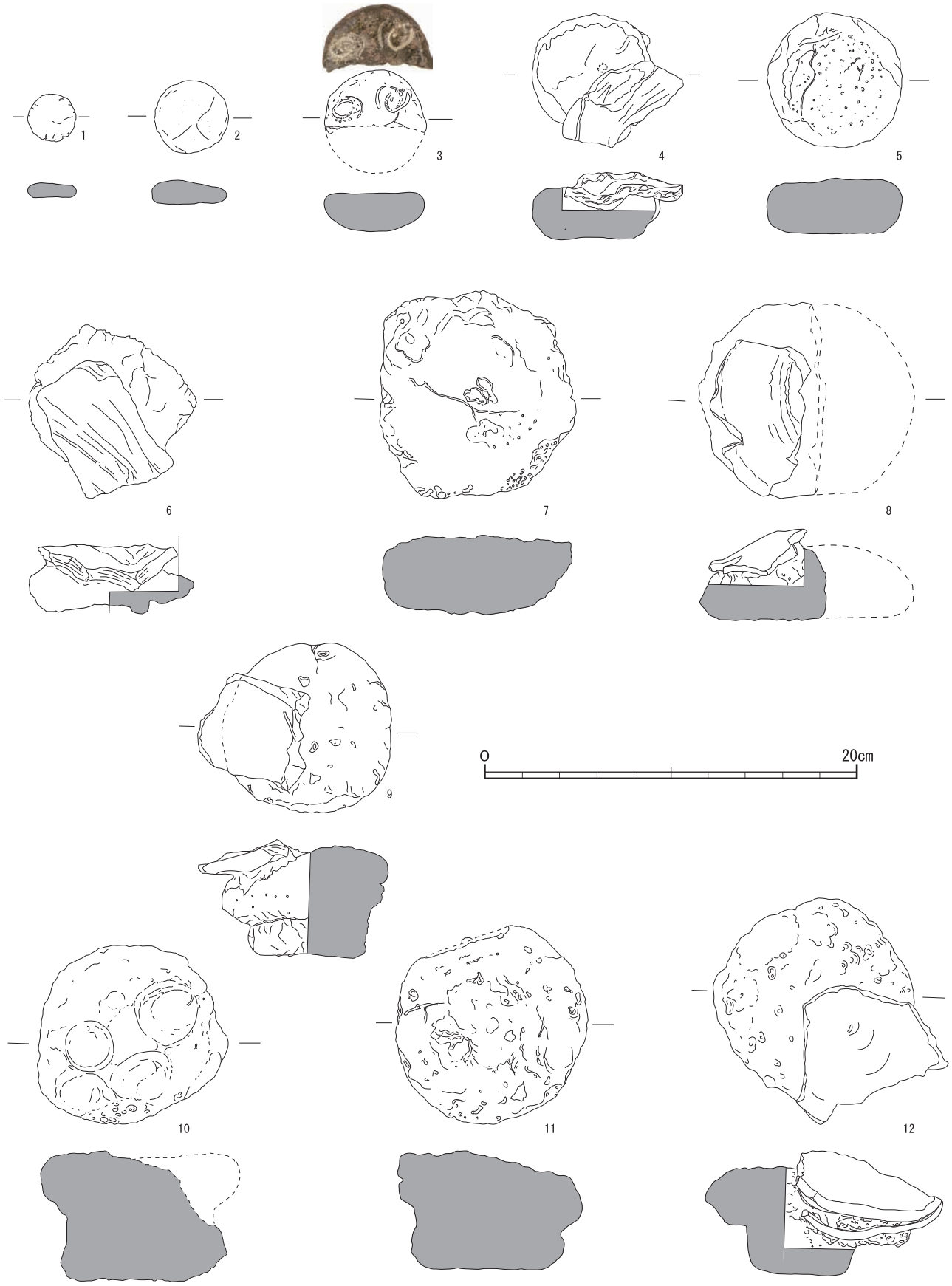


Fig. 75　飯洞甕窯跡出土遺物実測図（9）

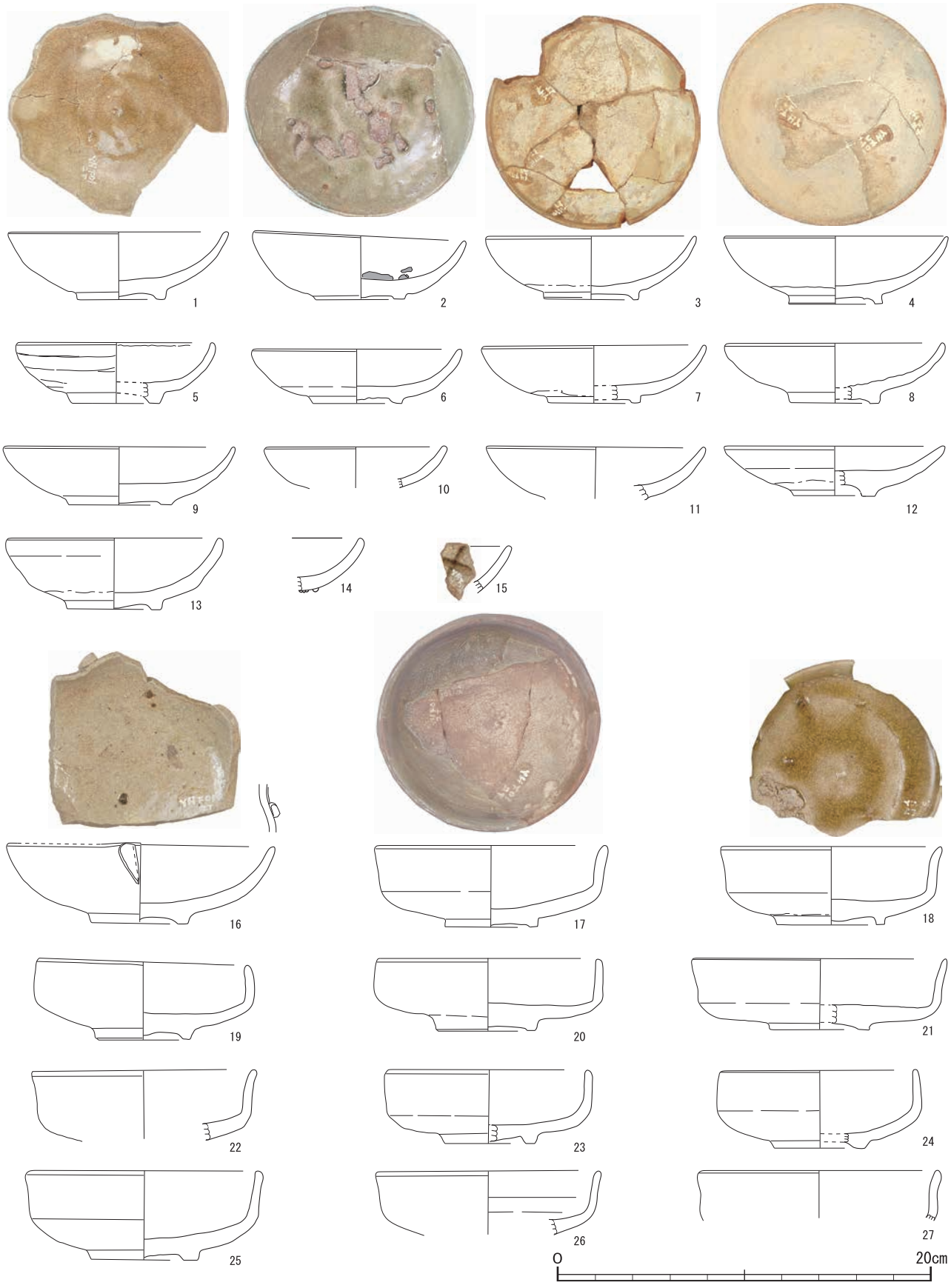


Fig. 76　飯洞甕窯跡出土遺物実測図（10）

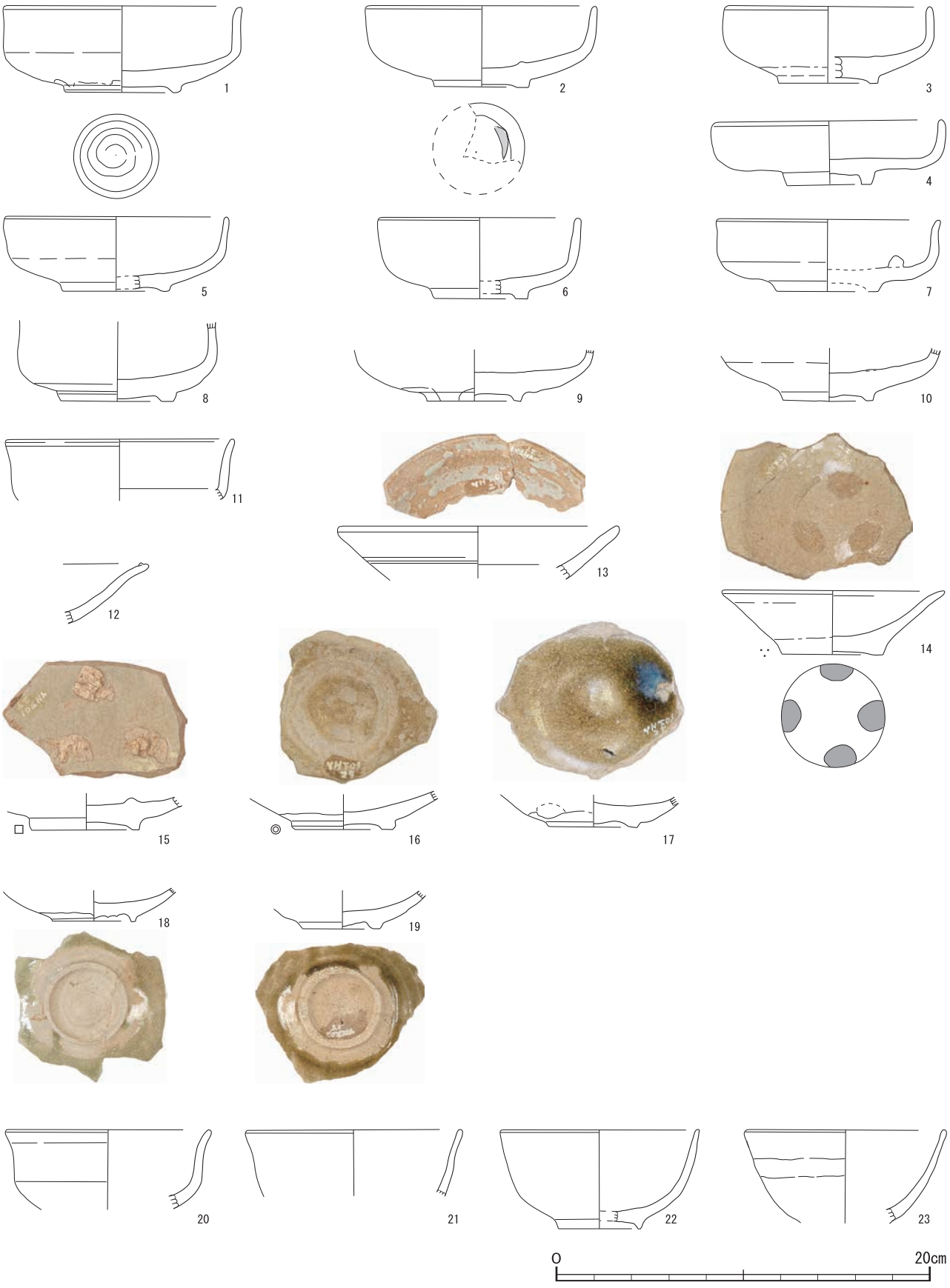


Fig. 77　飯洞甕窯跡出土遺物実測図（11）

Fig. 78　飯洞甕窯跡出土遺物実測図（12）

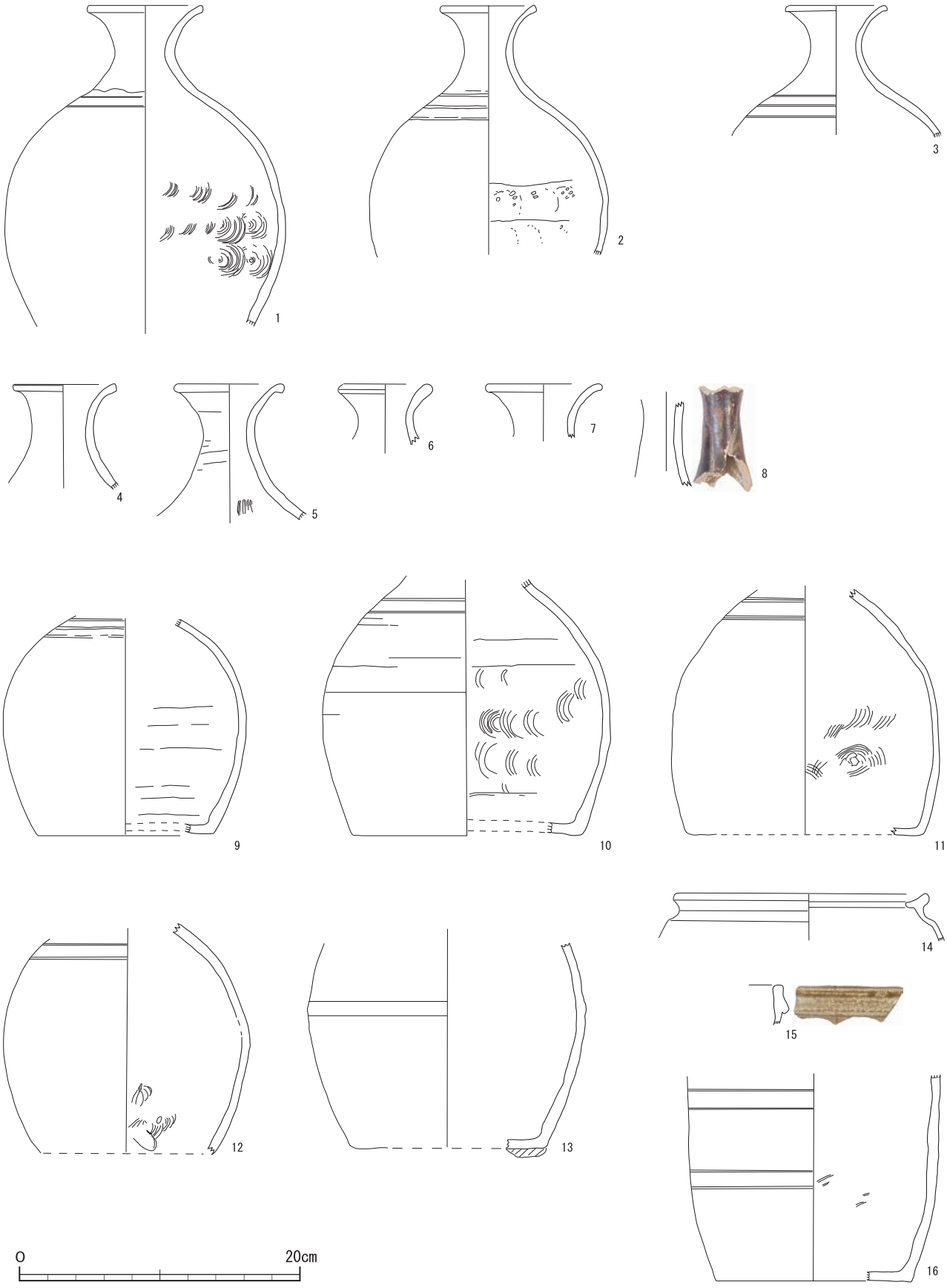


Fig. 79　飯洞甕窯跡出土遺物実測図（13）

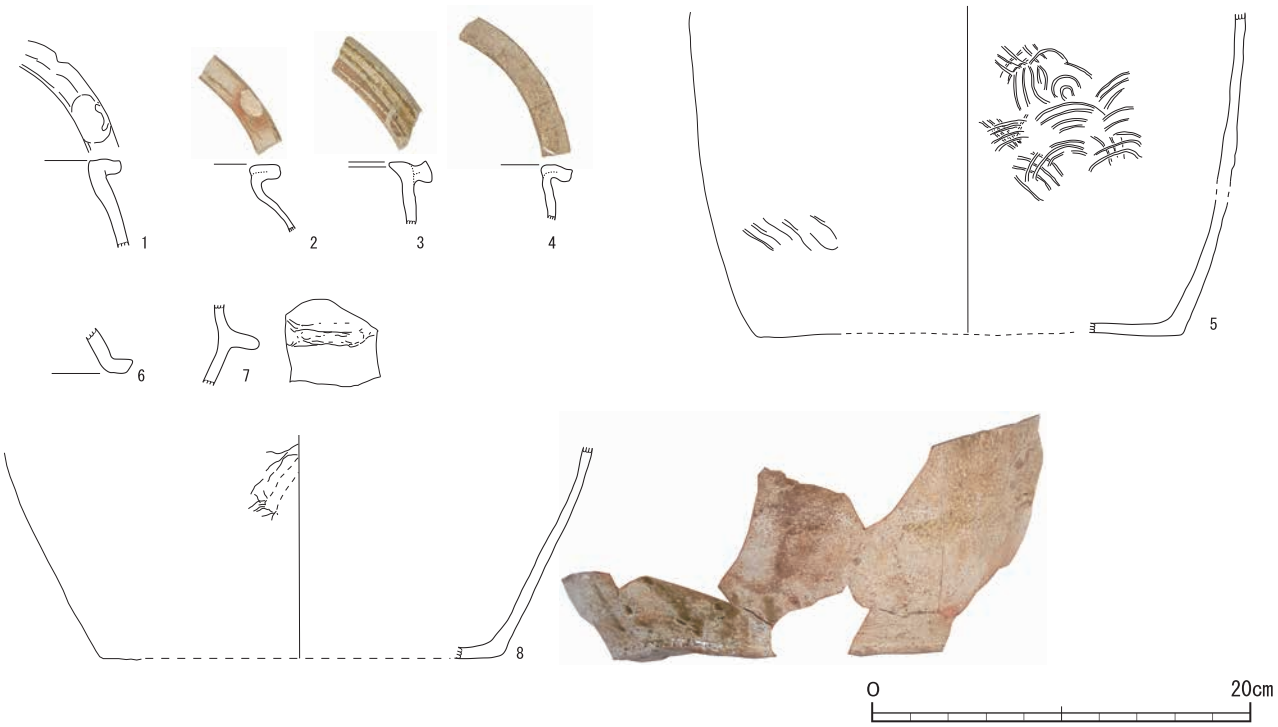


Fig. 80　飯洞甕窯跡出土遺物実測図（14）

Fig. 81　飯洞甕窯跡出土遺物実測図（15）

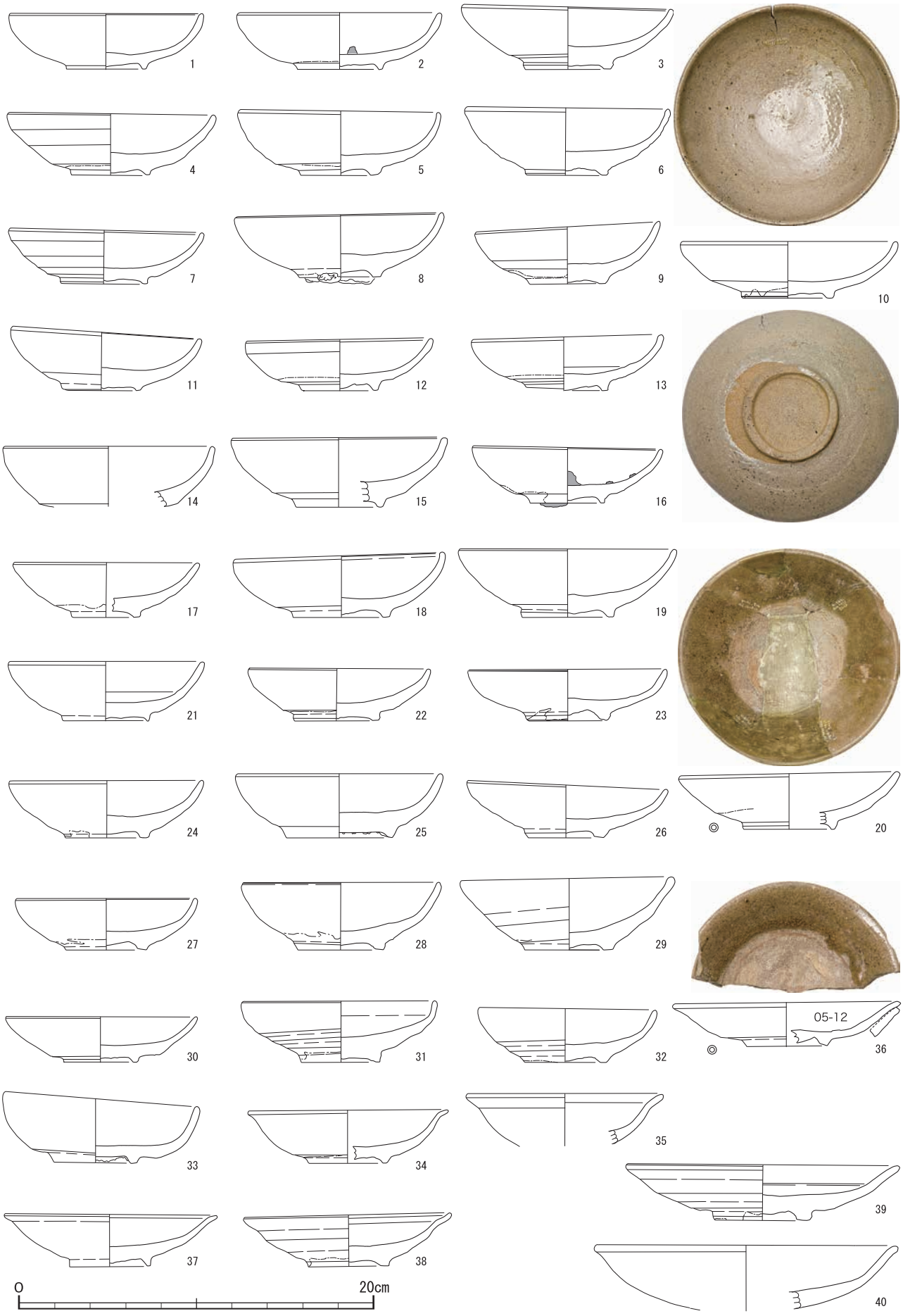


Fig. 82　飯洞甕窯跡出土遺物実測図（16）

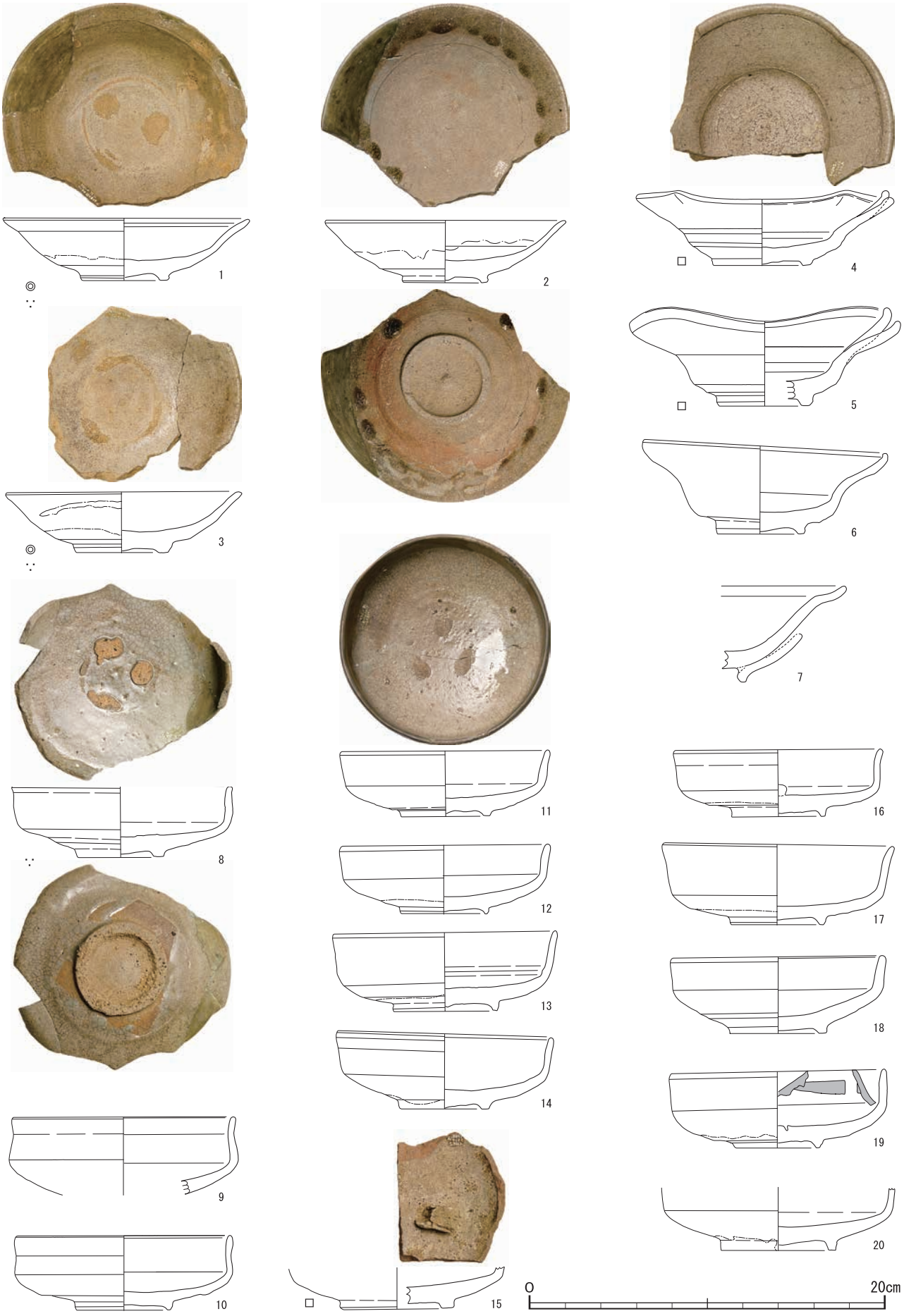


Fig. 83　飯洞甕窯跡出土遺物実測図（17）

Fig. 84　飯洞甕窯跡出土遺物実測図（18）

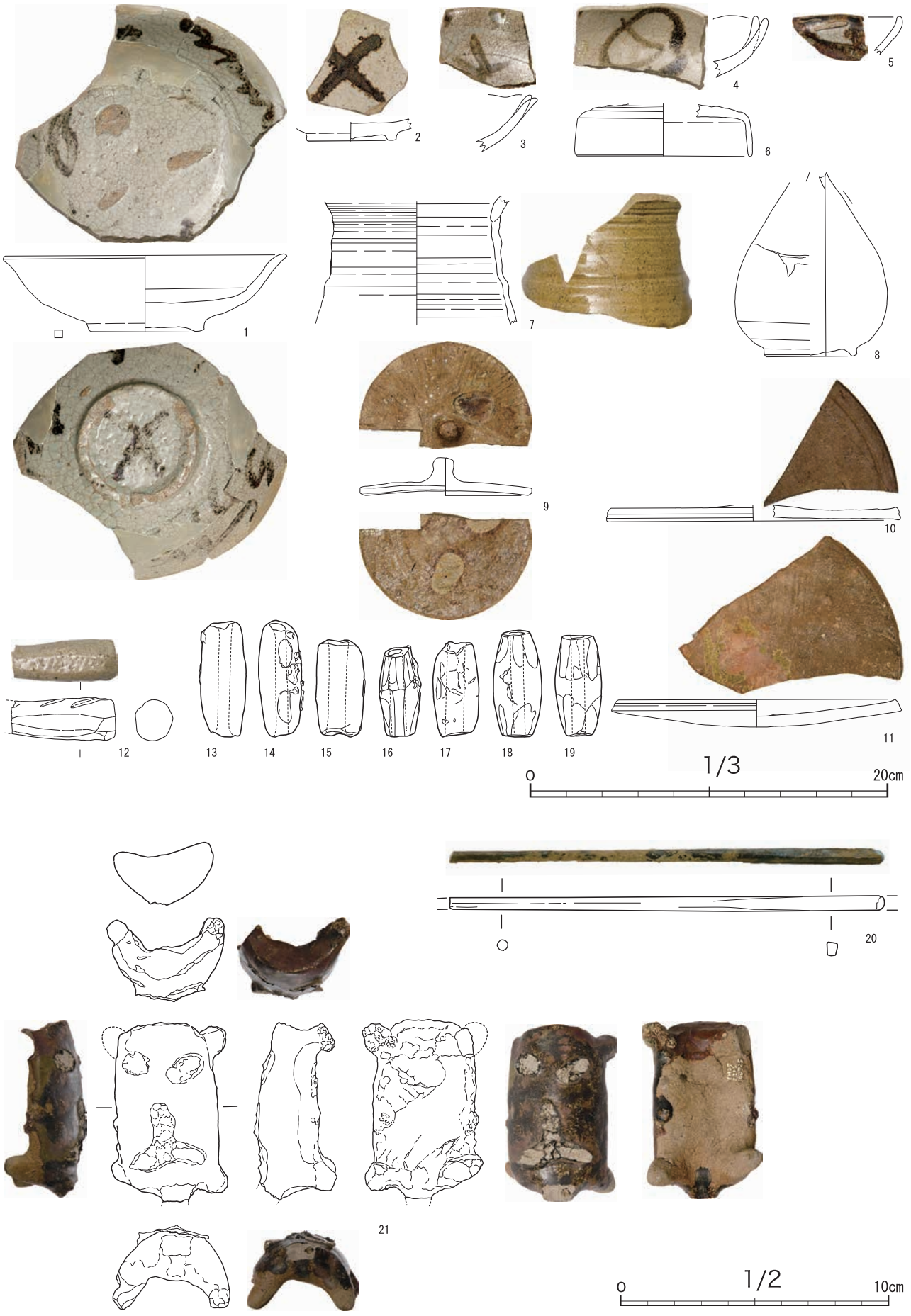


Fig. 85　飯洞甕窯跡出土遺物実測図（19）

Fig. 86　飯洞甕窯跡出土遺物実測図（20）

Fig. 87　飯洞甕窯跡出土遺物実測図（21）

縄文時代の遺物

①土器（Fig88－1～6）

図示したのは、６点である。１～５は、赤褐色を呈し、胎土に滑石もしくは、滑石粒を混入し、沈線文を施文する曾畑系統土器である。いずれも器壁が薄い。１はやや内湾する口縁部で、平坦になる口唇部には斜位に沈線が施文される。内面には口唇直下に横引き平行短沈線で３段の内面施文がされ、外面は平行沈線が口縁から胴部にかけて施されるものか。沈線はそろわず、簡略化した粗放な施文である。小形の円筒形土器であろう。

２は同じく、外面に横位の平行沈線を施すもので、口縁部は緩く外反するものか、沈線の幅も広く、粗放である。３と４は接合する個体で、やや粗放な鋸歯文を持つ胴部破片である。

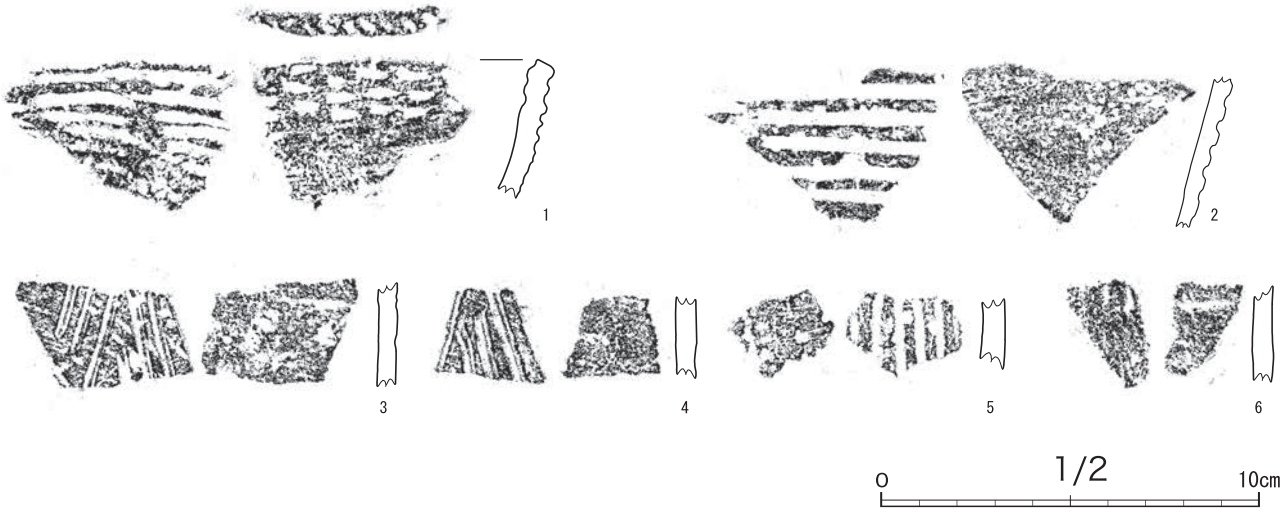
５は２と同じく幅広の沈線をもつもので、小片のため部位は分からない。６は胎土に金雲母を含む土器片。上段に縦の短沈線が連続して施文されるように見える。外面整形は条痕文によるものと考えられるが摩耗が著しく判別し難い。内面に、接合面の段が見られる。総じて、縄文時代前期の土器群とみなされる。

②石器（Fig88－7～14）

各トレンチから剥片、砕片が計20点ほど出土したが、そのうち８点を図示した。７～11は石鏃である。いずれも、黒曜石を素材とする。７は抉りの弱い脚部の不明瞭な三角石鏃。やや厚い素材を使う。素材剥離面が表裏に残る。８は鍬形の角ばった脚部を持つ、やや長身の石鏃。９は小形の小さい脚部を作り出すもの。全体に焼成によるものか外面が変色する。10は不純物の混じる灰黒色を呈する黒曜石で、薄い剥片素材の石鏃。先端部と脚部が丁寧に、鋭く作り出されて尖る。11は尖った長い脚部をもつもので、先端部を欠失する。７～９は前期に特有の脚部の作り出しの弱い石鏃である。

12は亜角礫の黒曜石を素材とした石核である。伊万里の腰岳産の黒曜石とされる。細かい剥離で打面を形成して、上下に転移する打面から小さい剥離を行ったもので、外面全体に自然礫面が多く見られることから、目的的な剥片剥離はあまり連続しなかったものと思われる。

13と14は安山岩製の縦長剥片を素材とする削器（スクレイパー）である。13は主剥離面から裏面に調整剥離を施し、長軸に直交して先端部側にやや角度のある刃部を作り出すもの。14は縦長剥片の打面側を除く全側縁に主剥離面から裏面に調整剥離を施し、刃部を形成したものである。側縁は使用痕か、摩滅して丸みを帯びる。



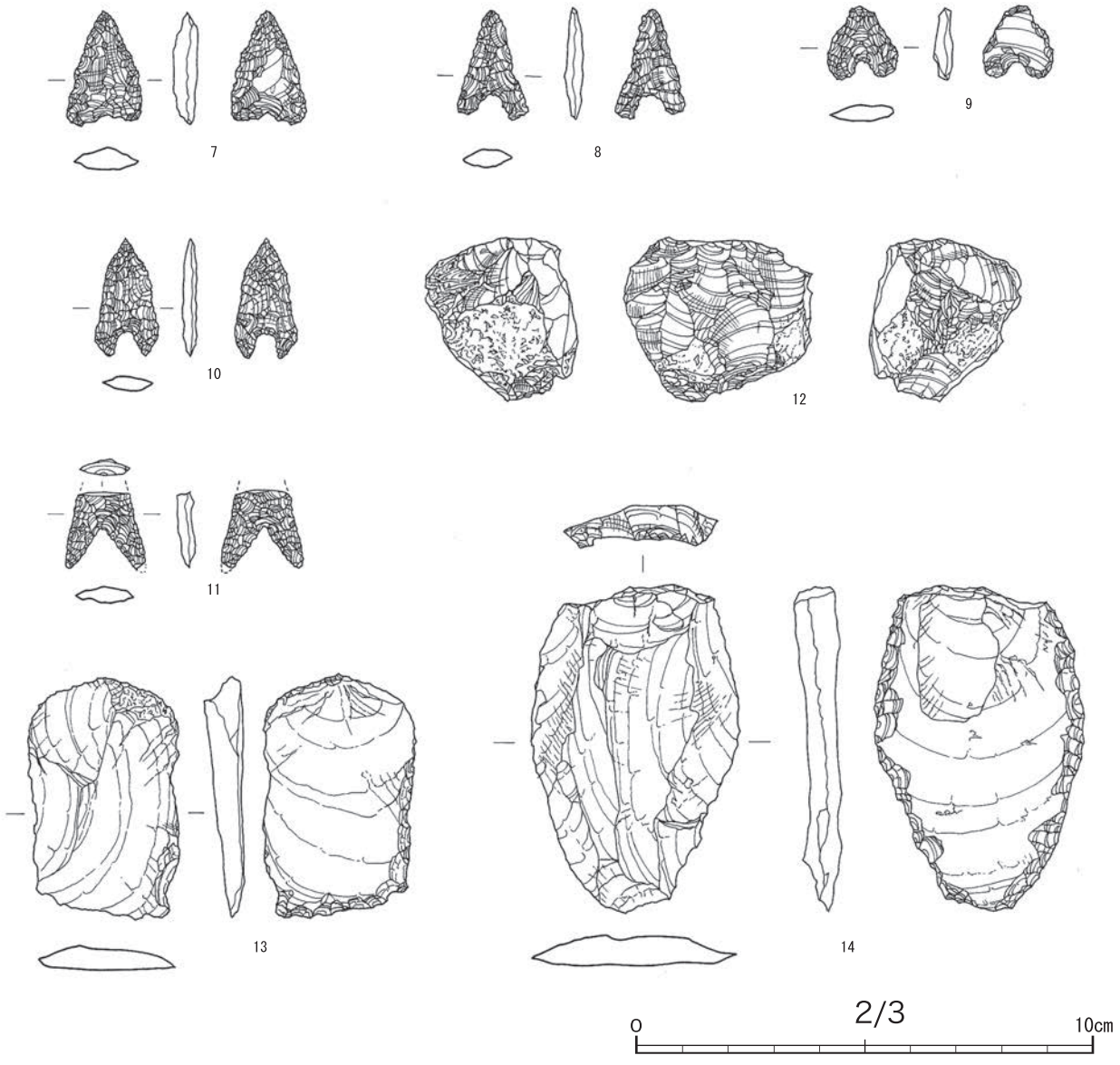


Fig. 88　飯洞甕窯跡出土遺物実測図（22）

第Ⅷ章　史跡整備にむけて

第１節　史跡指定の概要

１．史跡指定の概要

①名　　称　（旧名称）肥前陶器窯跡　小峠窯跡・大谷窯跡・錆谷窯跡・附土師場物原山
（新名称）肥前陶器窯跡

②指定面積　（昭和15年指定面積）　8,609.48㎡
（平成17年追加指定面積）　13,785.26㎡（多久市唐人古場窯跡含む）

③指定年月日　平成17年７月14日（文部科学省告示第106号）

④基　　準　特別史跡名勝天然記念物及び史跡名勝天然記念物指定基準
（昭和26年文化財保護委員会告示第２号）史跡の部六による。

⑤説　　明　我が国最大の近世窯跡である窯跡のうち、最古期の近世窯跡と考えられ、朝鮮半島との技術交流により肥前陶器が成立した過程を示す窯６基と、唐津藩の御用窯で献上唐津を産出した窯１基を追加指定し、併せて名称変更する。

２．指定に至る経緯

武雄市の北部の内田、黒牟田一帯の窯場の製品は武雄唐津北部系に分類され、その窯場の中心的窯跡群が、「肥前陶器窯跡」である。このうち、内田系は小峠窯跡と大谷窯跡、黒牟田系は錆谷窯跡と土師場物原山からなる。内田と黒牟田は、標高303mの竹古場山山麓の南北に相対する位置関係にある。

小峠窯跡は２基からなり、全22mと31mとされている。製品には陶器と磁器があり、陶器は三島手、刷毛目の優品が多い。磁器は染付と青磁で、有田周辺で発生した後に導入されたものと考えられ、築窯は17世紀前半ごろとされる。

大谷窯跡は小峠窯跡の西方約200mに位置し、窯は全長87mで武雄唐津北部系の窯としては、最大級である。製品は小峠窯跡と同様に、陶器と磁器である。陶器は刷毛目や褐釉と緑釉による二彩などで、窯跡一帯にはそれらの技法が駆使された大皿の破片が多い。17世紀後半ごろが下限と考えられる。

錆谷窯跡は全長27mで、窯室数は14～16室と推測されている。製品は陶器だけで素朴な味を持つ絵唐津の皿、碗、鉢類である。窯詰め技法は胎土目積で、築窯は16世紀末前後と考えられ、黒牟田一帯では最も古いと言われている。

土師場物原山は、約60mの小山状に堆積している。物原に散布する破片は、黒牟田の特徴である黒釉や銅緑釉を施した土瓶やすり鉢など多種多様な日常雑器で、表面採取品で見る限り江戸時代中期から後期のものが多い。これらの窯跡は、文禄・慶長の役で朝鮮半島から渡来した陶工たちの影響下で発展していった窯跡群と考えられている。

一方、唐津市北波多の岸岳山麓５基の窯跡と、多久市唐人古場窯跡（金ヶ江三兵衛が最初に築いた窯とされる）１基、唐津市街に所在する御茶盌窯跡が上記に示した理由で追加指定と名称変更を受けた。

第２節　史跡の本質的価値と構成要素

史跡に指定された北波多地域の５基の窯跡と「御茶盌窯跡」は、それぞれ肥前における近世窯業の誕生と、唐津藩領における陶器生産の最終段階を示す窯跡（群）である。

前者（岸岳古窯跡群）は、朝鮮半島からの技術体系を直接導入し、日本の嗜好に合った製品の生産を模索した近世窯業揺籃期の窯跡群であるが、その故郷である朝鮮半島と同様、ロクロ成形で碗・皿類を製作した集団（皿屋窯跡）と、叩き成形で甕・壺類を製作した集団（皿屋上窯跡）が別々の窯を築いている。肥前国内外を問わず、その他の窯業地では両者が融合し、同じ窯で操業していることが多いが、岸岳古窯跡群のように、同一地域で朝鮮半島における陶器生産の２つの型が、そのままの形で見られるのは非常に稀である。

御茶盌窯は享保19年(1734)に築かれた窯であるが、ここで焼かれた製品は献上唐津とも呼ばれている。大名による将軍家への献上には「例年献上」と「随時の献上」があるが、『武鑑』によると、陶磁器を例年献上品の一つとした大名は６家にすぎない（但し土器は除く）。磁器では佐賀藩鍋島家、平戸藩松浦家、陶器は高松藩松平家、岡山藩池田家、中村藩相馬家、そして唐津藩の６藩である。御茶盌窯は、将軍家そして藩主への献上品を焼成する御用窯として創業し、高い技術のもと、良質な陶器を製作し続け幕末を迎えた。

保存管理計画書においては、史跡の本質的価値を指定書の説明に基づき３点に集約し、さらに肥前窯業の全体を俯瞰し、「今後検討が必要な価値」として２点を記述している。基本計画では、上記に述べた史的意義を踏まえ、これらを整理し以下の５点にまとめた。

肥前陶器窯跡総体が有する価値

④近世窯業の発展をリードした、新興窯業地「肥前」
⑤茶器としての唐津焼

史跡の本質的価値

①朝鮮半島の技術そのものにより築かれた窯
　朝鮮半島甕器窯と酷似した、窯の構造とその製品。
　★皿屋上窯
②我が国最古期の近世窯業窯跡群
　近世窯業の揺籃期を示す、多様な窯の構造とその製品。
　★岸岳古窯跡群
　（皿屋上窯跡、飯洞甕上・下窯跡、皿屋窯跡、帆柱窯跡）
③献上唐津を産出した御用窯
　良好に残る窯と、高い技術で焼かれた製品
　★御茶盌窯跡

第３節　整備の基本方針

１．整備の基本方針

整備にあたっては、史跡の適正な保存を図るとともに、肥前陶器窯跡が日本の窯業史において果たした役割、文化財としての価値をわかり易く伝え、多くの人々が訪れ、学ぶことの出来る施設・環境を整備する。なお、具体的な整備事業の推進にあたっては、事前の各種調査の成果を踏まえるとともに、保存整備検討委員会の意見を尊重し、庁内関係部局・各種関係機関・地元とも協議して合意形成に努めながら取り組むものとする。

２．計画の範囲

現在唐津市内には、近世から近代にかけて築かれた窯跡が21基確認されている。このうち岸岳山麓に分布する５基の窯跡（皿屋上窯跡、皿屋窯跡、帆柱窯跡、飯洞甕上窯跡、飯洞甕下窯跡）と、唐津城下、唐人町の御茶盌窯跡が、平成17年(2005)７月に史跡「肥前陶器窯跡」に追加指定された。

前者は唐津焼の源流、後者は「献上唐津」を焼いた御用窯としての評価である。本計画の対象とする範囲は、唐津市内に残るこの６ヶ所の窯跡と、史跡の適切な保存と活用に必要と考えられる周辺地とする。ただし、市内に残る他の窯跡についても連動・統一性のある活用を見通し、将来的に一体的な保存整備を検討する。

またその北部が旧唐津藩領に含まれ、史跡と密接な関係を有する窯跡が存在する伊万里市、さらには肥前における近世窯業の発展にとって、重要な役割を果たした陶磁器窯が集中する武雄市・有田町などとも連携を図り、その成立・発展・成熟の過程をトータルとして理解できる仕組みづくりを検討する。

３．遺跡の保存及び環境の保全

遺構については、史跡の本質的価値の主体であり、確実な保存を行う。事前に調査及び保存処理方法等の検討を行い、将来にわたって適正な状態のもとに維持できるよう努める。また岸岳古窯跡群については、盗掘による遺構の破壊という特殊事情が存在するため、その防止策を含めて保存・整備方法を検討する。

合わせて、窯跡のたたずまいを保全するため、緑豊かな自然環境の維持・増進を図り、歴史的環境を体感できる場として、周辺区域と一体となった整備に取り組む。

４．段階的な整備の実施

現在唐津市内で肥前陶器窯跡として指定されているのは、御茶盌窯跡と岸岳古窯跡群の計６基である。個々の窯跡は分散して存在し、土地の所有形態、遺存状況、自然環境も様々である。このことから、保護の緊急性・整備効果を勘案し、優先順位を定め、段階的な整備を実施していくこととする。

第Ⅰ期事業では、「古窯の森公園」内に所在する、飯洞甕上・下窯跡およびその周辺について重点的に整備を行うものとし、その他の窯跡については、保護対策上必要な措置を講ずることとする。また、飯洞甕上・下窯跡以外の窯跡（皿屋窯跡・皿屋上窯跡・帆柱窯跡・御茶盌窯跡）の本格的整備については、中・長期の第Ⅱ期・第Ⅲ期計画において改めて策定することとするが、各窯跡への見学ルートについては、案内看板や地図を設置するとともに、草刈・簡易階段の設置などアクセス路を確保し、見学者が迷わないように配慮する。

第４節　第Ⅰ期整備計画の概要

１．第Ⅰ期整備計画の概要

飯洞窯上・下窯跡は、中山間部に整備された公園内に存在する。この公園は「古窯の森公園」と名付けられており、飯洞甕上・下窯跡はその重要な構成要素となっている。また公園とその周辺は、初夏のアジサイ・スイレン、秋の紅葉、さらに蛍鑑賞、観月茶会、野鳥観察など、唐津市民にとって憩いの場となっており、自然・歴史に親しむ環境が整えられている。さらに公園内は市有地であるため、史跡指定地も含めて広い範囲の整備が可能である。

公園のシンボルでもある「飯洞甕下窯跡」は、岸岳古窯跡群の中で最も遺りの良い窯跡であり、現在覆屋を設置し露出展示を行っている。また飯洞甕上窯跡も調査後埋戻されているものの、飯洞甕下窯跡に隣接しているため、一体的な整備が可能である。周辺の環境も含めてこのような条件から、両窯跡を核として、第Ⅰ期の保存整備事業を実施するが、両窯跡及びその他の周辺の整備概要は、下記のとおりである。

①－Ａ　飯洞甕下窯跡の整備

外部フェンス・覆屋・側溝等、老朽化した現構造物を撤去し、新たに展示のための施設を設ける。また、側壁・隔壁等の上部構造は、露出展示に耐えうるよう、欠損部分の充填、工学的補強を行う。露出展示部分以外は、遺構に損傷を与えないように十分注意し、遺構の保護・保存のための養生盛土を行う。

歴史的背景・技術系譜など、肥前陶器窯跡全体の解説については、主にガイダンス施設（唐津城天守閣新展示室）において行うが、飯洞甕下窯跡展示施設においても次の通り解説を行うものとする。

・岸岳古窯跡群の解説パネル
・窯場構造の解説パネル
・窯構造の解説パネル
・飯洞甕下窯跡のミニチュア模型（作業風景の再現）
・デジタルコンテンツ（仮想現実等）を利用した映像・画像・音声解説等
・窯跡各部位の表示板

①－Ｂ飯洞甕上窯跡の整備

遺構に損傷を与えないように十分注意し、遺構の保護・保存のための養生盛土を行った上で、遺構直上に、窯跡床面を模式的に表現する。材質に関しては、地下遺構に影響を与えず、また露天での展示に耐えうる素材を使用する。

①－Ｃ・Ｄ工房跡等及び史跡園内の整備

飯洞甕上窯跡と飯洞甕下窯跡は約50ｍを隔てて隣接するが、かつてその周辺には様々な作業施設が配置され、一体となって窯場を形成していたと考えられる。補足の発掘調査を実施し（Ｈ27～29）、確認された遺構については、その残存状況等に応じ盛土養生を行った上で、最も適した表現方法を選択することとする。

史跡園内窯跡を中心に、園路、ベンチ等の休憩施設を設置し、指定地内の一体的整備を行う。なお指定地内樹木の伐採については、史跡の保存・整備上に必要な範囲に留めることとする。

②ガイダンス施設の設置

史跡に関する学術的情報を、専門家のみならず、来訪者全員にわかり易く説明し、史跡の有する価値を伝達するため、ガイダンス施設の設置を検討する。また建物内部には、解説展示部門のほか管理部門・学習部門・サービス部門を設け、本史跡全体の活動拠点とする。

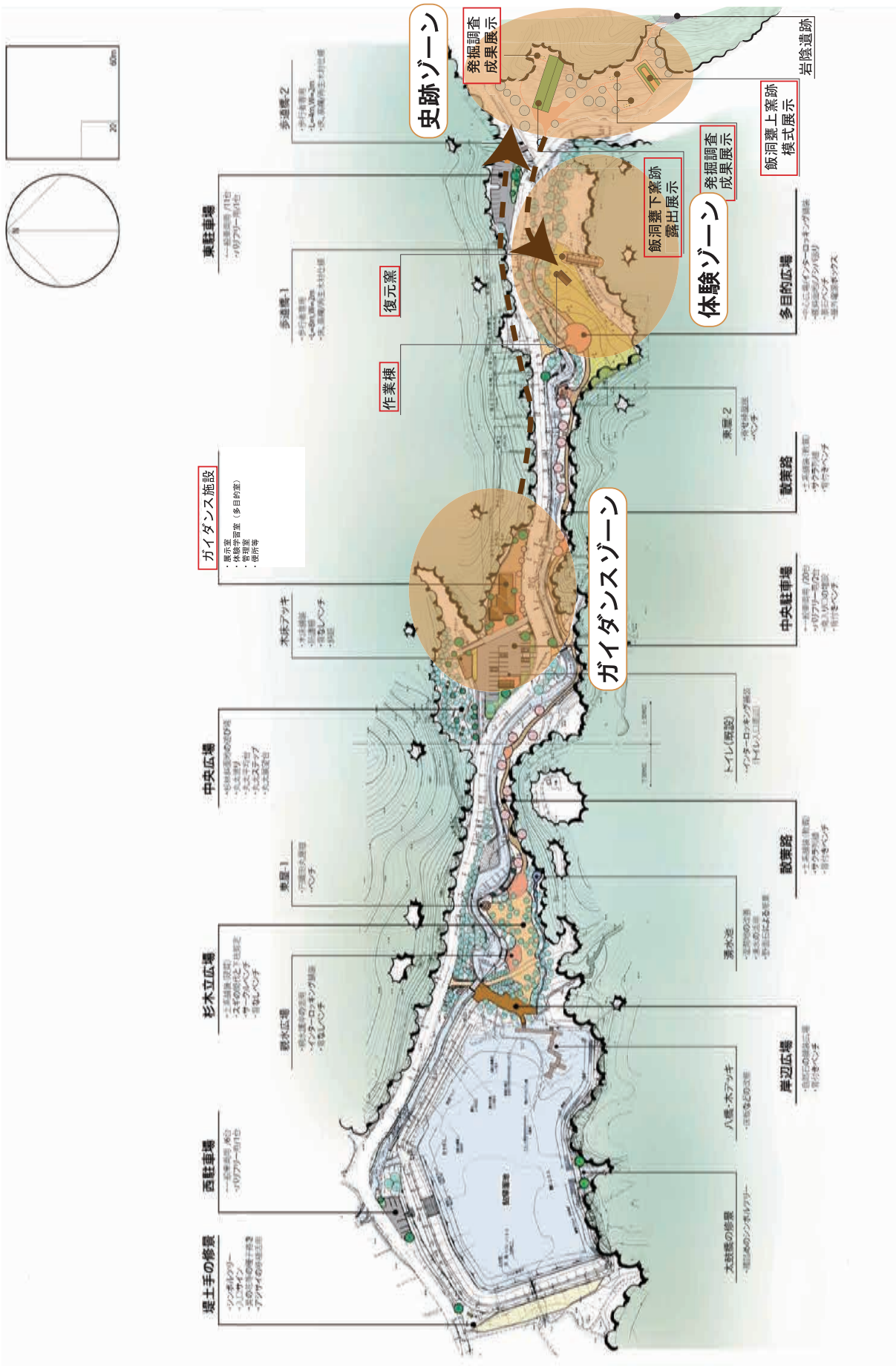


Fig. 89　古窯の森公園ゾーニング計画図

③体験学習施設の設置

窯全体の構造や、どのように陶器が焼かれたのかというイメージ化を助けるため、飯洞甕下窯跡の構造を基に復元窯を製作する。製作段階より地元窯元をはじめとする住民の参加を求め、整備後のメンテナンスや、焼成体験などソフト事業への協力を促す契機とする。また焼成体験に伴う各種作業を行うための作業棟を設置し、復元窯とともに一体的に運営する。

２．整備後の管理・運営に関する計画

整備後においても、常に保守・点検を実施することにより、史跡の良好な状態の維持に努める。

（１）日常的な維持管理（一般職員等により実施）

①窯跡（遺構表現）及び園路等に関する見回り・清掃
②露出展示施設の保存状態に関する見回り・清掃
③ガイダンス施設内外の見回り・清掃
④盗掘に関する見回り
⑤清掃・除草、灌水・散水等
⑥消耗品等の交換
⑦その他日常的に必要な維持的措置

（２）定期的な維持管理（職員、又は専門業者委託により実施）

①指定地全域に及ぶ定期的な見回り
②史跡の良好な状態を維持するための定期的清掃・樹木剪定等
③薬剤の塗布等、良好な保存処理状態を維持するための点検・措置
④保存処理の効果に関するデータの蓄積
⑤露出展示施設・ガイダンス施設等史跡内諸施設の保守管理
⑥法令等に定められた建物・設備・機器等の定期的な保守管理
⑦展示施設等の補修・修理

３．整備後の公開・活用に関する計画

現地説明会・講演会・ワークショップ等史跡に親しむ機会や、集会の場所を設けることにより、地域住民と史跡との接点を確保し、ボランティア活動のみならず、NPO その他の団体が、史跡の管理・運営及び公開・活用に参加しやすい環境を整備する。さらに復元窯における焼成実験等、地域住民が関わることが可能な、参加型の事業について検討する。

４．周辺の文化財及び文化施設との連携

遺跡は単独で存在するものではなく、地域の歴史的・文化的・自然的文脈のなかで、様々な歴史遺産との深い関係の中に存在するものである。本事業では、これら多様な文化財との関係を十分視野に入れた活用を目指すとともに「古窯の森公園」「唐津城天守閣展示施設」などの拠点的施設との連携により、事業を展開していくこととする。

Fig. 90　整備地完成予想

Fig. 91　飯洞甕上窯跡展示施設完成予想図

Fig. 92　飯洞甕下窯跡展示施設完成予想図

Fig. 93　体験窯・作業棟完成予想図

付　　編

１．皿屋窯跡出土遺物一覧
２．皿屋上窯跡出土遺物一覧
３．帆柱窯跡出土遺物一覧
４．飯洞甕窯跡出土遺物一覧
５．窯道具一覧
６．主要参考文献

Tab.12　皿屋窯跡出土遺物一覧（1）

Fig	FNo	PL	PNo	調査地	実測No	土点出地	器種	分類	釉薬等	色調（表面）	色調（胎土）	焼成	胎　土	成形	碗皿類の底部調整等			甕類の内面調整等	法量（cm）			備　考
															腰部・底裏	畳付（底）	施釉範囲		口径	底径	器高	
19	1			YS下01	295	AT	皿	Ⅰa	藁灰釉		赤褐色	良好	砂粒を含む	ロクロ水引き	工具削り(左回転)	回転糸切り？	腰部付近以下露胎		10.1	4.0	2.8	釉はぎ＋胎土目　2枚が釉着 盗難P2出土
19	2			YS下01	122	BT	皿	Ⅰa	藁灰釉	灰白(Hue10YR7/1)	にぶい黄橙(Hue10YR7/3)	やや不良	1mm大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		11.9	4.8	3.6	
19	3			YS下01	143	BT	皿	Ⅰa	藁灰釉	灰白(Hue5Y8/1)	にぶい黄橙(Hue10YR7/3)	やや不良	1mm大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整？	腰部付近以下露胎		10.6	4.0	3.3	
19	4			YS下02	111	1T	皿	Ⅰa	藁灰釉	灰白(Hue10Y8/1)	にぶい橙(Hue5YR7/3)	生焼	1mm大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		10.0	3.8	3.4	
19	5			YS下02	113	1T	皿	Ⅰa	藁灰釉	にぶい黄橙(Hue10YR7/2)	にぶい黄橙(Hue10YR7/3)	良好	1mm大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整？	腰部付近以下露胎		11.4	4.4	3.6	
19	6			YS下02	124	1T	皿	Ⅰa	藁灰釉	灰白(Hue2.5Y8/2)	浅黄橙(Hue10R8/4)	良好	1mm大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整？	腰部付近以下露胎		11.0	4.6	3.3	外面、一部生焼けの部分有り
19	7			YS下02	103	1T	皿	Ⅰa	藁灰釉	灰黄(Hue2.5Y7/2)	にぶい橙(Hue7.5YR6/4)	やや不良	1mm大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整？	腰部付近以下露胎		10.8	4.3	3.1	
19	8			YS下02	137	1T	皿	Ⅰa	藁灰釉	浅黄(Hue5Y7/3)	灰黄(Hue2.5Y7/2)	不良	1mm大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整？	腰部付近以下露胎		10.6	4.7	4.0	焼むら有り
19	9			YS下02	92	2T	皿	Ⅰa	藁灰釉	灰白(Hue10Y8/1)	浅黄(Hue2.5Y7/3)	良好	1mm大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		11.8	4.1	3.5	ゆがみ有り
19	10			YS下02	163	2T	皿	Ⅰa	藁灰釉	灰白(Hue7.5Y7/1)	にぶい赤褐(Hue2.5YR4/3)	良好	1mm大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	回転糸切り痕	腰部付近以下露胎		11.2	4.7	3.2	見込みに胎土目３＋釉はぎ痕３ 高台無し
19	11			YS下02	286	2T	皿	Ⅰa	藁灰釉	灰白(Hue2.5GY8/1)	にぶい橙(Hue5YR6/4)	良好	1mm大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		11.2	4.2	3.2	見込み・底部共に、３ヶ所胎土目(ピン)
19	12			YS下02	109	2T	皿	Ⅰa	藁灰釉	灰白(Hue10Y8/1)	にぶい橙(Hue7.5YR6/4)	良好	1mm大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		10.4	4.9	3.6	見込みに1ヶ所胎土目(ピン)有り
19	13			YS下02	170	2T	皿	Ⅰa	藁灰釉	明青灰(Hue10BG7/1)	明褐灰(Hue5YR7/2)	やや不良	1mm大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	回転糸切り痕→工具調整	腰部付近以下露胎		10.5	4.6	4.0	
19	14	25	1	YS下02	8	3T	皿	Ⅰa	藁灰釉	淡黄(Hue2.5Y8/3)	にぶい黄橙(Hue10YR7/2)	生焼	1.5mm大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)底部外面露胎。畳付けに糸切り跡。	回転糸切痕	腰部付近以下露胎		12.0	4.1	3.4	見込みに釉はぎ痕３
19	15	25	2	YS下02	9	3T	皿	Ⅰa	藁灰釉	淡黄(Hue5Y8/2)	浅黄橙(Hue10YR8/3)	良好	1mm大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整？	腰部付近以下露胎		12.0	4.1	3.5	上部ゆがみ
19	16	25	3	YS下02	10	3T	皿	Ⅰa	藁灰釉	灰白(Hue2.5Y8/2)	浅黄(Hue2.5Y7/3)	生焼	1mm大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	？	腰部付近以下露胎		9.6	3.5	3.0	
19	17	25	4	YS下02	168	3T	皿	Ⅰa	藁灰釉	灰黄(Hue2.5Y7/2)	にぶい黄橙(Hue10YR7/4)	良好	1mm大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		12.4	4.6	3.0	釉はぎ痕３
19	18			YS下02	75	3T	皿	Ⅰa	藁灰釉	淡黄(Hue2.5Y8/3)	にぶい黄橙(Hue10YR7/3)	生焼	1mm大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		10.6	4.5	3.3	
19	19			YS下02	95	3T	皿	Ⅰa	藁灰釉	灰白(Hue7.5Y8/1)	にぶい黄橙(Hue10YR7/4)	良好	1mm大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		12.0	4.4	3.3	
19	20			YS下02	177	3T	皿	Ⅰa	藁灰釉	灰白(Hue2.5GY8/1)	にぶい黄橙(Hue10YR7/4)	良好	1mm大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		11.0	4.2	3.5	
19	21			YS下02	127	3T	皿	Ⅰa	藁灰釉	灰白(Hue5Y7/2)	黄灰(Hue2.5Y8/1)	良好	1mm大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整？	高台付近まで施釉		10.2	3.7	2.7	
19	22			YS下02	112	3T	皿	Ⅰa	藁灰釉	灰白(Hue10Y8/1)	灰白(Hue10YR8/2)	良好	1mm大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		11.8	5.0	3.8	
19	23			YS下02	139	3T	皿	Ⅰa	藁灰釉	灰白(Hue7.5Y8/1)	にぶい橙(Hue2.5YR6/4)	一部不良	1mm大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整？	腰部付近以下露胎		10.0	3.8	4.2	
19	24			YS下02	71	3T	皿	Ⅰa	藁灰釉	灰白(Hue2.5Y8/2)	にぶい橙(Hue7.5YR6/4)	生焼	1mm大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	回転糸切り痕？	腰部付近以下露胎		12.6	4.0	3.5	見込みに釉はぎ痕１
19	25			YS下02	133	3T	皿	Ⅰa	藁灰釉	灰白(Hue5GY8/1)	にぶい黄橙(Hue10YR7/4)	良好	1mm大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整？	腰部付近以下露胎		11.6	4.0	3.5	
19	26			YS下02	119	3T	皿	Ⅰa	藁灰釉	灰白(Hue5Y7/1)	にぶい黄橙(Hue10YR7/4)	良好	1mm大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		11.0	5.0	3.4	
19	27			YS下02	76	3T	皿	Ⅰa	藁灰釉	灰白(Hue2.5Y8/2)	にぶい黄橙(Hue10YR7/4)	生焼	1mm大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		9.2	3.6	2.6	
19	28			YS下02	136	3T	皿	Ⅰa	藁灰釉	淡黄(Hue2.5Y8/3)	灰黄(Hue2.5Y7/2)	生焼	1mm大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	回転糸切り痕？	腰部付近以下露胎		11.8	3.4	3.3	見込みに釉はぎ痕３？
19	29			YS下02	134	3T	皿	Ⅰa	藁灰釉	明オリーブ灰(Hue7.5GY7/1)	にぶい黄橙(Hue10YR7/3)	不良	1mm大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整？	腰部付近以下露胎		10.2	4.4	3.5	
19	30	25	5	YS下02	69	3T	皿	Ⅰa	藁灰釉	にぶい黄橙(Hue10YR7/2)	にぶい橙(Hue7.5YR7/4)	生焼	1mm大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	回転糸切り痕	腰部付近以下露胎		10.4	4.4	3.1	
19	31			YS下02	84	4T	皿	Ⅰa	藁灰釉	灰白(Hue7.5Y8/1)	浅黄橙(Hue10YR8/4)	い	1mm大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	？	腰部付近以下露胎		10.4	4.5	3.2	
19	32			YS下01	147	CT	皿	Ⅰa	藁灰釉	青灰(Hue5B6/1)	にぶい黄橙(Hue10YR6/3)	良好	1mm大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整？	腰部付近以下露胎		12.4	4.6	3.8	

Tab.12　皿屋窯跡出土遺物一覧（2）

Fig	FNo	PL	PNo	調査地	実測No	土点出地	器種	分類	釉薬等	色調（表面）	色調（胎土）	焼成	胎　土	成形	碗皿類の底部調整等			甕類の内面調整等	法量（cm）			備　考
															腰部・底裏	畳付（底）	施釉範囲		口径	底径	器高	
19	33			YS下01	150	CT	皿	Ⅰa	藁灰釉	明青灰(Hue10BG7/1)	にぶい黄橙(Hue10YR7/3)	不良	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	?	腰部付近以下露胎		10.0	3.6	3.4	
19	34			YS下01	159	CT	皿	Ⅰa	藁灰釉	灰白(Hue5Y7/1)	にぶい橙(Hue7.5YR6/4)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	?	高台付近まで施釉		11.4	4.0	3.3	見込みに胎土目２ 釉はぎ無し
20	1	25	6	YS下02	28	4T	皿	Ⅰa	藁灰釉	にぶい黄橙(Hue10YR7/2)	にぶい橙(Hue5YR6/4)	生焼	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	?	腰部付近以下露胎		11.1	4.4	3.0	
20	2	25	7	YS下02	36	4T	皿	Ⅰa	藁灰釉	にぶい黄橙(Hue10YR7/3)	にぶい赤褐(Hue5YR5/3)	不良	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整?	腰部付近以下露胎		11.2	3.7	3.8	ゆがみあり
20	3	25	8	YS下02	35	4T	皿	Ⅰa	藁灰釉	明オリーブ灰(Hue2.5GY7/1)	にぶい橙(Hue7.5YR6/4)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整?	腰部付近以下露胎		11.6	4.3	3.7	
20	4	25	9	YS下02	40	4T	皿	Ⅰa	藁灰釉	灰白(Hue7.5Y8/1)	にぶい橙(Hue7.5YR7/4)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整?	腰部付近以下露胎		11.0	4.2	3.3	
20	5	25	10	YS下02	42	4T	皿	Ⅰa	藁灰釉	明オリーブ灰(Hue5GY7/1)	にぶい黄橙(Hue10YR7/2)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整?	腰部付近以下露胎		10.3	4.4	3.2	全体的にゆがみあり
20	6	25	11	YS下02	30	4T	皿	Ⅰa	藁灰釉	灰白(Hue5Y7/2)	にぶい橙(Hue7.5YR7/3)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整?	腰部付近以下露胎		11.0	5.0	2.6	見込みに釉はぎ痕３
20	7	25	12	YS下02	32	4T	皿	Ⅰa	藁灰釉	浅黄橙(Hue10YR8/4)	にぶい黄橙(Hue10YR7/3)	生焼	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	?	腰部付近以下露胎		11.3	4.7	3.2	見込みに釉はぎ痕３
20	8	25	13	YS下02	39	4T	皿	Ⅰa	藁灰釉	浅黄橙(Hue10YR8/3)	にぶい褐(Hue7.5YR5/4)	生焼	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	?	腰部付近以下露胎		11.6	4.0	3.6	見込みに釉はぎ痕３
20	9			YS下02	87	4T	皿	Ⅰa	藁灰釉	オリーブ黄(Hue5Y6/3)	にぶい橙(Hue7.5YR6/4)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	?	腰部付近以下露胎		10.6	3.5	3.3	
20	10			YS下02	93	4T	皿	Ⅰa	藁灰釉	灰白(Hue2.5GY8/1)	淡赤橙(Hue2.5YR7/4)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	?	腰部付近以下露胎		11.4	4.3	3.2	
20	11	25	14	YS下02	175	4T	皿	Ⅰa	藁灰釉	灰オリーブ(Hue7.5Y6/2)	浅黄(Hue2.5Y7/3)	不良	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		11.0	3.5	3.1	
20	12			YS下02	180	4T	皿	Ⅰa	藁灰釉	灰白(Hue7.5Y7/1)	にぶい黄橙(Hue10YR7/3)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	回転糸切り痕→工具調整?	腰部付近以下露胎		11.6	4.4	3.6	
20	13			YS下02	94	4T	皿	Ⅰa	藁灰釉	灰白(Hue5Y8/2)	にぶい橙(Hue2.5YR6/4)	不良	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	回転糸切り痕	腰部付近以下露胎		10.3	4.2	3.1	見込みに胎土目１＋釉はぎ痕３
20	14			YS下02	182	6T	皿	Ⅰa	藁灰釉	灰白(Hue7.5Y7/1)	にぶい橙(Hue7.5YR6/3)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整?	腰部付近以下露胎		11.4	4.4	2.7	見込みに釉はぎ痕３
20	15	25	15	YS下02	14	5T	皿	Ⅰa	藁灰釉	明オリーブ灰(Hue2.5GY7/1)	にぶい黄橙(Hue10YR7/3)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整?	腰部付近以下露胎		11.9	4.3	3.2	
20	16			YS下01	217	表採	皿	Ⅰa	藁灰釉	灰白(Hue10Y7/1)	にぶい橙(Hue7.5YR6/4)	良好	0.5㎜大砂粒含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		11.0	4.8	3.9	
20	17	25	16	YS下02	6	8T	皿	Ⅰa	藁灰釉	灰白(Hue5GY8/1)	にぶい橙(Hue7.5YR6/4)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	?	腰部付近以下露胎		11.4	4.4	3.7	ゆがみあり
20	18			YS下01	138	表採	皿	Ⅰa	藁灰釉	明青灰(Hue5B7/1)	にぶい褐(Hue7.5YR5/4)	生焼	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	回転糸切り痕?	腰部付近以下露胎		11.3	4.8	3.5	釉はぎ等､内面摩滅のため不明
20	19	25	17	YS下01	129	表採	皿	Ⅰa	藁灰釉	灰白(Hue7.5Y7/1)	にぶい橙(Hue2.5ＹＲ5/3)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整?	腰部付近以下露胎		11.4	3.4	4.0	
20	20			YS下02	97	表採	皿	Ⅰa	藁灰釉	灰白(Hue10YR7/1)	にぶい黄橙(Hue10YR7/4)	不良	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整?	腰部付近以下露胎		11.3	4.2	3.2	
20	21			YS下01	220	表採	皿	Ⅰa	藁灰釉	灰黄(Hue2.5Y7/2)	にぶい橙(Hue7.5YR7/3)	生焼	0.5㎜大砂粒含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台付近まで施釉		10.4	4.8	3.3	
20	22			YS下01	146	CT	皿	Ⅰa	藁灰釉	灰黄(Hue2.5Y7/2)	にぶい橙(Hue7.5YR6/4)	不良	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		11.0	4.0	3.3	
20	23			YS下01	219	表採	皿	Ⅰa	藁灰釉	灰白(Hue2.5Y8/1)	にぶい橙(Hue7.5YR7/4)	良好	0.5㎜大砂粒含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		10.6	4.4	3.4	見込みに１ヶ所胎土目(ピン)
20	24			YS下02	132	3T	皿	Ⅰa	藁灰釉 鉄釉	灰白(Hue7.5Y7/1)	にぶい褐(Hue7.5YR6/3)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		11.2	5.4	3.0	見込みに胎土目１(ピン)
21	1			YS下02	125	3T	皿	Ⅰb	藁灰釉	灰白(Hue10Y8/1)	にぶい赤褐(Hue5YR5/4)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	回転糸切り痕	腰部付近以下露胎		11.0	3.8	2.3	見込みに胎土目１＋釉はぎ痕２
21	2			YS下02	73	4T	皿	Ⅰb	藁灰釉	灰白(Hue7.5Y7/1)	にぶい橙(Hue7.5YR6/4)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整?	腰部付近以下露胎		11.1	4.1	2.3	見込みに胎土目１＋釉はぎ痕３
21	3			YS下01	117	ＢT	皿	Ⅰb	藁灰釉	灰黄(Hue2.5Y7/2)	にぶい橙(Hue7.5YR7/4)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	回転糸切り痕	腰部付近以下露胎		12.4	4.4	2.4	見込みに胎土目１＋釉はぎ痕３
21	4	25	18	YS下01	43	ＤT	皿	Ⅰb	藁灰釉	灰白(Hue10Y8/1)	灰白(Hue10YR8/2)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	?	腰部付近以下露胎		11.4	4.0	2.7	全体的にゆがみあり
21	5	25	19	YS下02	23	3T	皿	Ⅰb	藁灰釉	灰白(Hue10Y8/1)	にぶい黄橙(Hue10YR7/4)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	回転糸切痕	腰部付近以下露胎		10.6	4.9	2.6	見込みに胎土目１＋釉はぎ痕３
21	6			YS下02	67	3T	皿	Ⅰb	藁灰釉	淡黄(Hue2.5Y8/3)	にぶい橙(Hue7.5YR6/3)	生焼	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		11.2	4.5	2.7	見込みに胎土目２＋釉はぎ痕３

Tab.12　皿屋窯跡出土遺物一覧（3）

Fig	FNo	PL	PNo	調査地	実測No	土点出地	器種	分類	釉薬等	色調（表面）	色調（胎土）	焼成	胎　土	成形	碗皿類の底部調整等			甕類の内面調整等	法量（cm）			備　考
															腰部・底裏	畳付（底）	施釉範囲		口径	底径	器高	
21	7			YS下01	141	CT	Ⅲ	Ⅰb	藁灰釉	灰白(Hue7.5Y7/1)	にぶい赤褐(Hue2.5YR4/4)	一部不良	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	?	腰部付近以下露胎		11.6	4.8	2.2	見込みに釉はぎ痕１？
21	8			YS下01	218	表採	Ⅲ	Ⅰb	藁灰釉	灰白(Hue5Y7/2)	にぶい赤褐(Hue5YR5/3)	良好	0.5㎜大砂粒含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	回転糸切り痕	腰部付近以下露胎		11.4	4.2	2.8	見込みに釉はぎ痕３
21	9			YS下02	66	表採	Ⅲ	Ⅰb	藁灰釉	浅黄(Hue2.5YR7/3)	にぶい橙(Hue10YR6/4)	生焼	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整？	腰部付近以下露胎		11.5	4.4	2.5	見込みに胎土目１＋釉はぎ痕３
21	10			YS下02	120	3T	Ⅲ	Ⅰc	藁灰釉	灰白(Hue10Y8/1)	にぶい橙(Hue5YR7/4)	不良	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整？	腰部付近以下露胎		11.3	4.6	3.6	
21	11			YS下02	176	4T	Ⅲ	Ⅰc	藁灰釉	灰白(Hue10Y8/1)	浅黄(Hue2.5Y7/3)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	回転糸切り痕→工具調整?	腰部付近以下露胎		11.0	3.8	3.1	見込みに胎土目１＋釉はぎ痕３
21	12	25	23	YS下02	38	表採	Ⅲ	Ⅰc	藁灰釉	灰白(Hue7.5Y7/1	にぶい褐(Hue7.5YR5/3)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整？	腰部付近以下露胎		12.0	4.6	3.3	
21	13			YS下02	107	4T	Ⅲ	Ⅰd	藁灰釉	灰白(Hue10Y8/1)	にぶい黄橙(Hue10YR7/3)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	?	腰部付近以下露胎		10.9	3.8	2.5	見込みに胎土目１
21	14			YS下02	79	4T	Ⅲ	Ⅰd	藁灰釉	灰白(Hue7.5YR8/2)	にぶい橙(Hue7.5YR7/4)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	回転糸切り痕	腰部付近以下露胎		11.2	4.8	2.5	見込みに胎土目１＋釉はぎ痕３
21	15			YS下02	91	4T	Ⅲ	Ⅰd	藁灰釉	灰白(Hue7.5Y7/2)	にぶい橙(Hue7.5YR6/4)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		11.2	5.0	2.6	
21	16	26	1	YS下02	27	4T	Ⅲ	Ⅰd	藁灰釉	浅黄(Hue2.5Y8/3)	浅黄(Hue2.5Y7/3)	生焼	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	底面露胎、削り。	工具削り調整？	腰部付近以下露胎		11.1	4.9	2.7	
21	17			YS下02	149	4T	Ⅲ	Ⅰd	藁灰釉	明青灰(Hue5BG7/1)	にぶい橙(Hue2.5YR6/3)	不良	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	回転糸切り痕	腰部付近以下露胎		11.0	4.3	2.7	ゆがみ大 丸皿
21	18			YS下02	194	4T	Ⅲ	Ⅰd	石灰釉	灰白(Hue7.5Y7/1)	灰黄(Hue2.5YR7/2)	良好	緊密	ロクロ水引き	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		12.0	4.4	2.1	鉄絵 他窯からの混入？
21	19	26	5	YS下02	116	1T	Ⅲ	Ⅰe	藁灰釉	灰白(Hue10Y7/1)	にぶい黄橙(Hue10YR7/3)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		12.4	4.7	3.7	
21	20	26	6	YS下01	165	表採	Ⅲ	Ⅰe	藁灰釉	灰白(Hue5Y8/1)	にぶい黄橙(Hue10YR7/4)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		10.0	4.6	3.1	
21	21			YS下02	135	3T	Ⅲ	Ⅰe	藁灰釉	灰白(Hue10Y8/1)	にぶい橙(Hue7.5YR7/4)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		12.0	5.0	3.8	
21	22			YS下02	104	1T	Ⅲ	Ⅰe	藁灰釉	灰白(Hue5Y7/2)	にぶい橙(Hue7.5YR6/4)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整？	腰部付近以下露胎		11.1	4.0	3.5	
21	23			YS下01	140	CT	Ⅲ	Ⅰe	藁灰釉	灰白(Hue7.5Y8/1)	にぶい橙(Hue5YR6/4)	不良	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		10.8	4.4	3.5	
21	24			YS下01	145	表採	Ⅲ	Ⅰe	藁灰釉	灰白(Hue7.5Y7/1)	にぶい褐(Hue7.5YR6/3)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	回転糸切り痕	腰部付近以下露胎		10.8	5.3	3.9	
21	25			YS下01	142	表採	Ⅲ	Ⅰe	藁灰釉	にぶい黄橙(Hue10YR7/3)	にぶい橙(Hue7.5YR6/4)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整？	腰部付近以下露胎		10.6	3.6	3.8	
22	1	26	34	YS下02	13	8T	Ⅲ	Ⅱa	藁灰釉	淡黄(Hue2.5Y8/3)	にぶい橙(Hue2.5YR6/3)	生焼	1㎜大の砂粒含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)底部外面露胎,畳付けに一部糸切り跡。	回転糸切痕	腰部付近以下露胎		12.8	5.3	3.85	見込みに釉はぎ痕３
22	2	25	20	YS下02	169	2T	Ⅲ	Ⅱb	藁灰釉	灰白(Hue10Y8/1)	浅黄(Hue2.5Y7/3)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		13.0	4.7	2.5	見込みに胎土目１＋釉はぎ痕３
22	3	25	21 22	YS下02	3	4T	Ⅲ	Ⅱb	藁灰釉	灰白(HueY8/1)	にぶい褐(Hue7.5YR5/4)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)。畳付けに一部糸切り跡。	回転糸切痕？	腰部付近以下露胎		13.6	4.3	3.0	見込みに胎土目２＋釉はぎ痕３
22	4	26	2	YS下02	15	3T	Ⅲ	Ⅱb	藁灰釉	灰白(Hue5Y7/2)	灰赤(Hue10R5/2)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)。畳付けに一部糸切り跡。	回転糸切痕	腰部付近以下露胎		11.2	4.1	2.6	見込みに胎土目１＋釉はぎ痕３
22	5			YS下01	222	表採	Ⅲ	Ⅳ	藁灰釉	灰白(Hue7.5Y7/1)	灰白(Hue2.5Y7/1)	良好	0.5㎜大砂粒含む	ロクロ水引き(右回転)	—	—	—		14.0	-	-	
22	6	26	7	YS下02	20	表採	Ⅲ	Ⅳ	藁灰釉	灰白(Hue10YR8/2)	にぶい橙(Hue5YR6/3)	一部不良	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整？	腰部付近以下露胎		11.0	4.9	4.0	
22	7			YS下02	282	4T	Ⅲ？	Ⅳ	長石釉？	灰白(Hue5Y7/1)	にぶい黄橙(Hue10YR7/3)	良好	1㎜大の砂粒含む	ロクロ？	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台脇まで施釉		-	4.4	-	
22	8			YS下02	284	4T	Ⅲ？	Ⅳ	長石釉？	灰白(Hue5Y7/1)	にぶい橙(Hue7.5Y6/4)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ？	工具削り(左回転)	—	—		-	-	-	
22	9			YS下01	108	FT	Ⅲ	Ⅴ	藁灰釉	淡黄(Hue2.5Y8/3)	にぶい橙(Hue7.5YR7/4)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	?	?		11.5	4.0	3.7	
22	10			YS下02	130	1T	Ⅲ	Ⅴ	藁灰釉	灰白(Hue7.5Y7/1)	にぶい黄橙(HueYR7/4)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整？	腰部付近以下露胎		11.2	4.0	3.5	
22	11	26	8	YS下02	46	3T	Ⅲ	Ⅴ	藁灰釉	灰白(Hue2.5Y8/2)	にぶい黄橙(Hue10YR7/3)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		11.3	4.5	3.3	
22	12	26	9	YS下02	48	3T	Ⅲ	Ⅴ	藁灰釉	灰白(Hue7.5Y7/1)	にぶい黄橙(Hue10YR7/3)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	回転糸切り痕？	腰部付近以下露胎		11.4	4.3	3.7	
22	13	26	10 11	YS下02	49	3T	Ⅲ	Ⅴ	藁灰釉	灰白(Hue2.5Y8/1)	浅黄橙(Hue10YR8/4)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		10.4	4.2	3.5	

Tab. 12　皿屋窯跡出土遺物一覧（4）

Fig	FNo	PL	PNo	調査地	実測No	土点出地	器種	分類	釉薬等	色調（表面）	色調（胎土）	焼成	胎　土	成形	碗皿類の底部調整等			甕類の内面調整等	法量（cm）			備　考
															腰部・底裏	畳付（底）	施釉範囲		口径	底径	器高	
22	14	26	12	YS下02	51	3T	Ⅲ	V	藁灰釉	灰白(Hue7.5Y8/2)	浅黄橙(Hue7.5YR8/3)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整？	腰部付近以下露胎		11.4	4.3	3.7	
22	15	26	13	YS下02	54	3T	Ⅲ	V	藁灰釉	灰白(Hue10Y8/1)	にぶい橙(Hue2.5YR6/3)	生焼	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	？	腰部付近以下露胎		10.2	4.6	3.3	
22	16	26	14	YS下02	61	3T	Ⅲ	V	藁灰釉	灰白(Hue2.5Y8/2)	にぶい橙(Hue7.5YR7/4)	一部不良	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	？	腰部付近以下露胎		11.7	4.6	4.0	
22	17	26	15	YS下02	63	3T	Ⅲ	V	藁灰釉	灰白(Hue10Y8/1)	にぶい橙(Hue7.5YR7/3)	生焼	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	？	腰部付近以下露胎		10.8	4.4	3.5	
22	18	26	16	YS下02	70	3T	Ⅲ	V	藁灰釉	浅黄橙(Hue10YR8/3)	にぶい橙(Hue7.5YR6/4)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		10.4	3.8	3.1	
23	1	26	17	YS下02	174	3T	Ⅲ	V	藁灰釉	灰白(Hue7.5Y8/1)	灰白(Hue2.5Y8/1)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		10.0	3.6	3.0	
23	2	26	18	YS下02	57	4T	Ⅲ	V	藁灰釉	にぶい黄橙(Hue10YR7/3)	にぶい橙(Hue7.5YR6/4)	生焼	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	回転糸切り痕	腰部付近以下露胎		10.8	4.7	3.5	
23	3	26	19	YS下01	47	CT	Ⅲ	V	藁灰釉	灰白(Hue5Y7/2)	にぶい橙(Hue7.5YR7/3)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	？	腰部付近以下露胎		11.8	4.6	3.6	
23	4	26	20	YS下02	58	表採	Ⅲ	V	藁灰釉	灰白(Hue7.5Y7/1)	にぶい黄橙(Hue10YR7/3)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整？	腰部付近以下露胎		10.5	4.0	3.3	
23	5			YS下02	121	3T	Ⅲ	V	藁灰釉	灰白(Hue2.5Y7/1)	にぶい橙(Hue10YR7/1)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		10.2	4.0	2.8	
23	6			YS下02	81	4T	Ⅲ	V	藁灰釉	灰白(Hue2.5Y8/2)	にぶい黄橙(Hue10YR7/4)	一部不良	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		11.2	4.6	3.3	
23	7			YS下01	148	CT	Ⅲ	V	藁灰釉	灰白(Hue5Y7/2)	にぶい黄橙(Hue10YR7/3)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		12.0	4.4	3.7	
23	8			YS下01	161	CT	Ⅲ	V	藁灰釉	灰黄(Hue2.5Y7/2)	にぶい橙(Hue5YR6/3)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		11.0	4.3	3.5	
23	9			YS下01	151	CT	Ⅲ	V	藁灰釉	明青灰(Hue5B7/1)	にぶい橙(Hue7.5YR7/3)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		10.6	4.2	3.5	ゆがみ大
23	10			YS下01	153	表採	Ⅲ	V	藁灰釉	灰白(Hue10Y8/1)	にぶい黄橙(Hue10YR7/3)	一部不良	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		10.7	4.3	3.3	
23	11			YS下01	216	表採	Ⅲ	V	藁灰釉	明緑灰(Hue7.5GY7/1)	にぶい橙(Hue7.5YR7/4)	一部不良	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整？	腰部付近以下露胎		10.5	4.4	3.2	
23	12			YS下01	221	表採	Ⅲ	V	藁灰釉	灰白(Hue2.5Y7/1)	にぶい黄橙(Hue10YR7/4)	良好	0.5㎜大砂粒含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		11.2	4.4	3.2	
23	13			YS下01	292	表採	Ⅲ	V	藁灰釉	？	褐色	良好	砂粒を含む	ロクロ水引き	工具削り(左回転)	？	腰部付近以下露胎		11.0	4.0	3.2	盗難
23	14			YS下01	291	表採	Ⅲ	V	藁灰釉 鉄釉	？	淡褐色	良好	砂粒を含む	ロクロ水引き	工具削り(左回転)	？	腰部付近以下露胎		11.4	4.0	2.4	盗難 ゆがみあり
23	15			YS下01	144	CT	Ⅲ	V	藁灰釉 鉄釉	灰白(Hue7.5Y7/1)	にぶい橙(Hue7.5YR6/4)	やや不良	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	回転糸切り痕	腰部付近以下露胎		11.6	4.6	3.3	
23	16	26	21	YS下02	98	2T	Ⅲ	Ⅵa	藁灰釉 鉄釉	灰白(Hue5Y7/2)	にぶい赤褐(Hue5YR5/4)	やや不良	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	？	腰部付近以下露胎		12.0	4.0	3.5	見込み釉はぎ痕３
23	17	26	22 23	YS下02	60	3T	Ⅲ	Ⅵa	藁灰釉 鉄釉	灰白(Hue5YR7/1)	にぶい赤褐(Hue5YR4/4)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	回転糸切り痕	腰部付近以下露胎		13.3	4.8	3.2	見込みに胎土目２＋釉はぎ痕３
23	18	27	1	YS下02	65	3T	Ⅲ	Ⅵa	藁灰釉 鉄釉	灰白(Hue7.5Y8/1)	浅黄橙(Hue10YR8/3)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	回転糸切り痕	？		11.8	4.4	2.7	見込みに胎土目１＋釉はぎ痕３
23	19	27	2	YS下01	56	CT	Ⅲ	Ⅵa	藁灰釉 鉄釉	灰白(Hue7.5Y8/2)	明赤褐(Hue2.5YR5/6)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	回転糸切り痕	？		13.2	4.4	3.8	
23	20	27	3 4 5	YS下01	160	CT	Ⅲ	Ⅵa	藁灰釉 鉄釉	灰白(Hue5Y7/1)	にぶい赤褐(Hue2.5YR4/4)	不良	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	回転糸切り痕	腰部付近以下露胎		12.4	4.2	3.4	見込みに胎土目１＋釉はぎ痕３
24	1	27	6	YS下02	53	4T	Ⅲ	Ⅵa	藁灰釉 鉄釉	灰白(Hue7.5Y8/1)	浅黄橙(Hue10YR8/3)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	？	腰部付近以下露胎		11.4	4.5	2.9	見込みに釉はぎ痕３
24	2	27	7	YS下02	59	4T	Ⅲ	Ⅵa	藁灰釉 鉄釉	灰白(Hue7.5Y7/2)	にぶい赤褐(Hue5YR5/4)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	？	腰部付近以下露胎		12.0	4.3	2.6	見込みに胎土目１＋釉はぎ痕３
24	3	27	8	YS下02	52	8T	Ⅲ	Ⅵa	藁灰釉 鉄釉	灰白(Hue2.5Y8/2)	明褐灰(Hue5YR7/2)	生焼	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	？	腰部付近以下露胎		13.4	5.2	3.6	見込みに胎土目１＋釉はぎ痕３
24	4	27	9	YS下02	50	4T	Ⅲ	Ⅵa	藁灰釉	灰白(Hue2.5GY8/1)	明褐灰(Hue5YR7/2)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	？	腰部付近以下露胎		11.8	4.5	3.2	見込みに釉はぎ痕２
24	5	27	10	YS下02	62	4T	Ⅲ	Ⅵa	藁灰釉？	—	浅黄橙(Hue10YR8/3)	生焼	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		11.8	5.2	3.2	見込みに釉はぎ痕３.生焼け
24	6			YS下02	83	4T	Ⅲ	Ⅵa	藁灰釉 鉄釉	淡黄(Hue2.5Y8/3)	灰赤(Hue10R4/2)	生焼	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	回転糸切り痕？	腰部付近以下露胎		11.2	3.5	2.6	
24	7	27	11	YS下02	55	4T	Ⅲ	Ⅵa	藁灰釉 鉄釉	灰白(Hue10Y8/1)	にぶい黄橙(Hue10YR7/4)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	回転糸切り痕	腰部付近以下露胎		12.5	4.4	3.7	見込みに胎土目２＋釉はぎ痕３

Tab.12　皿屋窯跡出土遺物一覧（5）

Fig	FNo	PL	PNo	調査地	実測No	土点出土地	器種	分類	釉薬等	色調（表面）	色調（胎土）	焼成	胎　土	成形	碗皿類の底部調整等			甕類の内面調整等	法量（cm）			備　考
															腰部・底裏	畳付（底）	施釉範囲		口径	底径	器高	
24	8	27	12	YS下02	64	4T	Ⅲ	Ⅵa	藁灰・鉄釉	灰白(Hue5GY8/1)	赤褐(Hue10R5/3)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	回転糸切り痕？	腰部付近以下露胎		13.6	3.8	3.3	見込みに胎土目２＋釉はぎ痕３
24	9			YS下01	230	CT	Ⅲ	—	藁灰釉	灰白(Hue10Y8/1)	にぶい黄橙(Hue10YR7/3)	不良	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		-	4.2	-	畳付けに１ヶ所胎土目１(ピン)＋痕跡２
24	10			YS下02	254	2T	Ⅲ	—	藁灰釉	灰白(Hue7.5Y8/1)	にぶい黄褐(Hue10YR7/4)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		-	4.6	-	見込みに３ヶ所胎土目(ピン)
24	11			YS下02	276	2T	Ⅲ	—	藁灰・鉄釉	灰白(Hue7.5Y7/1)	灰白(Hue7.5Y8/1)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整？	腰部付近以下露胎		-	3.4	-	見込み・底部共に、３ヶ所胎土目(ピン)
24	12			YS下01	215	表採	Ⅲ	—	藁灰釉	灰白(Hue10Y8/1)	にぶい橙(Hue7.5YR7/4)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		-	4.0	-	見込みに２ヶ所胎土目(ピン)
24	13			YS下01	225	表採	Ⅲ	—	藁灰釉？	灰白(Hue7.5Y7/1)	にぶい黄橙(Hue10YR7/2)	良好	1㎜大の砂粒含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		-	4.6	-	見込みに３ヶ所胎土目(ピン)
24	14			YS下02	131	2T	Ⅲ	Ⅱd	石灰釉 鉄釉	灰黄(Hue2.5Y6/2)	にぶい橙(Hue7.5YR6/4)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		15.0	4.6	4.6	混入品？
24	15			YS下01	231	表採	Ⅲ	Ⅲ	藁灰釉	灰黄(Hue2.5Y7/2)	灰黄(Hue2.5Y7/2)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き	？	？	腰部付近以下露胎		-	-	-	鉄絵？ 折縁口縁
24	16			YS下02	68	3T	Ⅲ	Ⅷb	藁灰釉	浅黄(Hue2.5Y7/4)	にぶい橙(Hue5YR6/4)	生焼	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	？	腰部付近以下露胎		20.9	6.8	5.9	見込みに釉はぎ痕２
24	17			YS下01	275	表採	Ⅲ	Ⅷ	藁灰釉	灰白(Hue10Y8/1)	にぶい黄橙(Hue10YR7/2)	やや不良	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	回転糸切り痕→工具調整？	腰部付近以下露胎		-	6.7	-	
24	18			YS下02	74	8T	Ⅲ	Ⅷb	不明	不明	にぶい橙(Hue7.5YR7/4)	生焼	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	？	腰部付近以下露胎		20.0	7.5	5.3	
24	19			YS下02	260	2T	Ⅲ	Ⅷd	藁灰釉	灰白(Hue5GY8/1)	灰白(Hue5Y7/1)	良好	1㎜大の砂粒含む	ロクロ水引き	—	—	腰部付近以下露胎		-	-	-	
25	1			YS下02	258	5T	Ⅲ	Ⅷd	藁灰釉	灰白(Hue10Y7/1)	にぶい黄橙(Hue10YR7/3)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		22.0	-	-	
25	2			YS下02	86	4T	Ⅲ	Ⅷd	藁灰釉	浅黄橙(Hue10YR8/3)	明赤褐(Hue2.5YR5/6)	生焼	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	？	？		18.8	7.5	5.7	
25	3	27	13	YS下02	257	7T	Ⅲ	Ⅸ	藁灰釉	灰白(Hue5Y7/2)	にぶい黄橙(Hue10YR7/4)	ほぼ良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		-	8.2	-	見込みに釉はぎ痕３
25	4			YS下01	289	BT	碗	Ⅰ	藁灰釉 鉄釉	？	褐色	普通	砂粒を含む	ロクロ水引き	工具削り(左回転)	？	腰部付近以下露胎		10.6	4.4	6.1	他の個体(碗)が釉着している 盗難
25	5	27	14	YS下02	2	1T	碗	Ⅰ	藁灰釉	灰黄(Hue2.5Y7/2)	にぶい黄橙(Hue10YR6/3)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整？	腰部付近以下露胎		11.8	4.6	7.2	
25	6			YS下02	106	1T	碗	Ⅰ	藁灰釉	不明	にぶい黄橙(Hue10YR7/3)	生焼	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	？	腰部付近以下露胎		11.0	4.4	5.9	
25	7	27	15	YS下02	22	3T	碗	Ⅰ	藁灰釉	灰白(Hue10Y8/1)	浅黄(Hue10YR8/3)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	？	腰部付近以下露胎		11.4	4.5	7.0	
25	8			YS下02	85	4T	碗	Ⅰ	藁灰釉	浅黄橙(Hue10YR8/3)	にぶい橙(Hue7.5YR7/4)	普通	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整？	腰部付近以下露胎		12.6	4.9	6.3	
25	9	27	16	YS下02	80	4T	碗	Ⅰ	藁灰釉	浅黄(Hue2.5Y8/3)	にぶい黄橙(Hue10YR7/4)	生焼	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	回転糸切り痕	腰部付近以下露胎		11.2	4.2	6.0	
25	10	27	17	YS下02	12	7T	碗	Ⅰ	藁灰釉	灰白(Hue10Y8/1)	浅黄(Hue2.5Y7/3)	良好	1㎜大の砂粒含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整？	腰部付近以下露胎		11.2	4.7	6.1	
25	11			YS下01	290	表採	碗	Ⅰ	藁灰釉 鉄釉	？	褐色	不良	砂粒を含む	ロクロ水引き	工具削り(左回転)	回転糸切→工具削り調整？	腰部付近以下露胎		12.2	5.0	6.4	盗難
25	12			YS下02	126	3T	碗	Ⅰ	藁灰釉	灰白(Hue10Y8/1)	にぶい赤橙(Hue10R6/2)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整？	腰部付近以下露胎		11.1	4.8	5.7	
25	13	27	18	YS下02	167	4T	碗	Ⅰ	藁灰釉	灰白(Hue7.5Y7/1)	にぶい橙(Hue7.5YR7/3)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		11.6	4.8	6.1	
25	14	27	19	YS下02	4	3T	碗	Ⅰ	藁灰釉 鉄釉	浅黄橙(Hue10YR8/3)	にぶい褐(Hue7.5YR6/3)	生焼	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	？	腰部付近以下露胎		11.2	4.6	5.8	水引き痕顕著
25	15	27	20	YS下02	7	8T	碗	Ⅰ	藁灰釉 鉄釉	灰黄(Hue2.5Y7/2)	にぶい赤褐(Hue2.5YR4/4)	生焼	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整？	腰部付近以下露胎		11.2	5.1	5.8	水引き痕顕著
25	16	27	21	YS下02	11	3T	碗	Ⅰ	藁灰釉	灰白(Hue7.5Y7/1)	浅黄橙(Hue7.5YR8/3)	良好	1㎜大の砂粒含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	？	腰部付近以下露胎		9.6	4.1	6.1	
25	17	28	1	YS下02	1	3T	碗	Ⅰ	藁灰釉	淡黄(Hue2.5Y8/3)	橙(Hue7.5Y7/5)	生焼	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	？	腰部付近以下露胎		10.9	5.4	6.3	
25	18	28	2	YS下02	164	4T	碗	Ⅰ	藁灰釉	灰白(Hue2.5GY8/1)	にぶい黄橙(Hue10YR7/4)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	？	腰部付近以下露胎		11.2	4.9	6.9	
25	19	28	3	YS下02	19	4T	碗	Ⅱ	藁灰釉	灰白(Hue5Y7/2)	にぶい黄橙(Hue10YR7/4)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	回転糸切痕？	腰部付近以下露胎		11.4	5.2	6.2	
26	1			YS下01	202	AT	碗	Ⅱ	藁灰釉	明オリーブ灰(Hue5GY7/1)	にぶい橙(Hue5YR6/4)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		12.0	4.8	5.7	第２室火床内出土

Tab.12　皿屋窯跡出土遺物一覧（6）

Fig	FNo	PL	PNo	調査地	実測No	土点出土地	器種	分類	釉薬等	色調（表面）	色調（胎土）	焼成	胎　土	成形	碗皿類の底部調整等			甕類の内面調整等	法量（cm）			備　考
															腰部・底裏	畳付（底）	施釉範囲		口径	底径	器高	
26	2	28	4	YS下02	16	3T	碗	Ⅲ	長石釉？	灰白(Hue7.5YR7/1)	にぶい橙(Hue7.5YR6/4)	良好	1㎜大の砂粒多く含む(黒色微粒子含む。長石？)	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整？	腰部付近以下露胎		13.2	5.8	8.0	
26	3	28	5	YS下02	5	4T	碗	Ⅲ	藁灰釉 鉄釉	灰白(Hue7.5Y7/1)	にぶい橙(Hue7.5YR7/4)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)底部外面露胎 畳付けに一部糸切り跡	回転糸切痕	腰部付近以下露胎		11.0	5.0	6.2	
26	4			YS下02	252	3T	碗	Ⅲ	石灰釉？	灰白(Hue5Y7/2)	灰白(HueN7/)	普通	1㎜大の砂粒含む(緊密)	ロクロ水引き(右回転)	—	—	—		12.0	-	-	外面に絵付けあり 混入品？
26	5			YS下02	244	4T	碗	Ⅲ	藁灰釉	灰白(Hue10Y8/1)	灰(HueN7/)	不良	1㎜大の砂粒含む	ロクロ水引き(右回転)	—	—	—		12.2	-	-	
26	6			YS下01	274	AT	碗	—	藁灰釉	淡黄(Hue2.5Y8/3)	にぶい橙(Hue7.5YR7/4)	生焼	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整？	腰部付近以下露胎		-	5.2	-	
26	7			YS下02	281	2T	碗	—	藁灰釉	明オリーブ灰(Hue5GY7/1)	にぶい赤褐(Hue2.5YR4/3)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		-	4.6	-	
26	8			YS下02	250	3T	碗	—	石灰釉？	灰黄(Hue2.5Y7/2)	にぶい橙(Hue5YR7/3)	良好	1㎜大の砂粒多く含む(緊密)	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		-	4.0	-	混入品？
26	9			YS下01	209	表採	碗	Ⅲ	藁灰釉	浅黄(Hue2.5Y7/3)	灰(Hue5Y6/1)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ？	—	—	—		14.8	-	-	他窯からの混入品？
26	10			YS下02	206	3T	碗	Ⅴ	鉄釉	黒褐(Hue10YR2/2)	にぶい黄橙(Hue10YR6/3)	良好	1㎜大の砂粒多く含む(緊密)	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整。	腰部付近以下露胎		9.2	4.0	-	他窯からの混入？
26	11			YS下02	193	4T	碗	Ⅴ	鉄釉	暗赤灰(Hue5R4/1)	黄灰(Hue2.5Y6/1)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	—	—	—		11.6	-	-	
26	12			YS下01	208	表採	碗	Ⅴ	鉄釉	黒(Hue10YR7/1)	灰(Hue7.5Y6/1)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ？	—	—	—		11.3	-	-	
26	13			YS下01	211	CT	碗	Ⅴ	鉄釉	黒褐(Hue10YR2/3)	明褐灰(Hue5YR7/1)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ？	—	—	—		-	-	-	
26	14			YS下01	212	CT	碗	Ⅴ	鉄釉	黒褐(Hue10YR2/3)	褐灰(Hue5YR6/1)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ？	—	—	—		-	-	-	
26	15			YS下02	198	5T	碗	Ⅴ	鉄釉	黒褐(Hue7.5YR3/1)	灰(Hue5Y6/1)	一部不良	1㎜大の砂粒含む	ロクロ？	—	—	—		-	-	-	
26	16			YS下02	272	3T	碗	Ⅴ	鉄釉	灰赤(Hue10R4/2)	灰(Hue5Y6/1)	良好	微細	ロクロ？	—	—	—		-	-	-	
26	17	28	6	YS下02	200	8T	鉢	Ⅰ	長石釉	灰白(Hue5Y7/2)	灰白(HueN7/)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ？	—	—	—		-	-	-	志野焼
26	18	28	7	YS下02	192	4T	鉢	Ⅱ	石灰釉	オリーブ灰(Hue10Y6/2)	にぶい橙(Hue7.5YR7/3)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ？	工具削り(左回転)	回転糸切り痕→工具調整？	腰部付近以下露胎		-	4.0	-	
26	19			YS下02	253	3T	碗?	—	藁灰釉	灰白(Hue10Y8/1)	にぶい黄橙(Hue10YR7/3)	やや不良	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整？	腰部付近以下露胎		-	4.8	-	腰部に４条の凹線 向付？
26	20	29	6	YS下02	188	4T	鉢	Ⅱ	石灰釉	灰白(Hue5Y7/2)	灰白(Hue2.5Y7/1)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ？	—	—	—		7.8	-	-	鉄絵 向付？
26	21	29	6	YS下02	189	4T	鉢	Ⅱ	石灰釉	灰白(Hue5Y7/2)	灰白(Hue2.5Y7/1)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ？	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		7.2	3.3	6.6	鉄絵 向付？
26	22			YS下01	234	表採	碗	Ⅶ	—	灰白(Hue5Y7/1)	褐灰(Hue10YR6/1)	良好	緊密	ロクロ水引き	工具削り(左回転)	—	—		15.8	-	-	白磁
26	23			YS下02	199	4T	碗	Ⅶ	—	灰白(Hue10Y7/1)	灰白(HueN8/)	良好	緊密	ロクロ？	—	—	—		16.4	-	-	白磁
26	24			YS下01	236	表採	碗	Ⅶ	—	灰白(Hue5Y7/1)	褐灰(Hue10YR6/1)	良好	緊密	ロクロ水引き	—	—	—		-	-	-	白磁
26	25			YS下01	237	表採	碗	Ⅶ	—	浅黄(Hue2.5Y7/3)	灰(HueN6/)	良好	微細	ロクロ？	—	—	—		-	-	-	白磁
26	26			YS下02	277	4T	碗	Ⅶ	—	灰白(Hue7.5Y7/1)	灰白(HueN7/)	良好	緊密	ロクロ？	—	—	—		-	-	-	白磁
26	27			YS下01	232	表採	碗	Ⅶ	—	灰白(Hue5Y7/2)	灰白(HueN8/)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き	—	—	—		-	-	-	白磁
26	28			YS下02	278	4T	碗	Ⅶ	—	灰白(Hue10Y7/1)	灰白(HueN7/)	良好	緊密	ロクロ？	—	—	—		-	-	-	白磁
26	29			YS下01	235	表採	碗	Ⅶ	—	灰白(Hue7.5Y7/1)	褐灰(Hue10YR6/1)	良好	緊密	ロクロ？	—	—	—		-	-	-	白磁
26	30			YS下01	233	表採	碗	Ⅶ	—	灰白(Hue5GY8/1)	灰白(Hue7.5Y8/1)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き	—	—	—		-	-	-	青花
27	1			YS下01	105	AT	小杯	Ⅰ	藁灰釉	灰白(Hue10Y8/1)	にぶい橙(Hue7.5YR7/4)	不良	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	？	腰部付近以下露胎		7.2	3.6	3.8	
27	2			YS下01	288	BT	小杯	Ⅰ	藁灰釉		淡黄灰色	良好	砂粒を含む	ロクロ水引き	工具削り(左回転)	？	腰部付近以下露胎		6.6	3.4	3.7	盗難
27	3	28	8	YS下02	26	8T	小坏	Ⅰ	藁灰釉	灰白(Hue10Y8/1)	灰白(Hue5YR8/2)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	底面露胎、削り	？	腰部付近以下露胎		7.0	3.6	3.7	

Tab.12　皿屋窯跡出土遺物一覧（7）

Fig	FNo	PL	PNo	調査地	実測No	土点出地	器種	分類	釉薬等	色調（表面）	色調（胎土）	焼成	胎　土	成形	碗皿類の底部調整等			甕類の内面調整等	法量（cm）			備　考
															腰部・底裏	畳付（底）	施釉範囲		口径	底径	器高	
27	4	28	9	YS下02	102	8T	小坏	Ⅰ	藁灰釉	明オリーブ(Hue2.5GY7/1)	にぶい黄橙(Hue10YR7/3)	良好	1mm大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		7.0	3.6	3.9	
27	5	28	10	YS下02	186	8T	小坏	Ⅰ	藁灰釉	灰黄(Hue2.5Y7/2)	にぶい橙(Hue7.5YR7/4)	生焼	1mm大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	?	腰部付近以下露胎		7.4	3.8	4.5	
27	6			YS下02	114	1T	小杯	Ⅰ	藁灰釉	にぶい黄橙(Hue10YR7/2)	にぶい黄橙(Hue10YR7/3)	生焼	1mm大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	?	腰部付近以下露胎		8.4	4.3	3.8	
27	7			YS下02	44	1T	小杯	Ⅰ	藁灰釉	明緑灰(Hue7.5GY8/1)	にぶい黄橙(Hue10YR7/3)	良好	1mm大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	?	腰部付近以下露胎		7.9	-	4.1	ゆがみあり
27	8			YS下02	100	2T	小杯	Ⅰ	藁灰釉	にぶい黄橙(Hue10YR7/3)	にぶい赤褐(Hue2.5YR4/3)	不良	1mm大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	回転糸切り痕	腰部付近以下露胎		7.0	3.5	4.0	
27	9			YS下02	77	3T	小坏	Ⅰ	藁灰釉	浅黄(Hue2.5Y8/3)	にぶい黄橙(Hue7.5YR7/4)	生焼	1mm大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	?	腰部付近以下露胎		7.0	3.4	3.5	
27	10			YS下02	96	3T	小坏	Ⅰ	藁灰釉	灰白(Hue10YR8/2)	にぶい黄橙(Hue10YR7/4)	生焼	1mm大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	?	腰部付近以下露胎		8.0	4.0	4.8	
27	11	28	11	YS下02	110	3T	小坏	Ⅰ	藁灰釉	浅黄(Hue2.5Y8/3)	浅黄橙(Hue7.5R)	生焼	1mm大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	?	腰部付近以下露胎		7.2	2.8	3.8	
27	12			YS下02	118	3T	小坏	Ⅰ	藁灰釉	灰白(Hue7.5Y7/1)	にぶい褐(Hue7.5YR6/3)	やや不良	1mm大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	?	腰部付近以下露胎		6.4	3.4	3.5	
27	13	28	12	YS下02	25	4T	小坏	Ⅰ	藁灰釉	灰白(Hue2.5Y8/2)	にぶい橙(Hue7.5YR7/3)	生焼	1mm大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	?	腰部付近以下露胎		7.0	4.0	3.0	
27	14	28	13	YS下02	29	4T	小坏	Ⅰ	藁灰釉	灰白(Hue2.5Y8/2)	にぶい橙(Hue7.5YR7/3)	一部不良	1mm大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	?	腰部付近以下露胎		9.2	4.3	4.5	
27	15			YS下02	78	4T	小坏	Ⅰ	藁灰釉	灰黄(Hue2.5Y7/2)	にぶい黄橙(Hue10YR7/4)	生焼	1mm大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	?	腰部付近以下露胎		6.8	3.2	3.9	
27	16	28	14	YS下02	88	4T	小坏	Ⅰ	藁灰釉	灰白(Hue10Y7/1)	にぶい赤褐(Hue5YR5/4)	良好	1mm大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	?	腰部付近以下露胎		7.1	3.5	3.3	
27	17			YS下02	82	4T	小坏	Ⅰ	藁灰釉 鉄釉	灰白(Hue2.5GY8/1)	淡黄(Hue2.5Y8/3)	良好	1mm大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		8.5	3.6	3.8	
27	18			YS下02	178	4T	小坏	Ⅰ	藁灰釉	灰白(Hue10Y8/1)	浅黄橙(Hue10YR8/3)	良好	1mm大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	回転糸切り痕→工具調整?	腰部付近以下露胎		6.8	3.0	3.4	
27	19			YS下02	179	4T	小坏	Ⅰ	藁灰釉	灰白(Hue10Y8/1)	にぶい赤褐(Hue5YR5/3)	良好	1mm大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	回転糸切り痕→工具調整?	腰部付近以下露胎		7.1	3.0	3.9	
27	20	28	15	YS下02	173	4T	小坏	Ⅰ	藁灰釉	灰白(Hue5GY8/1)	淡黄橙(Hue7.5YR8/3)	良好	1mm大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	?	腰部付近以下露胎		7.1	3.1	3.7	トチン付着
27	21	28	16	YS下02	37	5T	小坏	Ⅰ	藁灰釉	灰白(Hue10Y7/1)	にぶい橙(Hue7.5YR7/3)	良好	1mm大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整?	腰部付近以下露胎		7.6	3.7	4.4	
27	22			YS下02	181	5T	小坏	Ⅰ	藁灰釉	灰白(Hue7.5Y7/1)	にぶい黄橙(Hue10YR7/3)	良好	1mm大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		8.0	4.0	4.1	
27	23			YS下01	123	BT	小杯	Ⅰ	藁灰釉	淡黄(Hue2.5Y8/3)	にぶい橙(Hue7.5YR6/4)	生焼	1mm大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		8.1	3.8	4.3	
27	24	28	17 18	YS下02	184	7T 下層	小坏	Ⅰ	藁灰釉	灰黄(Hue2.5Y7/2)	にぶい橙(Hue7.5YR6/4)	生焼	1mm大の砂粒含む	ロクロ水引き(右回転)	?	回転糸切り痕(右回転)	腰部付近以下露胎		8.4	4.5	3.9	高台無し
27	25	28	19	YS下02	18	表採	小坏	Ⅰ	藁灰釉	灰白(Hue7.5Y7/1)	にぶい黄橙(Hue10YR7/3)	良好	1mm大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整?	腰部付近以下露胎		8.0	4.0	4.7	
27	26	28	20	YS下02	21	表採	小坏	Ⅰ	藁灰釉	灰白(Hue10Y7/1)	浅黄(Hue2.5Y7/3)	良好	1mm大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	?	腰部付近以下露胎		6.9	3.6	3.5	
27	27			YS下02	99	7T	小杯	Ⅰ	藁灰釉	灰白(Hue10YR7/1)	にぶい黄橙(Hue10YR6/3)	良好	1mm大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	回転糸切り痕→工具削り調整	腰部付近以下露胎		9.0	3.8	5.1	
27	28	28	21 22	YS下02	187	3T	小坏	Ⅰ	藁灰釉	灰白(Hue10Y7/1)	にぶい黄橙(Hue10YR7/4)	生焼	1mm大の砂粒含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	回転糸切り痕	腰部付近以下露胎		7.6	3.4	3.7	
27	29	28	23 24	YS下02	31	4T	小坏	Ⅰ	藁灰釉	浅黄(Hue2.5Y8/3)	浅黄橙(Hue7.5YR8/4)	生焼	1mm大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	回転糸切痕(ロクロ右回転)	腰部付近以下露胎		8.2	4.0	3.5	
27	30			YS下01	287	BT	小杯	Ⅱ	藁灰釉	?	淡黄灰色	普通	砂粒を含む	ロクロ水引き	工具削り(左回転)	回転糸切→工具削り調整?	腰部付近以下露胎		7.0	4.0	5.0	盗難
27	31	28	25	YS下02	34	3T	小坏	Ⅱ	藁灰釉	灰白(Hue2.5Y8/1)	にぶい黄橙(Hue10YR7/3)	生焼	1mm大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	?	腰部付近以下露胎		6.0	3.4	5.3	
27	32			YS下02	154	3T	小坏	Ⅱ	藁灰釉	灰白(Hue10Y8/1)	浅黄橙(Hue10YR8/3)	良好	1mm大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	?	腰部付近以下露胎		6.3	4.1	4.6	
27	33	28	26	YS下02	166	2T	小杯	Ⅱ	藁灰釉	灰白(Hue7.5Y7/1)	にぶい橙(Hue7.5YR6/4)	良好	1mm大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整?	腰部付近以下露胎		6.4	3.4	4.4	
27	34	28	27	YS下02	41	4T	小坏	Ⅱ	藁灰釉	明緑灰(Hue7.5G8/1)	にぶい黄橙(Hue10YR7/3)	良好	1mm大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	?	?	腰部付近以下露胎		5.4	-	4.4	
27	35			YS下02	89	4T	小坏	Ⅱ	藁灰釉	灰白(Hue10YR8/2)	明褐灰(Hue7.5YR7/1)	良好	1mm大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	?	腰部付近以下露胎		6.0	3.0	5.1	

Tab. 12　皿屋窯跡出土遺物一覧（8）

Fig	FNo	PL	PNo	調査地	実測No	土点出地	器種	分類	釉薬等	色調（表面）	色調（胎土）	焼成	胎　土	成形	碗皿類の底部調整等			甕類の内面調整等	法量（cm）			備　考
															腰部・底裏	畳付（底）	施釉範囲		口径	底径	器高	
27	36	28	28	YS下02	171	4T	小坏	Ⅱ	藁灰釉	灰オリーブ(Hue7.5Y5/2)	灰白(Hue7.5Y7/1)	一部不良	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	?	腰部付近以下露胎		6.0	3.4	4.4	
27	37	28	29	YS下02	172	4T	小坏	Ⅱ	藁灰釉	灰黄(Hue2.5Y7/2)	灰黄(Hue2.5Y7/2)	生焼	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整?	腰部付近以下露胎		6.1	3.6	4.5	
27	38			YS下02	152	3T	小坏	Ⅲ	藁灰釉	灰白(Hue10Y8/2)	にぶい黄橙(Hue10YR7/3)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		6.0	3.0	3.2	
27	39	28	30	YS下02	33	4T	小坏	Ⅲ	藁灰釉	明褐灰(Hue7.5YR7/2)	浅黄橙(Hue7.5YR8/4)	生焼	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整(左回転)	腰部付近以下露胎		7.0	3.9	3.0	
27	40			YS下02	72	5T	小坏	Ⅲ	藁灰釉	灰白(Hue7.5Y7/1)	灰黄(Hue2.5Y7/2)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	回転糸切り痕?	腰部付近以下露胎		6.9	3.7	3.6	
28	1			YS下02	249	3T	瓶	Ⅰ	藁灰釉	灰白(Hue10Y8/1)	灰白(Hue2.5Y8/2)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ?	—	—			3.2	-	-	頸部以上は、ロクロ調整
28	2			YS下02	261	3T	瓶	Ⅰ	藁灰釉	明オリーブ灰(Hue5GY7/1)	にぶい黄橙(Hue10YR7/3)	良好	1㎜大の砂粒含む	ロクロ?	工具削り(左回転)	工具削り調整?			-	5.0	-	
28	3			YS下02	259	3T	瓶	Ⅰ	藁灰釉	明オリーブ灰(Hue2.5GY7/1)	にぶい赤褐(Hue5YR6/3)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ?	工具削り(左回転)	回転糸切り痕			-	4.4	-	
28	4	28	31	YS下02 ST、No.2	191	8T	瓶	Ⅰ	藁灰釉	灰白(Hue7.5Y7/1)	灰白(Hue10YR8/2)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ?	工具削り(左回転)	回転糸切り痕			-	4.0	-	
28	5			YS下01	299	BT	瓶	Ⅰ	土灰釉	?	灰色	良好	微砂粒を含む	ロクロ?	—	—			-	5.0	(8.5)	底部に繊維質付着 盗難
28	6	28	32	YS下02 (No.6)	183	8T	瓶	Ⅰ	藁灰釉	灰白(Hue10Y8/1)	にぶい橙(Hue2.5YR6/4)	ほぼ良好	1㎜大の砂粒含む	ロクロ?	工具削り(左回転)	工具削り調整?			-	4.0	-	
28	7			YS下01	101	CT	軸受	Ⅰ	藁灰釉	明オリーブ灰(Hue5GY7/1)	にぶい黄橙(Hue10YR7/4)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ?	工具削り(左回転)	工具削り調整			6.2	10.7	4.5	指頭押印あり
28	8			YS下01	296	BT	軸受	Ⅰ	藁灰釉	?	橙褐色	良好	微砂粒を含む	ロクロ?	—	工具削り調整			6.0	9.0	4.3	盗難
28	9			YS下02	201	3T	軸受	Ⅰ	藁灰釉	灰白(Hue2.5GY8/1)	にぶい橙(Hue2.5YR6/3)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	?	工具削り調整	底部外面露胎,		4.2	8.2	3.7	
28	10			YS下02	197	4T	蓋	Ⅰa	不明	にぶい橙(Hue7.5YR7/3)	浅黄橙(Hue10YR8/3)	生焼	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ	—	回転糸切り跡(右回転)			-	3.5	2.5	
28	11			YS下01	223	表採	蓋	Ⅰa	?	黄灰(Hue2.5Y4/1)	にぶい黄橙(Hue10YR6/3)	良好	微細	ロクロ水引き(右回転)	—	回転糸切り痕(右回転)			-	3.3	2.6	
28	12			YS下01	224	表採	蓋	Ⅰa	藁灰釉?	にぶい黄橙(Hue10YR7/3)	にぶい橙(Hue5YR6/4)	生焼	1㎜大の砂粒含む	ロクロ水引き(右回転)	—	回転糸切り痕(右回転)			-	4.0	-	
28	13			YS下01	293	表採	蓋	Ⅰa	土灰釉	?	灰色	良好	砂粒を含む	ロクロ水引き	工具削り(左回転)	?			5.8	3.8	2.2	盗難
28	14			YS下01	294	表採	蓋	Ⅰa	藁灰釉	?	茶褐色	不良	微砂粒を含む	ロクロ水引き	工具削り(左回転)	回転糸切り			5.0	3.1	1.7	盗難
28	15			YS下02	207	3T	不明	—	素焼き?	灰黄褐(Hue10YR4/2)	浅黄橙(Hue10YR8/4)	やや不良	1㎜大の砂粒多く含む	—	—	—			8.7	-	-	
28	16			YS下02	196	3T	小皿?	—	藁灰釉	灰白(Hue2.5Y8/2)	にぶい黄橙(Hue10YR7/3)	生焼	1㎜大の砂粒多く含む	—	—	—			6.2	-	-	口縁部を密に押捺
28	17			YS下01	128	AT	片口碗	Ⅰa	藁灰釉	淡黄(Hue2.5Y8/3)	にぶい黄橙(Hue10YR7/4)	生焼	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整?			11.4	5.4	5.8	片口部、一部残存
28	18	29	1	YS下02	115	3T	片口碗	Ⅰa	藁灰釉	灰白(Hue2.5Y8/1)	にぶい褐(Hue7.5YR5/3)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	回転糸切り痕			11.2	4.6	5.4	
28	19			YS下02	195	4T	片口碗	Ⅰb	長石釉?	黄灰(Hue2.5Y6/1)	にぶい橙(Hue7.5YR7/3)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き	—	—			16.8	-	-	鉄絵 類似色の片口破片出土
28	20	29	2	YS下02	45	4T	片口碗	Ⅰa	藁灰釉	灰白(Hue10Y8/1)	にぶい橙(Hue7.5YR7/3)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	?			10.3	5.0	6.2	注ぎ口欠損
28	21			YS下02	280	4T	片口碗	Ⅰb	藁灰釉	灰白(Hue10Y8/1)	にぶい橙(Hue7.5YR6/4)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き	工具削り(左回転)	工具削り調整?			-	6.6	-	
28	22			YS下02	90	4T	片口碗	Ⅰb	藁灰釉	浅黄橙(Hue10Y8/3)	にぶい黄橙(Hue10YR7/3)	生焼	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	?			19.2	10.0	10.7	片口と思われるが口部分はなし
28	23			YS下01	156	AT	片口碗	Ⅰa	藁灰釉	浅黄橙(Hue10YR8/3)	にぶい黄橙(Hue10YR7/4)	不良	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	—			10.6	5.5	5.9	
28	24			YS下02	247	4T	片口碗	Ⅰb	藁灰釉	灰白(Hue2.5Y8/2)	灰白(Hue2.5YR7/1)	生焼	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	—	—			16.8	-	-	
29	1	29	3	YS下02	185	8T	壺	Ⅱb	?	—	灰褐(Hue5YR4/2)	生焼	1㎜大の砂粒含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	回転糸切り痕			7.3	4.6	7.2	釉薬不明
29	2			YS下01	210	CT	壺	Ⅱb	土灰釉	オリーブ黒(Hue5Y2/2)	黄灰(Hue2.5Y6/1)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ	—	—			6.8	-	-	濃緑色(飴釉)
29	3			YS下02	240	3T	壺?	Ⅰb	褐釉	暗オリーブ褐(Hue2.5Y3/3)	灰白(Hue2.5Y7/1)	良好	0.5㎜大の砂粒含む	ロクロ	—	—			-	-	-	

Tab. 12　皿屋窯跡出土遺物一覧（9）

Fig	FNo	PL	PNo	調査地	実測No	出土地点	器種	分類	釉薬等	色調（表面）	色調（胎土）	焼成	胎　土	成形	碗皿類の底部調整等			甕類の内面調整等	法量（cm）			備　考
															腰部・底裏	畳付（底）	施釉範囲		口径	底径	器高	
29	4			YS下02	243	3T	壺	Ⅱa	土灰釉	暗オリーブ(Hue7.5Y4/3)	灰(Hue5Y6/1)	良好	1㎜大の砂粒含む	ロクロ？	—	—			14.2	-	-	
29	5			YS下02	246	3T	壺	Ⅰa	藁灰釉	灰白(Hue10Y8/1)	にぶい黄橙(Hue10YR7/3)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ	—	—			10.1	-	-	
29	6			YS下02	245	2T	徳利	Ⅰ	土灰釉	オリーブ褐(Hue2.5Y4/3)	灰白(Hue5Y7/1)	良好	1㎜大の砂粒含む	ロクロ＋タタキ	—	—		頸部以高は、ロクロ調整	6.0	-	-	
29	7			YS下02	248	2T	徳利	Ⅰ	土灰釉	オリーブ(Hue5Y5/4)	灰(Hue5Y6/1)	一部不良	1㎜大の砂粒含む	ロクロ＋タタキ	—	—		頸部以高は、ロクロ調整	8.3	-	-	
29	8			YS下01	297	表採	徳利	Ⅰ	藁灰釉		淡灰色	良好	微砂粒を含む	ロクロ＋タタキ	—	—			5.4	-	-	
29	9			YS下01	300	表採	徳利	Ⅰ	土灰釉	黄褐(Hue2.5Y5/3)	にぶい黄橙(Hue10YR7/3)	良好	微砂粒を含む	ロクロ＋タタキ	—	—			-	-	-	繊維質付着
29	10			YS下02	262	3T	徳利	Ⅰ	土灰釉	にぶい黄褐(Hue10YR5/3)	にぶい橙(Hue7.5YR7/4)	不良	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ＋タタキ	—	—		頚部内面絞り痕	-	-	-	
29	11			YS下01	228	表採	壺？	—	？	にぶい黄(Hue2.5Y6/3)	褐灰(Hue10YR6/1)	良好	微細	—	—	—		—	-	-	-	取っ手
29	12	29	4	YS下02	162	3T	皿	Ⅷb	長石釉？	黄灰(Hue2.5Y6/1)	橙(Hue7.5YR7/6)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	—	工具削り調整。			22.3	6.0	7.3	蓋の可能性有り
29	13	29	5	YS下02	203	4T	擂鉢	Ⅰ	藁灰釉	灰白(Hue2.5Y8/2)	浅黄橙(Hue7.5YR8/4)	不良	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	—			26.0	9.9	14.3？	注ぎ口有り
29	14			YS下02	279	4T	擂鉢	Ⅱ	藁灰釉？	—	淡黄(Hue2.5Y8/3)	生焼	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	？			-	-	-	
29	15			YS下02	266	3T	錘	—	無釉	—	にぶい黄橙(Hue10YR7/3)	生焼	微粒、砂含む	手づくね	—	—			長さ6.5	巾2.4	孔径1.0	
29	16			YS下02	268	7T	錘	—	藁灰釉	明緑灰(Hue7.5GY8/1)	にぶい黄橙(Hue10YR7/3)	良好	微粒砂含む	手づくね	—	—			-	巾2.3	孔径1.5	
29	17			YS下01	227	表採	錘	—	藁灰釉	灰白(Hue2.5Y8/2)	にぶい橙(Hue7.5YR6/3)	生焼	1㎜大の砂粒含む	手づくね	—	—			2.3	-	-	
29	18			YS下02	267	3T	錘	—	藁灰釉	灰白(Hue7.5Y7/1)	にぶい黄橙(Hue10YR7/3)	良好	0.5㎜大の砂粒含む	手づくね	—	—			-	巾2.7	孔径1.0	
29	19			YS下01	298	BT	錘	—	藁灰釉	？	橙褐色	良好	微砂粒を含む	手づくね	—	—			長さ5.8	巾2.1	孔径1.0	盗難
29	20			YS下01	226	表採	錘	—	藁灰釉	灰白(Hue5Y7/2)	にぶい黄橙(Hue10YR7/2)	良好	1㎜大の砂粒含む	手づくね	—	—			2.4	-	-	
30	1			YS下02	204	4T	甕	Ⅴ	土灰釉	オリーブ褐(Hue2.5Y4/3)	暗褐(Hue7.5YR3/3)	やや不良	微細	タタキ	—	—		タタキ→横ナデ	12.8	14.6	-	
30	2			YS下02	205	4T	甕	Ⅴ	土灰釉	Hue5Y4/3暗オリーブ	灰褐(Hue7.5YR5/2)	やや不良	微細	タタキ	—	—		タタキ→横ナデ	15.0	-	-	口唇部に貝目
30	3			YS下02	255	4T	鉢？	—	不明	にぶい黄褐(Hue10YR5/3)	灰黄(Hue2.5Y7/2)	不良	1㎜大の砂粒多く含む	タタキ？	—	—		？	-	18.4	-	
30	4			YS下02	238	1T	甕	Ⅱ	褐釉？	灰黄(Hue2.5Y7/2)	にぶい褐(Hue7.5YR5/3)	不良	微細	タタキ	—	—		内面同心円タタキ痕	29.0	-	-	内面、円形タタキ痕
30	5			YS下02	239	2T	甕	Ⅲ	不明	にぶい橙(Hue5YR6/3)	灰褐(Hue7.5YR4/2)	不良	1㎜大の砂粒含む	タタキ	—	—		内面同心円タタキ痕	25.0	-	-	内面わずかにタタキ痕
30	6			YS下02	251	4T	鉢	Ⅵa	不明	褐灰(Hue5YR5/1)	淡黄(Hue2.5Y8/4)	不良	1㎜大の砂粒多く含む	タタキ	—	—		？	18.6	-	-	取っ手の痕跡有り
30	7			YS下02	265	3T	鉢	Ⅵb	褐釉？	オリーブ黒(Hue5Y3/2)	灰褐(Hue7.5YR6/2)	不良	1㎜大の砂粒多く含む(マーブル状)	タタキ	—	—		？	35.0	-	-	口縁部に貝目痕あり 外面につまみ？
30	8			YS下02	263	4T	鉢	Ⅵb	土灰釉？	浅黄(Hue2.5Y7/3)	褐灰(Hue7.5YR4/1)	不良	1㎜大の砂粒多く含む	タタキ	—	—		内外面とも同心円タタキ痕	32.0	-	-	口唇、貝目痕 外面につまみあり
30	9			YS下02	271	2T	鉢？	—	不明	？	にぶい褐(Hue7.5YR5/3)	良好	1㎜大の砂粒含む	—	—	—		—	-	-	-	取っ手部
30	10			YS下01	229	表採	鉢	Ⅷ	褐釉？	にぶい赤褐(Hue5YR4/3)	灰黄(Hue2.5Y7/1)	やや不良	0㎜大砂粒及び黒色微細粒含む	タタキ	—	—		？	37.0	-	-	取っ手が付く No１１同一固体？
30	11			YS下02	273	4T	鉢？	Ⅷ？	褐釉？	にぶい赤褐(Hue5YR4/4)	灰黄(Hue2.5Y7/2)	やや不良	1㎜大砂粒及び黒色微細粒含む	タタキ	—	—		？	-	-	-	沈線文 No10同一固体？
30	12			YS下02	256	2T	鉢	Ⅸ	不明	灰黄(Hue2.5Y7/2)	褐灰(Hue7.5YR6/1)	不良	微細	タタキ	—	—		タタキ→ナデ？	30.0	-	-	注ぎ口有り

Tab.13　皿屋上窯跡出土遺物一覧（1）

Fig	No	PL	No	調査地	実測No	出土地点	器種	分類	釉薬等	色調（表面）	色調（胎土）	焼成	胎土	成形	碗皿類の底部調整等			甕類の内面調整等	法量（cm）			備考
															腰部・底裏	畳付（底）	施釉範囲		口径	底径	器高	
35	1	29	7	YS上01	50	4T No.1	碗	Ⅱ	藁灰釉	灰白(Hue10Y7/1)	にぶい黄橙(Hue10YR6/3)	良好	微細(マーブル状)	ロクロ水引き右回り	工具削り(左回転)	?	腰部付近以下露胎		10.2	4.5	5.5	
35	2			YS上01	20	6T	碗	Ⅱ	土灰釉	オリーブ(Hue5Y5/4)	淡黄(Hue2.5Y8/3)	一部不良	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き	工具削り(左回転)	?	?		12.0	-	-	
35	3			YS上01	13	表採	碗	Ⅱ	土灰釉	灰オリーブ(Hue5Y6/2)	にぶい黄橙(Hue10YR7/2)	良好	1㎜大の砂粒含む	ロクロ水引き	—	—	?		11.0	-	-	
35	4			YS上01	48	6T	碗?	Ⅲ	土灰釉	灰オリーブ(Hue5Y4/2)	褐灰(Hue7.5YR5/1)	良好	1㎜大の砂粒及び黒色砂粒含む	ロクロ水引き	—	—	?		11.0	-	-	
35	5	29	8	YS上01	14	6T	碗	—	土灰釉	暗灰黄(Hue2.5Y5/2	にぶい褐(Hue7.5YR6/3)	一部不良	1㎜大の砂粒含む	ロクロ水引き右回り	高台内外面も全施釉	高台端部を丸くおさめる	全面施釉		-	4.7	-	
35	6	29	9 10	YS上石	25	表採	Ⅲ	Ⅰa	土灰釉	灰オリーブ(Hue5Y5/3)	にぶい黄橙(Hue10YR7/2)	—	0.5㎜大の砂粒含む	ロクロ水引き	高台内外面も全施釉	高台端部を丸くおさめる	全面施釉		11.8	5.2	3.7	見込み中央、施釉後焼成前の刻み「×」印
35	7			YS上01	82	2T	壺?	—	?	灰黄褐(Hue10YR6/2)	灰黄褐(Hue10YR6/2)	不良	微細	?					-	-	-	釉薬発色無し
35	8			YS上01	86	1T	瓶	Ⅰ	土灰釉	オリーブ褐(Hue2.5Y4/3)	浅黄橙(Hue10YR8/3)	良好	微細砂粒多く含む	ロクロ					-	-	-	
36	1	29	11	YS上01	57	2T	壺	Ⅴa	褐釉?	褐灰(Hue5YR4/1)	褐灰(Hue7.5YR5/1)	良好	緊密	タタキ				横ナデ	11.6	-	(5.0)	
36	2	29	12	YS上01	56	1T	壺	Ⅴb	褐釉?	—	あずき色(マーブル)	不良	微細(マーブル状)	タタキ				横ナデ	10.4	-	(8.2)	盗難
36	3			YS上01	102	1T	壺	Ⅵ	褐釉?	—	灰白(HueN8/0)	不良	微細(マーブル状)	タタキ					11.6	-	-	黒色？釉薬発色無し
36	4			YS上01	63	表採	壺	Ⅵ	土灰釉	黄褐(Hue2.5Y5/3)	にぶい黄橙(Hue10YR6/3)	不良	微細	タタキ					-	-	-	
36	5			YS上01	46	6T	壺	—	褐釉?	黄灰(Hue2.5Y4/1)	灰赤(Hue10R5/2)	良好	微細	-				横ナデ	-	-	-	縦耳
36	6			YS上01	38	表採	壺	—	不明	淡黄(Hue2.5Y8/3)	黄灰(Hue2.5Y5/1)	不良	微細(マーブル状)	タタキ					-	-	-	縦の耳 釉薬発色無し
36	7			YS上01	42	表採	壺	Ⅴ	褐釉?	黒褐(Hue10YR3/2)	黒褐(Hue10YR3/2)	良好	微細(マーブル状)	?					-	-	-	No４２と同一固体？
36	8			YS上01	81	2T	壺	Ⅰb	土灰釉	オリーブ褐(Hue2.5Y4/4)	にぶい黄橙(Hue10YR6/4)	良好	微細	ロクロ					-	-	-	
36	9			YS上01	64	2T	鉢?	Ⅳb	土灰釉	灰オリーブ(Hue5Y5/3)	灰褐(Hue5YR5/2)	良好	微細(マーブル状)	ロクロ?					-	-	-	口唇部に貝目
36	10			YS上01	85	2T	鉢?	Ⅳb	土灰釉	黄褐(Hue2.5Y5/3)	灰褐(Hue7.5YR5/2)	良好	微細(マーブル状)	ロクロ?					-	-	-	
36	11			YS上01	95	2T	鉢	Ⅳb	土灰釉?	—	にぶい橙(Hue5YR7/4)	良好	微細(マーブル状)	タタキ				横ナデ	20.2	-	-	釉薬発色無し
36	12			YS上01	27	2T	鉢?	—	褐釉?	黒褐(Hue10YR2/2)	灰褐(Hue5YR5/2)	良好	微細(マーブル状)	タタキ				横ナデ	-	-	-	底部に貝目 胴下部に凹線
36	13			YS上01	8	2T	徳利	Ⅱ	土灰釉	褐灰(Hue10YR4/1)	灰赤(Hue2.5YR6/2)	ほぼ良好	微細砂粒	＋ロクロ					6.8	-	-	
36	14			YS上01	5	6T	徳利	Ⅱ	土灰釉	オリーブ褐(Hue2.5Y4/4)	灰褐(Hue7.5YR6/2)	ほぼ良好	微細	＋ロクロ					8.0	-	-	
36	15			YS上01	92	2T	徳利	Ⅱ	土灰釉	灰オリーブ(Hue5Y4/2)	黄灰(Hue2.5Y6/1)	不良	微細	タタキ					7.8	-	-	
36	16			YS上01	91	2T	徳利	Ⅱ	土灰釉	にぶい黄(Hue2.5Y6/3)	灰白(Hue10YR8/2)	良好	微細	タタキ					8.0	-	-	
36	17	29	13	YS上01	54	2T	徳利	Ⅱ	土灰釉	—	暗赤褐色(あずき色)	良好	微細(マーブル状)	タタキ＋ロクロ				頚部にしぼり痕跡	7.8	16.2	22.4	釉薬発色無し
36	18			YS上01	110	1T	徳利	Ⅱ	土灰釉	暗灰黄(Hue2.5Y5/2)	褐灰(Hue7.5YR6/1)	良好	微細(マーブル状)	タタキ					-	16.0	-	
36	19			YS上01	116	6T	徳利	Ⅱ	土灰釉	にぶい黄橙(Hue10YR6/3)	灰褐(Hue7.5YR5/2)	やや不良	微細(マーブル状)	タタキ				タタキ→横ナデ	-	18.0	-	内、外面共下部にタタキ痕 底部に貝目
37	1	29	14	YS上01	120	2T	甕	Ⅳ	土灰釉	暗灰黄(Hue2.5Y5/2)	灰褐(Hue7.5YR5/2)	やや不良	微細(マーブル状)	タタキ				タタキ→横ナデ	24.1	20.0	41.0	口唇部に貝目
37	2			YS上01	52	2T	甕	Ⅳ	土灰釉	オリーブ褐(Hue2.5Y4/3)	灰褐(Hue5YR5/2)	良好	微細(マーブル状)	タタキ				タタキ→横ナデ	20.0	-	(15.3)	口唇部に貝目
37	3			YS上01	53	2T	甕	Ⅳ	土灰釉?	灰褐(Hue7.5Y4/2)	褐灰(Hue5YR5/1)	やや不良	微細(マーブル状)	タタキ				横ナデ	29.4	-	(11.5)	口唇部に貝目

Tab. 13　皿屋上窯跡出土遺物一覧（2）

Fig	No	PL	No	調査地	実測No	出土地点	器種	分類	釉薬等	色調（表面）	色調（胎土）	焼成	胎土	成形	碗皿類の底部調整等			甕類の内面調整等	法量（cm）			備考
															腰部・底裏	畳付（底）	施釉範囲		口径	底径	器高	
37	4			YS上01	105	2T	甕	Ⅳ	土灰釉	灰黄褐（Hue10YR4/2）	灰褐（Hue7.5YR5/2）	良好	微細（マーブル状）	タタキ					21.4	-	-	口唇部に貝目？
37	5			YS上01	6	2T	甕	Ⅳ	土灰釉	灰褐（Hue7.5YR5/2）	灰褐（Hue7.5YR5/2）	不良	微細（マーブル状）	タタキ				横ナデ	18.2	-	-	口唇部に貝目
37	6			YS上01	99	1T	甕	Ⅳ	土灰釉	黄褐（Hue2.5Y5/3）	にぶい黄橙（Hue10YR7/2）	良好	～2㎜黒色粒含む	タタキ				横ナデ	20.2	-	-	口唇部に貝目
37	7			YS上01	94	1T	甕	Ⅳ	土灰釉？	—	にぶい橙（Hue5YR7/4）	不良	微細（マーブル状）	タタキ					17.1	-	-	口唇部に貝目 釉薬発色無し
37	8			YS上01	1	2T	甕	Ⅳ	土灰釉	にぶい黄（Hue2.5Y6/3）	赤灰（Hue2.5YR6/2）	ほぼ良好	微細（マーブル状）	タタキ				横ナデ	17.0	-	-	口唇部に貝目
37	9			YS上01	18	1T	甕	Ⅳ	土灰釉	灰褐（Hue7.5YR5/2）	灰赤（Hue2.5YR5/2）	不良	微細（マーブル状）	タタキ				横ナデ	13.0	-	-	口唇部、貝目
37	10			YS上01	107	1T	甕	Ⅳ	土灰釉	暗灰黄（Hue2.5Y5/2）	にぶい黄橙（Hue10YR7/2）	やや不良	～1.5㎜黒色粒含む	タタキ				横ナデ？	11.4	-	-	口唇部に貝目
38	1	29	15	YS上01	51	2T	甕	Ⅳ	土灰釉	暗灰黄（Hue2.5Y5/2）	にぶい赤褐（Hue5YR5/3）	やや不良	微細（マーブル状）	タタキ				横ナデ	24.2	21.4	39.2	胴下部にタタキ跡 口唇部に貝目。
38	2			YS上01	72	1T	甕	Ⅳ	土灰釉	黄褐（Hue2.5Y5/3）	灰褐（Hue7.5YR6/2）	良好	微細（マーブル状）	タタキ					-	-	-	口唇部に貝目、他の個体釉着
38	3			YS上01	68	1T	甕	Ⅳ	土灰釉？	浅黄（Hue2.5Y7/4）	黄灰（Hue2.5Y6/1）	不良	微細（マーブル状）	タタキ				横ナデ	-	-	-	釉薬発色無し
38	4			YS上01	76	2T	甕	Ⅳ	土灰釉	暗オリーブ（Hue5Y4/4）	褐灰（Hue7.5YR6/1）	良好	微細（マーブル状）	タタキ				横ナデ	-	-	-	口唇部に貝目
38	5			YS上01	65	2T	甕	Ⅳ	土灰釉	黄褐（Hue2.5Y5/3）	明褐灰（Hue7.5YR7/2）	良好	微細（マーブル状）	タタキ					-	-	-	
38	6			YS上01	60	2T	甕	Ⅳ	土灰釉	灰黄褐（Hue10YR4/2）	灰褐（Hue7.5YR6/2）	良好	微細（マーブル状）	タタキ					-	-	-	
38	7			YS上01	79	2T	甕	Ⅳ	土灰釉？	淡黄（Hue2.5Y8/3）	灰（HueN5/0）	不良	微細（マーブル状）	タタキ					-	-	-	
38	8			YS上01	17	表採	甕	Ⅳ	土灰釉	灰オリーブ褐（Hue5Y5/2）	灰褐（Hue7.5Y5/2）	やや不良	微細（マーブル状）	タタキ					28.8	-	-	口唇部に貝目 肩部凸帯
38	9			YS上01	113	5T	甕	Ⅳ	土灰釉	黄褐（Hue2.5Y5/3）	灰褐（Hue5YR5/2）	やや不良	微細（マーブル状）	タタキ				タタキ→横ナデ	-	-	-	肩部突帯
39	1			YS上01	121	6T	甕	Ⅳ	土灰釉	オリーブ褐（Hue2.5Y4/3）	灰赤（Hue2.5YR5/2）	ほぼ良好	微細（マーブル状）	タタキ				タタキ→横ナデ	30.9	24.0	40.3	口唇部に貝目
39	2	29	16	YS上01	58	6T	甕	Ⅳ	土灰釉	オリーブ褐（Hue2.5Y4/3）	灰黄褐（Hue10YR5/2）	良好	微細（マーブル状）	タタキ				タタキ→横ナデ	16.2	17.8	31.5	口唇部に貝目
39	3			YS上01	111	表採	甕	—	土灰釉？	—	灰褐（Hue7.5YR5/2）	不良	微細（マーブル状）	タタキ					18.4	-	-	釉薬発色無し
39	4			YS上01	15	6T	甕	—	土灰釉	暗灰黄（Hue2.5Y5/2）	灰褐（Hue7.5YR5/2）	やや不良	微細（マーブル状）	タタキ				横ナデ	-	18.8	-	内、外面にタタキ跡
39	5			YS上01	117	6T	甕	—	土灰釉	オリーブ褐（Hue2.5Y4/3）	灰褐（Hue7.5YR5/2）	やや不良	微細（マーブル状）	タタキ				タタキ→横ナデ	-	16.6	-	内、外面共にタタキ痕あり
39	6			YS上01	119	6T	甕	—	—	灰黄褐（Hue10Y6/2）	にぶい橙（Hue7.5YR7/3）	不良	微細（マーブル状）	タタキ				タタキ→横ナデ	-	22.0	-	外面にタタキ痕 釉薬発色無し
40	1			YS上01	12	6T	甕	Ⅳ	土灰釉	黄褐（Hue2.5Y5/3）	灰黄褐（Hue10YR5/2）	やや不良	微細（マーブル状）	タタキ				横ナデ	17.3	-	-	口唇部に貝目痕
40	2			YS上01	32	6T	甕	Ⅳ	土灰釉	灰オリーブ（Hue5Y5/3）	灰黄褐（Hue10YR6/2）	やや不良	微細（マーブル状）	タタキ				横ナデ	-	-	-	口唇部に貝目
40	3			YS上01	43	6T	甕	Ⅳ	土灰釉？	灰黄（Hue2.5Y7/2）	灰黄（Hue2.5Y7/2）	不良	微細（マーブル状）	タタキ				横ナデ	-	-	-	
40	4			YS上01	84	表採	甕	Ⅳ	土灰釉	灰黄（Hue2.5Y7/2）	にぶい橙（Hue7.5YR7/4）	不良	微細（マーブル状）	タタキ					-	-	-	
40	5			YS上01	34	6T	蓋	Ⅳ	不明	にぶい赤褐（Hue5YR5/3）	にぶい橙（Hue5YR6/4）	不良	微細（マーブル状）	タタキ				横ナデ	-	-	-	内面に叩き跡 釉薬発色無し
40	6			YS上01	41	表採	甕	Ⅳ	土灰釉	黒褐（Hue10YR3/1）	にぶい黄橙（Hue10YR7/4）	不良	微細（マーブル状）	タタキ				横ナデ	-	-	-	口唇部に貝目
40	7			YS上01	40	6T	甕	Ⅳ	土灰釉	(濃)暗オリーブ褐（Hue2.5Y3/3）	灰赤（Hue7.5R5/2）	不良	微細（マーブル状）	タタキ				横ナデ	-	-	-	口唇部に貝目？
40	8			YS上01	37	表採	甕	Ⅳ	土灰釉	灰オリーブ（Hue5Y5/2）	灰褐（Hue7.5YR5/2）	不良	微細（マーブル状）	タタキ				横ナデ	-	-	-	

Tab.13　皿屋上窯跡出土遺物一覧（3）

Fig	No	PL	No	調査地	実測No	出土地点	器種	分類	釉薬等	色調（表面）	色調（胎土）	焼成	胎土	成形	碗皿類の底部調整等			甕類の内面調整等	法量（cm）			備考
															腰部・底裏	畳付（底）	施釉範囲		口径	底径	器高	
40	9			YS上01	19	6T	甕？	Ⅵ	土灰釉	灰褐(Hue7.5YR5/2)	にぶい赤褐(Hue5YR5/3)	不良	微細(マーブル状)	タタキ				横ナデ	22.4	-	-	肩部横沈線
40	10	30	1	YS上01	59	2T	蓋	Ⅲa	土灰釉？	—	にぶい橙(Hue2.5YR6/4)	素焼き	微細(マーブル状)	ロクロ？					32.6	24.0	5.6	釉薬発色無し
40	11			YS上01	24	2T	蓋	Ⅲb	土灰釉	にぶい黄(Hue2.5Y6/3)	灰黄褐(Hue10YR6/2)	ほぼ良好	微細(マーブル状)	タタキ				横ナデ	-	-	-	口唇部､貝目
40	12			YS上01	112	2T	蓋	Ⅲa	土灰釉	灰黄褐(Hue10YR4/2)	褐灰(Hue10YR6/1)	不良	黒色粒含む	タタキ？					42.0	-	-	ゆがみ
40	13			YS上01	11	6T	蓋	Ⅲa	土灰釉	灰黄(Hue2.5Y6/2)	灰褐(Hue7.5YR5/2)	やや不良	微細(マーブル状)	タタキ				横ナデ	28.0	21.4	6.0	外面に斜位の叩き跡あり 口唇部に貝目痕 釉薬発色無し
40	14	30	2	YS上01	115	6T	蓋	Ⅲa	土灰釉	オリーブ褐(Hue2.5Y4/4)	灰褐(Hue7.5YR6/2)	やや不良	微細(マーブル状)	タタキ				タタキ→横ナデ	38.8	29.8	6.5	底部に貝目 ゆがみ
40	15	30	3	YS上石	118	表採	蓋	Ⅳ	—	—	にぶい橙(Hue5YR6/4)	不良	微細(マーブル状)	タタキ				タタキ→横ナデ	24.7	-	11.0	外面にタタキ痕 内面ナデ 口唇部に貝目？
40	16			YS上01	75	2T	蓋	Ⅲa	褐釉？	灰褐(Hue5YR4/2)他	灰褐(Hue7.5YR6/2)	やや不良	微細(マーブル状)	？				横ナデ	-	-	-	口唇部に貝目
40	17			YS上01	35	6T	蓋	Ⅲa	不明	灰白(Hue2.5Y7/1)	浅黄橙(Hue7.5YR8/4)	素焼き	微細(マーブル状)	？				横ナデ	-	-	-	釉薬発色無し
40	18			YS上01	78	表採	蓋	Ⅲa	褐釉？	黒褐(Hue7.5YR3/2)	灰白(Hue2.5Y7/1)	良好	微細(マーブル状)	？				？	-	-	-	
40	19			YS上01	89	2T	鉢?	—	灰釉	灰(HueN6/0)	灰(HueN6/0)	良好	緊密	？					-	-	-	取っ手 №88と同一物か 黒色
40	20			YS上01	90	2T	鉢?	—	土灰釉	灰オリーブ(Hue5Y5/3)	灰白(Hue2.5Y7/1)	良好	緊密	タタキ					-	-	-	鉢の取っ手？
40	21			YS上01	88	2T	鉢?	—	褐釉？	灰(HueN6/0)	灰(HueN6/0)	良好	緊密	？					-	-	-	鉢の取っ手？黒色
40	22			YS上01	49	2T	鉢?	—	土灰釉	灰オリーブ(Hue5Y5/2)	灰赤(Hue2.5YR4/2)	ほぼ良好	微細(マーブル状)	タタキ					-	-	-	大鉢の把手
40	23			YS上01	114	6T	鉢	Ⅶ	—	—	橙(Hue5YR7/6)	不良	微細(マーブル状)	タタキ				横ナデ	-	25.5	-	釉薬発色無し
41	1			YS上01	55	2T	片口鉢	Ⅰa	土灰釉	にぶい黄褐(Hue10YR4/3)	灰褐(Hue5YR5/2)	良好	微細(マーブル状)	タタキ				横ナデ	19.8	-	(8.2)	口唇部に貝目
41	2			YS上01	100	1T	片口鉢？	Ⅰa	土灰釉	黄褐(Hue2.5Y5/3)	明褐灰(Hue7.5YR7/2)	良好	微細(マーブル状)	タタキ					21.6	-	-	
41	3			YS上01	7	2T	片口鉢	Ⅲ	土灰釉	灰黄(Hue2.5Y6/2)	灰褐(Hue10YR5/1)	不良	微細(マーブル状)	タタキ				横ナデ	15.7	-	-	
41	4			YS上01	2	1T	片口鉢	Ⅰa	土灰釉	灰オリーブ(Hue5Y4/2)	赤灰(Hue7.5R5/2)	良好	微細(マーブル状)	タタキ				横ナデ	21.0	-	-	口唇部に貝目
41	5			YS上01	16	5T	片口鉢	Ⅰa	土灰釉	オリーブ褐(Hue2.5Y4/3)	灰褐(Hue5YR4/2)	良好	微細(マーブル状)	タタキ				横ナデ	20.2	-	-	
41	6			YS上01	93	2T	片口鉢？	Ⅰa	土灰釉	にぶい黄橙(Hue10YR5/3)	灰褐(Hue7.5YR5/2)	良好	微細	タタキ					19.2	-	-	ロクロ調整？
41	7			YS上01	97	2T	片口鉢？	Ⅰa	土灰釉？	—	にぶい橙(Hue5YR7/4)	不良	微細(マーブル状)	タタキ					21.0	-	-	口唇部に貝目 釉薬発色無し
41	8			YS上01	98	2T	片口鉢？	Ⅰa	土灰釉？	—	にぶい橙(Hue5YR7/4)	不良	微細(マーブル状)	タタキ					23.3	-	-	釉薬発色無し
41	9			YS上01	104	2T	片口鉢？	Ⅰa	土灰釉	暗灰黄(Hue2.5Y4/2)	灰褐(Hue7.5YR6/2)	良好	微細(マーブル状)	タタキ					13.4	-	-	
41	10			YS上01	21	5T	片口鉢	Ⅰa	土灰釉	黄褐(Hue2.5Y5/3)	灰褐(Hue7.5YR5/2)	やや不良	微細(マーブル状)	タタキ				横ナデ	-	-	-	斜位のタタキ痕
41	11			YS上01	108	5T	片口鉢？	Ⅰa	土灰釉	にぶい黄(Hue2.5Y6/3)	灰褐(Hue5YR6/2)	やや不良	微細(マーブル状)	-					13.1	-	-	
41	12			YS上01	103	2T	片口鉢？	Ⅰa	土灰釉	オリーブ褐(Hue2.5Y4/3)	灰褐(Hue7.5YR6/2)	良好	微細(マーブル状)	タタキ					15.6	-	-	口唇２個体釉着
41	13			YS上01	96	5T	片口鉢？	Ⅰa	土灰釉？	—	にぶい赤褐(Hue5YR5/3)	不良	微細(マーブル状)	タタキ				タタキ→横ナデ	15.2	-	-	釉薬発色無し
41	14			YS上01	9	6T	片口鉢	Ⅰa	土灰釉	灰黄(Hue2.5Y6/2)	灰褐(Hue5YR4/2)	不良	微細(マーブル状)	タタキ				横ナデ	19.2	-	-	口唇部に貝目
41	15			YS上01	10	6T	片口鉢？	Ⅰb	土灰釉	灰オリーブ(Hue5Y5/2)	灰褐(Hue5YR5/2)	やや不良	微細(マーブル状)	タタキ				横ナデ	21.2	14.8	12.3	

Tab. 13　皿屋上窯跡出土遺物一覧（4）

Fig	No	PL	No	調査地	実測No	出土地点	器種	分類	釉薬等	色調（表面）	色調（胎土）	焼成	胎土	成形	碗皿類の底部調整等			甕類の内面調整等	法量（cm）			備考
															腰部・底裏	畳付（底）	施釉範囲		口径	底径	器高	
41	16	30	4	YS上01	123	6T	片口鉢	Ⅰb	土灰釉	にぶい黄橙(Hue10YR7/3)	にぶい黄橙(Hue10YR7/2)	やや良好	微細(マーブル状)	タタキ				タタキ→横ナデ	22.2	15.6	12.0	内外面にタタキ痕、底部に貝目
42	1	30	5	YS上01	122	6T	片口鉢	Ⅰa	土灰釉	灰黄褐(Hue10YR4/2)	灰褐(Hue5YR6/2)	ほぼ良好	微細(マーブル状)	タタキ				タタキ→横ナデ	22.2	15.6	16.5	口唇部に貝目
42	2	30	6	YS上01	126	6T	片口鉢	Ⅲ	土灰釉	褐(Hue10YR4/4)	灰褐(Hue7.5YR5/2)	良好	微細(マーブル状)	タタキ				横ナデ	19.0	14.0	12.0	内外面にタタキ痕、口唇部、底部に貝目
42	3			YS上01	3	6T	片口鉢	—	土灰釉	オリーブ褐(Hue2.5Y4/4)	にぶい黄(Hue2.5Y6/3)	良好	微細(マーブル状)	タタキ				横ナデ	-	13.6	-	
42	4			YS上01	101	表採	片口鉢？	Ⅰa	土灰釉	黄褐(Hue2.5Y5/3)	灰黄(Hue2.5Y7/2)	良好	微細(マーブル状)	タタキ					18.9	-	-	外面斜位のタタキ痕
42	5			YS上01	106	表採	片口鉢？	Ⅰa	土灰釉	オリーブ褐(Hue2.5Y4/4)	灰褐(Hue5YR6/2)	良好	微細(マーブル状)	タタキ？				横ナデ	19.6	-	-	
42	6			YS上01	66	0	片口鉢？	Ⅰa	土灰釉	暗オリーブ(Hue5Y4/3)	にぶい黄橙(Hue10YR7/2)	良好	微細。1㎜大黒色粒多く含む	タタキ					-	-	-	口唇部に貝目
42	7			YS上01	29	6T	片口鉢？	Ⅰa	不明	灰黄(Hue2.5Y7/2)	灰(Hue5Y4/1)	不良	微細(マーブル状)	タタキ				横ナデ	-	-	13.0	釉薬発色無し
42	8			YS上01	30	6T	片口鉢	Ⅰa	不明	にぶい褐(Hue7.5YR6/2)	にぶい褐(Hue7.5YR6/3)	不良	微細(マーブル状)	タタキ				横ナデ	-	-	-	釉薬発色無し
42	9			YS上01	47	6T	片口鉢？	Ⅰa	土灰釉	灰オリーブ(Hue5Y4/2)	灰赤(Hue2.5YR4/2)	良好	微細(マーブル状)	タタキ				横ナデ	-	-	-	２固体釉着
42	10			YS上01	33	6T	片口鉢	Ⅰa	土灰釉	黄褐(Hue2.5Y5/3)	灰褐(Hue5YR5/2)	やや良好	微細(マーブル状)	タタキ				横ナデ	-	-	-	
42	11			YS上01	45	6T	片口鉢？	Ⅰa	土灰釉	灰オリーブ(Hue5Y4/2)	褐灰(Hue5YR5/1)	良好	微細(マーブル状)	タタキ					-	-	-	口唇部に貝目
42	12			YS上01	36	表採	片口鉢？	Ⅰa	土灰釉	灰オリーブ(Hue5Y6/2)	黄灰(Hue2.5Y6/1)	やや良好	微細(マーブル状)	タタキ				横ナデ	-	-	-	
42	13			YS上01	61	1T	片口鉢？	Ⅰa	土灰釉	にぶい黄(Hue2.5Y6/3)	灰褐(Hue5YR6/2)	良好	微細(マーブル状)	タタキ				横ナデ	-	-	-	口唇部釉着
42	14			YS上01	62	1T	片口鉢？	Ⅰa	土灰釉	にぶい黄(Hue2.5Y6/4)	灰褐(Hue5YR6/2)	良好	微細(マーブル状)	タタキ				横ナデ	-	-	-	口唇部に貝目
42	15			YS上01	71	2T	片口鉢？	Ⅰa	土灰釉	灰黄(Hue2.5Y7/2)	灰褐(Hue7.5YR5/2)	不良	微細(マーブル状)	タタキ					-	-	-	
42	16			YS上01	67	2T	片口鉢？	Ⅰa	土灰釉	灰オリーブ(Hue5Y5/3)	灰黄褐(Hue10YR6/2)	良好	微細(マーブル状)	タタキ					-	-	-	
42	17			YS上01	80	2T	片口鉢？	Ⅰa	土灰釉	オリーブ褐(Hue2.5Y4/3)	灰褐(Hue5YR6/2)	良好	微細(マーブル状)	タタキ					-	-	-	口唇部に貝目
42	18			YS上01	77	2T	片口鉢？	Ⅰa	土灰釉	灰白(Hue5Y8/1)	灰(HueN5/0)	不良	1㎜大黒色粒含む	タタキ					-	-	-	
42	19			YS上01	69	2T	片口鉢？	Ⅰa	土灰釉	にぶい黄褐(Hue10YR5/4)	灰褐(Hue7.5YR6/2)	良好	微細(マーブル状)	タタキ					-	-	-	口唇部重ね積み痕跡
42	20			YS上01	74	2T	片口鉢？	Ⅰa	土灰釉	灰白(Hue2.5Y8/2)	にぶい褐(Hue7.5YR6/3)	不良	微細(マーブル状)	タタキ				横ナデ	-	-	-	
42	21			YS上01	70	2T	片口鉢？	Ⅰa	土灰釉	褐灰(Hue10YR4/1)	にぶい褐(Hue7.5YR6/3)	不良	微細(マーブル状)	タタキ				横ナデ	-	-	-	
42	22			YS上01	22	5T	片口鉢	Ⅰa	土灰釉	暗灰黄(Hue2.5Y5/2)	にぶい褐(Hue7.5YR5/3)	やや良好	微細(マーブル状)	タタキ				横ナデ	-	-	-	
42	23			YS上01	39	6T	片口鉢？	Ⅰa	土灰釉	暗灰黄(Hue2.5Y4/2)	灰赤(Hue2.5YR4/2)	不良	微細(マーブル状)	タタキ				横ナデ	-	-	-	口唇部に貝目
42	24			YS上01	83	6T	片口鉢？	Ⅰa	土灰釉	にぶい黄褐(Hue10YR4/3)	灰褐(Hue7.5YR5/2)	良好	微細(マーブル状)	-					-	-	-	口唇部に貝目
42	25			YS上01	23	表採	片口鉢？	Ⅰa	土灰釉	暗オリーブ(Hue5Y4/3)	灰褐(Hue5YR4/2)	不良	微細(マーブル状)	タタキ					-	-	-	
42	26			YS上01	87	2T	片口鉢	—	土灰釉	黄褐(Hue2.5Y5/3)	灰黄褐(Hue10YR6/2)	やや不良	微細黒色粒含む	タタキ					-	-	-	

Tab.14　帆柱窯跡出土遺物一覧（1）

Fig	No	PL	No	調査地	実測No	出土地点	器種	分類	釉薬	色調（表面）	色調（胎土）	胎土	焼成	成形	碗皿類の底部調整等			甕類の内面調整等	法量（cm）			備考
															腰部・底裏	畳付（底）	施釉範囲		口径	底径	器高	
48	1	30	7	YB01	92	02T	皿	Ⅰa	藁灰釉	灰白(Hue5GY8/1)	にぶい黄橙(Hue10YR7/3)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き（右回転）	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		11.8	5.0	3.1	
48	2			YB01	157	04.5T	皿	Ⅰb	藁灰釉	灰白(Hue10YR8/2)	にぶい橙(Hue7.5YR6/4)	1㎜大の砂粒多く含む	不良	ロクロ水引き（右回転）	工具削り(左回転)	？	腰部付近以下露胎		12.6	3.7	3.0	
48	3			YB01	83	07TSK02	皿	Ⅰb	藁灰釉	明オリーブ灰(Hue2.5GY7/1)	にぶい黄橙(Hue10YR6/3)	1㎜大の砂粒多く含む	不良	ロクロ水引き	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		13.0	-	-	
48	4			YB01	153	11T	皿	Ⅰa	藁灰釉	灰白(Hue7.5Y7/1)	にぶい黄橙(Hue10YR7/4)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き（右回転）	工具削り(左回転)	—	腰部付近以下露胎		10.0	-	-	
48	5			YB01	82	09T	皿	Ⅰa	藁灰釉	明オリーブ灰(Hue5GY7/1)	にぶい黄橙(Hue10YR7/2)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き（右回転）	工具削り(左回転)	？	腰部付近以下露胎		11.6	-	-	
48	6			YB01	87	07T	皿	Ⅰa	藁灰釉	明褐灰(Hue7.5YR7/2)	灰褐(Hue7.5YR6/2)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き（右回転）	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		10.0	4.4	3.3	
48	7			YB01	76	06T	皿	Ⅱa	藁灰釉	灰白(Hue10Y7/1)	にぶい橙(Hue7.5YR6/4)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き（右回転）	工具削り(左回転)	？	腰部付近以下露胎		13.7	-	-	
48	8			YB01	133	12T	皿	—	藁灰釉	灰白(Hue10Y7/1)	明褐灰(Hue7.5YR7/1)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き（右回転）	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		-	4.8	-	
48	9			YB01	147	表採	皿	—	藁灰釉	灰白(Hue7.5Y7/1)	にぶい橙(Hue7.5YR6/4)	1㎜大の砂粒多く含む	不良	ロクロ水引き（右回転）	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		-	4.8	-	
48	10			YB01	119	11T	皿？	—	藁灰釉	灰黄(Hue2.5Y7/2)	褐灰(Hue5YR6/1)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き（右回転）	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		-	4.8	-	
48	11			YB01	123	04T	皿	—	藁灰釉	明青灰(Hue5PB7/1)	にぶい黄橙(Hue10YR6/3)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き（右回転）	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		-	4.7	-	
48	12	30	8	YB01	37	11T	皿	Ⅱc	石灰釉？	灰白(Hue7.5Y7/2)	にぶい橙(Hue7.5YR7/4)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き（右回転）	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		14.8	5.3	4.1	釉色､やや白濁 見込みに胎土目３(ピン)、底部にも痕跡
48	13			YB01	54	03T	皿	—	石灰釉？	灰黄(Hue2.5Y6/2)	にぶい赤褐(Hue5YR5/3)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き（右回転）	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		-	5.4	-	釉色､やや白濁 見込みに胎土目痕３､底部にも痕跡２・ピン１
48	14			YB01	202	12T	皿	—	藁灰釉	灰白(Hue.5Y8/1)	にぶい黄橙(Hue10YR7/2)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き（右回転）	工具削り(左回転)	工具削り調整?	高台付近まで施釉	—	-	4.4	-	見込みに胎土目痕3
48	15			YB01	17	11T	皿	—	石灰釉	灰白(Hue5Y7/2)	にぶい黄橙(Hue10YR7/4)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き（右回転）	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		-	5.0	-	見込みに胎土目２(ピン)
48	16			YB01	77	04.5T	皿	Ⅱa	石灰釉	灰黄(Hue5Y2.5Y6/2)	にぶい橙(Hue7.5YR6/4)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き（右回転）	工具削り(左回転)	？	？		-	-	-	
48	17			YB01	95	03T	皿	Ⅱa	長石釉？	灰白(Hue10Y7/1)	灰白(Hue5Y7/1)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ？	？	？	？		-	-	-	
48	18			YB01	28	03T	皿	Ⅰa	土灰釉	オリーブ黄(Hue5Y6/3)	橙(Hue5YR6/6)	1㎜大の砂粒含む	良好	ロクロ水引き（右回転）	工具削り(左回転)	工具削り調整	？		10.4	4.4	3.3	
48	19			YB01	188	09T	皿	Ⅰe	土灰釉	灰オリーブ(Hue7.5Y6/2)	にぶい黄橙(Hue10YR7/2)	1㎜大の砂粒多く含む	一部不良	ロクロ水引き（右回転）	工具削り(左回転)	工具削り調整	？		11.2	4.7	3.4	
48	20			YB01	189	09T	皿	Ⅰb	土灰釉	灰オリーブ(Hue5Y6/2)	灰オリーブ(Hue5Y6/2)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き	工具削り(左回転)	—	腰部付近以下露胎		11.8	-	-	
48	21	30	9	YB01	176	04T	皿	V	藁灰釉	灰白(Hue10Y7/1)	にぶい黄橙(Hue7.5YR6/3)	1㎜大の砂粒多く含む	不良	ロクロ水引き（右回転）	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台付近まで施釉		11.6	4.5	3.8	
48	22			YB01	177	06T	皿	V	藁灰釉	灰白(Hue7.5Y7/1)	にぶい褐(Hue7.5YR6/3)	0.5㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き（右回転）	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		11.4	4.6	3.8	
48	23	30	11	YB01	175	10T	皿	V	藁灰釉	灰白(Hue10Y8/1)	灰黄褐(Hue10YR6/2)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き（右回転）	工具削り(左回転)	？	腰部付近以下露胎		11.9	4.5	3.6	
48	24	30	1213	YB01	160	06T	皿	Ⅵb	藁灰釉	灰白(Hue10YR8/2)	にぶい褐(Hue7.5YR6/3)	1㎜大の砂粒多く含む	生焼	ロクロ水引き（右回転）	工具削り(左回転)	工具削り調整?	腰部付近以下露胎		12.4	4.6	3.4	
48	25			YB01	90	03T	皿	V	藁灰釉	明オリーブ灰(Hue2.5GY7/1)	にぶい橙(Hue5YR6/4)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き（右回転）	工具削り(左回転)	？	腰部付近以下露胎		10.3	4.3	4.0	ゆがみ強
48	26			YB01	7	05T	皿	V	藁灰釉	灰白(Hue10Y8/1)	にぶい橙(Hue7.5YR7/4)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き（右回転）	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		12.0	4.5	4.2	
48	27			YB01	91	06T	皿	V	藁灰釉	淡黄(Hue2.5Y8/3)	にぶい黄橙(Hue10YR6/4)	1㎜大の砂粒多く含む	生焼	ロクロ水引き（右回転）	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		11.2	4.8	3.8	
48	28			YB01	75	07TSK02	皿	V	藁灰釉	灰白(HueN7/)	にぶい橙(Hue7.5YR7/3)	1㎜大の砂粒多く含む	不良	ロクロ水引き（右回転）	工具削り(左回転)	？	腰部付近以下露胎		10.8	-	-	
48	29			YB01	142	10T	皿	V	藁灰釉	浅黄橙(Hue10YR8/3)	にぶい橙(Hue5YR6/4)	1㎜大の砂粒多く含む	生焼	ロクロ水引き（右回転）	工具削り(左回転)	工具削り調整?	腰部付近以下露胎		12.0	4.5	3.8	
48	30			YB01	86	07TSK02	皿	V	藁灰釉	浅黄橙(Hue10YR8/3)	にぶい橙(Hue5YR7/4)	1㎜大の砂粒多く含む	生焼	ロクロ水引き	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		13.0	5.4	4.4	
48	31			YB01	140	11T	皿	V	藁灰釉	灰白(Hue5GY8/1)	にぶい橙(Hue5YR6/4)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き（右回転）	工具削り(左回転)	—	—		-	-	-	
48	32			YB01	141	12T	皿	V	藁灰釉	淡黄(Hue2.5Y8/3)	にぶい橙(Hue7.5YR6/4)	1㎜大の砂粒多く含む	生焼	ロクロ水引き（右回転）	工具削り(左回転)	—	—		-		-	
48	33			YB01	129	表採	皿	V	藁灰釉	明オリーブ灰(Hue5GY7/1)	灰黄褐(Hue10YR5/2)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き（右回転）	工具削り(左回転)	—	—		12.4	-	-	
49	1			YB01	13	11T	皿	V	藁灰釉　鉄釉	淡黄(Hue2.5Y8/3)	にぶい橙(Hue7.5YR7/4)	1㎜大の砂粒多く含む	不良	ロクロ水引き（右回転）	工具削り(左回転)	？	腰部付近以下露胎		11.2	5.2	4.7	
49	2			YB01	4	11T	皿	V	藁灰釉　鉄釉	灰白(Hue10YR8/2)	橙(Hue5YR6/6)	1㎜大の砂粒多く含む	生焼	ロクロ水引き（右回転）	工具削り(左回転)	？	腰部付近以下露胎		11.8	4.9	4.3	
49	3			YB01	11	11T	皿	V	藁灰釉　鉄釉	灰黄(Hue2.5Y7/2)	にぶい赤褐(Hue5YR5/4)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き（右回転）	工具削り(左回転)	回転糸切り痕	腰部付近以下露胎		12.0	4.6	4.1	
49	4			YB01	120	04T	皿	V	藁灰釉　鉄釉	明オリーブ灰(Hue2.5GY7/1)	にぶい褐(Hue7.5YR5/3)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き（右回転）	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		11.6	5.0	3.4	

Tab.14　帆柱窯跡出土遺物一覧（2）

Fig	No	PL	No	調査地	実測No	出土地点	器種	分類	釉薬	色調（表面）	色調（胎土）	胎土	焼成	成形	碗皿類の底部調整等			甕類の内面調整等	法量（cm）			備考
															腰部・底裏	畳付（底）	施釉範囲		口径	底径	器高	
49	5			YB01	112	03T	皿	Ⅳ	藁灰釉	灰白(Hue10YR8/2)	灰褐(Hue7.5YR6/2)	1㎜大の砂粒多く含む	生焼	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	?	腰部付近以下露胎		10.8	4.4	4.2	
49	6			YB01	154	04.5T	皿	Ⅳ	藁灰釉	灰白(Hue7.5Y7/2)	にぶい赤褐(Hue2.5YR5/4)	1㎜大の砂粒多く含む	やや不良	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	?	腰部付近以下露胎		10.2	3.6	4.3	
49	7			YB01	113	04.5T	皿	Ⅳ	藁灰釉	灰白(Hue10Y8/1)	にぶい橙(Hue7.5YR6/4)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	—	腰部付近以下露胎		10.2	-	-	
49	8	30	14	YB01	61	09T	皿	Ⅳ	藁灰釉	明緑灰(Hue7.5GY8/1)	灰黄(Hue2.5Y6/2)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	?	腰部付近以下露胎		10.1	3.8	4.3	
49	9			YB01	59	05T	皿	Ⅳ	藁灰釉	灰白(Hue10Y7/1)	にぶい橙(Hue7.5YR6/4)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	?	腰部付近以下露胎		11.6	4.0	3.6	
49	10			YB01	109	07T	皿	Ⅳ	藁灰釉	淡黄(Hue2.5Y8/3)	にぶい橙(Hue7.5YR6/4)	1㎜大の砂粒多く含む	生焼	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	?	腰部付近以下露胎		10.8	-	-	
49	11			YB01	146	07TSK02	皿	Ⅳ	藁灰釉	灰白(Hue2.5Y8/2)	にぶい橙(Hue7.5YR6/4)	1㎜大の砂粒多く含む	生焼	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	—	腰部付近以下露胎		12.0	-	-	
49	12			YB01	62	10T	皿	Ⅳ	藁灰釉	灰白(Hue2.5GY8/1)	灰褐(Hue7.5YR6/2)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		10.5	4.4	3.8	
49	13			YB01	9	11T	皿	Ⅳ	藁灰釉	明緑灰(Hue10GY7/1)	にぶい褐(Hue7.5YR6/3)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	?	腰部付近以下露胎		11.4	3.5	4.3	
49	14			YB01	130	11T	皿	Ⅳ	藁灰釉	灰白(Hue7.5Y7/1)	にぶい赤褐(Hue5YR5/3)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	—	腰部付近以下露胎		10.0	-	-	
49	15			YB01	66	09T	皿	Ⅰe	藁灰釉	灰白(Hue7.5YR8/1)	浅黄(Hue2.5Y7/3)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	?	腰部付近以下露胎		17.2	-	-	
49	16			YB01	51	12T	皿	Ⅸ	藁灰釉	灰白(Hue7.5Y8/1)	にぶい橙 (Hue7.5YR6/3)	1㎜大の砂粒多く含む	一部不良	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		-	8.0	-	
49	17			YB01	73	03T	皿	Ⅸc？	藁灰釉	灰白(Hue7.5Y7/1)	灰白(Hue2.5Y8/2)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き	?	?	腰部付近以下露胎		-	-	-	No16と同一固体？
49	18			YB01	46	04.5T	碗	Ⅰ	藁灰釉	灰黄(Hue2.5Y7/2)	にぶい赤褐(Hue5YR5/4)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		12.0	5.5	6.6	
49	19			YB01	148	04.5T	碗	Ⅰ	藁灰釉	灰白(Hue10Y8/1)	にぶい赤褐(Hue5YR5/4)	1㎜大の砂粒多く含む	生焼	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	—	腰部付近以下露胎		-	-	-	
49	20	30	15	YB01	172	04.5T	碗	Ⅰ	藁灰釉	灰白(Hue2.5Y7/2)	にぶい黄橙(Hue10YR6/3)	1㎜大の砂粒多く含む	ほぼ良好	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	回転糸切り痕→工具削り？	腰部付近以下露胎		11.6	4.9	6.8	
49	21			YB01	93	06T	碗	Ⅰ	藁灰釉	灰白(Hue2.5Y8/2)	にぶい橙(Hue5YR7/4)	1㎜大の砂粒多く含む	生焼	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		12.2	5.0	6.9	
49	22			YB01	193	06T	碗	Ⅰ	藁灰釉	明褐灰(Hue7.5YR7/2)	にぶい黄橙(Hue10YR7/3)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		12.2	4.8	6.1	
49	23			YB01	52	07T	碗	Ⅰ	藁灰釉	灰白(Hue7.5Y8/1)	灰褐(Hue7.5YR5/2)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		11.8	5.6	6.2	
49	24	30	16	YB01	171	07T	碗	Ⅰ	藁灰釉	灰白(Hue2.5Y7/1)	灰褐(Hue7.5YR5/2)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	?	腰部付近以下露胎		11.8	5.2	6.3	
49	25			YB01	41	07TSK02	碗	Ⅰ	藁灰釉	灰白(Hue10YR8/2)	にぶい橙(Hue5YR7/3)	1㎜大の砂粒多く含む	不良	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		11.0	5.2	6.8	
49	26			YB01	45	07TSK02	碗	Ⅰ	藁灰釉	灰白(Hue5Y7/1)	にぶい黄橙(Hue10YR6/3)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		10.6	5.2	5.4	
49	27			YB01	64	07TSK02	碗	Ⅰ	藁灰釉	浅黄橙(Hue10YR8/3)	灰白(Hue10YR7/1)	1㎜大の砂粒多く含む	一部不良	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	?	腰部付近以下露胎		12.0	-	-	
49	28	30	17	YB01	201	07TSK02	碗	Ⅰ	藁灰釉	灰白(Hue5GY8/1)	にぶい黄橙(Hue10YR7/3)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		-	5.1	-	2個の器が釉着している
49	29			YB01	43	07TSK02	碗	Ⅰ	藁灰釉	灰白(Hue10YR8/1)	にぶい黄橙(Hue10YR7/3)	1㎜大の砂粒含む	やや不良	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		11.6	5.1	6.7	
50	1	30	18	YB01	168	10TSK02	碗	Ⅰ	藁灰釉	灰白(Hue7.5Y7/1)	にぶい赤褐(Hue5YR5/3)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	?	腰部付近以下露胎		11.0	4.4	6.2	
50	2			YB01	3	11T	碗	Ⅰ	藁灰釉	灰白(Hue2.5GY8/1)	にぶい橙(Hue5YR7/3)	1㎜大の砂粒多く含む	不良	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	回転糸切り痕?	腰部付近以下露胎		13.2	5.5	6.6	
50	3			YB01	145	11T	碗	Ⅰ	藁灰釉	灰白(Hue2.5Y8/2)	にぶい橙(Hue5YR7/4)	1㎜大の砂粒多く含む	生焼	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		11.0	5.0	6.5	
50	4	30	19	YB01	155	11T	碗	Ⅰ	藁灰釉	灰白(Hue10Y7/1)	灰黄(Hue2.5Y7/2)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	回転糸切り痕→工具削り？	腰部付近以下露胎		11.2	5.8	-	
50	5			YB01	1	12T	碗	Ⅰ	藁灰釉	灰白(Hue5GY8/1)	にぶい橙(Hue5YR7/3)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	?	腰部付近以下露胎		10.6	4.8	6.2	
50	6			YB01	8	12T	碗	Ⅰ	藁灰釉	灰白(Hue2.5Y7/1)	にぶい赤褐(Hue5YR5/4)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		12.0	4.8	6.8	
50	7			YB01	131	12T	碗	Ⅰ	藁灰釉	灰黄(Hue2.5Y7/2)	にぶい褐(Hue7.5YR6/3)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	—	腰部付近以下露胎		11.4	-	-	
50	8			YB01	149	07TSK02	碗	Ⅰ	藁灰釉　鉄釉	灰白(Hue2.5Y8/2)	にぶい橙(Hue7.5YR7/4)	1㎜大の砂粒多く含む	生焼	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	—	腰部付近以下露胎		-	-	-	
50	9			YB01	111	05T	碗	Ⅰ	藁灰釉　鉄釉	明緑灰(Hue7.5GY7/1)	灰白(HueN7/)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	—	腰部付近以下露胎		13.8	-	-	
50	10	30	20	YB01	169	11T	碗	Ⅰ	藁灰釉　鉄釉	にぶい黄橙(Hue10YR7/3)	にぶい橙(Hue7.5YR6/4)	1㎜大の砂粒多く含む	生焼	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整?	腰部付近以下露胎		11.2	4.6	5.9	
50	11			YB01	81	07T	碗	Ⅱ	藁灰釉	灰白(Hue5GY8/1)(内面)	にぶい黄橙(Hue10YR7/2)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	回転糸切り痕→工具削り？	腰部付近以下露胎		8.8	4.3	6.1	
50	12			YB01	158	01T	碗	Ⅱ	藁灰釉	灰白(Hue5GY8/1)	灰褐(Hue7.5YR6/2)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	?	腰部付近以下露胎		11.0	-	-	

Tab. 14　帆柱窯跡出土遺物一覧（3）

Fig	No	PL	No	調査地	実測No	出土地点	器種	分類	釉薬	色調（表面）	色調（胎土）	胎土	焼成	成形	碗皿類の底部調整等			甕類の内面調整等	法量（cm）			備考
															腰部・底裏	畳付（底）	施釉範囲		口径	底径	器高	
50	13			YB01	150	04.5T	碗	Ⅱ	藁灰釉	灰白(Hue5Y7/1)	にぶい赤褐(Hue5YR5/3)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き（右回転）	工具削り(左回転)	—	腰部付近以下露胎		11.8	-	-	
50	14			YB01	2	11T	碗	Ⅱ	藁灰釉	灰白(Hue2.5Y8/1)	にぶい橙(Hue5YR6/4)	1㎜大の砂粒多く含む	生焼	ロクロ水引き（右回転）	工具削り(左回転)	?	腰部付近以下露胎		10.6	4.4	6.0	
50	15			YB01	56	07T	碗	Ⅱ	藁灰釉	灰白(Hue2.5GY8/1)	にぶい褐(Hue7.5YR5/3)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き（右回転）	工具削り(左回転)	?	腰部付近以下露胎		10.4	-	-	
50	16			YB01	117	06T	碗	Ⅱ	藁灰釉	灰白(Hue7.5Y7/1)	にぶい赤褐(Hue2.5YR4/3)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き（右回転）	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		12.0	5.5	5.9	
50	17			YB01	58	07T	碗	Ⅱ	藁灰釉	灰白(Hue10Y7/1)	にぶい赤褐(Hue5YR5/4)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き	—	?	腰部付近以下露胎		10.6	-	-	
50	18	31	1	YB01	178	07TSK02	碗	Ⅱ	藁灰釉	灰白(Hue10Y7/1)	にぶい黄橙(Hue10YR7/2)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き（右回転）	工具削り(左回転)	工具削り調整?	腰部付近以下露胎		11.2	4.6	5.6	
50	19			YB01	110	11T	碗	Ⅱ	藁灰釉	灰白(Hue10Y7/1)	にぶい黄橙(Hue10YR7/3)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き（右回転）	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		12.0	5.0	5.8	
50	20			YB01	118	12T	碗	Ⅱ	藁灰釉	明オリーブ灰(Hue5GY7/1)	にぶい黄褐(Hue10YR5/3)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き（右回転）	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		11.2	5.1	5.9	
50	21	31	2	YB01	170	表採	碗	Ⅱ	藁灰釉	明オリーブ灰(Hue2.5GY7/1)	にぶい黄橙(Hue10YR7/3)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き（右回転）	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		10.6	5.2	6.3	
50	22			YB01	115	05T	碗	Ⅱ	藁灰釉	明緑灰(Hue10GY7/1)	にぶい橙(Hue5YR6/4)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き（右回転）	工具削り(左回転)	—	腰部付近以下露胎		12.6	-	-	
50	23			YB01	124	06T	碗	Ⅱ	藁灰釉	灰白(Hue7.5Y8/1)	にぶい黄(Hue2.5Y6/3)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き（右回転）	工具削り(左回転)	—	腰部付近以下露胎		11.4	-	-	
50	24	31	3	YB01	174	10T	碗	Ⅱ	藁灰釉	明オリーブ灰(Hue2.5GY7/1)	にぶい黄橙(Hue10YR7/3)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き（右回転）	工具削り(左回転)	工具削り調整?	腰部付近以下露胎		10.8	4.7	6.2	畳付け、1㎜～3㎜大の砂粒多く付着
50	25			YB01	10	11T	碗	Ⅱ	藁灰釉	明オリーブ灰(Hue5GY7/1)	にぶい橙(Hue7.5YR6/4)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き（右回転）	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		10.6	4.8	6.3	
50	26			YB01	121	11T	碗	Ⅲ	藁灰釉	灰白(Hue7.5Y7/1)	にぶい橙(Hue7.5YR6/4)	1㎜大の砂粒黒い粒含む	良好	ロクロ水引き（右回転）	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		11.4	5.4	7.1	
50	27			YB01	138	03T	碗	Ⅲ	石灰釉	灰オリーブ(Hue5Y6/2)	灰白　(Hue10YR7/1)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き	—	—	—		12.0	-	-	
50	28			YB01	18	12T	碗？	Ⅲ	石灰釉	灰白(Hue5Y7/1)	灰白(Hue7.5Y8/1)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ？	?	—	—		-	-	-	
51	1			YB01	122	03T	碗	—	藁灰釉	灰白(Hue2.5GY8/1)	にぶい橙(Hue7.5YR7/3)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き（右回転）	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		-	4.0	-	
51	2			YB01	143	04.5T	碗	—	藁灰釉	灰白(Hue2.5Y8/2)	にぶい橙(Hue7.5YR6/3)	1㎜大の砂粒多く含む	不良	ロクロ水引き（右回転）	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		-	4.7	-	
51	3			YB01	127	05T	碗	—	藁灰釉	明緑灰(Hue7.5GY7/1)	にぶい橙(Hue5YR6/4)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き（右回転）	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		-	5.4	-	
51	4			YB01	135	05T	碗	—	藁灰釉	明青灰(Hue5BG7/1)	にぶい橙(Hue7.5YR6/4)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き（右回転）	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		-	4.8	-	
51	5			YB01	39	07TSK02	碗	—	藁灰釉	浅黄橙(Hue10YR8/3)	にぶい橙(Hue7.5YR7/4)	1㎜大の砂粒多く含む	生焼	ロクロ水引き（右回転）	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		-	5.0	-	
51	6			YB01	40	07TSK02	碗	—	藁灰釉	灰白(Hue2.5GY8/1)	にぶい黄橙(Hue10YR7/3)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き（右回転）	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		-	4.5	-	
51	7			YB01	74	07TSK02	碗	—	藁灰釉	灰白(Hue5GY8/1)	にぶい黄橙(Hue10YR7/3)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き（右回転）	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		-	4.7	-	
51	8			YB01	50	09T	碗	—	藁灰釉	灰白(Hue5Y8/1)	にぶい橙(Hue2.5YR6/4)	1㎜大の砂粒多く含む	生焼	ロクロ水引き（右回転）	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		-	4.6	-	
51	9			YB01	42	10T	碗	—	藁灰釉	明褐灰(Hue7.5YR7/1)	にぶい橙(Hue7.5YR7/3)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き（右回転）	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		-	4.4	-	
51	10			YB01	125	10T	碗	—	藁灰釉	灰白(Hue10YR7/1)	にぶい黄橙(Hue10YR7/2	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き（右回転）	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		-	4.4	-	
51	11			YB01	108	11T	碗	—	藁灰釉	明緑灰(Hue7.5GY7/1)	にぶい黄橙(Hue10YR7/4)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き（右回転）	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		-	5.3	-	
51	12			YB01	101	12T	碗	—	藁灰釉	灰白(Hue10Y7/1)	にぶい褐(Hue7.5YR5/3)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き（右回転）	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		-	4.5	-	
51	13			YB01	116	12T	碗	—	藁灰釉	灰黄(Hue2.5Y7/2)	灰黄褐(Hue10YR6/2)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き（右回転）	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		-	4.8	-	
51	14			YB01	139	11T	碗	—	藁灰釉	灰白(Hue5GY8/1)	にぶい橙(Hue7.5YR7/3)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き（右回転）	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		-	5.0	-	
51	15			YB01	195	03T	碗	—	藁灰釉	灰白(Hue7.5Y7/1)	にぶい黄橙(Hue10YR6/3)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き	工具削り(左回転)	—	腰部付近以下露胎		-	4.6	-	
51	16	31	4	YB01	161	12T	碗？	—	藁灰釉	灰白(Hue7.5Y7/2)	にぶい橙　(Hue5YR6/3)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き（右回転）	工具削り(左回転)	?	?		-	4.6	-	
51	17			YB01	152	表採	鉢？	Ⅰ	？	明赤褐(Hue5YR5/6)	明赤褐(Hue5YR5/6)	1㎜大の砂粒多く含む	素焼？	ロクロ水引き（右回転）	工具削り(左回転)	?	?		-	3.9	-	
51	18			YB01	71	06T	鉢？	Ⅰ	藁灰釉？	橙(Hue7.5YR7/6)	にぶい褐(Hue7.5YR5/3)	1㎜大の砂粒多く含む	不良	ロクロ水引き	?	?	?		-	-	-	
51	19			YB01	192	12T	鉢？	Ⅰ	土灰釉	灰オリーブ(Hue5Y6/2)	にぶい褐(Hue7.5YR6/3)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ？	—	—	—		-	-	-	
51	20	31	56	YB01	194	11T	鉢	Ⅰ	藁灰釉	灰白(Hue7.5Y7/1)	にぶい橙(Hue7.5YR7/3)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き（右回転）	工具削り(左回転)	回転糸切り痕→工具削り	腰部付近以下露胎		13.6	5.2	4.7	四角形 向付の可能性有り
51	21	31	7	YB01	99	07TSK02	鉢	Ⅰ	？	橙(Hue5YR7/6)	橙(Hue5YR7/6)	1㎜大の砂粒多く含む	素焼？	ロクロ水引き（右回転）	工具削り(左回転)	工具削り調整	?		12.2	4.2	4.5	

Tab. 14　帆柱窯跡出土遺物一覧（4）

Fig	No	PL	No	調査地	実測No	出土地点	器種	分類	釉薬	色調（表面）	色調（胎土）	胎土	焼成	成形	碗皿類の底部調整等			甕類の内面調整等	法量（cm）			備考
															腰部・底裏	畳付（底）	施釉範囲		口径	底径	器高	
51	22			YB01	24	11T	鉢	I	?	明褐灰(Hue5YR7/2)	明褐灰(Hue5YR7/2)	微粒の砂粒多く含む	素焼？	ロクロ水引き（右回転）	工具削り(左回転)	?	?		14.0	-	-	
51	23	31	8	YB01	89	表採	鉢	I	?	橙(Hue7.5YR7/6)	橙(Hue7.5YR7/6)	1㎜大の砂粒多く含む	素焼？	ロクロ水引き（右回転）	工具削り(左回転)	工具削り調整	?		-	4.8	-	
51	24			YB01	85	07TSK02	鉢	I	?	橙(Hue7.5YR7/6)	橙(Hue7.5YR7/6)	1㎜大の砂粒多く含む	素焼？	ロクロ水引き（右回転）	工具削り(左回転)	工具削り調整	?		-	5.4	-	
52	1	31	9	YB01	166	09T	小坏	II	藁灰釉	灰白(Hue5Y7/1)	にぶい黄橙(Hue10YR6/3)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き（右回転）	工具削り(左回転)	回転糸切り痕？	腰部付近以下露胎		7.8	3.8	5.7	
52	2	31	10	YB01	173	10T	小坏	II	藁灰釉	灰白(Hue2.5Y7/1)	にぶい褐(Hue7.5YR6/3)	1㎜大の砂粒多く含む	ほぼ良好	ロクロ水引き（右回転）	工具削り(左回転)	工具削り調整?	腰部付近以下露胎		6.3	4.0	5.4	
52	3			YB01	136	01T	小坏	II	藁灰釉	灰白(Hue7.5Y7/1)	にぶい黄橙(Hue10YR6/3)	1㎜大の砂粒含む	生焼	ロクロ水引き	工具削り(左回転)	?	腰部付近以下露胎		-	4.0	-	
52	4			YB01	132	04.5T	小坏	II	藁灰釉	灰白(Hue2.5Y8/1)	灰黄褐(Hue10YR6/2)	1㎜大の砂粒多く含む	不良	ロクロ水引き	工具削り(左回転)	?	腰部付近以下露胎		-	4.0	-	
52	5			YB01	134	05T	小坏	II	藁灰釉	灰白(Hue10Y7/2)	明褐灰(Hue7.5YR7/1)	1㎜大の砂粒含む	良好	ロクロ水引き（右回転）	工具削り(左回転)	工具削り調整?	腰部付近以下露胎		-	3.0	-	
52	6	31	11	YB01	165	09T	小坏	II	藁灰釉	灰白(Hue10Y7/1)	にぶい褐(Hue7.5YR6/3)	1㎜大の砂粒多く含む	ほぼ良好	ロクロ水引き（右回転）	工具削り(左回転)	回転糸切り痕→工具削り？	腰部付近以下露胎		7.0	4.0	5.1	
52	7	31	12	YB01	167	09T	小坏	II	藁灰釉	明オリーブ灰(Hue5GY7/1)	にぶい黄橙(Hue10YR6/3)	1㎜大の砂粒含む	良好	ロクロ水引き（右回転）	工具削り(左回転)	回転糸切り痕	腰部付近以下露胎		6.0	3.6	5.0	
52	8			YB01	5	11T	小坏	II	藁灰釉	灰白(Hue10YR8/3)	にぶい黄橙(Hue10YR7/2)	1㎜大の砂粒多く含む	生焼	ロクロ水引き（右回転）	工具削り(左回転)	?	腰部付近以下露胎		6.4	3.8	4.5	全体に生焼け
52	9			YB01	6	11T	小坏	II	藁灰釉	灰白(Hue2.5GY8/1)	にぶい橙(Hue7.5YR7/3)	1㎜大の砂粒多く含む	一部不良	ロクロ水引き（右回転）	工具削り(左回転)	?	腰部付近以下露胎		6.0	3.2	5.1	はじけた胎土が、釉薬の上を覆っている=生がけ？
52	10	31	13	YB01	164	12T	小坏	I	藁灰釉	灰オリーブ(Hue5Y6/2)	灰黄褐　(Hue10YR6/2)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き（右回転）	工具削り(左回転)	回転糸切り痕	腰部付近以下露胎		8.1	4.3	4.2	
52	11			YB01	53	07T	小坏	I	藁灰釉	明オリーブ灰(Hue2.5GY7/1)	にぶい橙(Hue2.5YR6/3)	1㎜大の砂粒多く含む	生焼	ロクロ水引き（右回転）	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		7.4	3.7	4.0	
52	12			YB01	63	07TSK02	小坏	I	藁灰釉	明オリーブ灰(Hue5GY7/1)	にぶい赤褐(Hue5YR5/3)	1㎜大の砂粒多く含む	一部不良	ロクロ水引き（右回転）	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		8.0	3.5	4.3	
52	13			YB01	16	10T	小坏	I	藁灰釉	灰白(Hue5GY8/1)	にぶい褐(Hue7.5YR6/3)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き（右回転）	工具削り(左回転)	?	腰部付近以下露胎		8.2	4.0	3.9	
52	14	31	14	YB01	163	09T	小坏	I	藁灰釉	灰黄(Hue2.5Y6/2)	にぶい赤褐(Hue5YR6/4)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き（右回転）	工具削り(左回転)	回転糸切り痕→工具削り？	腰部付近以下露胎		9.4	4.2	4.1	
52	15			YB01	72	03T	壺	V？	土灰釉(濃緑)	橙(Hue7.5YR7/6)	にぶい黄橙(Hue10YR6/3)	1㎜大の砂粒含む	良好	タタキ	—	—		頚部絞り痕	-	-	-	
52	16			YB01	70	07TSK02	壺	IV	—	橙(Hue7.5YR7/6)	橙(Hue7.5YR7/6)	1㎜大の砂粒多く含む	素焼？	ロクロ水引き	?	?			8.0	-	-	花入？
52	17	31	15	YB01	190	12T	蓋	Ia	石灰釉	灰黄(Hue2.5Y6/2)	にぶい橙　(Hue7.5YR7/3)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ	—	回転糸切り痕	底部露胎		-	-	-	
52	18			YB01	107	06T	壺？	—	藁灰釉	灰白(Hue5Y8/1)	灰(Hue10Y6/1)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ？	?	?			-	-	-	
52	19			YB01	48	09T	碗？	I	土灰釉	にぶい黄(Hue2.5Y6/3)	にぶい褐(Hue7.5YR5/3)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き（右回転）	—	—			-	-	-	
52	20			YB01	34	12T	碗？	III	土灰釉(濃緑)	黒褐(Hue2.5Y3/2)	灰褐(Hue7.5Y4/2)	1㎜大の砂粒含む	良好	タタキ？					-	-	-	
52	21			YB01	196	01T	鉢？	IVa	土灰釉(濃緑)	暗オリーブ褐(Hue2.5Y3/3)	黄灰(Hue2.5Y6/1)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	タタキ？				—	18.0	-	-	水差し？
52	22			YB01	15	11T	壺？	VII	土灰釉	灰オリーブ(Hue7.5Y5/3)	灰　(HueN6/)	1㎜大の砂粒含む	良好	タタキ？	—	—		口縁部ロクロ調整	-	-	-	水差し？
53	1	31	16	YB01	49	07TSK02	瓶	I	藁灰釉	灰白(Hue7.5YR8/2)	明褐灰(Hue7.5YR7/2)	1㎜大の砂粒多く含む	生焼	ロクロ？	—	?	底部外面露胎		3.5	4.4	10.4	
53	2			YB01	26	12T	瓶	I	藁灰釉？	灰白(Hue10Y7/1)	にぶい黄橙(Hue10YR6/3)	1㎜大の砂粒含む	良好	ロクロ？	—	—			4.1	-	-	長石釉に近似
53	3	31	17	YB01	67	07TSK02	瓶	I	藁灰釉	淡黄(Hue2.5Y8/3)	灰白(Hue5Y7/2)	1㎜大の砂粒多く含む	生焼	?	?	?			-	4.0	-	
53	4			YB01	126	10T	瓶	I	藁灰釉	浅黄(Hue2.5Y7/4)	にぶい橙(Hue5YR6/3)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ？	工具削り(左回転)	工具削り調整	底部外面露胎		-	4.3	-	
53	5			YB01	33	07TSK02	徳利	I	土灰釉(濃緑)	暗オリーブ(Hue5Y4/4)	灰(Hue5Y6/1)	1㎜大の砂粒含む	良好	タタキ？＋ロクロ	—	—		口縁部ロクロ調整	7.0	-	-	
53	6			YB01	137	表採	徳利	I	土灰釉	灰オリーブ(Hue5Y5/3)	灰白(Hue10YR7/1)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	タタキ？＋ロクロ	—	—		口縁部ロクロ調整	6.8	-	-	
53	7			YB01	114	表採	徳利	I	藁灰釉	灰白(Hue7.5Y8/1)	灰白　(Hue2.5Y7/1)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	タタキ？＋ロクロ	—	—		口縁部ロクロ調整	5.5	-	-	
53	8			YB01	88	03T	徳利	I	藁灰釉	灰黄(Hue2.5Y7/2)	灰黄褐(Hue10YR5/2)	微細	生焼	タタキ？＋ロクロ	—	—		?	-	-	-	
53	9			YB01	22	03T	徳利	I	土灰釉	灰オリーブ(Hue5Y4/2)	灰白(Hue2.5Y7/1)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	タタキ？＋ロクロ		—		口縁部ロクロ調整	-	-	-	
53	10			YB01	20	11T	徳利	I	藁灰釉	明緑灰(Hue7.5GY7/1)	にぶい黄橙(Hue10YR7/3)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	タタキ？＋ロクロ	—	—			-	-	-	頚部絞り
53	11			YB01	14	09T	徳利	I	藁灰釉	明青灰(Hue5B7/1)	灰白(Hue10Y7/1)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	タタキ？＋ロクロ	—	—		口縁部ロクロ調整	5.4	-	-	
53	12	31	18	YB01	27	01T	徳利	I	土灰釉(濃緑)	オリーブ黒(Hue5Y2/2)	にぶい褐(Hue7.5YR5/3)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	タタキ＋ロクロ？	—	—		口縁部ロクロ調整	-	9.2	-	底部分に繊維状(籾でははない)の付着物あり

Tab. 14　帆柱窯跡出土遺物一覧（5）

Fig	No	PL	No	調査地	実測No	出土地点	器種	分類	釉薬	色調（表面）	色調（胎土）	胎土	焼成	成形	碗皿類の底部調整等			甕類の内面調整等	法量（cm）			備考
															腰部・底裏	畳付（底）	施釉範囲		口径	底径	器高	
53	13			YB01	68	10T	徳利	I	土灰釉	暗灰黄(Hue2.5Y4/2)	灰黄(Hue2.5Y6/2)	1㎜大の砂粒含む	良好	タタキ+ロクロ？	—	—		同心円タタキ痕	-	9.0	-	
53	14			YB01	69	07TSK02	徳利	I	藁灰釉	明オリーブ灰(Hue2.5GY7/1)	にぶい赤褐(Hue5YR5/3)	1㎜大の砂粒多く含む	不良	タタキ+ロクロ？	—	—		—	-	8.4	-	
53	15			YB01	100	10T	片口碗?	I	藁灰釉？	灰黄(Hue2.5Y7/2)	灰白(Hue7.5Y7/1)	微細	やや不良	ロクロ水引き	？	？			12.0	-	-	
53	16			YB01	96	04.5T	片口碗	I	藁灰釉	明オリーブ灰(Hue2.5GY7/1)	灰白(Hue5Y7/1)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ？	？	？			9.0	-	-	
53	17			YB01	78	05T	片口碗	I	藁灰釉	灰白(Hue2.5GY)	灰黄(Hue2.5Y7/2)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	-	？	？			-	-	-	
53	18			YB01	44	11T	片口碗?	I	藁灰釉	灰白(Hue10YR7/1)	灰白(Hue2.5Y7/1)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き(右回転)	？	？			18.8	-	19.8	
53	19			YB01	65	03T	片口碗?	I	藁灰釉	灰白(Hue10Y7/1)	灰白(Hue2.5Y7/1)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	？	底部外面露胎		13.0	-	-	
53	20			YB01	94	05T	鉢	II	石灰釉	灰白(Hue7.5Y7/1)	橙(Hue7.5YR6/6)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ？	？	？			5.0	-	-	香炉？
53	21			YB01	21	12T	鉢	II	土灰釉	灰(Hue5Y6/1)	にぶい橙(Hue7.5YR7/3)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	？	—	—			-	-	-	香炉？
53	22			YB01	97	04.5T	鉢	II	石灰釉	灰白(Hue7.5Y7/1)	にぶい黄橙(Hue10YR6/3)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ？	？	？			-	-	-	香炉？ No23と同一個体
53	23			YB01	98	06T	鉢	II	石灰釉	灰白(Hue7.5Y7/1)	にぶい黄橙(Hue10YR6/3)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ？	？	？			-	-	-	
53	24			YB01	80	04.5T	壺	Ia	石灰釉	灰オリーブ(Hue5Y6/2)	灰黄(Hue2.5Y6/1)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	-	？	？			6.0	-	-	
53	25			YB01	103	06T	壺	Ia	石灰釉	灰黄(Hue2.5Y6/2)	にぶい黄橙(Hue10YR7/2)	微細砂粒多く含む	良好	ロクロ？	？	？			-	-	-	外面絵付、絵唐津
53	26			YB01	105	06T	壺	Ia	石灰釉	灰(Hue10Y4/1)	にぶい赤褐(Hue2.5YR5/4)	微細砂粒多く含む	やや不良	ロクロ？	？	？			-	-	-	外面絵付、絵唐津
53	27			YB01	106	06T	壺	Ia	石灰釉	灰オリーブ(Hue7.5Y6/2)	にぶい黄橙(Hue10YR7/2)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ？	？	？			-	-	-	外面絵付、絵唐津
53	28			YB01	79	07TSK02	壺	Ia	石灰釉	灰白(Hue5Y7/2)	灰黄(Hue2.5Y7/2)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	-	？	？			9.0	-	-	外面絵付、絵唐津
53	29			YB01	200	12T	壺	Ia	石灰釉	黄褐(Hue2.5Y5/3)	にぶい黄橙(Hue10YR7/3)	微細砂粒多く含む	良好	ロクロ？	—	—		—	-	-	-	外面絵付、絵唐津
53	30			YB01	162	10T	壺？	—	藁灰釉	灰白(Hue5Y7/1)	灰褐(Hue7.5YR6/2)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ	？	—			-	-	-	
53	31			YB01	198	12T	壺？	—	石灰釉	灰黄(Hue2.5Y6/2)	にぶい黄橙(Hue10YR7/2)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ？	—	—		—	-	-	-	外面絵付、絵唐津
53	32			YB01	38	07TSK02	壺？	—	藁灰釉	明褐灰(Hue7.5YR7/1)	にぶい黄橙(Hue10YR7/4)	1㎜大の砂粒多く含む	不良	ロクロ水引き(右回転)	—	—			-	-	-	
53	33			YB01	23	11T	壺	Ic	？	浅黄橙(Hue7.5YR8/4)	浅黄橙(Hue7.5YR8/4)	微粒の砂粒含む	素焼？	？	—	—			10.0	-	-	
54	1			YB01	29	12T	甕	III	土灰釉	オリーブ褐(Hue2.5Y4/3)	灰褐(Hue7.5YR4/2)	1㎜大砂粒含むが微細	良好	タタキ					22.2	-	-	
54	2			YB01	151	12T	甕？	—	土灰釉	にぶい黄橙(Hue10Y5/3)	赤灰(Hue2.5YR4/1)	微細	良好	タタキ				同心円タタキ痕	-	-	-	
54	3	31	19	YB01	55	03T	甕？	—	土灰釉	オリーブ褐(Hue2.5Y4/3)	明赤褐(Hue5YR5/6)	灰色の層あり	良好	タタキ				同心円タタキ痕	-	12.6	-	
54	4	31	20	YB01	25	09T	片口鉢	II	土灰釉	灰黄(Hue2.5Y7/2)	にぶい褐(Hue7.5YR5/3)	微小	やや不良	タタキ				タタキ→横ナデ	22.5	15.0	11.6	底部貝目
54	5			YB01	191	09T	片口鉢?	II	土灰釉	灰オリーブ(Hue5Y5/2)	にぶい黄橙(Hue10YR6/3)	微細	不良	タタキ				—	22.8	-	-	
54	6			YB01	35	03T	片口鉢	II	土灰釉(濃緑)	オリーブ黒(Hue5Y2/2)	灰褐(Hue5YR4/2)	1㎜大の砂粒含む	良好	？					18.0	-	-	
54	7			YB01	31	04T	片口鉢?	II	土灰釉(濃緑)	オリーブ黒(Hue5Y2/2)	灰褐(Hue5YR4/2)	1㎜大砂粒含むが微細	良好	タタキ					16.6	-	-	
54	8			YB01	30	04T	片口鉢?	II	土灰釉	オリーブ黒(Hue5Y2/2)	灰褐(Hue5YR4/2)	1㎜大の砂粒含む	良好	タタキ？					-	-	-	水差し？
54	9			YB01	19	11T	片口鉢?	II	土灰釉	暗オリーブ(Hue5Y4/4)	にぶい黄橙(Hue10YR7/3)	1㎜大の砂粒含む	良好	タタキ？					-	-	-	水差し？
54	10			YB01	32	03T	片口鉢?	II	土灰釉	暗オリーブ(Hue5Y4/3)	灰黄褐(Hue10YR5/2)	1㎜大砂粒含むが微細	良好	タタキ？					-	-	-	水差し？
54	11			YB01	102	07TSK02	片口鉢?	II	？	にぶい橙(Hue5YR7/4)	にぶい橙(Hue5YR7/4)	1㎜大の砂粒多く含む	素焼？	タタキ	—	—			19.0	12.2	12.9	
54	12			YB01	60	06T	擂鉢	I	藁灰釉	灰白(Hue10YR8/2)	にぶい黄橙(Hue10YR6/3)	1㎜大の砂粒多く含む	不良	ロクロ水引き	？	？	底部外面露胎		-	-	-	
54	13			YB01	36	03T	擂鉢	II	土灰釉(濃緑)	暗オリーブ褐(Hue2.5Y3/3)	にぶい黄橙(Hue10YR6/3)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	タタキ	？	？	—		-	-	-	
54	14			YB01	199	12T	擂鉢	II	土灰釉	オリーブ黄(Hue5Y6/3)	浅黄(Hue2.5Y7/3)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	-	？	？	—	—	-	-	-	
54	15			YB01	84	06T	擂鉢	I	藁灰釉	灰白(Hue7.5Y7/1)	にぶい黄橙(Hue10YR6/4)	1㎜大の砂粒多く含む	不良	ロクロ水引き	工具削り(左回転)	？	—	—	-	-	-	

Tab.15　飯洞甕窯跡出土遺物一覧　第1次～3次（1）

Fig	No	PL	No	調査地	実測No	出土地点	器種	分類	釉薬	色調（表面）	色調（胎土）	焼成	胎土	成形	碗皿類の底部調整等			甕類の内面調整等	法量（cm）			備考
															腰部・底裏	畳付（底）	施釉範囲		口径	底径	器高	
67	1			YH上02	54	ＡＴＰ1	皿	Ⅰa	土灰釉	灰オリーブ(Hue5Y5/3)	灰白(Hue2.5Y7/1)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台脇以下露胎		11.0	4.7	3.6	
67	2			YH上02	61	1T	皿	Ⅰa	土灰釉	灰オリーブ(Hue5Y6/2)	灰黄(Hue2.5Y7/2)	良好	1㎜大の砂粒含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	高台端部を丸くおさめる	高台脇以下露胎		12.4	5.2	3.7	
67	3			YH上02	251	2T下層	皿	Ⅰa	土灰釉	緑色透明	灰色	良好	砂粒を含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)？	高台端部を丸くおさめる	高台脇以下露胎		11.7	5.0	4.0	盗難
67	4			YH上02	63	3T	皿	Ⅰa	土灰釉	灰オリーブ(Hue5Y5/3)	浅黄(Hue2.5Y7/3)	良好	0.5㎜大の砂粒含む。黒い粒が入る。	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		11.2	5.2	3.4	底部にうず巻状工具削りあと
67	5			YH上02	84	3T	皿	Ⅰa	土灰釉	オリーブ黄(Hue5Y6/3)	にぶい黄橙(Hue10YR6/3)	良好	微細	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台付近以下露胎		11.6	4.8	3.0	
67	6			YH上02	85	3T	皿	Ⅰa	不明	にぶい黄橙(Hue10YR7/2)	にぶい黄橙(Hue10YR7/3)	生焼	0.5㎜大の砂粒含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	？		11.6	5.0	3.9	
67	7	32	1	YH上02	73	3T	皿	Ⅰa	土灰釉	灰オリーブ(Hue5Y5/3)	灰黄褐(Hue10YR6/2)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台付近以下露胎		11.0	4.7	3.5	
67	8			YH上02	83	5T	皿	Ⅰa	不明	浅黄(Hue2.5Y7/3)	浅黄(Hue2.5Y7/4)	生焼	0.5㎜大の砂粒含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	？		12.2	4.8	3.8	
67	9			YH上02	111	5T	皿	Ⅰa	不明	浅黄橙(Hue10YR8/4)	淡橙(Hue5YR8/3)	生焼	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		11.4	4.8	3.1	
67	10			YH上02	55	5T	皿	Ⅰa	土灰釉	オリーブ黄(Hue5Y6/3)	灰白(Hue10YR8/2)	不良	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		11.0	4.8	2.9	
67	11			YH上02	76	5T	皿	Ⅰa	不明	浅黄橙(Hue10YR8/3)	にぶい橙(Hue5YR7/4)	生焼	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	？	腰部付近以下露胎		11.0	—	—	
67	12			YH上02	95	6T	皿	Ⅰa	土灰釉	灰オリーブ(Hue7.5Y6/2)	灰白(Hue2.5Y7/1)	やや不良	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	高台端部を丸くおさめる	全面施釉		12.0	5.0	3.6	高台内部まで施釉？
67	13			YH上02	66	6T	皿	Ⅰa	土灰釉	灰オリーブ(Hue7.5Y5/3)	にぶい黄橙(Hue10YR7/3)	良好	0.5㎜大の砂粒含む。	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台脇以下露胎		11.0	4.8	3.6	
67	14			YH上02	113	6T	皿	Ⅰa	土灰釉	灰オリーブ(Hue5Y6/2)	にぶい橙(Hue7.5YR7/3)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台付近以下露胎		12.2	5.0	3.3	
67	15			YH上02	88	6T	皿	Ⅰa	土灰釉	オリーブ灰(Hue10Y5/2)	灰白　(Hue5Y7/1)	良好	微細	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	全面施釉		11.2	4.4	3.0	高台内部まで施釉
67	16			YH上02	91	6T	皿	Ⅰa	土灰釉	暗オリーブ(Hue5Y4/3)	にぶい褐(Hue7.5YR5/4)	やや不良	1㎜大の砂粒含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台脇以下露胎		12.6	5.2	3.8	
67	17	31	21	YH上02	5	6T	皿	Ⅰa	土灰釉	灰オリーブ(Hue5Y5/3)	にぶい黄橙(Hue10YR7/3)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台脇以下露胎		12.0	5.2	3.2	
67	18			YH上02	99	6T	皿	Ⅰa	土灰釉	灰オリーブ(Hue5Y5/2)	にぶい黄橙(Hue10YR6/3)	不良	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台付近以下露胎		11.0	4.8	3.6	
67	19			YH上02	68	6T	皿	Ⅰa	土灰釉	灰オリーブ(Hue7.5Y5/2)	灰黄褐(Hue10YR6/2)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		11.2	4.8	3.9	
67	20			YH上02	110	6T	皿	Ⅰa	土灰釉	灰オリーブ(Hue7.5Y6/2)	灰白(Hue10YR7/1)	一部不良	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台脇以下露胎		11.6	5.7	3.1	
67	21			YH上02	59	6T	皿	Ⅰa	土灰釉？	灰黄(Hue2.5Y7/2)	にぶい橙(Hue7.5YR7/4)	不良	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	高台端部を丸くおさめる	高台脇以下露胎		11.8	4.5	3.4	見込みに口縁部の一部付着
67	22			YH上01	47	—	皿	Ⅰa	土灰釉	灰黄褐(Ｈｕｅ10ＹＲ5/2)	暗灰黄(Hue2.5Y5/2)	不良	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	？	全面施釉		11.2	4.4	3.3	
67	23			YH上01	253	—	皿	Ⅰa	土灰釉	緑色透明	橙灰色	良好	砂粒を含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台脇以下露胎		10.4	4.4	3.2	盗難
67	24			YH上01	67	—	皿	Ⅰa	土灰釉	灰オリーブ(Hue5Ｙ5/3)	にぶい黄橙(Hue10YR6/3)	良好	0.5㎜大の砂粒含む。	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	高台端部を丸くおさめる	全面施釉		12.4	5.2	3.4	
67	25			YH上01	97	—	皿	Ⅰa	土灰釉	灰白(Hue2.5Y8/2)	にぶい橙(Hue5YR7/4)	不良	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		10.7	4.2	3.2	
67	26	31	22	YH上01	118	—	皿	Ⅰa	土灰釉	灰白(Hue10Y7/2)	にぶい橙(Hue7.5ＹＲ7/3)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台脇以下露胎		12.6	5.3	3.8	高台内､工具削り痕
67	27			YH上01	87	—	皿	Ⅰa	土灰釉	灰オリーブ(Hue5Ｙ6/2)	にぶい黄橙(Hue10ＹＲ6/3)	良好	0.5㎜大の砂粒含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	高台端部を丸くおさめる	全面施釉		11.4	5.2	3.4	
67	28	31	23	YH上02	65	第2室	皿	Ⅰa	土灰釉	灰オリーブ(Hue5Y6/2)	灰黄褐(Hue10YR6/2)	不良	0.5㎜大の砂粒含む。	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	回転糸切り？→工具削り調整	高台脇以下露胎		12.4	5.0	3.6	
67	29			YH上02	78	第2室	皿	Ⅰa	土灰釉	灰オリーブ(Hue5Y5/3)	灰黄(Hue2.5Y6/2)	良好	微細	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台付近以下露胎		10.8	4.4	3.1	
67	30			YH上02	94	1T	皿	Ⅰa	土灰釉	オリーブ灰(Hue10Y5/2)	にぶい橙(Hue5YR6/3)	不良	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台付近以下露胎		12.4	4.5	3.3	
67	31			YH上02	250	2T下層	皿	Ⅰa	土灰釉	緑色透明	灰色	良好	砂粒を含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)？	高台端部を丸くおさめる	？		11.9	5.0	3.7	盗難
67	32			YH上02	104	2T	皿	Ⅰb	土灰釉	オリーブ黄(Hue5Y6/3)	灰黄(Hue2.5Y7/2)	良好	1㎜大の砂粒含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	高台端部を丸くおさめる	全面施釉		14.2	5.8	3.1	ゆがみあり
67	33			YH上02	64	3T	皿	Ⅰa	土灰釉	灰オリーブ(Hue7.5Y5/3)	灰黄(Hue2.5Y6/2)	良好	0.5㎜大の砂粒含む。	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	高台端部を丸くおさめる	高台脇以下露胎		11.5	5.2	3.2	
67	34			YH上02	102	3T	皿	Ⅰa	土灰釉	灰オリーブ(Hue7.5Y5/3)	浅黄(Hue2.5Y7/3)	良好	微細	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	高台端部を丸くおさめる	高台付近以下露胎		12.3	5.0	3.2	
67	35			YH上02	81	5T	皿	Ⅰa	土灰釉	灰黄(Hue2.5Y6/2)	にぶい黄橙(Hue10YR7/4)	良好	微細	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)		高台付近以下露胎		11.4	5.0	3.9	
67	36			YH上02	252	5TP-1	皿	Ⅰa	土灰釉	緑色透明	灰色	良好	砂粒を含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	高台端部を丸くおさめる	高台脇以下露胎		11.2	4.4	3.4	盗難
67	37			YH上02	72	6T	皿	Ⅰa	土灰釉	暗オリーブ(Hue5Y4/3)	にぶい黄橙(Hue10YR7/2)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台付近以下露胎		11.2	4.8	3.4	畳付けの巾が不揃い ゆがみあり
67	38			YH上02	69	6T	皿	Ⅰa	土灰釉	暗オリーブ(Hue5Y4/3)	にぶい橙(Hue5YR6/4)	不良	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	回転糸切り？→高台端部を丸くおさめる	高台脇以下露胎		12.8	4.9	4.0	
67	39			YH上02	105	6T	皿	Ⅰa	土灰釉	灰オリーブ(Hue7.5Y6/2)	灰白(Hue10YR7/1)	良好	0.5㎜大の砂粒含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	高台端部を丸くおさめる	全面施釉		11.4	5.0	3.7	高台内部まで施釉
67	40			YH上02	100	6T	皿	Ⅰc	土灰釉	暗オリーブ(Hue5Y4/3)	にぶい黄橙(Hue10YR7/2)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台付近以下露胎		11.8	5.4	3.5	
68	1			YH上02	125	1T	皿	Ⅰa	土灰釉	オリーブ灰(Hue10Y6/2)	にぶい黄橙(Hue10YR7/2)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台付近以下露胎		11.8	4.9	3.4	
68	2			YH上02	74	6T	皿	Ⅰe	土灰釉	灰オリーブ(Hue5Y5/2)	灰黄褐(Hue10YR6/2)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	全面施釉		11.0	4.8	4.1	高台内部まで施釉
68	3	31	24	YH上02	3	6T	皿	Ⅰa	土灰釉	灰白(Hue10Y7/2)	灰黄(Hue2.5Y7/2)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	全面施釉		11.2	5.0	3.8	高台内部まで施釉？

Tab. 15　飯洞甕窯跡出土遺物一覧　第1次～3次（2）

Fig	No	PL	No	調査地	実測No	出土地点	器種	分類	釉薬	色調（表面）	色調（胎土）	焼成	胎土	成形	碗皿類の底部調整等			甕類の内面調整等	法量（cm）			備考
															腰部・底裏	畳付（底）	施釉範囲		口径	底径	器高	
68	4	31	25	YH上02	2	7T	Ⅲ	Ⅰa	土灰釉	灰オリーブ(Hue7.5Y6/2)	灰白(Hue2.5Y8/1)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台脇以下露胎		11.7	5.2	3.3	
68	5			YH上01	70	—	Ⅲ？	—	長石釉	灰白(Hue5Y8/1)	にぶい黄橙(Hue10YR7/3)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	全面施釉		-	3.8	—	
68	6			YH上02	77	第2室	Ⅲ	—	土灰釉	オリーブ灰(Hue10Y5/2)	浅黄(Hue2.5Y7/3)	良好	1㎜大の砂粒含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台脇以下露胎		-	5.0	—	
68	7			YH上02	52	5T	Ⅲ	Ⅱb	土灰釉	にぶい黄(Hue2.5Y6/3)	にぶい橙(Hue5YR7/3)	不良	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台付近以下露胎		12.8	5.2	2.9	見込み釉剥ぎ？ 重ね焼き痕跡
68	8			YH上02	62	7T	Ⅲ	Ⅱb	土灰釉	灰オリーブ(Hue7.5Y5/2)	にぶい黄橙(Hue10YR7/2)	良好	0.5㎜大の砂粒含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台付近以下露胎		11.6	4.3	2.6	外面に胎土目？
68	9			YH上02	101	3T	Ⅲ	—	不明	にぶい黄(Hue2.5Y6/3)	にぶい赤褐(Hue2.5YR5/3)	生焼	1㎜大の砂粒含む	—	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台付近以下露胎		-	4.0	—	見込みに輪状の釉剥ぎ
68	10			YH上01	130	—	Ⅲ	—	土灰釉	灰オリーブ(Hue7.5Y5/3)	にぶい黄橙(Hue10YR7/2)	良好	1㎜大の砂粒含む	ロクロ水引き	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台付近以下露胎		-	4.8	—	見込みに輪状の釉剥ぎ＋砂目
68	11			YH上02	183	1T	Ⅲ？	—	長石釉	灰白(Hue7.5Y7/1)	灰黄褐(Hue10YR6/2)	良好	1㎜大の砂粒含む	ロクロ水引き	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台付近以下露胎		-	—	—	見込みに砂目(1)
68	12			YH上02	154	3T	Ⅲ	Ⅰb	長石釉	明褐灰(Hue7.5YR7/2)	にぶい橙(Hue7.5YR6/4)	良好	0.5㎜大の砂粒含む	ロクロ？	—	—	？		-	—	—	内外面共に絵付(緑色)有り
68	13			YH上02	168	表採	Ⅲ	Ⅰa	長石釉	灰白(Hue5Y7/1)	灰黄褐(Hue10YR6/2)	良好	1㎜大の砂粒含む	ロクロ水引き	—	—	？		-	—	—	内面に絵付
68	14			YH上02	176	5T	Ⅲ	Ⅴ	長石釉	灰白(Hue5Y7/1)	褐灰(Hue5YR5/1)	良好	1㎜大の砂粒含む	ロクロ水引き	—	—	？		-	—	—	
68	15			YH上02	171	5T	Ⅲ	Ⅰa	長石釉	灰白Hue7.5Y7/1	灰褐(Hue7.5YR5/2)	良好	1㎜大の砂粒含む	ロクロ水引き	—	—	？		-	—	—	
68	16			YH上02	109	5T	Ⅲ	Ⅱb?	不明	灰黄(Hue2.5Y7/2)	にぶい褐(Hue7.5YR6/3)	生焼	1㎜大の砂粒含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	—	高台付近以下露胎		-	—	—	
68	17			YH上02	173	6T	Ⅲ	Ⅱd?	長石釉	灰白(Hue10Y8/1)	灰褐(Hue7.5YR5/2)	良好	1㎜大の砂粒含む	ロクロ水引き	—	—	？		-	—	—	
68	18			YH上02	138	2T	Ⅲ	Ⅲ	土灰釉	灰オリーブ(Hue7.5Y5/3)	にぶい黄橙(Hue10YR7/3)	良好	1㎜大の砂粒含む	ロクロ水引き	—	—	？		-	—	—	口縁内面が無釉
68	19			YH上02	156	5T	Ⅲ	Ⅱa？	長石釉	灰黄(Hue2.5Y7/2)	にぶい黄橙(Hue10YR7/2)	良好	0.5㎜大の砂粒含む	ロクロ？	—	—	？		-	—	—	
68	20			YH上02	163	5T	Ⅲ？	—	長石釉	灰黄(Hue2.5Y6/2)	灰黄(Hue2.5Y6/2)	良好	1㎜大の砂粒含む	ロクロ水引き	工具削り(左回転)	高台端部を丸くおさめる？	？		-	—	—	絵付け有り
68	21			YH上02	80	4T	Ⅲ？	—	長石釉	灰白(Hue5Y7/1)	にぶい黄橙(Hue10YR7/2)	良好	1㎜大の砂粒含む	ロクロ水引き	工具削り(左回転)	工具削り調整	？		-	6.0	—	見込みに陶石目(3)
68	22			YH上02	256	第2室	Ⅲ	Ⅳ	土灰釉	緑色透明	橙灰色	良好	砂粒を含む	ロクロ水引き	工具削り(左回転)	工具削り調整	？		11.8	5.4	3.6	盗難
68	23			YH上02	249	AT	Ⅲ	Ⅳ	長石釉	白色透明	褐色(赤)	良好	緊密　微砂粒	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	？		11.8	5.4	4.0	盗難
68	24			YH上02	108	第2室	Ⅲ	Ⅳ	土灰釉	オリーブ黄(Hue7.5Y6/3)	にぶい橙(Hue2.5YR6/3)	良好	0.5㎜大の砂粒含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	—	—		-	—	—	
68	25			YH上02	248	7T	Ⅲ	Ⅳ	長石釉	半白溜	淡灰色	良好	緊密　微砂粒	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)？	工具削り調整	？		13.0	5.4	4.5	盗難
68	26			YH上02	56	第2室	Ⅲ？	Ⅳ	長石釉	灰白(Hue5GY8/1)	灰白(Hue2.5Y7/1)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台付近以下露胎		-	5.0	—	
68	27			YH上02	98	6T	Ⅲ	Ⅳ	土灰釉＋濃緑	灰オリーブ(Hue5Y5/2)	灰白(Hue10YR7/1)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台付近以下露胎		12.4	5.0	4.6	濃緑の釉薬を上部から流し掛け
68	28			YH上02	79	2T	Ⅲ	Ⅳ	土灰釉	オリーブ黄(Hue5Y6/3)	にぶい橙(Hue7.5YR7/4)	良好	0.5㎜大の砂粒含む	ロクロ水引き(右回転)	—	—	？		12.0	—	—	
68	29			YH上02	82	5T	Ⅲ	Ⅳ	土灰釉	灰オリーブ(Hue5Y5/3)	にぶい褐(Hue7.5Y5/4)	やや不良	1㎜大の砂粒含む	ロクロ水引き	工具削り(左回転)	—	—		12.6	—	—	
68	30			YH上01	90	—	Ⅲ	Ⅳ	土灰釉	オリーブ黄(Hue5Y6/3)	にぶい黄橙(Hue10YR6/3)	やや不良	0.5㎜大の砂粒含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		-	5.4	—	
68	31			YH上02	134	第2室	Ⅲ	Ⅳ	長石釉	黄灰(Hue2.5Y6/1)	灰黄褐(Hue10YR6/2)	良好	0.5㎜大の砂粒含む	ロクロ水引き	—	—	—		-	—	—	絵付けあり 有脚の向付？
68	32			YH上02	184	5T	Ⅲ？	Ⅳ	長石釉	灰白(Hue2.5Y7/1)	にぶい黄橙(Hue10YR7/2)	良好	0.5㎜大の砂粒含む	ロクロ水引き	—	—	—		-	—	—	外面絵付け 向付？
69	1	32	3~5	YH上01	246	—	碗	Ⅳ	長石釉	灰白(Hue5Y7/1)	灰白(Hue10YR7/1)	良好	緊密	ロクロ水引き(右回転)	？	二重高台	全面施釉		13.0	7.0	8.5	彫唐津 口縁指頭押捺 高台内部まで施釉
69	2			YH上02	169	1T	碗？	Ⅳ	長石釉	灰白(Hue5Y8/1)	灰黄褐(Hue10YR6/2)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き	—	—	—		-	—	—	
69	3			YH上02	175	5T	碗？	Ⅳ	長石釉	灰白(Hue5Y8/1)	褐灰(Hue7.5YR6/1)	良好	1㎜大の砂粒含む	ロクロ水引き	—	—	—		-	—	—	絵付けあり
69	4			YH上02	174	1T	碗？	Ⅳ	長石釉	灰白(Hue7.5Y8/1)	灰黄褐(Hue10YR6/2	良好	1㎜大の砂粒含む	ロクロ水引き	—	—	—		-	—	—	彫唐津？
69	5			YH上02	142	2T	碗	Ⅳ	長石釉	灰白(Hue7.5Y8/1)	明褐灰(Hue7.5YR7/2)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き	—	—	—		-	—	—	彫絵唐津
69	6			YH上02	172	6T	碗？	Ⅳ	長石釉	灰白(Hue5Y8/1)	灰褐(Hue7.5YR5/2)	良好	1㎜大の砂粒含む	ロクロ水引き	—	—	—		-	—	—	彫唐津
69	7			YH上01	254	—	碗	Ⅱ	土灰釉	緑色透明	灰色	良好	砂粒を含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	回転糸切→工具削り調整	腰部付近以下露胎		13.0	5.2	6.5	盗難
69	8			YH上01	107	—	碗	Ⅱ	土灰釉	灰オリーブ(Hue7.5Y6/2)	にぶい褐(Hue7.5YR6/3)	良好	1㎜大の砂粒含む	ロクロ水引き(右回転)	—	—	？		11.6	—	—	
69	9			YH上01	247	—	碗	Ⅰ	長石釉	白色透明	淡灰色	良好	緊密　微細粒	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	全面施釉		16.6	7.4	9.7	底部にひびを、鉄釉でふさいでいる 盗難
69	10			YH上01	117	—	碗？	—	長石釉	灰白(Hue5Y7/1)	灰黄(Hue2.5Y7/2)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	全面施釉		-	8.2	—	
69	11			YH上02	139	2T	碗	Ⅰ	土灰釉	灰オリーブ(Hue7.5Y5/2)	にぶい黄橙(Hue10YR6/3)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	—	—	？		19.4	—	—	
69	12			YH上02	265	3T	碗	Ⅱ	土灰釉	灰黄(Hue2.5Y6/2)	にぶい黄橙(Hue10YR7/2)	良好	微細	ロクロ水引き	工具削り(左回転)	—	腰部付近以下露胎		11.0	—	—	
69	13			YH上02	57	第2室	碗	Ⅱ	土灰釉	浅黄(Hue2.5Y7/3)	にぶい橙(Hue5YR6/4)	不良	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		11.6	5.0	5.7	
69	14			YH上02	53	4T	碗	Ⅱ	土灰釉	オリーブ灰(Hue10Y6/2)	灰褐(Hue5YR6/2)	不良	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		10.8	5.0	5.5	ゆがみあり

Tab. 15　飯洞甕窯跡出土遺物一覧　第1次～3次（3）

Fig	No	PL	No	調査地	実測No	出土地点	器種	分類	釉薬	色調（表面）	色調（胎土）	焼成	胎土	成形	碗皿類の底部調整等			甕類の内面調整等	法量（cm）			備考
															腰部・底裏	畳付（底）	施釉範囲		口径	底径	器高	
69	15			YH上02	60	2T	碗	Ⅱ	土灰釉？	オリーブ黄(Hue5Y6/3)	浅黄(Hue2.5Y7/3)	良好	0.5㎜大の砂粒含む。黒い粒が入る。	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		11.4	5.3	6.9	
69	16			YH上02	1	第2室	碗	—	土灰釉	灰オリーブ(Hue7.5Y5/2)	明褐灰(Hue7.5YR7/1)	不良	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	全面施釉		-	5.4	—	高台内部まで施釉？
69	17			YH上02	58	1T	碗	—	土灰釉	にぶい橙(Hue5YR7/3)	にぶい橙(Hue5YR7/4)	生焼	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	？		-	5.2	—	
69	18			YH上02	86	2T	碗	—	土灰釉	オリーブ黄(Hue5Y6/3)	灰黄褐(Hue10YR6/2)	良好	0.5㎜大の砂粒含む	ロクロ水引き	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台付近以下露胎		-	4.6	—	
69	19			YH上01	75	—	碗	—	土灰釉	オリーブ灰(Hue10Y6/2)	灰白(Hue2.5Y7/1)	不良	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台付近以下露胎		-	4.6	—	
69	20			YH上02	71	3T	碗	Ⅱ	土灰釉	灰白(Hue5Y7/2)灰白	にぶい橙(Hue7.5YR6/4)	不良	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	—	？		11.3	—	—	
69	21			YH上02	264	2T	碗	Ⅴ	鉄釉	淡褐色	淡褐色	やや不良	微砂粒を含む	ロクロ？	—	—	—		11.0	—	(3.7)	16ｃ末美濃大窯製品 盗難
70	1			YH上01	135	1T	鉢	Ⅱ	鉄釉	黒(Hue10YR7/1)	にぶい黄橙(Hue10YR6/3)	良好	1㎜大の砂粒含む	ロクロ水引き	—	—	？		12.0	—	—	向付？
70	2			YH上02	89	6T	鉢	Ⅱ	土灰釉＋濃緑	暗オリーブ褐(Hue2.5Y3/3)	灰黄褐(Hue10YR6/2)	良好	1㎜大の砂粒含む	ロクロ水引き	—	—	？		11.0	—	—	濃緑の釉薬を上部から流し掛け 向付？
70	3			YH上02	155	6T	鉢	Ⅱ	土灰釉＋濃緑	灰黄褐(Hue10YR4/2)	にぶい黄橙(Hue10YR6/3)	良好	0.5㎜大の砂粒含む	ロクロ？	—	—	？		8.0	—	—	濃緑の釉薬を上部から流し掛け 向付？
70	4			YH上01	124	—	鉢	Ⅱ	土灰釉	灰オリーブ(Hue7.5Y6/2)	明褐灰(Hue7.5YR7/2)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	—	？		10.2	—	—	向付？
70	5			YH上02	133	5T	鉢	Ⅱ	土灰釉＋濃緑	オリーブ褐(Hue2.5Y4/3)	灰黄(Hue2.5Y7/2)	良好	微細	ロクロ水引き	—	—	？		10.0	—	—	濃緑の釉薬を上部から流し掛け 向付？
70	6			YH上02	136	5T	鉢	Ⅱ	土灰釉＋濃緑	暗オリーブ褐(Hue2.5Y3/3)	灰白(Hue2.5Y8/2)	良好	微細	ロクロ水引き	—	—	？		8.2	—	—	濃緑の釉薬を上部から流し掛け 向付？
70	7			YH上02	112	1T	鉢	Ⅱ？	土灰釉(濃緑)	黒(Hue10Y2/1)	にぶい褐(Hue7.5YR5/3)	一部不良	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台付近以下露胎		-	4.7	—	向付？
70	8			YH上02	96	2T	鉢？	Ⅱ？	土灰釉	灰白(Hue5Y8/2)	灰白(Hue2.5Y8/1)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台付近以下露胎		-	4.1	—	蓋の可能性有り
70	9			YH上02	186	1T	鉢？	—	土灰釉＋長石釉	灰オリーブ(Hue7.5Y5/2)	灰黄褐(Hue7.5YR7/2)	良好	微細	ロクロ水引き	—	—	—		-	—	—	外面土灰釉、内面長石釉
70	10			YH上02	164	3T	鉢？	—	鉄釉＋長石釉	灰黄(Hue2.5Y7/2)	にぶい黄橙(Hue10YR7/2)	良好	微細	ロクロ水引き	—	外面のみ鉄釉	—		-	—	—	外面土灰釉、内面長石釉
70	11			YH上02	116	1T	鉢	Ⅰ	長石釉	灰白(Hue10Y7/1)	にぶい黄橙(Hue10YR7/2)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		-	5.2	—	見込みに陶石目（3） 向付？
70	12			YH上02	129	1T	鉢	Ⅰ	長石釉	灰白(Hue5Y7/2)	にぶい黄橙(Hue10YR6/3)	良好	0.5㎜大の砂粒含む	ロクロ水引き	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		-	5.0	—	向付？
70	13			YH上02	166	1T	鉢	Ⅱ	長石釉	灰白(Hue7.5Y8/1)	明褐灰(Hue7.5YR7/1)	良好	1㎜大の砂粒含む	ロクロ水引き	—	—	—		-	—	—	口縁部から下部にかけ5～6㎜巾の凹線 向付？
70	14			YH上02	161	1T	鉢	Ⅱ？	長石釉	灰白(Hue5Y7/1)	灰黄褐(Hue10YR6/2)	良好	0.5㎜大の砂粒含む	ロクロ水引き	—	—	—		-	—	—	向付？
70	15			YH上02	165	1T	鉢	Ⅱ？	長石釉	灰白(Hue5Y7/1)	にぶい黄橙(Hue10YR7/2)	良好	1㎜大の砂粒含む	ロクロ水引き	—	—	—		-	—	—	向付？
70	16			YH上02	160	1T	鉢	Ⅱ？	長石釉	灰白(Hue5Y7/1)	褐灰(Hue10YR6/1)	良好	微細	ロクロ水引き	—	—	—		-	—	—	向付？
70	17			YH上02	157	3T	鉢	Ⅱ？	長石釉	灰黄(Hue2.5Y7/2)	灰白(Hue10YR7/1)	良好	0.5㎜大の砂粒含む	ロクロ？	—	—	—		9.0	—	—	向付？
70	18			YH上02	167	6T	鉢	Ⅱ？	長石釉	灰白(Hue5Y8/1)	灰黄褐(Hue10YR6/2)	良好	1㎜大の砂粒含む	ロクロ水引き	—	—	—		-	—	—	絵付け有り？ 向付？
70	19			YH上01	114	—	鉢	Ⅱ	不明	「－」	浅黄橙(Hue10YR8/3)	生焼	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ	—	—	—		-	—	—	香炉？
70	20			YH上02	187	5T	鉢	Ⅱ	長石釉	灰白(Hue7.5Y7/1)	灰黄(Hue2.5YR7/2)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	—			—		-	—	—	絵付けあり 香炉？
70	21	32	2	YH上02	123	3T	皿？	Ⅶ	灰	灰(Hue10Y6/1)	(Hue10YR6/2)灰黄褐	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き	—	—	—		-	—	—	灰青沙器
70	22	32	2	YH上02	128	3T	皿？	Ⅶ	灰	灰(Hue10Y6/1)	(Hue10YR7/2)にぶい黄橙	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き			—		-	—	—	灰青沙器
70	23			YH上01	258	—	小坏	Ⅱ	長石釉	白色透明	橙灰色	良好	砂粒を含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	回転糸切→工具削り調整	高台付近以下露胎		7.8	4.4	5.5	盗難
70	24			YH上02	257	4T	小坏	Ⅱ	長石釉	白色透明	淡褐色	良好	砂粒を含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	回転糸切→工具削り調整	高台付近以下露胎		7.4	3.4	5.5	盗難
70	25			YH上02	132	2T	小坏	Ⅱ	長石釉	灰白(Hue7.5Y7/1)	にぶい黄橙(Hue10YR7/2)	やや不良	0.5㎜大の砂粒含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台付近以下露胎		7.0	4.2	5.2	
70	26			YH上02	119	3T	小坏	Ⅱ	長石釉	灰白(Hue7.5Y7/2)	灰黄(Hue2.5Y7/2)	一部不良	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台付近以下露胎		-	4.1	—	底部に1㎜大～2㎜大の砂粒多く付着
70	27			YH上02	106	3T	小坏	Ⅱ	石灰釉	灰白(Hue10Y7/1)	にぶい黄橙(Hue10YR6/3)	良好	0.5㎜大の砂粒含む	ロクロ水引き	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台付近以下露胎		-	4.0	—	
70	28			YH上02	120	3T	小坏？	Ⅱ	長石釉	灰白(Hue5Y7/1)	にぶい黄橙(Hue10YR7/2)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	—	—	—	高台付近以下露胎		-	—	—	坏の側面か？
70	29			YH上02	121	6T	小坏	Ⅱ	長石釉	灰黄(Hue2.5Y6/2)	灰黄褐(Hue10YR6/2)	不良	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台付近以下露胎		6.9	4.0	5.5	
70	30			YH上02	162	1T	小坏	Ⅱ	長石釉	灰白(Hue7.5Y7/1)	灰黄褐(Hue10YR6/2)	良好	0.5㎜大の砂粒含む	ロクロ水引き	—	—	高台付近以下露胎		6.6	—	—	
70	31			YH上02	103	3T	小坏	Ⅱ	長石釉	灰白(Hue7.5Y7/1)	灰褐(Hue7.5YR6/2)	良好	0.5㎜大の砂粒含む	ロクロ水引き	工具削り(左回転)	—	高台付近以下露胎		6.8	—	—	
70	32			YH上02	158	4T	小坏	Ⅱ	長石釉	灰白(Hue7.5Y7/1)	にぶい褐(Hue7.5YR6/3)	良好	0.5㎜大の砂粒含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	—	高台付近以下露胎		6.4	—	—	
70	33			YH上02	141	6T	小坏	Ⅱ	長石釉	灰白(Hue10YR7/1)	灰褐(Hue7.5YR6/2)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き	—	—	—		8.0	—	—	
70	34			YH上02	140	6T	小坏	Ⅱ	土灰釉＋濃緑	にぶい黄(Hue2.5Y6/2)	にぶい黄橙(Hue10YR7/2)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	—	—	—		7.6	—	—	濃緑の釉薬を上部から流し掛け
70	35			YH上01	255	—	小坏	Ⅰ	土灰釉	緑色透明	淡灰色	良好	砂粒を含む	ロクロ水引き	工具削り？	工具削り調整？	高台付近以下露胎		8.6	4.2	5.4	盗難
70	36			YH上02	93	6T	小坏	Ⅰ	土灰釉＋濃緑	灰オリーブ(Hue7.5Y5/3)	灰白(Hue10YR7/1)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台付近以下露胎		9.9	4.4	4.6	濃緑の釉薬を上部から流し掛け

Tab. 15　飯洞甕窯跡出土遺物一覧　第1次～3次（4）

Fig	No	PL	No	調査地	実測No	出土地点	器種	分類	釉薬	色調（表面）	色調（胎土）	焼成	胎土	成形	碗皿類の底部調整等			甕類の内面調整等	法量（cm）			備考
															腰部・底裏	畳付（底）	施釉範囲		口径	底径	器高	
71	1			YH上02	122	3T	瓶	Ⅰ	土灰釉	オリーブ灰(Hue10Y5/2)	にぶい黄橙(Hue10YR7/3)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ？	—	高台端部を丸くおさめる			-	4.0	—	
71	2			YH上02	127	3T	瓶	Ⅱ	鉄釉	暗赤灰(Hue2.5YR3/1)	灰褐(Hue7.5YR5/2)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ？	—	工具削り調整			-	4.6	—	
71	3			YH上02	214	6T	壺	Ⅱa	土灰釉	黄褐(Hue2.5Y5/3)	灰黄褐(Hue10YR6/2)	良好	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ？				—	12.8	—	—	
71	4			YH上02	209	第2室	壺	Ⅱa	土灰釉	黄褐(Hue2.5Y5/3)	灰黄(Hue2.5Y7/2)	良好	微細	ロクロ？				—	-	—	—	
71	5	32	7	YH上02	193	第2室	甕	Ⅰ	土灰釉	灰オリーブ(Hue5Y5/2)	灰褐(Hue7.5YR5/2)	やや不良	微粒(マーブル状)	タタキ				横ナデ	16.0	12.4	11.6	
71	6			YH上02	190	1T	甕	Ⅱ	土灰釉	オリーブ黒(Hue5Y8/2)	にぶい黄橙(Hue10YR6/3)	やや不良	微細	タタキ				？	9.8	—	—	
71	7			YH上02	192	6T	甕	Ⅵ	土灰釉	暗褐(Hue10YR3/3)	灰黄(Hue2.5Y6/2)	一部不良	微細 黒色粒含む	タタキ				—	-	—	—	
71	8			YH上02	218	第2室	壺	Ⅷ	土灰釉	にぶい黄(Hue2.5Y6/3)	灰黄褐(Hue10YR6/2)	良好	0.5㎜大の砂粒含む	タタキ				タタキ→横ナデ	-	—	—	水差？
71	9			YH上02	259	2T	壺	Ⅰb	土灰釉	緑色透明	灰色	良好	微砂粒を含む	タタキ？	上部ロクロ調整	—			16.0	—	(8.0)	水差？ 盗難
71	10			YH上02	131	3T	壺	Ⅰb	土灰釉	黄褐(Hue2.5Y5/4)	にぶい黄橙(Hue10YR7/2)	良好	1㎜大の砂粒含む(黒い粒混じる)	ロクロ？	—	—		—	-	—	—	水差？ No.9と同一固体 口唇部無釉
71	11			YH上02	203	6T	甕	Ⅵ	土灰釉	灰黄(Hue2.5Y7/2)	にぶい褐(Hue7.5YR5/3)	不良	微細	タタキ？				横ナデ？	-	—	—	
71	12			YH上02	152	1T	壺	—	長石釉	灰黄褐(Hue10YR6/2)	にぶい橙(Hue7.5YR6/4)	良好	微細	ロクロ	工具削り(左回転)	工具削り調整	底部外面露胎		-	—	—	耳付鉢 絵付けあり
71	13			YH上02	206	1T	甕	Ⅰ	鉄釉	黒褐(Hue5YR3/1)	にぶい黄褐(Hue10YR5/3)	やや不良	微粒(マーブル状)	タタキ？				横ナデ	-	—	—	
71	14			YH上01	204	—	甕	Ⅰ	土灰釉	浅黄(Hue2.5Y7/4)	灰褐(Hue5YR5/2)	やや不良	微粒(マーブル状)	タタキ？				横ナデ	-	—	—	口唇部に貝目
71	15			YH上02	191	4T	徳利	Ⅱ	土灰釉	明灰黄(Hue2.5Y4/2)	にぶい褐(Hue7.5YR6/3)	一部不良	微細	タタキ?				—	-	—	—	
71	16			YH上02	137	5T	徳利	Ⅲ	長石釉	灰白Hue2.5Y7/1	にぶい黄橙(Hue10YR6/3)	良好	0.5㎜大の砂粒含む	ロクロ水引き	—	—			7.2	—	—	絵付け有り
71	17			YH上02	208	1T	徳利	Ⅱ	土灰釉	黄褐(Hue2.5Y5/3)	にぶい黄橙(Hue10YR7/3)	良好	微細	タタキ？				—	-	—	—	
71	18			YH上02	115	1T	徳利	Ⅱ	土灰釉	黄褐(Hue2.5Y5/3)	にぶい赤褐(Hue5YR5/4)	不良	1㎜大の砂粒多く含む	ロクロ	—	—			-	—	—	
71	19			YH上02	210	6T	徳利	Ⅱ	土灰釉	暗灰黄(Hue2.5Y4/2)	灰褐(Hue5YR5/2)	良好	微粒(マーブル状)	タタキ？				—	-	—	—	
71	20			YH上02	230	1T	徳利	Ⅱ	土灰釉	オリーブ褐(Hue2.5Y4/4)	にぶい黄橙(Hue10YR6/3)	良好	微細	タタキ？→ナデ	—	—		横方向の工具ナデ 頚部絞り痕跡	-	—	—	
71	21			YH上02	185	3T	水滴	Ⅰ	土灰釉＋濃緑	暗灰黄(Hue2.5Y5/2)	灰黄褐(Hue10YR5/2)	良好	1㎜大の砂粒含む	—	—	—			-	—	—	濃緑の釉薬を上から流し掛け
71	22			YH上02	178	5T	？	—	長石釉	灰白(Hue5Y7/1)	にぶい橙(Hue7.5YR7/3)	良好	1㎜大の砂粒含む	—	—	—			-	幅0.9	—	平向付の脚？
71	23			YH上02	179	5T	？	—	長石釉	灰白(Hue5Y7/2)	浅黄(Hue2.5Y7/3)	良好	微細	—	—	—			-	—	1.3	球形
71	24			YH上02	263	4T	軸受け	Ⅱ	土灰釉	灰釉(緑色透明)	灰色	良好	砂粒を含む	ロクロ水引き	—	—			4.6	9.6	3.5	盗難
71	25			YH上02	170	3T	軸受け	—	土灰釉	灰オリーブ(Hue5Y6/2)	灰黄褐(Hue10YR6/2)	良好	1㎜大の砂粒含む	ロクロ水引き	—	—			-	—	—	
71	26			YH上02	159	1T	軸受け	—	長石釉	灰黄(Hue2.5Y6/2)	にぶい黄橙(Hue10YR7/3)	良好	0.5㎜大の砂粒含む	ロクロ水引き	—	—			-	—	—	
71	27			YH上02	260	2T	蓋	Ⅰb	土灰釉	緑色透明	灰色	良好	砂粒を含む	ロクロ水引き	—	工具削り調整			7.2	—	3.0	盗難
71	28			YH上02	261	3T	蓋	Ⅰa	鉄釉		灰色	良好	砂粒を含む	ロクロ水引き	—	回転糸切			6.8	4.4	2.7	盗難
71	29			YH上01	262	2T	蓋	Ⅰb	土灰釉	緑色透明	灰色	良好	砂粒を含む	ロクロ水引き	—	工具削り調整			4.4	—	2.2	盗難
71	30	32	6	YH上02	145	第1室	錘		無釉		灰白(Hue2.5Y8/2)	生焼	微粒砂含む	手づくね					長さ6.4	幅2.7	孔径0.5~0.8	
71	31	32	6	YH上02	149	第1室	錘		無釉		灰白(Hue2.5Y8/1)	生焼	微粒砂含む	手づくね					長さ6.4	幅2.3	孔径0.65~0.7	
71	32	32	6	YH上02	146	第2室	錘		無釉		浅黄(Hue2.5Y7/3)	生焼	微粒砂含む	手づくね					長さ7.7	幅3.0	孔径0.6~0.7	
71	33	32	6	YH上02	144	5T	錘		土灰釉	オリーブ黄(Hue5Y6/3)	浅黄(Hue2.5Y7/3)	良好	微粒砂含む	手づくね					長さ5.9	幅2.6	孔径1.0	
71	34	32	6	YH上02	150	5T	錘		土灰釉	オリーブ黄(Hue5Y6/3)	浅黄(Hue2.5Y7/3)	良好	微粒砂含む	手づくね					長さ6.4	幅2.5	孔径0.7	
71	35			YH上02	243	5T	錘		土灰釉	黄褐(Hue2.5Y5/3)	にぶい黄橙(Hue10YR7/3)	良好	微細	手づくね	手持ち削り				長さ5.6	幅2.4	孔径1.0	
71	36	32	6	YH上02	147	5T	錘		無釉	浅黄(Hue2.5Y7/2)	浅黄(Hue2.5Y7/3)	生焼	微粒砂含む	手づくね					長さ6.5	幅1.9	孔径0.35	
71	37	32	6	YH上02	151	6T	錘		無釉	灰白(Hue2.5Y7/0)	灰白(Hue2.5Y7/1)	生焼	微粒砂含む	手づくね					-	幅2.0	—	
71	38	32	6	YH上02	148	表採	錘		無釉		(Hue2.5Y7/3)浅黄	生焼	微粒砂含む	手づくね					長さ5.8	幅3.2	孔径0.5~0.7	
71	39			YH上02	180	3T	擂鉢		無釉	浅黄　(Hue2.5Y7/2)	浅黄　(Hue2.5Y7/3)	素焼	1㎜大の砂粒含む	—	—	—			-	—	—	格子状の削り線
71	40			YH上02	181	4T	擂鉢		無釉	淡黄(Hue2.5Y8/2)	淡黄(Hue2.5Y8/3)	素焼	1㎜大の砂粒含む	—	—	—			-	—	—	格子状に削り線
71	41			YH上02	182	3T	擂鉢		無釉	淡黄(Hue2.5Y8/2)	淡黄(Hue2.5Y8/3)	素焼	1㎜大の砂粒含む	—	—	—			-	—	—	削り線あり
71	42			YH上02	177	6T	硯		—		褐灰(Hue5YR4/1)	無し	粘板岩	—	—	—			-	—	—	
72	1			YH上02	194	第2室	片口鉢	Ⅲ	不明	ー	にぶい橙(Hue5YR6/3)	生焼	微粒(マーブル状)	タタキ				？	16.0	—	—	

Tab. 15　飯洞甕窯跡出土遺物一覧　第1次～3次（5）

Fig	No	PL	No	調査地	実測No	出土地点	器種	分類	釉薬	色調（表面）	色調（胎土）	焼成	胎土	成形	碗皿類の底部調整等			甕類の内面調整等	法量（cm）			備考
															腰部・底裏	畳付（底）	施釉範囲		口径	底径	器高	
72	2			YH上02	211	2T	片口鉢	Ⅲ	土灰釉？	にぶい黄(Hue2.5Y6/3)	灰褐黄(Hue10YR5/2)	不良	微粒(マーブル状)	タタキ					20.6	—	—	
72	3			YH上02	232	1T	片口鉢	Ⅲ	土灰釉？	にぶい黄橙(Hue10YR6/2)	にぶい黄橙(Hue10YR6/3)	生焼	微細	—				横ナデ？	-	—	—	
72	4			YH上02	229	1T	片口鉢	Ⅰa	土灰釉	にぶい黄(Hue2.5Y6/3)	灰褐(Hue5YR4/2)	良好	微粒(マーブル状)	タタキ？				タタキ→横ナデ？	-	—	—	
72	5			YH上02	215	6T	片口鉢？	Ⅰa	不明	にぶい褐(Ｈｕｅ7.5YR5/2)	にぶい褐(Ｈｕｅ7.5YR5/3)	生焼	微粒(マーブル状)	タタキ				同心円タタキ痕	18.0	—	—	
72	6			YH上02	227	1T	片口鉢	Ⅰa	土灰釉	にぶい赤褐(Hue5YR4/3)	灰黄褐(Hue10YR6/2)	良好	微粒(マーブル状)	タタキ？				タタキ→横ナデ？	-	—	—	釉薬が褐色に発色
72	7			YH上02	226	7T	片口鉢？	Ⅰa	土灰釉	灰オリーブ(Hue5Y5/3)	明褐灰(Hue7.5YR7/1)	良好	微粒(マーブル状)	タタキ？				タタキ→横ナデ？	-	—	—	
72	8			YH上02	212	1T	片口鉢	Ⅰa	土灰釉	灰黄(Hue2.5Y7/2)	灰赤(Hue10YR5/2)	やや不良	微粒(マーブル状)	タタキ				横ナデ	17.6	—	—	口唇部に貝目
72	9			YH上02	195	7T	片口鉢？	Ⅰa	土灰釉	浅黄(Hue2.5Y7/3)	灰黄(Hue2.5Y7/2)	不良	微細	タタキ				横ナデ	20.8	—	—	
72	10			YH上02	228	7T	片口鉢	Ⅰa	土灰釉	暗オリーブ(Hue5Y4/3)	褐灰(Hue7.5YR5/1)	良好	微粒(マーブル状)	タタキ？				タタキ→横ナデ？	-	—	—	口唇部に貝目
72	11	32	8	YH上01	244	—	鉢	Ⅵa	土灰釉	灰オリーブ(Hue5Y5/3)	灰黄(Hue2.5Y7/3)	良好	微粒(マーブル状)	タタキ				タタキ？→横ナデ	31.8	20.0	16.7	口唇部に貝目
72	12			YH上01	196	—	鉢	Ⅵa？	土灰釉	オリーブ黄(Hue5Y6/4)	灰黄(Hue2.5Y7/2)	良好	微細	タタキ				同心円タタキ痕	-	—	—	
72	13			YH上02	153	4T	鉢？	Ⅸ	不明		浅黄(Hue2.5Y7/3)	生焼	微細	タタキ？					-	—	—	
72	14			YH上02	217	2T	鉢？	Ⅳb？	土灰釉	にぶい黄(Hue2.5Y6/3)	赤灰(Hue2.5YR5/2)	良好	微粒(マーブル状)	—				横ナデ	-	—	—	口唇部に貝目
72	15			YH上01	199	2T	鉢？	Ⅳb？	土灰釉	灰オリーブ(Hue5Y5/3)	にぶい黄(Hue2.5Y7/3)	不良	微粒(マーブル状)	タタキ？				—	-	—	—	口唇部に貝目
72	16			YH上01	213	—	甕？	Ⅰ	土灰釉	灰オリーブ(Hue5Y5/3)	にぶい赤褐(Hue2.5YR4/3)	良好	微粒(マーブル状)	タタキ				横ナデ	33.4	—	—	口唇部に貝目
72	17			YH上01	219	—	甕	Ⅰ	土灰釉	にぶい黄(Hue2.5Y6/3)	灰褐(Hue7.5YR5/2)	良好	微粒(マーブル状)	タタキ				タタキ→横ナデ	26.8	—	—	口唇部に貝目
72	18			YH上02	189	2T	甕	Ⅰ	土灰釉	にぶい黄(Hue2.5Y6/3)	灰褐(Hue7.5YR5/2)	不良	微粒(マーブル状)	タタキ				横ナデ	33.6	—	—	
72	19			YH上02	197	1T	甕？	Ⅰ	土灰釉	暗灰黄(Hue2.5Y5/2)	褐灰(Hue7.5YR6/1)	不良	微粒(マーブル状)	タタキ				横ナデ	-	—	—	
73	1			YH上01	216	—	甕	Ⅳ	土灰釉	にぶい黄褐(Hue10YR5/3)	暗褐(Hue7.5YR3/3)	良好	1～2㎜大黒っぽい粒含む	—				—	-	—	—	口唇部に貝目
73	2			YH上02	198	1T	甕	Ⅳ	土灰釉	オリーブ褐(Hue2.5Y4/3)	灰褐(Hue7.5YR4/2)	やや不良	微粒(マーブル状)	タタキ				横ナデ	-	—	—	口唇部に貝目
73	3			YH上02	201	1T	甕	Ⅳ	土灰釉	暗灰黄(Hue2.5Y4/2)	灰褐(Hue5YR4/2)	やや不良	微細 黒色粒含む	タタキ？					-	—	—	口唇部に貝目
73	4			YH上02	200	表採	甕	Ⅳ	土灰釉	にぶい黄橙(Hue10YR6/3)	灰褐(Hue5YR4/2)	不良	微粒(マーブル状)	タタキ				横ナデ	-	—	—	口唇部に貝目
73	5			YH上02	207	3T	甕	Ⅳ	土灰釉	浅黄(Hue2.5Y7/4)	にぶい黄褐(Hue10YR5/3)	不良	微粒(マーブル状)	タタキ？				横ナデ？	-	—	—	
73	6			YH上02	205	4T	甕	Ⅳ	土灰釉	にぶい黄(Hue2.5Y6/3)	灰褐　(Hue5YR5/2)	やや良好	微粒(マーブル状)	タタキ？				横ナデ	-	—	—	口唇部に貝目
73	7			YH上03	234	1T	甕？	—	土灰釉	黒褐(Hue10YR3/2)	灰黄褐(Hue10YR5/2)	不良	微粒(マーブル状)	タタキ？					-	—	—	横帯文
73	8			YH上02	233	6T	甕？	—	土灰釉	黒褐(Hue10YR3/2)	灰黄褐(Hue10YR5/2)	不良	微粒(マーブル状)	タタキ？					-	—	—	横帯文
73	9			YH上01	188	—	甕	—	土灰釉	灰褐(Hue5YR4/2)	灰黄(Hue2.5Y7/2)	不良	微粒(マーブル状)	タタキ				横ナデ	-	20.4	—	底部に貝目
73	10	32	9	YH上01	245	—	蓋	Ⅲb	土灰釉	オリーブ褐(Hue2.5Y4/4)	にぶい黄橙(Hue10YR7/2)	良好	砂粒を含む	タタキ				タタキ？→横ナデ	28.4	20.0	5.3	底部はロクロ目残る　胴部はタタキ成形後ロクロ調整
73	11			YH上02	221	2T	蓋	Ⅲa	無釉？	灰褐(Hue7.5YR4/1)	灰褐(Hue7.5YR4/2)	良好	微粒(マーブル状)	タタキ				横ナデ	-	—	—	口唇部に貝目
73	12			YH上02	235	2T	蓋？	Ⅲb	土灰釉	にぶい黄(Hue2.5Y6/4)	にぶい橙(Hue7.5YR7/3)	やや不良		タタキ？				タタキ？→横ナデ	35.0	—	—	
73	13			YH上02	220	7T	蓋	Ⅲb	無釉？	にぶい赤褐(Hue5YR4/2)	にぶい赤褐(Hue5YR4/3)	良好	微粒(マーブル状)	タタキ				横ナデ	-	—	—	
73	14			YH上02	236	7T	蓋？	Ⅲb	土灰釉	オリーブ黄(Hue5Y6/3)	にぶい黄橙(Hue10YR7/2)	良好	微細	タタキ				タタキ→横ナデ	-	—	—	
73	15			YH上01	222	—	蓋？	Ⅲb	土灰釉	オリーブ黄(Hue5Y6/3)	にぶい黄橙(Hue10YR7/2)	良好	1㎜大の砂粒含む	タタキ				タタキ？→横ナデ	-	—	—	
73	16			YH上02	231	2T	蓋？	Ⅲb	土灰釉	にぶい黄(Hue2.5Y6/4)	にぶい褐(Hue7.5YR6/3)	良好	微細	タタキ？→ナデ				横方向の工具ナデ	-	—	—	
73	17			YH上02	223	表採	蓋？	Ⅲb	土灰釉	オリーブ黄(Hue5Y6/3)	にぶい赤褐(Hue5YR5/4)	良好	微細	タタキ				タタキ？→横ナデ	-	—	—	口唇部に貝目
73	18			YH上02	224	7T	蓋？	Ⅲb	土灰釉	にぶい黄(Hue2.5Y6/3)	にぶい橙(Hue7.5YR7/3)	良好	微細	タタキ				タタキ？→横ナデ	-	—	—	
73	19			YH上02	237	7T	蓋？	Ⅲb	土灰釉	オリーブ黄(Hue5Y6/3)	にぶい褐(Hue7.5YR6/3)	やや不良	微細	タタキ？				タタキ？→横ナデ	-	—	—	口唇部に貝目
73	20			YH上02	238	2T	蓋？	Ⅲb	土灰釉	にぶい黄(Hue2.5Y6/4)	にぶい黄橙(Hue10YR7/2)	良好	微細	タタキ？				タタキ？→横ナデ	-	—	—	口唇部に貝目
73	21			YH上02	239	2T	蓋？	Ⅲb	土灰釉	にぶい黄(Hue2.5Y6/4)	にぶい橙(Hue7.5YR7/3)	やや不良	微細	タタキ？				タタキ？→横ナデ	-	—	—	
73	22			YH上02	240	2T	蓋？	Ⅲb	土灰釉	にぶい黄(Hue2.5Y6/4)	にぶい黄橙(Hue10YR7/4)	やや不良	微細	タタキ？				タタキ？→横ナデ	-	—	—	
73	23			YH上02	241	2T	蓋？	Ⅲb	土灰釉	灰オリーブ(Hue5Y5/3)	浅黄(Hue2.5Y7/3)	良好	微細	タタキ？				タタキ？→横ナデ	-	—	—	口唇部に貝目

Tab. 15　飯洞甕窯跡出土遺物一覧　第1次～3次（6）

Fig	No	PL	No	調査地	実測No	出土地点	器種	分類	器種No	釉薬	色調（表面）	色調（胎土）	胎土	焼成	成形	底部調整等			甕類の内面調整等	法量（cm）			備考
																腰部・底裏	畳付（底）	施釉範囲		口径	底径	器高	
76	1	32	10	YH下01	7	2T	Ⅲ	Ⅰa	1.05	土灰釉	にぶい黄(Hue2.5Y6/3)	灰白Hue10YR7/1)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		11.8	4.4	3.6	
76	2	32	11	YH下01	25	2T	Ⅲ	Ⅰa	1.05	土灰釉	オリーブ黄(Hue5Y6/3)	灰白(Hue2.5Y7/1)	0.5㎜大の砂粒含む。	良好	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		11.5	4.8	3.4	ゆがみあり
76	3			YH下01	16	2T	Ⅲ	Ⅰa	1.05	土灰釉？	淡黄(Hue2.5Y8/3)	にぶい黄橙(Hue10YR7/3)	0.5㎜大の砂粒含む	生焼	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		11.4	5.1	3.4	
76	4	32	12	YH下01	266	2T	Ⅲ	Ⅰa	1.03	不明	灰白(Hue2.5YR8/2)	灰白(Hue2.5Y7/1)	1㎜大の砂粒多く含む	生焼	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	？		12.0	5.1	3.6	
76	5			YH下01	31	2T	Ⅲ	Ⅰa	1.05	土灰釉	オリーブ黄(Hue5Y6/3)	明褐灰(Hue5YR7/2)	1㎜大の砂粒多く含む	一部不良	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		10.7	4.7	3.2	内面には砂粒が多く付着
76	6			YH下01	32	2T	Ⅲ	Ⅰa	1.05	土灰釉	灰オリーブ(Hue5Y6/2)	灰白(Hue10YR7/1)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		11.2	4.8	2.9	
76	7			YH下01	18	4T	Ⅲ	Ⅰa	1.05	土灰釉	灰オリーブ(Hue7.5Y6/2)	にぶい褐(Hue7.5YR6/3)	0.5㎜大の砂粒含む	良好	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	回転糸切→工具削り調整	高台付近以下露胎		12.0	4.8	3.1	
76	8			YH下01	30	4T	Ⅲ	Ⅰa	1.05	土灰釉	灰オリーブ(Hue5Y5/3)	にぶい橙(Hue5YR7/3)	1㎜大の砂粒多く含む	一部不良	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		11.6	4.7	3.2	
76	9			YH下01	38	4T	Ⅲ	Ⅰa	1.05	土灰釉？	灰黄(Hue2.5Y6/2)	にぶい橙(Hue5YR6/4)	0.5㎜大の砂粒含む	生焼	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		12.4	5.4	3.1	
76	10			YH下01	8	2T	Ⅲ	Ⅰa	1.05	土灰釉	オリーブ黄(Hue5Y6/3)	灰白(Hue2.5Y7/1)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き(右回転)	—	—	腰部付近以下露胎		9.8	—	—	
76	11			YH下01	12	2T	Ⅲ	Ⅰa	1.05	土灰釉	灰オリーブ(Hue5Y6/2)	にぶい黄橙(Hue10YR7/2)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き(右回転)	—	—	高台付近以下露胎		11.7	—	—	
76	12			YH下01	19	2T	Ⅲ	Ⅰb	1.05	土灰釉	灰オリーブ(Hue7.5Y6/2)	灰白(Hue5Y7/1)	0.5㎜大の砂粒含む	良好	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台付近以下露胎		11.8	4.4	2.7	
76	13	32	13	YH下01	40	2T	Ⅲ	Ⅰc	1.05	土灰釉	暗オリーブ(Hue5Y4/3)	灰黄(Hue2.5Y6/2)	微細	良好	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整？	腰部付近以下露胎		11.6	5.2	3.8	ゆがみあり
76	14			YH下01	97	2T	Ⅲ	Ⅰa	1.05	土灰釉	灰黄(Hue2.5Y7/2)	灰白(Hue10YR7/1)	微細砂粒含む	やや不良	ロクロ水引き(右回転)	—	—	高台脇以下露胎		-	—	—	
76	15			YH下02	46	表採	Ⅲ	Ⅰa	1.05	長石釉	灰黄(Hue2.5Y7/2)	にぶい黄橙(Hue10YR6/3)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	—	—	—	？		-	—	—	内面に絵付け(緑色)
76	16			YH下01	23	2T	Ⅲ	Ⅵa	1.13	長石釉	灰白(Hue7.5Y7/1)	灰白(Hue7.5Y7/1)	0.5㎜大の砂粒含む。	良好	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台脇以下露胎		14.4	5.2	4.2	
76	17	32	14	YH下01	39	2T	Ⅲ	Ⅳ	1.23	土灰釉？	にぶい黄橙(Hue10YR7/2)	にぶい黄橙(Hue10YR6/3)	微細	生焼	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台付近以下露胎		12.4	5.0	4.4	
76	18			YH下01	14	2T	Ⅲ	Ⅳ	1.25	土灰釉	オリーブ黄(Hue5Y6/4)	灰白(Hue2.5Y7/1)	0.5㎜大の砂粒含む	良好	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台脇以下露胎		11.8	5.8	4.2	
76	19			YH下01	77	1T	Ⅲ	Ⅳ	1.23	長石釉	白色透明	淡灰色	砂粒を含む	良好	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台脇以下露胎		11.2	5.0	4.2	盗難
76	20			YH下01	78	1T	Ⅲ	Ⅳ	1.23	長石釉	白色透明	淡灰色	砂粒を含む	良好	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台脇以下露胎		12.0	5.0	3.9	盗難
76	21			YH下01	29	2T	Ⅲ	Ⅳ	1.23	長石釉	灰白黄(Hue2.5Y7/1)	灰白(Hue2.5Y7/1)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台脇以下露胎		13.8	5.2	3.8	
76	22			YH下01	36	2T	Ⅲ	Ⅳ	1.23	長石釉	灰白(Hue2.5GY8/1)	灰白(Hue2.5Y8/1)	微細	良好	ロクロ水引き(右回転)	—	—	高台付近以下露胎		12.0	—	—	
76	23			YH下01	42	2T	Ⅲ	Ⅳ	1.23	長石釉	灰白(Hue10Y7/1)	灰白(Hue2.5Y7/1)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台脇以下露胎		11.2	4.8	3.9	
76	24			YH下01	47	2T	Ⅲ	Ⅳ	1.23	長石釉	灰黄(Hue2.5Y7/2	灰白(Hue2.5Y7/1)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	—	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台脇以下露胎		10.7	4.8	4.2	
76	25			YH下01	9	2T	Ⅲ	Ⅳ	1.23	不明	灰白(Hue10YR8/1)	にぶい橙(Hue7.5YR7/3)	1㎜大の砂粒多く含む	生焼	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	？		12.7	5.8	4.8	
76	26			YH下01	92	2T	Ⅲ	Ⅳ	1.23	長石釉	灰白(Hue5Y7/1)	灰白(Hue2.5Y8/1)	微細	良好	ロクロ水引き(右回転)	—	—	—		12.0	—	—	
76	27			YH下01	87	2T	Ⅲ	Ⅳ	1.23	不明	灰白(Hue7.5YR8/1)	浅黄橙(Hue7.5YR8/4)	微細砂粒多く含む	生焼	ロクロ水引き(右回転)	—	—	—		13.0	—	—	生焼け 全体にざらついている
77	1			YH下01	52	2T	Ⅲ	Ⅳ	1.25	土灰釉	オリーブ黄(Hue7.5Y6/3)	にぶい橙(Hue7.5YR7/3)	1㎜大の砂粒含む	良好	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台付近以下露胎		12.8	6.1	4.6	
77	2			YH下01	15	2T	Ⅲ	Ⅳ	1.25	土灰釉	オリーブ黄(Hue5Y6/3)	灰黄(Hue2.5Y7/2)	0.5㎜大の砂粒含む	良好	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台付近以下露胎		12.4	5.0	4.4	
77	3			YH下01	22	2T	Ⅲ	Ⅳ	1.25	土灰釉	オリーブ灰(Hue5GY6/1)	灰白(Hue5Y7/1)	0.5㎜大の砂粒含む	良好	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台付近以下露胎		11.2	5.4	4.1	
77	4			YH下02	41	2T	Ⅲ	Ⅳ	1.25	土灰釉	灰オリーブ(Hue5Y5/3)	にぶい黄橙(Hue10YR6/3)	微細	良好	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台付近以下露胎		12.2	4.6	3.4	ゆがみあり
77	5			YH下01	6	2T	Ⅲ	Ⅳ	1.25	土灰釉	灰オリーブ(Hue7.5Y6/2)	灰白(Hue10YR7/1)	1㎜大の砂粒多く含む	不良	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台付近以下露胎		12.0	5.6	4.0	

Tab.15　飯洞甕窯跡出土遺物一覧　第1次～3次（7）

Fig	No	PL	No	調査地	実測No	出土地点	器種	分類	器種No	釉薬	色調（表面）	色調（胎土）	胎土	焼成	成形	底部調整等			甕類の内面調整等	法量（cm）			備考
																腰部・底裏	畳付（底）	施釉範囲		口径	底径	器高	
77	6			YH下01	49	2T	Ⅲ	Ⅳ	1.25	土灰釉	灰オリーブ(Hue7.5Y6/2)	にぶい黄橙(Hue10YR7/2)	1㎜大の砂粒多く含む	一部不良	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台付近以下露胎		11.0	5.0	4.3	
77	7			YH下01	50	2T	Ⅲ	Ⅳ	1.25	土灰釉	灰白(Hue10Y8/1)	灰白(Hue10YR7/1)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台付近以下露胎		12.0	5.4	3.8	
77	8			YH下01	35	2T	Ⅲ？	Ⅳ	1.25	長石釉	灰黄(Hue2.5Y7/2)	灰黄(Hue2.5Y7/2)	1㎜大の砂粒含む	良好	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台脇以下露胎		-	6.0	-	
77	9			YH下01	86	2T	Ⅲ	Ⅳ	1.23	長石釉	灰白(Hue2.5Y7/1)	灰白(Hue10YR8/1)	微細砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台付近以下露胎		-	5.0	-	
77	10			YH下01	10	2T	Ⅲ	Ⅳ	1.25	土灰釉	灰オリーブ(Hue7.5Y5/3)	明褐灰(Hue2.5YR7/1)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台付近以下露胎		-	4.8	-	
77	11			YH下01	84	2T	Ⅲ	Ⅳ	1.25	土灰釉	浅黄(Hue5Y7/3)	灰白(Hue10YR8/1)	微細砂粒含む	良好	ロクロ水引き(右回転)	—	—	—		12.2	—	—	
77	12			YH下01	45	2T	Ⅲ	Ⅱa	1.33	長石釉	灰白(Hue7.5Y8/1)	灰白(Hue5Y7/1)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	—	工具削り(左回転)	—	腰部付近以下露胎		-	—	—	
77	13			YH下01	88	2T	Ⅲ	Ⅱc	1.33	長石釉	明オリーブ灰(Hue5GY7/1)	にぶい黄橙(Hue10YR7/3)	微細砂粒多く含む	不良	ロクロ水引き(右回転)	—	—	—		15.0	—	—	内外面共に釉薬がわずかしかのっていない
77	14	32	15	YH下01	17	2T	Ⅲ	Ⅱc	1.35	長石釉	灰黄(Hue2.5Y7/2)	灰黄褐(Hue10YR6/2)	0.5㎜大の砂粒含む	良好	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		12.0	5.4	3.4	見込に砂目３
77	15			YH下01	13	2T	Ⅲ	—	1.53	長石釉	灰白Hue(7.5Y7/1)	灰白(Hue2.5Y7/1)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	—	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台付近以下露胎		-	5.8	-	見込みに陶石目３
77	16			YH下01	85	2T	Ⅲ？	—	1.55	土灰釉	にぶい黄(Hue2.5Y6/4)	灰白(Hue10YR8/2)	微細砂粒多く含む	不良	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		-	5.5	-	見込みに輪状の釉剥ぎ
77	17			YH下01	11	2T	Ⅲ	—	1.55	土灰釉	オリーブ黄(Hue5Y6/3)	灰白(Hue5Y7/1)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	—	工具削り(左回転)	回転糸切→工具削り調整	腰部付近以下露胎		-	4.7	-	
77	18			YH下01	90	2T	Ⅲ？	—	1.55	土灰釉	灰オリーブ(Hue5Y6/2)	灰白(Hue10YR7/1)	微細砂粒含む	良好	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台付近以下露胎		-	4.5	-	
77	19			YH下02	28	1T	Ⅲ	—	1.55	土灰釉	灰オリーブ(Hue7.5Y5/3)	にぶい黄橙(Ｈｕｅ10YR7/2)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	回転糸切？→工具削り調整	高台付近以下露胎		-	4.2	-	
77	20			YH下01	37	2T	碗	Ⅰ	2.03	長石釉	灰黄褐(Hue10YR6/2)	灰黄褐(Hue10YR6/2)	微細	良好	ロクロ水引き(右回転)	—	—	—		11.0	—	—	口縁部ゆがみあり
77	21			YH下01	95	4T	碗	Ⅱ	2.15	土灰釉	灰黄(Hue2.5Y6/2)	灰白(Hue10YR7/1)	微細砂粒含む	良好	ロクロ水引き(右回転)	—	—	—		11.6	—	—	
77	22			YH下01	53	2T	碗	Ⅱ	2.15	鉄釉(黒褐)	灰褐(Hue7.5YR4/2)	褐灰Hue10YR6/1)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	？	(高台付近以下露胎)		10.6	4.4	5.3	他窯からの混入
77	23			YH下01	27	1T	碗	Ⅱ	2.05	土灰釉	灰オリーブ(Hue7.5Y6/2)	にぶい橙(Hue5YR6/4)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	—	腰部付近以下露胎		10.8	—	—	
78	1			YH下01	48	2T	碗	—	2.05	長石釉？	灰白(Hue2.5Y8/29)	灰白(Hue10YR8/2)	1㎜大の砂粒多く含む	生焼	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整？	腰部付近以下露胎		-	5.4	-	
78	2			YH下01	33	表採	碗	—	2.55	土灰釉	灰オリーブ(Hue7.5Y5/2)	にぶい黄橙(Hue10YR7/2)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台付近以下露胎		-	5.0	-	
78	3			YH下01	89	2T	碗	—	2.55	土灰釉	にぶい黄(Hue2.5Y6/3)	にぶい黄橙(Hue10YR7/3)	微細砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		-	5.5	-	外面に鉄釉の垂れ
78	4			YH下01	44	表採	碗？	Ⅲ？	2.53	長石釉	にぶい黄橙(Hue10YR7/2)	にぶい黄橙(Hue10YR7/4)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	—	—	—	—		-	—	—	外面に鉄絵
78	5			YH下01	20	2T	碗？	—	2.55	土灰釉	灰白(Hue2.5Y8/1)	にぶい橙(Hue5YR7/4)	1㎜大の砂粒含む	生焼	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台脇以下露胎		-	5.8	-	
78	6			YH下01	24	2T	碗	—	2.55	？	不明	灰白(Hue2.5Y7/1)	微細	生焼	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	？		-	4.8	-	釉薬発色せず
78	7	32	16	YH下01	81	2T	鉢	Ⅰ	4.14	土灰釉	緑色透明	淡灰色	緊密	良好	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	？	？		13.2	4.8	3.6	施文に土灰釉？盗難
78	8	32	17	YH下01	80	2T	鉢	Ⅰ	4.14	石灰釉	淡褐色	淡灰色	砂粒を含む	良好	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	？		13.6	5.2	4.9	施文に鉄釉 盗難
78	9			YH下01	26	2T	鉢	Ⅰ	4.14	石灰釉？	にぶい黄橙(Hue10YR7/2)	にぶい橙(Hue5YR6/4)	0.5㎜大の砂粒多く含む	生焼	ロクロ水引き(右回転)	—	—	—		13.0	—	—	外面絵付け
78	10	32	18	YH下01	4	1T P1	小坏	Ⅱ	3.05	土灰釉	オリーブ灰(Hue10Y6/2)	にぶい黄橙(Hue10YR7/3)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台付近以下露胎		6.2	4.0	4.6	
78	11			YH下01	34	2T	小坏	Ⅰ	3.05	土灰釉	灰オリーブ(Hue5Y6/2)	灰白(Hue10YR8/2)	1㎜大の砂粒多く含む	一部不良	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台付近以下露胎		7.6	3.8	5.3	ゆがみあり
78	12			YH下01	94	1T	小坏	Ⅱ	3.05	土灰釉	にぶい黄(Hue2.5Y6/3)	にぶい黄橙(Hue10YR7/2)	微細砂粒多く含む	良好	ロクロ水引き(右回転)	—	—	—		6.6	—	—	
78	13			YH下01	21	2T	小坏	Ⅱ	3.05	土灰釉？	灰黄(Hue2.5Y7/2)	にぶい黄橙(Hue10YR6/3)	微細	生焼	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	？		7.0	3.5	4.2	
78	14			YH下01	91	2T	小坏？	Ⅱ	3.03	長石釉	灰白(Hue2.5Y7/1)	灰黄(Hue2.5Y7/2)	微細砂粒含む	良好	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		-	4.0	-	

Tab. 15　飯洞甕窯跡出土遺物一覧　第1次～3次（8）

Fig	No	PL	No	調査地	実測No	出土地点	器種	分類	器種No	釉薬	色調（表面）	色調（胎土）	胎土	焼成	成形	底部調整等			甕類の内面調整等	法量（cm）			備考
																腰部・底裏	畳付（底）	施釉範囲		口径	底径	器高	
78	15			YH下01	93	2T	Ⅲ	Ⅵa？	4.18	長石釉	灰白(Hue2.5Y7/1)	明褐灰(Hue7.5YR7/2)	微細砂粒多く含む	やや不良	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整。	全面施釉		-	5.6	-	向付？
78	16			YH下01	43	2T	小坏	Ⅱ	3.03	長石釉	灰白(Hue5GY8/1)	灰白(Hue2.5YR7/1)	1㎜大の砂粒多く含む	一部不良	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	—	高台付近以下露胎		7.4	—	—	
78	17			YH下01	51	1T	鉢？	Ⅲ	2.05	土灰釉	オリーブ黄(Hue5Y6/3)	にぶい黄橙(Hue10YR6/3)	1㎜大の砂粒多く含む	良好	ロクロ？	—	—	—		26.6	—	—	
78	18			YH下01	71	2T	擂鉢	Ⅱ	25.05	不明(無釉？)	褐灰(Ｈｕｅ7.5ＹＲ4/1)	にぶい橙(Hue7.5YR6/4)	0.5㎜大の砂粒多く含む	良好	—	—	—			-	13.0	—	釉薬発色せず
78	19			YH下01	98	2T	擂鉢	Ⅱ	25.05	不明	不明	にぶい黄橙(Hue10YR7/4)	微細砂粒含む	良好	タタキ					-	13.0	-	
79	1	32	20	YH下01	57	2T	徳利	Ⅱ	26.05	土灰釉	黄褐(Hue2.5Y5/3)	灰褐(Hue7.5YR6/2)	微細	良好	タタキ→ナデ	—	—		同心円タタキ痕(密)→横方向の工具ナデ 頚部絞り痕跡	8.2	—	—	
79	2			YH下01	56	2T	徳利	Ⅱ	26.05	土灰釉	暗オリーブ(Hue5Y4/3)	褐灰(Hue5YR4/1)	微細	良好	タタキ→ナデ	—	—		同心円タタキ痕(密)→横方向の工具ナデ 頚部絞り痕跡	6.9	—	—	肩部接合痕
79	3	32	19	YH下01	83	2T	徳利	Ⅱ	26.05	土灰釉	褐色	暗赤褐色	緊密	良好	タタキ？	—	—		頸部しぼり痕	7.2	—	(9.3)	盗難
79	4			YH下01	68	2T	徳利	Ⅱ	26.05	土灰釉	灰オリーブ(Hue5Y4/2)	にぶい黄橙(Hue10YR7/2)	微細	良好	—	—	—		頚部絞り痕跡	7.4	—	—	肩部に接合痕
79	5			YH下01	69	2T	徳利	Ⅱ	26.05	土灰釉	暗オリーブ(Hue5Y4/3)	灰黄(Hue2.5Y7/2)	微細	良好	タタキ？	—	—		頚部絞り痕跡	7.8	—	—	肩部に接合痕
79	6			YH下01	60	2T	徳利	Ⅱ	26.05	土灰釉？	灰白(Hue2.5Y7/1)	灰黄(Hue2.5Y7/2)	微粒細砂	良好	—	—	—			6.7	—	—	
79	7			YH下01	61	2T	徳利	Ⅱ	26.05	長石釉	灰オリーブ(Hue5Y5/3)	灰白(Hue5Y7/1)	微粒細	良好	—	—	—			8.4	—	—	
79	8			YH下01	62	2T	徳利	Ⅰ	26.05	鉄釉(黒褐)	黒褐(Hue10YR3/1)	灰白(Hue5Y7/1)	微粒細	良好	—	—	—			-	—	—	
79	9			YH下01	54	2T	徳利	Ⅱ	26.05	土灰釉	暗灰黄(Hue2.5Y4/2)	褐灰(Hue10YR6/1)	微細	良好	タタキ→ナデ	—	—		工具横方向のナデ 頚部絞り痕跡	-	12.6	—	底部に貝目
79	10			YH下01	55	2T	徳利	Ⅱ	26.05	土灰釉	暗灰黄(Hue2.5Y5/2)	にぶい橙(Hue5YR6/3)	微細	良好	タタキ→ナデ	—	—		同心円タタキ痕(密)→横方向の工具ナデ 頚部絞り痕跡	-	16.4	—	底部に貝目 肩部に接合痕
79	11			YH下01	58	2T	徳利	Ⅱ	26.05	土灰釉	灰オリーブ(Hue5Y6/2)	明褐灰(Hue7.5YR7/2)	微粒細	良好	タタキ→ナデ	—	—		同心円タタキ痕(密)→横方向の工具ナデ 頚部絞り痕跡	-	17.0	—	底部に貝目 肩部に接合痕
79	12			YH下01	59	2T	徳利	Ⅱ	26.05	土灰釉	暗灰黄(Hue2.5Y5/2)	灰黄褐(Hue10YR6/2)	微粒細	やや良好	タタキ→ナデ	—	—		同心円タタキ痕(密)→横方向の工具ナデ 頚部絞り痕跡	-	—	—	
79	13			YH下01	63	2T	甕	—	21.05	土灰釉	オリーブ褐(Hue2.5Y4/4)	灰黄(Hue2.5Y7/2)	微粒細	一部不良	タタキ→ナデ	—	—		横方向の工具ナデ 頚部絞り痕跡	-	14.0	—	底部に貝目
79	14			YH下01	64	2T	壺	Ⅷb	23.05	土灰釉	にぶい黄(Hue2.5Y6/3)	にぶい黄橙(Hue10YR7/2)	微細	良好	—	—	—			19.4	—	—	口唇部露胎
79	15			YH下01	75	2T	鉢	Ⅸ	26.05	土灰釉	灰オリーブ(Hue5Y5/3)	灰白(Hue2.5Y7/1)	微細砂粒含む	一部不良	—	—	—			-	—	—	
79	16			YH下01	70	2T	甕？	—	21.05	土灰釉	にぶい黄(Hue2.5Y6/3)	黄褐(Hue2.5Y5/3)	0.5㎜大の砂粒含む	良好	タタキ	—	—		横方向の工具ナデ	-	14.0	—	
80	1			YH下01	73	2T	甕？	Ⅰ	21.05	鉄釉(黒褐)	暗オリーブ褐(Hue25Y3/3)	灰黄(Hue2.5Y6/2)	1㎜大の砂粒含む(マーブル状)	良好	—	—	—			-	—	—	口唇部に貝目
80	2			YH下01	65	2T	片口鉢？	Ⅱ	21.05	土灰釉	オリーブ黄(Hue5Y6/3)	灰黄(Hue2.5Y7/2)	緊密	良好	タタキ？	—	—			-	—	—	口唇部に貝目
80	3			YH下01	74	2T	片口鉢？	Ⅰb	24.05	土灰釉	オリーブ黄(Hue5Y6/3)	灰白(Hue2.5Y7/1)	微細砂粒含む	一部不良	—	—	—			-	—	—	
80	4			YH下01	66	2T	片口鉢？	Ⅱ	24.05	土灰釉？	不明	にぶい黄橙(Hue10YR7/2)	微細 黒色粒含む	生焼	タタキ？	—	—			-	—	—	釉薬発色せず
80	5	32	21	YH下01	202	2T	甕	—	21.05	土灰釉	灰オリーブ(Hue5Y5/3)	灰黄褐(Hue10YR6/2)	微細(マーブル状)	一部不良	タタキ				同心円タタキ痕(密)→横方向の工具ナデ	-	21.0	-	
80	6			YH下01	96	2T	蓋	Ⅲa	22.05	不明	浅黄(Hue2.5Y8/3)	浅黄橙(Hue7.5YR8/3)	微細砂粒多く含む	生焼	—	—	—			-	—	—	
80	7			YH下01	72	2T	鉢？	—	26.05	土灰釉	暗オリーブ(Hue5Y4/3)	褐灰(Hue5YR6/1)	0.5㎜大の砂粒含む 微細	良好	—	—	—			-	—	—	取っ手
80	8			YH下01	67	2T	甕	—	21.05	土灰釉	黄褐(Hue2.5Y5/3)	灰黄(Hue2.5Y7/2)	微粒細	一部良好	タタキ→ナデ	—	—		横方向の工具ナデ	-	20.0	—	外面に取っ手

Tab. 16　飯洞甕窯跡出土遺物一覧　第４次・５次（１）

Fig	No	PL	No	調査地	実測No	出土地点	器種	分類	釉薬	色調（表面）	色調（胎土）	焼成	胎土	成形	碗皿類の底部調整等			甕類の内面調整等	法量（cm）			備考
															腰部・底裏	畳付（底）	施釉範囲		口径	底径	器高	
82	1	33	3	YH04 YH05	31	15TNo41 15TWG	皿	Ⅰa	長石釉	黄灰(Hue2.5Y6/1)	浅黄(Hue2.5Y7/3)	良好	0.1～0.3㎜大の砂粒含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台脇以下露胎		(6.0)	4.5	3.2	
82	2	33	1	YH04 YH05	27	15TNo46 15TNG	皿	Ⅰa	長石釉	灰白(Hue7.5Y7/1)	灰白(Hue7.5Y7/1)	良好	0.1～0.3㎜大の砂粒少量含む	ロクロ水引き(右回転?)	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台脇以下露胎		11.6	4.8	3.2	見込みに付着物あり
82	3	33	9	YH05	5	15TWGNo3	皿	Ⅰa	土灰釉	にぶい黄(Hue2.5Y6/3)	浅黄(Hue2.5Y7/3)	やや不良	0.1～0.5㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		12.0	4.8	3.7	
82	4	33	8	YH05	3	15TWGNo5	皿	Ⅰa	土灰釉	暗オリーブ(Hue5Y4/3)	浅黄橙(Hue10YR8/3)	良好	0.1～0.5㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		11.8	4.5	3.6	
82	5	33	10	YH05	7	15TWG	皿	Ⅰa	土灰釉	オリーブ灰(Hue10Y5/2)	浅黄(Hue2.5Y7/3)	良好	0.1～0.3㎜大の砂粒少量含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		11.4	4.4	3.8	口縁部歪みあり　見込み、畳付に付着物あり
82	6			YH05	6	15TWGNo2	皿	Ⅰa	土灰釉	オリーブ灰(Hue10Y4/2)	にぶい黄橙(Hue10YR6/3)	やや不良	0.1～0.5㎜大の砂粒少量含む	ロクロ水引き	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台脇以下露胎		11.6	4.5	3.8	
82	7	33	11	YH05	8	15TWG	皿	Ⅰa	土灰釉	オリーブ灰(Hue10Y6/2)	灰白(Hue2.5Y7/1)	良好	0.1～0.3㎜大の砂粒少量含む	ロクロ水引き	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台脇以下露胎		11.1	4.9	3.1	畳付に付着物あり
82	8	33	12	YH05	9	15TWG	皿	Ⅰa	土灰釉	暗オリーブ(Hue5Y4/3)	灰(Hue5Y6/1)	良好	0.1～0.3㎜大の砂粒少量含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台脇以下露胎		(11.8)	4.6	3.6	口縁部歪みあり 畳付に付着物あり
82	9	33	13	YH05	19	15TWG	皿	Ⅰa	土灰釉？	淡黄(Hue2.5Y8/4)	黄灰(Hue2.5Y6/1)	不良	0.1～0.3㎜大の砂粒少量含む	ロクロ水引き	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		10.5	4.3	3.5	見込みに付着物あり
82	10	33	2	YH04	28	15TNo33	皿	Ⅰa	長石釉	灰白(Hue7.5Y7/1)	灰黄(Hue2.5Y7/2)	良好	0.1～0.5㎜大の砂粒少量含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台脇以下露胎		12.3	5.2	3.2	
82	11			YH05	20	15TWG	皿	Ⅰa	土灰釉？	浅黄(Hue2.5Y7/4)	にぶい橙(Hue7.5YR7/4)	不良	0.1～0.3㎜大の砂粒少量含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		(10.8)	4.5	3.0	釉剥離激しい
82	12	33	7	YH04	51	15TNo36	皿	Ⅰa	土灰釉	暗オリーブ(Hue7.5Y4/3)	灰白(Hue7.5Y7/1)	良好	0.1～0.3㎜大の砂粒少量含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		10.6	4.3	2.9	
82	13	33	5	YH04	52	15TNo40	皿	Ⅰa	土灰釉	暗オリーブ(Hue7.5Y6/2)	浅黄(Hue2.5Y7/4)	良好	0.1～0.3㎜大の砂粒少量含む	ロクロ水引き(右回転?)	工具削り(左回転)外から内へ	工具削り調整	腰部付近以下露胎		10.9	4.6	3.1	見込みに付着物あり
82	14			YH04	55	15TNo27	皿	Ⅰa	土灰釉	灰オリーブ(Hue5Y6/2)	黄灰(Hue2.5Y6/1)	やや不良	0.1～0.5㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		(12.0)	—	(3.4)	
82	15			YH04	48	15TNo19	皿	Ⅰa	土灰釉	オリーブ灰(Hue10Y6/3)	灰黄褐(Hue10YR6/2)	やや不良	0.1～0.3㎜大の砂粒含む	ロクロ水引き	—	—	全面施釉		(12.2)	(4.9)	3.9	畳付に付着物あり
82	16	33	6	YH04	54	15TNo30	皿	Ⅰa	土灰釉	灰オリーブ(Hue7.5Y5/3)	黄灰(Hue2.5Y6/1)	良好	0.1～0.3㎜大の砂粒少量含む	ロクロ水引き	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		10.8	4.3	3.2	見込み、底部外面、畳付に付着物あり
82	17			YH05	64	15TNG	皿	Ⅰa	土灰釉	オリーブ黄(Hue5Y6/3)	灰白(Hue5Y7/1)	良好	0.5～1.0㎜大の砂粒含む	ロクロ水引き	工具削り	工具削り調整	腰部付近以下露胎		(10.5)	(3.8)	3.1	
82	18			YH05	34	15TE'G	皿	Ⅰa	土灰釉	オリーブ(Hue5Y5/4)	灰黄(Hue2.5Y7/2)	良好	0.1～0.3㎜大の砂粒ごく少量含む	ロクロ水引き	工具削り(回転方向不明)	工具削り調整	全面施釉		11.9	5.4	3.7	底部に付着物(砂)あり
82	19			YH05	21	15TWG	皿	Ⅰa	土灰釉？	にぶい黄(Hue2.5YR6/4)	浅黄(Hue2.5Y7/3)	不良	0.1～0.3㎜大の砂粒含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		(12.4)	5.2	3.8	
82	20	33	14	YH04 YH05	59	15T/15TNG 15TNGSX01	皿	Ⅰa	土灰釉	暗オリーブ(Hue5Y4/3)	にぶい黄橙(Hue10YR７/4)	良好	0.1～0.3㎜大の砂粒少量含む	ロクロ水引き	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		12.5	5.2	3.3	見込みに輪状釉剥ぎあり
82	21			YH05	67	15TNG	皿	Ⅰa	土灰釉？	灰オリーブ(Hue5Y5/2)	にぶい黄橙(Hue10YR7/4)	不良	1.0㎜大の砂粒含む	ロクロ水引き	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台付近以下露胎		(11.1)	4.8	3.3	釉剥離
82	22			YH05	62	15TNG	皿	Ⅰa	土灰釉	にぶい黄(Hue2.5YR6/3)	灰黄(Hue2.5Y7/2)	良好	0.5㎜大の砂粒含む	ロクロ水引き	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台付近以下露胎		(10.3)	4.8	2.9	内面に付着物あり
82	23			YH05	55	22T	皿	Ⅰa	土灰釉	灰オリーブ(Hue7.5Y4/2)	灰(Hue5Y6/1)	良好	0.5～4.0㎜大の砂粒少量含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り？		高台脇以下露胎		(11.2)	4.5	2.9	畳付きに付着物(砂)あり 高台内に渦巻き状ヘら削り痕あり
82	24			YH05	82	24T	皿	Ⅰa	土灰釉	暗オリーブ(Hue5Y4/3)	にぶい黄橙(Hue10YR7/4)	良	0.1～0.3㎜大の砂粒少量含む	ロクロ水引き(左回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台脇以下露胎		(10.9)	4.7	3.2	見込みに付着物あり
82	25			YH05	84	24T	皿	Ⅰa	土灰釉	オリーブ灰(Hue10Y4/2)	灰白(Hue2.5Y7/1)	良好	0.1～0.3㎜大の砂粒ごく少量含む	ロクロ水引き(回転方向不明)	工具削り(回転方向不明)	工具削り調整	全面施釉		(11.7)	(6.0)	3.6	高台内に砂付着
82	26			YH05	78	24T	皿	Ⅰa	土灰釉	暗オリーブ(Hue7.5Y4/3)	灰白(Hue7.5Y7/1)	良好	0.1㎜大の砂粒ごく少量含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台脇以下露胎		11.3	4.2	3.3	口縁部歪みあり 見込み,体部外面に付着物あり
82	27			YH05	83	24T	皿	Ⅰa	土灰釉	暗オリーブ(Hue7.5Y4/3)	灰(Hue7.5Y6/1)	良好	0.1㎜大の砂粒ごく少量含む	ロクロ水引き(回転方向不明)	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台脇以下露胎		(10.2)	4.5	2.9	高台畳付きに砂付着
82	28			YH05	79	24T	皿	Ⅰa	土灰釉	オリーブ黄(Hue5Y6/3)	にぶい橙(Hue7.5YR7/4)	良	0.1～0.3㎜大の砂粒ごく少量含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台脇以下露胎		(11.2)	4.8	3.8	見込みに付着物あり
82	29			YH05	85	24T	皿	Ⅰa	不明	灰白(Hue2.5Y8/2)	にぶい橙(Hue7.5YR7/4)	不良	0.1～0.3㎜大の砂粒少量含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台脇以下露胎		(12.1)	5.0	4.1	生やけ
82	30			YH04	40	15T2G	皿	Ⅰa	土灰釉	褐(Hue10YR4/4)	淡黄(Hue2.5Y8/4)	やや不良	0.1㎜大の砂粒少量含む	ロクロ水引き	工具削り(左回転)外から内へ	工具削り調整	腰部付近以下露胎		(10.8)	4.3	2.6	畳付に付着物あり 釉剥離激しい
82	31			YH05	81	24T	皿	Ⅰa	土灰釉	暗オリーブ(Hue7.5Y4/3)	灰白(Hue7.5Y7/1)	良	0.1～0.5㎜大の砂粒少量含む	ロクロ水引き(回転方向不明)	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台脇以下露胎		(11.0)	4.4	3.5	見込み,体部外面に付着物あり
82	32			YH05	86	24T	皿	Ⅰa	土灰釉？	浅黄(Hue2.5Y7/3)	にぶい橙(Hue7.5YR7/4)	不良	0.1～0.3㎜大の砂粒少量含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台内のみ露胎		(10.2)	4.7	3.0	生やけ
82	33	33	16	YH05	80	24T	皿	Ⅰa	土灰釉	暗オリーブ(Hue7.5Y4/3)	にぶい橙(Hue5YR6/3)	良	0.1～0.3㎜大の砂粒少量含む	ロクロ水引き(回転方向不明)	工具削り(回転方向不明)	工具削り調整	全面施釉		(11.1)	4.7	3.2	高台内に砂付着 全体的に歪みあり 全面施釉
82	34			YH05	63	15TWG	皿	Ⅱa	土灰釉	黄褐(Hue2.5Y5/4)	浅黄(Hue2.5Y7/3)	良好	0.5㎜大の砂粒含む	ロクロ水引き	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台脇以下露胎		(11.3)	4.4	3.0	
82	35			YH04	63	15T	皿	Ⅱa	土灰釉	灰オリーブ(Hue7.5Y5/2)	にぶい橙(Hue7.5YR6/4)	やや不良	0.1～0.5㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き	—	—	高台付近以下露胎		(11.2)	—	(2.7)	
82	36			YH05	12	15TWG	皿	Ⅱb	土灰釉	黄褐(Hue2.5Y5/4)	浅黄(Hue2.5Y7/3)	良好	0.1～0.3㎜大の砂粒少量含む	ロクロ水引き	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		(12.9)	(4.6)	2.4	見込みに釉剥ぎ、砂目2ヶ所あり 外面に陶片付着
82	37			YH05	10	15TWG	皿	Ⅱa	土灰釉	灰オリーブ(Hue7.5Y4/2)	灰(Hue10Y6/1)	良好	0.1～0.3㎜大の砂粒少量含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		12.1	4.6	3.1	
82	38			YH05	11	15TWG	皿	Ⅱd	土灰釉	灰オリーブ(Hue7.5Y4/3)	灰白(Hue7.5Y7/1)	良好	0.1～0.3㎜大の砂粒少量含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台付近以下露胎		(10.8)	4.6	3.0	見込み、畳付に付着物あり
82	39			YH05	18	15TWG	皿	Ⅱb	長石釉	黄灰(Hue2.5Y6/1)	にぶい黄橙(Hue10YR7/3)	良好	0.1～0.3㎜大の砂粒少量含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台脇以下露胎		(15.5)	3.1	5.3	畳付きに付着物(砂)あり
82	40			YH04	65	15T	皿	Ⅱa	長石釉	灰白(Hue7.5Y7/1)	にぶい橙(Hue5YR6/4)	良好	0.1～0.5㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き	—	—	高台付近以下露胎		(17.2)	—	(3.5)	
83	1	33	4	YH04	45	15TNo20	皿	Ⅱa	土灰釉	灰オリーブ(Hue5Y6/2)	にぶい黄橙(Hue10YR7/3)	やや不良	0.1～0.3㎜大の砂粒含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		13.9	5.0	3.5	見込みに輪状釉剥ぎ、砂目3ヶ所あり
83	2	33	15	YH05	66	15TNG	皿	Ⅱc	土灰釉	灰オリーブ(Hue5Y6/2)	浅黄(Hue2.5Y7/3)	良好	0.5㎜大の砂粒含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	外面中位以下露胎		(13.6)	4.7	3.5	内面口縁部のみ施釉
83	3			YH04	50	15TNo23	皿	Ⅱa	土灰釉	灰白(Hue2.5Y7/1)	浅黄(Hue2.5Y7/4)	やや不良	0.1～0.3㎜大の砂粒少量含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		(13.3)	5.2	3.4	見込みに輪状釉剥ぎ、砂目3ヶ所あり
83	4	34	4	YH04	32	15T1G	鉢	Ⅰ	長石釉	灰白(Hue5Y7/1)	灰(Hue5Y6/1)	良好	0.1～0.5㎜大の砂粒含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)外から内へ	工具削り調整	腰部付近以下露胎		(14.5)	5.7	4.3	四方手の向付 見込みに陶石目？2ヶ所(＋1)あり

Tab. 16　飯洞甕窯跡出土遺物一覧　第４次・５次（２）

Fig	No	PL	No	調査地	実測No	出土地点	器種	分類	釉薬	色調（表面）	色調（胎土）	焼成	胎土	成形	碗皿類の底部調整等			甕類の内面調整等	法量（cm）			備考
															腰部・底裏	畳付（底）	施釉範囲		口径	底径	器高	
83	5			YH04	30	15TNo39	鉢	Ⅰ	長石釉	灰白(Hue2.5Y7/1)	浅黄(Hue2.5Y7/3)	良好	0.1～0.3㎜大の砂粒少量含む	ロクロ水引き	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		(14.3)	(5.4)	5.5	四方手の向付 見込みに陶石目？1ヶ所(＋2)あり
83	6	33	23	YH05	68	15TNG	鉢	Ⅰ	長石釉？	灰オリーブ(Hue5Y5/3)	浅黄(Hue2.5Y7/3)	不良	0.5～1.0㎜大の砂粒含む	ロクロ水引き	工具削り	工具削り調整	全面施釉		(13.8)	4.9	4.5	高台内に付着物(砂)あり
83	7			YH05	90	15TNGSX01	Ⅲ	Ⅱd	土灰釉	灰オリーブ(Hue7.5Y5/3)	にぶい黄橙(Hue10YR7/3)	良好	0.1～0.3㎜大の砂粒少量含む	ロクロ水引き	—	—	内外面施釉		—	—	(5.4)	外面に陶片付着
83	8			YH05	16	15TWG	Ⅲ	Ⅳ	長石釉	灰白(HueN7/)	灰白(HueN7/)	良好	0.1～0.3㎜大の砂粒少量含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台脇以下露胎		(12.5)	4.9	4.9	見込みに砂目3ヶ所あり 畳付きに付着物(砂)あり
83	9			YH04	33	15T1G	Ⅲ	Ⅳ	長石釉	灰黄(Hue2.5Y7/2)	浅黄(Hue2.5Y7/3)	やや不良	0.1～0.3㎜大の砂粒少量含む	ロクロ水引き	—	—	内外面施釉		(12.6)	—	(4.4)	
83	10			YH04	44	表採	Ⅲ	Ⅳ	土灰釉	暗オリーブ(Hue5Y4/3)	浅黄(Hue2.5Y7/3)	良好	0.1～0.3㎜大の砂粒少量含む	ロクロ水引き	工具削り(左回転)外から内へ	工具削り調整	腰部付近以下露胎		(12.2)	5.5	4.2	
83	11	34	1	YH05	14	15TWG	Ⅲ	Ⅳ	土灰釉	浅黄(Hue2.5Y7/3)	浅黄橙(Hue10YR8/4)	やや不良	0.1～0.3㎜大の砂粒少量含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台付近以下露胎		(11.9)	5.0	3.7	釉剥離激しい
83	12	33	20	YH04	26	15TNo35	Ⅲ	Ⅳ	土灰釉	灰オリーブ(Hue7.5Y5/3)	灰黄(Hue2.5Y7/2)	良好	0.1～0.5㎜大の砂粒少量含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台付近以下露胎		11.9	5.0	4.9	
83	13	33	24	YH05	13	15TWG	Ⅲ	Ⅳ	土灰釉	オリーブ黄(Hue5Y6/3)	にぶい黄橙(Hue10YR7/2)	やや不良	0.1～0.3㎜大の砂粒少量含む	ロクロ水引き	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台付近以下露胎		12.7	5.9	4.5	見込みに付着物あり 釉剥離激しい
83	14			YH04	62	15T	Ⅲ	Ⅳ	土灰釉	黄褐(Hue2.5Y5/4)	浅黄(Hue2.5Y7/3)	良好	0.1～0.3㎜大の砂粒少量含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台脇以下露胎		(12.3)	5.1	4.4	
83	15	34	8	YH05	52	22T	Ⅲ	Ⅳ	土灰釉？	浅黄(Hue5Y7/3)	にぶい褐(Hue7.5YR6/3)	不良	0.5～1.0㎜大の砂粒含む	ロクロ水引き			高台付近以下露胎		—	(6.4)	(2.4)	見込みに陶石目あり
83	16			YH05	15	15TWG	Ⅲ	Ⅳ	土灰釉	オリーブ灰(Hue10Y5/2)	にぶい黄橙(Hue10YR6/3)	良好	0.1～0.3㎜大の砂粒含む	ロクロ水引き	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台付近以下露胎		(11.8)	5.3	3.8	見込み､体部外面に付着物あり
83	17	33	22	YH04 YH05	57	15T 15TNG	Ⅲ	Ⅳ	土灰釉	暗オリーブ(Hue5Y4/4)	浅黄(Hue2.5Y7/3)	良好	0.1～0.3㎜大の砂粒少量含む	ロクロ水引き	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台付近以下露胎		13.1	5.2	4.6	
83	18			YH04	58	15T	Ⅲ	Ⅳ	土灰釉	オリーブ褐(Hue2.5Y4/3)	浅黄橙(Hue10YR8/4)	やや不良	0.1～0.5㎜大の砂粒多く含む	ロクロ水引き(右回転?)	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台付近以下露胎		(12.2)	5.5	4.4	
83	19	33	21	YH04	49	15TNo34	Ⅲ	Ⅳ	土灰釉	灰オリーブ(Hue7.5Y5/3)	浅黄(Hue2.5Y7/4)	良好	0.1～0.5㎜大の砂粒含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)外から内へ	工具削り調整	高台付近以下露胎		12.3	4.8	4.4	内面にひびあり
83	20			YH05	87	24T	Ⅲ	Ⅳ	土灰釉	黄褐(Hue2.5Y5/6)	にぶい橙(Hue7.5YR7/4)	不良	0.1～0.3㎜大の砂粒少量含む	ロクロ水引き	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台脇以下露胎		—	6.5	(3.6)	生やけ。見込みに付着物あり
84	1	34	5	YH04	25	15T	碗	Ⅱ	土灰釉	灰オリーブ(Hue7.5Y5/3)	黄灰(Hue2.5Y6/1)	やや不良	0.1～0.5㎜大の砂粒含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台脇以下露胎		11.6	5.4	6.1	茶碗？
84	2			YH05	61	15TNG	碗	Ⅱ	土灰釉	オリーブ黄(Hue7.5Y6/3)	灰白(Hue7.5Y7/1)	良好	0.5～1.0㎜大の砂粒含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台付近以下露胎		(12.0)	5.3	6.5	
84	3	34	7	YH05	1	15TWGNo 115TWG	碗	Ⅱ	土灰釉	灰オリーブ(Hue5Y5/3)	灰黄(Hue2.5Y7/2)	良好	0.1～0.3㎜大の砂粒少量含む	ロクロ水引き	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		11.6	5.4	6.5	見込みに付着物あり
84	4			YH05	2	15TWGNo 6	碗	Ⅱ	土灰釉	にぶい黄(Hue2.5Y6/4)	浅黄(Hue2.5Y7/3)	やや不良	0.1～0.5㎜大の砂粒少量含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		12.5	4.9	6.4	上手　茶碗？
84	5			YH04	46	15TNo28	碗	Ⅱ	土灰釉	灰オリーブ(Hue5Y5/3)	浅黄(Hue2.5Y7/3)	良好	0.1㎜大の砂粒少量含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)外から内へ	工具削り調整	腰部付近以下露胎		(11.0)	5.2	6.3	
84	6			YH04	36	15T1G	碗	Ⅱ	土灰釉	オリーブ(Hue5Y5/4)		良好	0.1～0.3㎜大の砂粒含む	ロクロ水引き	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台付近以下露胎		(11.9)	(5.4)	6.3	
84	7			YH05	65	15TNG	碗	Ⅱ	土灰釉	灰オリーブ(Hue5Y5/3)	灰黄(Hue2.5Y6/2)	やや不良	0.5～1.0㎜大の砂粒含む	ロクロ水引き	工具削り	工具削り調整	高台付近以下露胎		(11.2)	(5.2)	6.5	
84	8			YH05	4	15TWG	碗	Ⅱ	土灰釉	オリーブ(Hue5Y5/4)	灰白(Hue2.5Y8/2)	良好	0.1～0.5㎜大の砂粒含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		(12.0)	5.2	5.9	
84	9	34	9	YH05	50	22T	碗	Ⅱ		灰オリーブ(Hue5Y5/3)	灰白(Hue2.5Y7/1)	良好	0.5～1.0㎜大の砂粒少量含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台付近以下露胎		(10.9)	(5.2)	6.2	畳付きに付着物あり
84	10			YH04	60	15T	碗	—	土灰釉	灰オリーブ(Hue5Y5/3)	浅黄(Hue2.5Y7/4)	良好	0.1～0.3㎜大の砂粒少量含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台付近以下露胎		—	5.1	(3.2)	見込みに付着物あり
84	11			YH04	53	15TNo21	碗	—	土灰釉	暗オリーブ(Hue7.5Y4/3)	灰黄(Hue2.5Y6/1)	良好	0.1～0.3㎜大の砂粒含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		—	4.9	(2.9)	見込みに水引き時のキズあり 畳付に付着物あり
84	12	34	6	YH04 YH05	29	15TNo45 15TWG	碗	Ⅲ	長石釉	黄灰(Hue2.5Y6/1)	黄灰(Hue2.5Y6/1)	良好	0.1～0.3㎜大の砂粒少量含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台脇以下露胎		(11.7)	5.6	7.5	茶碗？
84	13			YH05	70	15TNG	碗	Ⅲ	土灰釉	黄褐(Hue2.5Y5/3)	浅黄(Hue2.5Y7/3)	良好	0.5㎜大の砂粒少量含む	ロクロ水引き	工具削り	工具削り調整	内外面施釉		(11.7)	—	(6.9)	
84	14			YH04 YH05	61	15T 15TNG	碗	—	土灰釉	灰オリーブ(Hue5Y5/3)	灰黄(Hue2.5Y6/2)	良好	0.1～0.3㎜大の砂粒少量含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		—	5.5	(4.8)	畳付に回転糸切痕が部分的に残る
84	15	34	10	YH04	47	15TNo22	壺	Ⅲ	土灰釉	にぶい黄(Hue2.5Y6/3)	灰黄(Hue2.5Y6/2)	やや不良	0.1～0.5㎜大の砂粒少量含む	ロクロ水引き	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		10.5	—	(6.5)	釉剥離激しい 火入れ？
84	16	35	5	YH05	54	22T	碗	Ⅴ	鉄釉	褐(Hue7.5YR4/4)	灰白(Hue2.5Y8/2)	良	0.5～2.0㎜大の砂粒少量含む	ロクロ水引き			腰部付近以下露胎		(11.4)	—	(4.7)	美濃大窯製品
84	17			YH04	64	15T	碗	Ⅴ	長石釉	灰(Hue5Y6/1)	灰黄(Hue2.5Y7/2)	良好	0.1～0.3㎜大の砂粒少量含む	ロクロ水引き	—	—	内外面施釉		(12.6)	—	(4.4)	内外面貫入あり
84	18			YH04	84	15T	碗	Ⅴ	口唇部鉄釉？	—	浅黄(Hue2.5Y7/3)	不良	0.1～0.3㎜大の砂粒少量含む	ロクロ水引き	—	—	内外面施釉		—	—	(3.0)	天目茶碗
84	19			YH04	81	15T1G	鉢	Ⅱ	土灰釉 (口縁鉄釉がけ)	暗オリーブ(Hue7.5Y4/3)	浅黄(Hue2.5Y7/3)	良	0.1～0.3㎜大の砂粒少量含む	ロクロ水引き	—	—	内外面施釉		—	—	(2.6)	筒形向付？
84	20			YH05	93	24T	鉢	Ⅱ	長石釉	灰白(Hue7.5Y7/1)	灰白(Hue7.5Y7/1)	良好	0.1～0.3㎜大の砂粒ごく少量含む	ロクロ水引き	—	—	内外面施釉		—	—	(2.7)	
84	21			YH04	85	表採	Ⅲ	Ⅳ	口唇部鉄釉	灰オリーブ(Hue5Y5/3)	灰(Hue5Y6/1)	良	0.1～0.3㎜大の砂粒ごく少量含む	ロクロ水引き	—	—	内外面施釉		—	—	(2.6)	
84	22			YH05	22	15TWG	鉢	Ⅱ	鉄釉	黒(7.5YR 1.7/1)	灰白(Hue2.5Y7/1)	良好	0.1～0.3㎜大の砂粒少量含む	ロクロ水引き	—	—	高台脇以下露胎		(8.4)	—	(5.3)	口唇部に陶片付着 向付？
84	23			YH04	34	15T1G	鉢	Ⅱ	長石釉	黄灰(Hue2.5Y6/1)	浅黄(Hue2.5Y7/3)	良好	0.1～0.3㎜大の砂粒少量含む	ロクロ水引き	—	—	内外面施釉		(9.1)	—	(5.8)	表面がかいらぎ状 向付？
84	24			YH05	23	15TWG	小坏	Ⅱ	長石釉 (口縁鉄釉がけ)	灰白(Hue5Y7/1)	黄灰(Hue2.5Y6/1)	良好	0.1～0.3㎜大の砂粒少量含む	ロクロ水引き	—	—	内外面施釉		(6.8)	—	(3.6)	
84	25	34	12	YH04	66	15T	小坏	Ⅱ	口縁部鉄釉？	暗オリーブ(Hue5Y4/4)	浅黄(Hue2.5Y7/4)	不良	0.1～0.3㎜大の砂粒少量含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	施釉不明		(7.8)	4.3	5.6	体部施釉不明(釉が剥げた？)
84	26			YH05	25	15TWG	小坏	Ⅱ	長石釉	灰オリーブ(Hu5Y6/2)	灰白(Hue5Y7/1)	良好	0.1～0.3㎜大の砂粒少量含む	ロクロ水引き			高台脇以下露胎		(7.8)	(4.2)	5.1	底部に付着物(砂)あり
84	27	34	11	YH04	56	15TNo31	小坏	Ⅱ	長石釉	明褐灰(Hue7.5YR7/2)	にぶいk黄橙(Hue10YR７/4)	やや不良	0.1～0.5㎜大の砂粒含む	ロクロ水引き	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台脇以下露胎		7.3	3.9	5.5	腰～口縁部歪みあり
84	28	34	13	YH05	24	15TWG	小坏	Ⅱ	長石釉	灰(Hue7.5Y6/1)	灰白(Hue2.5Y7/1)	良好	0.1～0.3㎜大の砂粒少量含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台付近以下露胎		(6.5)	3.8	6.1	

Tab. 16　飯洞甕窯跡出土遺物一覧　第4次・5次（3）

Fig	No	PL	No	調査地	実測No	出土地点	器種	分類	釉薬	色調（表面）	色調（胎土）	焼成	胎土	成形	碗皿類の底部調整等			甕類の内面調整等	法量（cm）			備考
															腰部・底裏	畳付（底）	施釉範囲		口径	底径	器高	
84	29			YH05	71	15TNG	小坏	Ⅰ	土灰釉	暗オリーブ(Hue5Y4/3)	灰黄(Hue2.5Y6/2)	良好	0.5㎜大の砂粒含む	ロクロ水引き			全面施釉		—	3.7	(3.7)	高台に付着物(砂)あり
85	1	35	2	YH05	53	22T	Ⅲ	Ⅱa	長石釉(鉄絵)	灰白(Hue5Y7/1)	灰白(Hue5Y7/2)	良好	0.5～1.0㎜大の砂粒少量含む	ロクロ水引き			全面施釉		(159)	6.4	4.3	見込みに陶石目？3ヶ所あり 畳付に目跡3ヶ所あり 内外面貫入、文様あり
85	2			YH05	51	22T	Ⅲ	—	長石釉(鉄絵)	灰黄(Hue2.5Y7/2)	灰黄(Hue2.5Y7/2)	良好	0.5～1.0㎜大の砂粒少量含む	ロクロ水引き	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台脇以下露胎		—	(5.0)	(1.2)	見込みに文様あり
85	3			YH04	80	15TNo25	Ⅲ	Ⅴ	長石釉(鉄絵)	灰白(Hue2.5Y7/1)	にぶい黄橙(Hue10YR7/2)	良	0.1～0.3㎜大の砂粒少量含む	ロクロ水引き	—	—	内外面施釉		—	—	(3.2)	波状口縁
85	4			YH05	91	20TP2	Ⅲ	Ⅴ	長石釉(内面鉄絵)	灰白(Hue5Y7/1)	灰白(Hue2.5Y7/1)	良好	0.1～0.3㎜大の砂粒含む	ロクロ水引き	—	—	内外面施釉		—	—	(3.4)	波縁状に口縁を押捺
85	5			YH04	83	15T	Ⅲ?	Ⅰa	長石釉(鉄絵)	灰白(Hue2.5Y7/1)	灰黄(Hue2.5Y7/2)	良好	0.1～0.3㎜大の砂粒含む	ロクロ水引き	—	—	内外面施釉		—	—	(2.2)	
85	6	34	14	YH05	17	15TWG	蓋	Ⅲ	長石釉	灰白(Hue2.5Y7/1)	灰黄(Hue2.5Y7/2)	良好	0.1㎜大の砂粒少量含む	ロクロ水引き	—	—	前面施釉		(100)	—	(2.9)	Ⅲにも使用？
85	7			YH05	26	15TWG	花生？	—	土灰釉	オリーブ黄(Hue5Y6/4)	淡黄(Hue2.5Y8/3)	良	0.1㎜大の砂粒ごく少量含む	輪積み 叩き後ロクロ整形？	—	—	内外面施釉		脚部剔(径 92)		(7.2)	
85	8	34	15	YH05	49	22T	瓶	Ⅰ	土灰釉　上半部鉄釉(飴釉)がけ	オリーブ黒(Hue5Y3/1)灰オリーブ(Hue5Y5/3)	淡黄(Hue2.5Y8/3)	良好	0.5～1.0㎜大の砂粒少量含む	ロクロ水引き					—	5.2	(10.2)	高台内面に砂付着
85	9	34	19	YH04	42	15T2G	蓋	Ⅴ	鉄釉？	黄褐(Hue2.5Y5/4)	黄灰(Hue2.5Y6/1)	良好	0.1～0.3㎜大の砂粒少量含む	円形板状にタタキ成形	外周部工具削り				径9.7		2.1	下面に貝目跡？(腹？)3ヶ所あり
85	10			YH05	72	15TNG	蓋	Ⅴ	鉄釉？	灰褐(7.5YR4/2)	褐灰(7.5YR4/1)	良好	0.5㎜大の砂粒少量含む	叩き	—	—			径(164)	—	(0.85)	マーブル状胎土 焼きしめの可能性あり
85	11			YH05	89	24T	蓋	Ⅴ	無釉	灰褐(7.5YR4/2)	にぶい橙(Hue2.5YR6/4)	良	0.1～0.3㎜大の砂粒少量含む	叩き	—	—			径(163)	—	(1.6)	部分的に自然灰釉 叩き痕跡あり
85	12			YH05	29	15TWG	把手		長石釉	灰白(Hue7.5Y7/1)	灰白(Hue7.5Y8/1)	極めて良好	0.1～0.3㎜大の砂粒少量含む	手づくね	—	—		削り(面取り)	長さ(5.9)	幅2.3	—	器種不明
85	13	35	8	YH05	30	15TWG	錘		土灰釉	灰オリーブ(Hue7.5Y5/3)	灰白(Hue7.5Y8/1)	極めて良好	0.1～0.3㎜大の砂粒少量含む	手づくね	—	—			長さ6.5	幅2.6	孔径0.6~0.7	貝目(背)2ヶ所あり
85	14	35	8	YH05	31	15TWG	錘		土灰釉	灰オリーブ(Hue7.5Y5/3)	灰白(Hue7.5Y8/1)	極めて良好	0.1～0.3㎜大の砂粒少量含む	手づくね	—	—			長さ6.6	幅2.5	孔径0.6~0.7	貝目(背)4ヶ所あり
85	15	35	8	YH05	32	15TWGNo7	錘		土灰釉	灰オリーブ(Hue7.5Y5/3)	灰白(Hue7.5Y8/1)	極めて良好	0.1～0.3㎜大の砂粒少量含む	手づくね	—	—			長さ5.5	幅2.8	孔径1.1~1.2	貝目(背)3ヶ所あり
85	16	35	8	YH05	33	15TWG	錘		土灰釉	暗オリーブ(Hue7.5Y4/3)	灰白(Hue7.5Y8/1)	極めて良好	0.1～0.3㎜大の砂粒少量含む	手づくね	—	—		削り(面取り)	長さ5.1	幅2.4	孔径0.8~0.9	付着物あり
85	17	35	8	YH05	75	15TNG	錘		—		浅黄(Hue2.5Y7/3)	不良(素焼き?)	砂粒少量含む	手づくね	—	—			長さ5.2	幅2.55	孔径1.0	
85	18	35	8	YH05	76	15TNGSX01	錘		—		浅黄(Hue2.5Y7/3)	不良(素焼き?)	砂粒少量含む	手づくね	—	—			長さ6.0	幅2.7	孔径0.6~0.7	
85	19	35	8	YH05	77	15TNG	錘		—		灰黄(Hue2.5Y6/2)	不良(素焼き?)	砂粒少量含む	手づくね	—	—			長さ5.6	幅2.6	孔径0.7~0.8	
85	20	35	6	YH05	95	15TWGNo2	はし		—	緑灰(Hue5G5/1)			—	—	—	—	—		長さ(16.3)	幅0.5	厚さ0.4	青銅製。上下欠損
85	21	35	7	YH05	60	22T	陶製品		鉄釉	黒(Hue2.5Y2/1)	黄灰(Hue2.5Y6/1)	良好	0.1㎜大の砂粒ごく少量含む	手づくね	—	—	—		長さ(6.6)	幅4.2	厚さ2.3	腹部分露胎 頭部、脚1本欠損 背面に別個体の接続痕跡あり
86	1	34	17	YH04	20	14TNo17	甕	Ⅳ	土灰釉	オリーブ(Hue5Y5/4)	淡黄(Hue2.5Y8/3)	良好	0.1～0.3㎜大の砂粒少量含む	叩き	—	—	口縁～外面斑に施釉	口頸部～外面ヨコナデ 内面に同心円の叩き痕	20.6	—	(7.7)	口唇部にもに斑に釉薬の流れ有り マーブル状胎土ではない
86	2			YH04	21	14TNo18	甕	—	土灰釉	灰オリーブ(Hue5Y5/3)	灰(Hue5Y6/1)	良好	0.1㎜大の砂粒少量含む	叩き			外面のみ施釉	口頸部～外面ヨコナデ 内面に同心円の叩き痕	—	(135)	(12.2)	底部に貝目(背)1ヶ所あり マーブル状胎土ではない
86	3			YH05	28	15TWG 15T付近	甕	Ⅳ	土灰釉	暗オリーブ(Hue5Y4/3)	褐灰(Hue7.5YR6/1)	極めて良好	微粒(マーブル状)	叩き	—	—	内外面施釉	口頸部ヨコナデ	(30.2)	—	(4.9)	口唇部に貝目5ヶ所あり 皿屋上窯製品と同類
86	4			YH05	57	22T	甕	Ⅳ	土灰釉	灰オリーブ(Hue7.5Y5/3)	灰黄褐(Hue10YR4/2)	良	0.5㎜大の砂粒含む	叩き	—	—	外面施釉	口頸部ヨコナデ、内面ナデ	(16.3)	—	(12.3)	皿屋上窯製品か
86	5			YH05	39	19T	甕？	Ⅰ	土灰釉	オリーブ褐(Hue2.5Y4/4)	褐灰(Hue7.5YR5/1)	良好	0.1～0.3㎜大の砂粒少量含む	叩き	—	—	内外面施釉		(13.3)	—	(4.9)	
86	6			YH04	75	14T	甕	Ⅰ	土灰釉？	—	にぶい赤褐(Hue5YR5/4)	不良	精選されている	叩き	—	—		口頸部ヨコナデ	—	—	(5.2)	口唇部に貝目2ヶ所あり
86	7			YH05	94	15TWG	甕	—	土灰釉	暗オリーブ(Hue5Y4/3)	灰褐(7.5YR5/2)	極めて良好	精選されている	叩き	—	—	内外面施釉		—	—	(5.6)	凸帯あり
86	8	34	16	YH05	27	15TWG	片口鉢	Ⅰb	土灰釉	オリーブ褐(Hue2.5Y4/4)	黄灰(Hue2.5Y6/1)	良好	0.1㎜大の砂粒ごく少量含む	叩き	—	—	内外面施釉	口頸部ヨコナデ	(18.7)	—	(6.5)	口唇部露胎、目跡6ヶ所あり
86	9			YH04	35	15T1G	片口鉢？	Ⅰa	土灰釉(飴釉)	暗オリーブ(Hue5Y4/4)	灰(Hue5Y5/1)	良好	0.1㎜大の砂粒少量含む	叩き	—	—		口縁部ヨコナデ	(13.0)	—	(6.6)	口唇部に貝目(背)2ヶ所あり。
86	10			YH05	48	21T	甕	Ⅳ？	土灰釉	オリーブ(Hue5Y5/4)	灰白(Hue2.5Y7/1)	良好	0.5㎜大の砂粒含む		—	—	内外面施釉	口頸部ヨコナデ	(19.5)	—	(2.7)	口唇部に貝目2ヶ所あり 内面釉少量の気泡あり
86	11			YH05	38	19T	片口鉢	Ⅰa？	土灰釉	オリーブ褐(Hue2.5Y4/4)	にぶい褐(Hue7.5YR6/3)	良好	0.1～0.3㎜大の砂粒少量含む	叩き	—	—	内外面施釉		(21.4)	—	(4.2)	口唇部に貝目4ヶ所あり
86	12			YH04	67	15T	片口鉢?	Ⅰa	土灰釉(飴釉)	暗オリーブ(Hue5Y4/3)	灰(Hue5Y5/1)	良好	0.1～0.3㎜大の砂粒少量含む	ロクロ水引き	—	—	内外面施釉		(15.7)	—	(3.5)	口唇部に貝目(背)1ヶ所あり
86	13			YH04	23	14TSX01	徳利	—	土灰釉(飴釉)	オリーブ黒(Hue5Y3/2)	灰黄(Hue2.5Y6/2)	良好	0.1～0.3㎜大の砂粒含む	—	—	—	口頸部内外面施釉	口頸部ロクロ整形	(8.6)	—	(2.3)	
86	14			YH05	74	15TNG	徳利	—	土灰釉	灰オリーブ(Hue5Y5/3)	灰黄(Hue2.5Y6/2)	良好	0.5～1.0㎜大の砂粒含む	叩き？	—	—	内外面施釉		(8.4)	—	(3.4)	
86	15			YH04	37	15T1G	徳利	—	土灰釉	オリーブ(Hue5Y5/4)	灰黄(Hue2.5Y7/2)	良好	0.1～0.3㎜大の砂粒少量含む	—	—	—	口頸部内外面施釉	口頸部ロクロ整形	(8.4)	—	(3.3)	
86	16			YH04	24	14TSX01	徳利	—	土灰釉	暗オリーブ(Hue5Y4/4)	灰白(Hue5Y7/1)	良好	0.1～0.3㎜大の砂粒少量含む	—	—	—	口頸部内外面施釉	口頸部ロクロ整形	(5.3)	—	(3.1)	口唇部に付着物あり
86	17			YH05	58	23T	徳利	Ⅰ	土灰釉	暗オリーブ(Hue7.5Y4/3)	灰(Hue7.5Y6/1)	良好	0.5㎜大の砂粒少量含む	叩き	—	—	内外面施釉		—	—	(10.4)	
86	18	35	4	YH05	88	24T	徳利	Ⅰ	外面褐釉内面土灰釉	極暗褐(7.5YR2/3)	にぶい橙(Hue7.5YR6/4)	良好	0.1～0.3㎜大の砂粒含む	ロクロ水引き			内外面施釉		—	(7.1)	(8.0)	底部に目跡2ヶ所あり
86	19	35	3	YH05	69	15TNG 15TWG	徳利	Ⅰ	土灰釉	灰オリーブ(Hue5Y5/3)	灰黄(Hue2.5Y6/2)	良好	0.5～1.0㎜大の砂粒多く含む	輪積み(内面指頭圧痕)			外面施釉		—	7.2	(7.8)	底部に目跡(貝目？)5ヶ所あり
86	20			YH05	92	15TNG	蓋	Ⅲa	土灰釉	暗オリーブ(Hue5Y4/3)	にぶい褐(Hue7.5YR5/3)	良好	0.1～0.3㎜大の砂粒少量含む	ロクロ水引き	—	—	内外面施釉		—	—	5.2	
86	21			YH05	59	22T	削台？		無釉	外面：にぶい黄(Hue2.5Y6/3)	内面：にぶい黄橙(Hue10YR7/4)	不良(素焼き?)	0.5㎜大の砂粒含む	ロクロ水引き	—	—		内外面削り後ナデ	—	(9.1)	(4.7)	
86	22			YH05	56	22T	削台？		無釉	淡黄(Hue2.5Y8/3)	淡黄(Hue2.5Y8/3)	不良(素焼き?)	微粒(マーブル状)	ロクロ水引き					—	(7.5)	(4.7)	皿屋上窯製品？

Tab. 16　飯洞甕窯跡出土遺物一覧　第４次・５次（４）

Fig	No	PL	No	調査地	実測No	出土地点	器種	分類	釉薬	色調（表面）	色調（胎土）	焼成	胎土	成形	碗皿類の底部調整等			甕類の内面調整等	法量（cm）			備考
															腰部・底裏	畳付（底）	施釉範囲		口径	底径	器高	
86	23			YH05	37	20T	軸受け	Ⅰa	土灰釉	オリーブ灰(Hue10Y4/2)	灰(Hue7.5Y6/1)	良好	0.1～0.3㎜大の砂粒少量含む	ロクロ水引き	—	—	底のみ露胎	外面に縦位凹線	上部径(5.3)	下部径(8.8)	3.9	ロクロ軸との摩擦痕あり
87	1	33	18	YH04	7	12TNo7	皿	Ⅰa	土灰釉	オリーブ灰(Hue10Y5/2)	にぶい橙(Hue7.5YR6/4)	やや不良	0.1～1.0㎜大の砂粒少量含む	ロクロ水引き(右回転?)	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台付近以下露胎		12.3	5.3	4.2	体部外面に付着物あり
87	2			YH04	14	13TNo10	皿	Ⅰa	土灰釉	オリーブ(Hue5Y5/4)	浅黄(Hue2.5Y7/4)	良好	0.1～0.3㎜大の砂粒少量含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台付近以下露胎		(12.6)	4.9	3.7	見込みに黒線？
87	3			YH04	22	14TSP02	皿	Ⅰb	土灰釉	黄褐(Hue2.5Y5/3)	黄灰(Hue2.5Y6/1)	やや不良	0.1㎜大の砂粒少量含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)外から内へ	工具削り調整	高台付近以下露胎		(11.6)	4.9	2.7	釉剥離激しい
87	4			YH05	36	19T	皿	Ⅰa	土灰釉	灰オリーブ(Hue7.5Y5/3)	灰(Hue7.5Y6/1)	やや不良	0.1～0.3㎜大の砂粒少量含む	ロクロ水引き	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台付近以下露胎		(11.2)	4.9	3.1	
87	5	33	19	YH05	35	19T	皿	Ⅰa	土灰釉	暗オリーブ(Hue5Y4/4)	にぶい橙(Hue7.5YR7/4)	良	0.1～0.3㎜大の砂粒少量含む	ロクロ水引き	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台付近以下露胎		12.7	5.4	3.9	口縁部歪みあり　見込みに陶片、付着物あり
87	6			YH05	44	21T	皿	Ⅰa	土灰釉	灰オリーブ(Hu5Y6/2)	にぶい褐(Hue7.5YR6/3)	不良	0.5～2.0㎜大の砂粒含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	腰部付近以下露胎		(12.1)	4.6	3.2	畳付きに付着物(砂)あり
87	7			YH05	43	21T	皿	Ⅰa	土灰釉	オリーブ黄(Hue5Y6/4)	灰黄(Hue2.5Y7/2)	良好	砂粒少量含む	ロクロ水引き	工具削り	工具削り調整	高台付近以下露胎		(10.5)	(4.0)	3.8	内外面貫入あり
87	8			YH05	45	21T	皿	—	長石釉	灰黄(Hue2.5Y7/2)	灰黄(Hue2.5Y7/2)	良好	0.5～1.0㎜大の砂粒少量含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台脇以下露胎		—	(5.8)	(2.3)	内外面貫入あり
87	9			YH05	42	21T	皿	Ⅱa	長石釉	灰白(Hue2.5Y7/1)	灰黄(Hue2.5Y6/2)	良好	0.1～0.3㎜大の砂粒少量含む	ロクロ水引き	—	—	高台付近以下露胎		(12.9)	—	(3.4)	内外面貫入あり
87	10			YH04	16	13TSP01	皿	—	土灰釉	浅黄(Hue5Y7/3)	浅黄(Hue2.5Y8/4)	やや不良	0.1㎜大の砂粒少量含む	ロクロ水引き	工具削り(左回転)	工具削り調整	?		—	5.1	1.3	見込みの釉剥離激しい
87	11	33	17	YH04	1	12TNo1	皿	Ⅱb	長石釉	灰オリーブ(Hue5Y6/2)	灰オリーブ(Hue5Y6/2)	良好	0.1～0.3㎜大の砂粒少量含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台付近以下露胎		(12.3)	5.0	2.7	見込みに砂目3ヶ所あり
87	12			YH04	2	12TNo5	皿	Ⅳ	長石釉	灰黄(Hue2.5Y7/2)	灰黄(Hue2.5Y7/2)	良好	0.1～0.5㎜大の砂粒少量含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台付近以下露胎		(12.4)	5.0	4.5	畳付に付着物あり
87	13			YH04	3	12TNo3	皿	Ⅳ	土灰釉	暗オリーブ(7.5Y4/3)	黄灰(Hue2.5Y6/1)	良好	0.1～0.5㎜大の砂粒少量含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)内から外へ	工具削り調整	高台付近以下露胎		(11.9)	4.9	4.2	見込みに付着物(陶片？)あり 体部外面に陶片付着。畳付に付着物あり
87	14	34	2	YH04	4	12TNo6	皿	Ⅳ	長石釉	灰(Hue5Y6/1)	灰オリーブ(Hue5Y6/2)	良好	0.1～0.5㎜大の砂粒少量含む	ロクロ水引き(右回転?)	工具削り(左回転)外から内へ	工具削り調整	高台脇以下露胎		(11.9)	5.4	4.6	畳付に付着物あり
87	15			YH04	68	12T	皿	Ⅳ	土灰釉	灰オリーブ(Hue5Y5/3)	灰白(Hue5Y7/1)	良好	0.1～0.3㎜大の砂粒少量含む	ロクロ水引き	工具削り(左回転)外から内へ	工具削り調整	高台脇以下露胎		11.9	5.4	3.9	見込みにひびあり　見込み、体部外面に付着物あり
87	16	34	3	YH05	40	21TNo1	皿	Ⅳ	土灰釉	オリーブ(Hue5Y5/4)	灰白(Hue2.5Y7/1)	良好	0.5～1.0㎜大の砂粒少量含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台脇以下露胎		12.3	6.0	4.3	畳付きに付着物(砂)あり
87	17			YH05	41	21TNo2	皿	Ⅳ	長石釉	灰黄(Hue2.5Y6/2)	灰黄(Hue2.5Y7/2)	良好	0.5～2.0㎜大の砂粒少量含む	ロクロ水引き	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台付近以下露胎		(12.1)	5.0	4.9	見込みに砂目3ヶ所あり
87	18			YH04	5	12T	碗	Ⅱ	土灰釉	暗灰黄(Hue2.5Y5/2)	浅黄(Hue2.5Y7/3)	良好	0.1～0.3㎜大の砂粒含む	ロクロ水引き	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台付近以下露胎		(12.2)	(5.9)	(4.4)	
87	19			YH04	8	12T	碗	—	土灰釉	暗オリーブ(Hue7.5Y4/3)	灰黄(Hue2.5Y7/2)	良好	0.1～0.5㎜大の砂粒少量含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台付近以下露胎		—	5.0	(4.5)	見込み、畳付に付着物あり
87	20			YH04	15	13TNo9	碗	—	土灰釉	灰オリーブ(Hue5Y5/2)	浅黄(Hue2.5Y7/4)	やや不良	0.1～0.5㎜大の砂粒含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台付近以下露胎		—	5.0	(3.7)	
87	21			YH05	47	21T	碗	Ⅰ	長石釉(鉄絵)	明褐灰(7.5YR7/2)	にぶい黄橙(Hue10YR7/3)	良	0.5～1.0㎜大の砂粒少量含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台脇以下露胎		(11.8)	(5.4)	5.4	
87	22			YH05	46	21T	碗(鉢？)	—	長石釉	灰黄(Hue2.5Y6/2)	灰黄(Hue2.5Y7/2)	良好	0.5～1.0㎜大の砂粒含む	ロクロ水引き(右回転)	工具削り(左回転)	工具削り調整	高台付近以下露胎		—	6.0	(4.2)	見込みに陶石目3ヶ所あり 内外面貫入あり
87	23			YH04	69	12T	碗	Ⅳ	長石釉(鉄絵)	灰黄(Hue2.5Y6/2)	灰黄(Hue2.5Y7/2)	良好	0.1～0.3㎜大の砂粒少量含む	ロクロ水引き	—	—	内外面施釉		—	—	(6.3)	
87	24			YH04	70	12T	鉢？	Ⅲ	土灰釉	オリーブ褐(Hue2.5Y4/3)	浅黄(Hue2.5Y7/3)	良好	0.1～0.3㎜大の砂粒少量含む	ロクロ水引き	—	—	内外面施釉		—	—	(5.2)	
87	25			YH04	76	14T	鉢	—	土灰釉？	—	にぶい赤褐(Hue5YR5/4)	不良	精選されている	叩き	—	—			—	—	(5.7)	
87	26			YH04	77	14TSP01	鉢?	—	鉄釉？	灰黄褐(Hue10YR4/2)	にぶい橙(Hue5YR6/4)	良好	精選されている	叩き？	—	—			—	—	(2.9)	
87	27	34	18	YH04	6	12TNo2	蓋	Ⅰa	土灰釉	暗オリーブ(Hue5Y4/4)	灰(Hue5Y6/1)	良好	0.1㎜大の砂粒少量含む	ロクロ水引き	—	—	全面施釉		5.2	3.3	2.7	底部に貝目(背)3ヶ所あり
88	1	35	10	YH04	71	12T	深鉢		—	—	にぶい赤褐(Hue5YR5/4)	良	0.1～2.0㎜大の砂粒含む滑石含む	輪積み	—	—	—		—	—	(3.7)	
88	2	35	10	YH04	72	12T	深鉢		—	—	にぶい赤褐(Hue5YR5/4)	良	0.1～2.0㎜大の砂粒含む滑石含む	輪積み	—	—	—		—	—	(4.2)	
88	3	35	10	YH04	86	12T	深鉢		—	—	にぶい赤褐(Hue5YR5/4)	良	0.1～2.0㎜大の砂粒多く含む　滑石含む	輪積み	—	—			—	—	(2.9)	平向付？
88	4	35	10	YH04	89	12T	深鉢		—	—	にぶい橙(Hue5YR6/4)	良	0.1～1.5㎜大の砂粒多く含む　滑石含む	輪積み	—	—			—	—	(2.3)	
88	5	35	10	YH04	87	12T	深鉢		—	—	にぶい赤褐(Hue5YR5/4)	良	0.1～1.5㎜大の砂粒含む滑石含む	輪積み	—	—			—	—	(2.0)	
88	6	35	10	YH04	88	12T	深鉢		—	—	にぶい黄橙(Hue10YR6/4)	やや不良	0.1～1.5㎜大の砂粒多く含む　滑石含む	輪積み	—	—			—	—	(2.7)	
88	7	35	9	YH04	石1	12T	石鏃												長2.4	幅1.6	厚0.5	黒曜石　重さ1.7ｇ
88	8	35	9	YH04	石2	12T	石鏃												長2.4	幅1.4	厚0.4	黒曜石　重さ0.9ｇ
88	9	35	9	YH04	石6	14T	石鏃												長1.6	幅1.5	厚0.4	黒曜石　重さ0.9ｇ
88	10	35	9	YH04	石8	15TWG	石鏃												長2.6	幅0.9	厚0.3	黒曜石　重さ09ｇ
88	11	35	9	YH04	石5	12T	石鏃												—	幅1.7	厚0.4	黒曜石　重さ0.9ｇ
88	12			YH04	石7	12T	石核												長3.6	幅4.0	厚3.1	黒曜石　重さ5.4ｇ
88	13			YH04	石3	12T	削器												長5.3	幅3.3	厚0.8	安山岩　重さ14.4ｇ
88	14			YH04	石4	12T	削器												長7.1	幅4.5	厚0.9	安山岩　重さ32.5ｇ

Fig	NO	調査地	実測No	出土地点	器　種	色調（表面）	色調（胎土）	胎　土	法量（cm）		備　考
									径	高さ	
21	1	YS下02	13	4T	トチン	にぶい黄(Hue2.5Y6/3)他	にぶい黄橙(Hue10YR7/3)	0.5㎜大の砂粒含む	2.4	8.3	
21	2	YS下02	12	4T	トチン	にぶい黄褐(Hue10YR5/4)	にぶい黄橙(Hue10YR7/2)	1㎜大の砂粒多く含む	2.7	9.0	胴部分に陶片付着
21	3	YS下02	10	4T	トチン	にぶい褐(Hue7.5YR5/4)	にぶい橙(Hue7.5YR6/4)	1㎜大の砂粒多く含む	3.0	8.9	下部に1㎜大～8㎜大の付着物多くあり ゆがみあり
21	4	YS下02	7	4T	トチン	にぶい黄褐(Hue10YR5/3)他	にぶい黄褐(Hue10YR7/2)	1㎜大の砂粒多く含む	5.4	13.7	下部、部分欠損部分あり 上、下部共、高台使用痕あり
21	5	YS下02	6	4T	トチン	にぶい黄(Hue2.5Y6/3)他	灰白(Hue10YR8/1)	1㎜大の砂粒含む	3.4	10.2	上、下部共、高台使用痕あり 自然釉の流れ痕あり
21	6	YS下02	4	4T	トチン	にぶい黄橙(Hue10YR6/4)他	灰黄(Hue2.5Y7/2)	1㎜大の砂粒多く含む	3.1	10.2	上部砂粒多数付着
21	7	YS下02	9	4T	トチン	灰黄(Hue2.5Y7/2)他	にぶい黄橙(Hue10YR7/2)	1㎜大の砂粒多く含む	3.3	10.8	上部のみ高台痕あり 上部より中心部分迄、自然釉の流れた痕およびたまりあり 下部少々、上部欠損部分多し
21	8	YS下02	1	4T	トチン	にぶい黄褐(Hue10YR5/4)	灰白(HueN7/0)	微細・砂粒含む	3.0	12.6	
21	9	YS下02	3	4T	トチン	にぶい黄褐(Hue10YR5/4)他	浅黄橙(Hue10YR8/3)	微細	3.8	12.4	上部に細かい砂粒 上部に高台痕。自然釉の流れ落ちた痕あり
21	10	YS下02	2	4T	トチン	にぶい黄褐(Hue10YR5/4)	灰黄(Hue2.5Y7/2)	1㎜大の砂粒含む	3.9	14.3	上部、下部ともに高台痕 下部、粗い砂粒多数付着
21	11	YS下02	5	4T	トチン	にぶい黄褐(Hue10YR4/3)	にぶい黄橙(Hue10YR7/2)	1㎜大の砂粒多く含む	5.6	13.1	上部に高台痕
21	12	YS下02	11	4T	トチン	にぶい黄橙(Hue10YR6/3)他	にぶい黄橙(Hue10YR7/2)	1㎜大の砂粒含む	5.5	14.0	上部に高台の痕 全体に縦に大きな裂け目入る
21	13	YS下02	14	4T	トチン	褐灰(Hue10YR4/1)他	にぶい黄橙(Hue10YR6/3)・他	最大1㎜大の塊を多数含む(もろいかんじ)	10.0	—	上部に高台痕あり
33	1	YS上01	84	表採	ハマ	灰褐(Hue7.5YR4/2)	褐灰(Hue7.5YR4/1)	黒い石粒、1㎜大砂粒など色々含む	9.5	5.7	
33	2	YS上01	85	表採	ハマ	赤褐(Hue10R5/3)他	灰褐(Hue7.5YR4/2)	石粒状のもの、砂粒など含む	9.4	5.3	
33	3	YS上01	82	表採	ハマ	灰褐(Hue5YR5/2)	褐灰(Hue5YR4/1)	1㎜大の砂粒含む、黒い石含む	9.1	6.2	
33	4	YS上01	97	表採	ハマ	黒褐(Hue10YR3/2)	灰(HueN5/0)	石粒含む	9.6	4.8	
33	5	YS上01	80	表採	ハマ	褐灰(Hue7.5YR4/1)	灰褐(Hue7.5YR5/2)	黒色粒(層の部分もあり)含む	10.4	4.9	
33	6	YS上01	81	表採	ハマ	黒褐(Hue2.5Y3/1)	にぶい橙(Hue2.5YR7/4)(生焼け部分)	微細	10.4	4.9	上側の一部に自然釉のてかりあり 他は生焼けの状態
33	7	YS上01	83	表採	ハマ	褐灰(Hue10YR4/1)	褐灰(Hue10YR4/1)	1㎜大砂粒、黒い粒、石状のものなど色々含む	10.8	5.9	
33	8	YS上01	92	表採	ハマ	灰黄褐(Hue10YR5/2)	灰黄褐(Hue10YR6/2)	1㎜大の砂粒多く含む	7.0	4.6	
33	9	YS上01	93	表採	ハマ	灰褐(Hue7.5YR5/2)	灰黄褐(Hue10YR6/2)	1㎜大の砂粒多く含む	8.5	5.3	上部に付着物多く付着
33	10	YS上01	91	表採	ハマ	灰(HueN5/0)	灰(HueN6/0)	1㎜大の砂粒多く含む	10.3	6.0	全体にゴツゴツしている
33	11	YS上01	96	表採	色見孔蓋	黒褐(Hue5YR3/1)	褐灰(Hue5YR6/1)	石粒ｅｔｃ含む	10.9	5.8	
33	12	YS上01	95	表採	色見孔蓋	黒褐(Hue5YR3/1)	橙(Hue7.5YR7/6)(生焼け部分)	石粒ｅｔｃ含む、全体に目が粗い	13.4	8.9	孔の横、一部生焼け
45	1	YB01	35	2T	トチン	にぶい黄褐(Hue10YR4/3)他	灰黄(Hue2.5Y7/2)	1㎜大の砂粒多く含む	3.2	7.7	
45	2	YB01	57	2T	トチン	灰白(Hue2.5Y7/3)他	灰白(Hue2.5Y8/1)	微細砂粒含む	3.0	9.3	
45	3	YB01	49	2T	トチン	褐(Hue7.5YR4/4)	灰白(Hue2.5Y8/2)	1㎜大の砂粒多く含む	3.5	9.5	
45	4	YB01	50	2T	トチン	黒褐(Hue10YR2/3)他	灰白(Hue10YR8/1)	1㎜大の砂粒多く含む	3.2	9.6	全体的に付着物多く付き、黒釉ような釉薬も多く付着
45	5	YB01	38	2T	トチン	灰白(Hue7.5Y7/1)他	灰黄(Hue2.5Y7/2)	0.5㎜大の砂粒含む	3.1	9.4	自然釉の流れた痕残る 陶片付着 上・下部共に欠損部多い
45	6	YB01	44	2T	トチン	にぶい黄橙(Hue10YR6/3)他	灰白(Hue5Y8/1)	1㎜大の砂粒多く含む	3.1	10.0	自然釉のたれ痕あり
45	7	YB01	41	2T	トチン	にぶい褐(Hue7.5YR5/3)他	灰白(Hue2.5Y8/2)	0.5㎜大の砂粒含む	3.1	9.6	上・下使用か
45	8	YB01	39	2T	トチン	にぶい黄橙(Hue10YR6/3)他	灰白(Hue2.5Y7/1)	0.5㎜大の砂粒含む	3.0	9.6	胴部に陶片付着 上部に繊維状物質付着
45	9	YB01	29	表採	トチン	黒褐(Hue10YR3/2)他	にぶい黄橙(Hue10YR7/2)	1㎜大の砂粒含む	3.2	9.8	上部に高台痕 胴部に陶片付着、及び削ぎとったようなあと 胴部全体に気泡のあと、多数
45	10	YB01	46	2T	トチン	暗灰黄(Hue2.5Y5/2)他	灰白(Hue2.5Y7/1)	1㎜大の砂粒多く含む	3.8	10.0	別器の口縁部の一部？か付着 上下部共に付着物多し
45	11	YB01	45	2T	トチン	にぶい黄褐(Hue10YR5/4)他	灰白(Hue2.5Y7/1)	1㎜大の砂粒多く含む	3.3	10.5	全体にゴツゴツとして自然釉がかかっている所多く、上部に高台痕あり 下部に赤土のような付着物多し
45	12	YB01	36	2T	トチン	にぶい褐(Hue7.5YR5/4)他	にぶい黄橙(Hue10YR7/2)	1㎜大の砂粒多く含む	3.3	11.0	法量高さは変形の為不明確
45	13	YB01	55	2T	トチン	にぶい黄褐(Hue10YR5/3)他	灰白(Hue2.5Y7/1)	微細砂粒含む	3.3	10.7	上部に高台痕 胴部に他器破片付着
45	14	YB01	33	2T	トチン	にぶい黄褐(Hue10YR5/4)他	にぶい黄橙(Hue10YR7/2)	1㎜大の砂粒多く含む	3.4	10.8	自然釉のたれ痕あり 上、下部共欠損部あり
45	15	YB01	34	2T	トチン	灰黄褐(Hue10YR4/2)他	にぶい黄橙(Hue10YR7/2)	1㎜大の砂粒多く含む	3.8	10.7	自然釉など、流れた痕多くあり 小さな穴のあいている所多くあり
45	16	YB01	37	2T	トチン	オリーブ黄(Hue5Y6/3)他	灰白(Hue10YR8/2)	1㎜大の砂粒多く含む	3.6	11.0	上部、高台痕あり 下部に付着物多し
45	17	YB01	42	2T	トチン	褐(Hue7.5YR4/3)他	灰白(Hue2.5Y7/1)	0.5㎜大の砂粒含む	4.0	11.0	
45	18	YB01	40	2T	トチン	灰黄(Hue2.5Y7/2)他	灰白(Hue2.5Y8/1)	1㎜大の砂粒含む	3.6	11.6	上・下使用か
45	19	YB01	56	2T	トチン	灰黄褐(Hue10YR4/2)	灰白(Hue2.5Y8/1)	微細砂粒含む	3.6	11.6	
45	20	YB01	54	2T	トチン	灰黄(Hue2.5Y7/2)他	灰白(HueN8/0)	0.5㎜大の砂粒多く含む	4.0	12.5	縦およそ半分に自然釉のてかり 半分は露胎で赤い
46	1	YB01	31	表採	トチン	灰褐(Hue7.5YR4/2)他	灰白(Hue10YR7/1)	微細砂粒含む	5.8	13.1	上部、下部共に高台痕 下部に繊維状の物質付着 胴部は全体に気泡あと多数
46	2	YB01	53	2T	トチン	黒褐(Hue7.5YR3/1)他	にぶい黄橙(Hue10YR7/2)	1㎜大の砂粒多く含む	7.0	13.5	
46	3	YB01	30	表採	トチン	にぶい褐(Hue7.5YR5/3)他	灰黄(Hue2.5Y7/2)	1㎜大の砂粒含む	6.6	14.7	胴部に陶片付着 胴部全体に気泡あと多数

Tab. 17　窯道具一覧（1）

Fig	NO	調査地	実測No	出土地点	器　種	色調（表面）	色調（胎土）	胎　土	法量（cm）		備　考
									径	高さ	
46	4	YB01	47	2T	ハマ	灰褐(Hue7.5YR4/2)他	灰白(Hue5Y7/1)	1㎜大の砂粒多く含む	5.5	1.7	
46	5	YB01	48	2T	ハマ	褐灰(Hue10YR5/1)	にぶい黄橙(Hue10YR7/2)	1㎜大の砂粒多く含む	5.3	1.6	
46	6	YB01	32	表採	ハマ	褐(Hue7.5YR4/3)	浅黄(Hue2.5Y7/3)	1㎜大の砂粒含む	5.5	1.3	
46	7	YB01	52	2T	ハマ	褐灰(Hue7.5YR5/1)他	灰褐(Hue7.5YR6/2)	1㎜大の砂粒多く含む	5.7	1.8	
46	8	YB01	51	2T	ハマ	にぶい赤褐(Hue2.5YR5/4)他	灰黄褐(Hue10YR6/2)	1㎜大の砂粒多く含む	6.2	2.0	
46	9	YB01	43	2T	ハマ	にぶい褐(Hue7.5YR5/3)他	にぶい褐(Hue7.5YR6/3)	1㎜大の砂粒多く含む	14.0	6.5	
42	10	YB01	104	06T	ハマ？	素焼？	にぶい黄橙(Hue10YR7/3)	1㎜大の砂粒多く含む	—	—	ロクロ成形？
58	1	YH上02	65	表採	トチン	にぶい黄褐(Hue10YR5/4)他	にぶい黄橙(Hue10YR7/2)	1㎜大の砂粒多く含む	2.6	8.4	付着物多数あり
58	2	YH上02	70	表採	トチン	灰黄(Hue2.5Y7/2)他	灰白(Hue2.5Y7/1)	微細砂粒含む	3.4	12.9	上部釉薬の痕 陶片付着
58	3	YH上02	67	表採	トチン	灰黄褐(Hue10YR4/2)	灰白(Hue2.5Y7/1)	1㎜大の砂粒多く含む	5.4	15.5	上部胎土目痕あり 上下共欠損部分多くあり
58	4	YH上02	59	002	トチン	にぶい黄褐(Hue10YR5/4)他	灰白(Hue2.5Y7/1)	0.5㎜大の砂粒含む	2.2	9.1	上部に高台痕
58	5	YH上02	60	002	トチン	にぶい黄褐(Hue10YR5/3)他	灰白(Hue10YR8/1)	1㎜大の砂粒含む	3.0	—	胴部にさびが出たような砂粒状の固まり付着
58	6	YH上02	68	表採	トチン	にぶい赤褐(Hue5YR5/4)他	灰白(Hue10YR8/1)	1㎜大の砂粒含む	6.8	—	底部から胴部、縦に欠損部
58	7	YH上02	58	002	トチン	にぶい黄橙(Hue10YR6/4)	灰白(Hue2.5Y7/1)	微細	4.0	13.9	上部縁、重ねて付け足したようなあとと、上部削り取った痕あり
58	8	YH上02	69	表採	トチン	にぶい褐(Hue7.5YR5/3)	灰褐(Hue7.5YR5/2)	0.5㎜大砂粒、黒色粒含む	4.8	8.4	陶片付着
58	9	YH上02	64	表採	トチン	にぶい黄橙(Hue10YR6/3)他	にぶい黄橙(Hue10YR7/2)	1㎜大の砂粒多く含む	6.3	9.3	
58	10	YH上02	88	表採	トチン	浅黄(Hue2.5Y7/3)	灰黄(Hue2.5Y7/2)	微粒砂	2.8	5.2	
58	11	YH上02	63	表採	トチン	黒(Hue10YR2/1)他	にぶい黄橙(Hue10YR6/3)	1㎜大の砂粒多く含む	7.6	16.2	上部に高台痕あり 全体的でゴツゴツとして、自然釉のたれ痕多くあり
58	12	YH上02	61	002	トチン	にぶい褐(Hue7.5YR5/3)	褐灰(Hue7.5YR5/1)	籾殻、微細砂粒を多数含む	5.1	7.4	籾殻は表面のみの付着か？うすく層になっている物混じる
58	13	YH上02	62	002	トチン	黄灰(Hue2.5Y4/1)他	灰白(Hue2.5Y7/1)	1㎜大の砂粒多く含む	7.8	8.7	全体に大きく変形 気泡多数 上部に器の底部付着
58	14	YH上02	72	表採	トチン	黒褐(Hue2.5Y3/2)他	褐灰(Hue10YR4/1)	1㎜大の砂粒多く含む	5.5	9.8	陶片付着 上部に高台痕あり
58	15	YH上02	79	表採	トチン	灰褐(Hue7.5YR4/2)他	にぶい赤褐(Hue5YR5/3)・他	1㎜大砂粒及び黒色のかたまり混じる	12.0	—	
59	1	YH上02	66	表採	ハマ	にぶい黄橙(Hue10YR6/3)他	灰黄(Hue2.5Y7/2)	1㎜大の砂粒多く含む	5.2	1.4	
59	2	YH上02	76	表採	ハマ	黄灰(Hue2.5Y6/1)	灰黄(Hue2.5Y6/2)	微細	4.0	1.2	
59	3	YH上02	71	表採	ハマ	黒褐(Hue10YR2/2)他	灰黄褐(Hue10YR6/2)	微細砂粒含む	10.8	4.1	上部に貝目痕、複数あり
59	4	YH上02	90	表採	ハマ	にぶい赤褐(Hue5YR4/3)他	灰褐(Hue7.5YR5/2)	1㎜大の砂粒多く含む	6.8	2.8	上部に陶片付着（Hue5Y4/2)灰オリーブ、他(付着の器)
59	5	YH上02	75	表採	ハマ	暗褐(Hue7.5YR3/4)	褐灰(Hue7.5YR5/1)	1㎜大の砂粒多く含む	7.1	3.0	
59	6	YH上02	89	表採	ハマ	黒褐(Hue10YR3/2)他	灰褐(Hue7.5YR4/2)	1㎜大の砂粒多く含む	8.8	2.5	上部に陶片付着（Hue5Y4/2)灰オリーブ、他(付着の器)
59	7	YH上02	86	表採	ハマ	褐灰(Hue10YR4/1)他	黒褐(Hue7.5YR3/1)	1㎜大の砂粒多く含む	10.0	4.0	
59	8	YH上02	87	表採	ハマ	暗灰黄(Hue2.5Y4/2)他	灰黄褐(Hue10YR4/2)	1㎜大の砂粒多く含む	10.2	3.5	上部に陶片付着 器の中心部の中に高台あり 器が変形したためか？（Hue10Y6/2)オリーブ灰(付着した器)
59	9	YH上02	73	表採	ハマ	褐(Hue7.5YR4/3)他	褐灰(Hue10YR4/1)	1㎜大の砂粒多く含む	9.0	5.5	ハマ上部に陶片付着
59	10	YH上02	77	表採	ハマ	灰黄褐(Hue10YR4/2)他	灰褐(Hue7.5YR4/2)	微細砂粒多く含む	10.6	7.0	上部に貝目痕 欠損部断面に気泡多数
59	11	YH上02	74	表採	ハマ	褐(Hue7.5YR4/3)他	褐灰(Hue7.5YR4/1)	1㎜大の砂粒多く含む	10.3	6.0	気泡による穴、多数あり
59	12	YH上02	78	表採	ハマ	灰黄褐(Hue10YR4/2)他	黒褐(Hue10YR3/1)	微細砂粒及び黒色粒含む	11.2	5.7	上部に陶片(皿の底部)付着 気泡多数
66	1	YH下01	28	3T	トチン	にぶい橙(Hue7.5YR7/4)	浅黄橙(Hue10YR8/3)	1㎜大の砂粒多く含む	2.0	—	
66	2	YH下01	16	3T	トチン	にぶい黄(Hue2.5Y6/3)他	灰黄(Hue2.5Y7/2)	1㎜大の砂粒多く含む	2.9	7.9	全体に色の濃淡あり 下部に欠損部分あり
66	3	YH下01	27	3T	トチン	にぶい黄褐(Hue10YR5/3)	明褐灰(Hue7.5YR7/2)	1㎜大の砂粒多く含む	2.8	—	下部面に自然釉のたれあり 上部のようでもある
66	4	YH下01	17	3T	トチン	褐(Hue10YR4/4)	灰白(Hue2.5Y7/1)	1㎜大の砂粒多く含む	3.1	11.8	上、下部共、欠損部分多し 上、下共、砂粒などの付着物あり
66	5	YH下01	15	3T	トチン	灰黄褐(Hue10YR4/2)	灰白(Hue2.5Y7/1)	1㎜大の砂粒多く含む	3.3	16.0	上部、下部共に1㎜大～8㎜大の付着物 全体にはっきりとした色の濃淡あり
66	6	YH下01	19	3T	トチン	灰黄褐(Hue10YR4/2)他	にぶい黄橙(Hue10YR7/2)	1㎜大の砂粒多く含む	5.9	9.1	全体的ゴツゴツとして所々小さな穴があいている 上部に高台痕あり
66	7	YH下01	25	3T	トチン	灰褐(Hue7.5YR4/2)他	にぶい黄橙(Hue10YR7/2)	1㎜大の砂粒多く含む	5.6	9.6	全体的にゴツゴツして気泡状に穴のあいている所が点々とある 上部に高台痕あり
66	8	YH下01	18	3T	トチン	黒褐(Hue7.5YR3/2)他	にぶい黄橙(Hue10YR7/2)	1㎜大の砂粒多く含む	5.4	13.3	全体的に気泡状の穴があいており、ゴツゴツしている 自然釉の流れたあと多数あり 上部に高台痕あり
66	9	YH下01	26	3T	トチン	暗赤褐(Hue2.5YR3/3)他	褐灰(Hue10YR4/1)	1㎜大の砂粒多く含む	8.2	—	自然釉のたれか？色々な色調が出ている
66	10	YH下01	23	3T	ハマ	黒褐(Hue2.5Y3/1)	灰白(Hue2.5Y7/1)	1㎜大の砂粒含む	6.7	3.3	
66	11	YH下01	21	3T	ハマ	暗オリーブ褐(Hue2.5Y3/3)他	上・灰黄褐(Hue10YR6/2)	微細砂粒含む	上6.9 下7.1	上3.3 下2.2	上部に砂粒多数 肩の部分に自然釉残る 2個のハマが釉着
66	12	YH下01	24	3T	ハマ	黒褐(Hue7.5YR3/2)他	褐灰(Hue7.5YR4/1)	0.5㎜大の砂粒含む	6.8	1.9	上部に釉薬と砂粒のかたまり3ヶ所
66	13	YH下01	20	3T	ハマ	暗オリーブ褐(Hue2.5Y3/3)他	灰黄褐(Hue10YR6/2)	微細砂粒含む	10.0	2.7	上部に他器の高台、底部残る 上部に砂粒多数付着 肩の部分に釉薬残る
66	14	YH下01	22	3T	ハマ	褐(Hue7.5YR4/3)	黄灰(Hue2.5Y6/1)	1㎜大の砂粒多く含む　黒色の部分あり	10.6	2.2	上部に貝目痕あり 下部に目の粗い粘土及び砂粒多数付着

Tab. 17　窯道具一覧（2）

平成27・28年度飯洞甕窯跡出土（トチン）
※高／径が1.0以上

分類の基準		
	A	「Ｉ」形を呈するもの
	B	円柱形を呈するもの
	C	下端のみ広がり「　」形を呈するもの
	（　）	判断が難しいもの

Ｎｏ	計測（注記）No	調査地	出土地点	器　種	色調（胎土）	表面のガラス化	歪み	法量（ｃｍ）		備　考（付着物等）	残存率	経の比率 中／上・下	分類
								高さ	径				
1	1	YH05	15TNG	トチン	黄灰(Hue5Y6/1)	高	無	(6.0)	上部 6.4 中部 3.0 下部 —	高台片 — —	1/1 1/3 —	0.47	A
2	2	YH05	15TNG	トチン	—	低	無	7.7	上部 4.2 中部 2.5 下部 4.3	— — —	1/1 1/1 1/1	0.58	A
3	3	YH05	15TNG	トチン	灰白(Hue5Y7/1)	低	無	5.9	上部 3.5 中部 3.3 下部 5.3	— — —	一部欠損 1/1 1/1	0.62	C
4	4	YH05	15TNG	トチン	—	低	無	6.0	上部 3.8 中部 2.9 下部 4.7	— — —	1/1 1/1 1/1	0.62	C
5	5	YH05	19T	トチン	黄灰(Hue2.5Y4/1)	中	無	9.5	上部 5.0 中部 3.9 下部 5.5	— — —	一部欠損 1/1 1/1	0.71	B
6	6	YH05	20T	トチン	灰黄(Hue2.5Y6/2)	中	無	(12.0)	上部 — 中部 3.3 下部 (5.8)	— — —	— 1/1 1/3	—	A
7	7	YH05	20T	トチン	灰白(Hue2.5Y7/1)	中	無	(7.8)	上部 5.7 中部 2.9 下部 —	— — —	1/1 1/2 —	0.51	A
8	8	YH05	20T	トチン	灰黄(Hue2.5Y6/2)	中	無	(7.4)	上部 6.5 中部 3.6 下部 —	— — —	1/1 1/2 —	0.55	A
9	9	YH05	20T	トチン	黄灰(Hue2.5Y6/1)	中	無	(6.9)	上部 6.5 中部 3.4 下部 —	高台片 — —	— 1/2 1/1	0.52	A
10	10	YH05	21T	トチン	黄灰(Hue2.5Y6/1)	高	無	(10.4)	上部 — 中部 3.1 下部 5.6	— — —	— 1/1 1/1	0.55	A
11	11	YH05	21T	トチン	灰黄(Hue2.5Y6/2)	中	無	(8.1)	上部 — 中部 3.5 下部 6.7	— — —	— 2/3 1/1	0.52	A
12	12	YH05	21T	トチン	灰黄(Hue2.5Y6/2)	高	無	(7.0)	上部 6.1 中部 3.5 下部 —	— — —	1/1 1/2 —	0.57	A
13	13	YH05	21T	トチン	黄灰(Hue2.5Y6/1)	高	無	(7.1)	上部 — 中部 3.3 下部 7.1	— — —	— 1/2 5/6	0.46	A
14	14	YH05	21T	トチン	黄灰(Hue2.5Y6/1)	高	無	(10.6)	上部 6.2 中部 3.2 下部 —	高台片 — —	1/1 1/1 —	0.52	A
15	15	YH05	21T	トチン	黄灰(Hue2.5Y6/1)	高	無	(11.2)	上部 — 中部 3.1 下部 5.8	— — —	— 1/1 1/1	0.53	A
16	16	YH05	21T	トチン	黄灰(Hue2.5Y6/1)	高	無	(9.5)	上部 6.0 中部 2.9 下部 —	高台片 — —	1/1 2/3 —	0.48	A
17	17	YH05	21T	トチン	灰黄(Hue2.5Y6/2)	高	小	(9.1)	上部 5.7 中部 2.9 下部 —	高台片 — —	1/1 2/3 —	0.51	A
18	18	YH05	21T	トチン	灰白(Hue2.5Y7/1)	高	無	(8.1)	上部 — 中部 3.5 下部 6.5	— — —	— 2/3 3/4	0.54	A
19	19	YH05	21T	トチン	灰黄(Hue2.5Y7/2)	高	無	(7.5)	上部 — 中部 2.9 下部 5.9	— — —	— 1/2 1/1	0.49	A
20	20	YH05	21T	トチン	灰白(Hue2.5Y7/1)	高	小	(7.2)	上部 — 中部 3.2 下部 6.5	— 陶片 —	— 1/2 一部欠損	0.49	A
21	21	YH05	21T	トチン	黄灰(Hue2.5Y6/1)	高	無	(8.4)	上部 — 中部 3.0 下部 7.0	— — —	— 2/3 2/3	0.43	A
22	22	YH05	21T	トチン	灰白(Hue2.5Y8/2)	高	無	(8.1)	上部 5.8 中部 3.5 下部 —	高台片 — —	1/1 2/3 —	0.6	A
23	23	YH05	21T	トチン	黄灰(Hue2.5Y6/1)	高	小	(7.9)	上部 — 中部 3.0 下部 (5.7)	— — —	— 1/2 1/2	—	A
24	24	YH05	21T	トチン	灰黄(Hue2.5Y7/2)	高	無	(5.5)	上部 6.6 中部 2.9 下部 —	高台片 — —	一部欠損 1/3 —	0.44	A
25	25	YH05	21T	トチン	灰黄(Hue2.5Y6/2)	中	無	(6.2)	上部 — 中部 3.2 下部 6.3	— — —	— 1/3 1/2	0.51	A
26	26	YH05	21T	トチン	黄灰(Hue2.5Y6/1)	高	無	(6.8)	上部 — 中部 2.9 下部 5.7	— — —	— 1/2 一部欠損	0.51	A
27	27	YH05	21T	トチン	黄灰(Hue2.5Y6/1)	高	無	(10.1)	上部 — 中部 2.9 下部 7.5	— — —	— 2/3 2/3	0.39	A
28	28	YH05	21T	トチン	黄灰(Hue2.5Y6/1)	高	小	(7.5)	上部 (2.9) 中部 2.3 下部 —	— — —	1/3 1/2 —	—	A
29	29	YH05	21T	トチン	灰黄(Hue2.5Y7/2)	低	無	(8.0)	上部 5.8 中部 3.0 下部 —	— — —	1/2 1/2 —	0.52	A
30	30	YH05	21T	トチン	黄灰(Hue2.5Y6/1)	中	無	(5.1)	上部 6.2 中部 3.5 下部 —	— — —	1/1 1/3 —	0.56	A
31	31	YH05	21T	トチン	灰(HueN4/)	低	無	(6.9)	上部 6.8 中部 3.6 下部 —	— 陶片 —	1/1 1/3 —	0.53	A
32	32	YH05	21T	トチン	黄灰(Hue2.5Y6/1)	中	無	(5.5)	上部 — 中部 2.7 下部 5.0	— — —	— 1/2 1/1	0.54	A
33	33	YH05	21T	トチン	黄灰(Hue2.5Y6/1)	高	無	(3.8)	上部 5.5 中部 2.8 下部 —	高台片 — —	1/1 1/3 —	0.51	A

Tab. 17　窯道具一覧（3）

平成27・28年度飯洞甕窯跡出土（トチン）
※高／径が1.0以上

分類の基準		
	A	「Ｉ」形を呈するもの
	B	円柱形を呈するもの
	C	下端のみ広がり「　」形を呈するもの
	（　）	判断が難しいもの

Ｎｏ	計測（注記）No	調査地	出土地点	器　種	色調（胎土）	表面のガラス化	歪み	法量（ｃｍ）		備　考（付着物等）	残存率	経の比率 中／上・下	分類
								高さ	径				
34	34	YH05	21T	トチン	灰白(Hue2.5Y7/1)	中	無	(5.1)	上部 — 中部 3.8 下部 6.3	— — —	— 1/3 1/1	0.6	A
35	35	YH05	21T	トチン	灰白(Hue2.5Y7/1)	中	無	(6.8)	上部 — 中部 2.4 下部 3.5	— — —	— 1/2 1/3	0.69	A
36	36	YH05	21T	トチン	黄灰(Hue2.5Y6/1)	中	無	(4.8)	上部 6.0 中部 2.9 下部 —	高台片 — —	1/1 1/3 —	0.48	A
37	37	YH05	21T	トチン	黄灰(Hue2.5Y6/1)	中	無	(5.5)	上部 — 中部 3.4 下部 6.5	— — —	— 1/3 1/1	0.52	A
38	38	YH05	21T	トチン	灰白(Hue2.5Y7/1)	中	無	(4.8)	上部 — 中部 3.2 下部 6.3	— — —	— 1/3 1/1	0.51	A
39	39	YH05	21T	トチン	灰黄(Hue2.5Y7/2)	高	無	(4.6)	上部 6.1 中部 3.0 下部 —	高台片 — —	1/1 1/3 —	0.49	A
40	40	YH05	21T	トチン	灰黄(Hue2.5Y6/2)	中	無	(4.9)	上部 — 中部 3.5 下部 6.1	— — —	— 1/3 1/1	0.57	A
41	41	YH05	21T	トチン	灰白(Hue2.5Y7/1)	中	無	(4.7)	上部 5.7 中部 2.7 下部 —	高台片 — —	1/1 1/3 —	0.47	A
42	42	YH05	21T	トチン	灰白(Hue2.5Y7/1)	中	無	(4.6)	上部 6.0 中部 2.9 下部 —	高台片 — —	1/1 1/3 —	0.48	A
43	43	YH05	21T	トチン	黄灰(Hue2.5Y6/1)	高	無	(4.7)	上部 4.8 中部 2.8 下部 —	— — —	1/1 1/3 —	0.58	A
44	44	YH05	21T	トチン	黄灰(Hue2.5Y6/1)	高	無	(4.4)	上部 — 中部 2.4 下部 6.5	— — —	— 1/3 2/3	0.37	A
45	45	YH05	21T	トチン	灰白(Hue2.5Y7/1)	高	無	(3.0)	上部 — 中部 2.1 下部 6.6	— — —	— 1/4 1/1	0.32	A
46	46	YH05	21T	トチン	黄灰(Hue2.5Y6/1)	高	無	(2.9)	上部 7.3 中部 2.2 下部 —	— — —	1/1 1/4 —	0.3	A
47	47	YH05	21T	トチン	灰白(Hue2.5Y7/1)	高	無	(8.4)	上部 4.7 中部 2.9 下部 (2.1)	— — —	5/6 一部欠損 1/3	0.62	A
48	51	YH05	21T	トチン	黄灰(Hue2.5Y6/1)	中	無	11.2	上部 5.5 中部 3.9 下部 5.1	— — —	1/3 1/1 一部欠損	0.71	(A)
49	52	YH05	21T	トチン	黒褐(Hue2.5Y3/1)	高	大	(11.9)	上部 5.9 中部 4.3 下部 6.2	— — —	一部欠損 1/1 一部欠損	0.69	(A)
50	48	YH05	21T	トチン	褐灰(Hue10YR4/1)	低	無	(6.0)	上部 5.4 中部 3.5 下部 —	— — —	一部欠損 2/3 —	0.65	(B)
51	49	YH05	21T	トチン	灰(Hue5Y4/1)	高	無	(4.0)	上部 6.8 中部 4.2 下部 —	高台片 — —	一部欠損 1/4 —	0.62	(B)
52	50	YH05	21T	トチン	灰(Hue5Y4/1)	高	小	(9.0)	上部 5.6 中部 4.4 下部 —	— — —	1/1 1/1 —	0.79	(B)
53	53	YH05	22T	トチン	灰白(Hue5Y8/1)	高	大	12.7	上部 6.9 中部 3.5 下部 6.9	— — —	1/1 1/1 1/1	0.51	A
54	54	YH05	22T	トチン	灰白(Hue2.5Y7/1)	中	無	10.2	上部 5.0 中部 2.4 下部 5.2	— — —	1/3 1/1 一部欠損	0.46	A
55	55	YH05	22T	トチン	灰白(HueN7/)	高	無	8.2	上部 4.5 中部 2.9 下部 4.5	— — —	一部欠損 1/1 1/1	0.64	A
56	56	YH05	22T	トチン	にぶい黄橙(Hue10YR7/3)	低	無	6.5	上部 4.0 中部 2.3 下部 4.0	— — —	3/4 1/1 2/3	0.58	A
57	57	YH05	22T	トチン	黄灰(Hue2.5Y6/1)	低	無	5.5	上部 3.7 中部 1.8 下部 3.8	— — —	1/1 1/1 1/1	0.47	A
58	58	YH05	22T	トチン	—	高	大	12.5	上部 5.8 中部 3.9 下部 5.8	— 陶片 —	1/1 1/1 1/1	0.67	A
59	59	YH05	22T	トチン	暗灰(HueN3/)	低	無	12.0	上部 (6.5) 中部 3.8 下部 6.6	— — —	1/2 1/1 2/3	0.58	A
60	60	YH05	22T	トチン	灰白(HueN8/)	高	大	13.2	上部 6.0 中部 3.2 下部 6.7	— — —	5/6 1/1 5/6	0.48	A
61	61	YH05	22T	トチン	灰黄(Hue2.5Y6/2)	高	無	12.4	上部 6.9 中部 3.2 下部 7.0	— — —	1/1 1/1 5/6	0.46	A
62	62	YH05	22T	トチン	黄灰(Hue2.5Y5/1)	高	小	12.0	上部 7.0 中部 4.0 下部 7.2	— — —	5/6 1/1 一部欠損	0.56	A
63	72	YH05	22T	トチン	灰(Hue7.5Y6/1)	中	無	(7.5)	上部 — 中部 6.5 下部 12.5	— — —	— 1/1 1/1	0.52	A
64	73	YH05	22T	トチン	灰黄(Hue2.5Y6/2)	中	無	(7.8)	上部 10.5 中部 5.6 下部 —	高台片 — —	2/3 1/2 —	0.53	A
65	74	YH05	22T	トチン	灰黄(Hue2.5Y6/2)	中	無	(6.2)	上部 — 中部 5.4 下部 11.2	— — —	— 1/3 1/2	0.48	A
66	75	YH05	22T	トチン	灰白(Hue5Y8/1)	高	無	(5.8)	上部 — 中部 4.5 下部 8.5	— — —	— 1/4 1/1	0.53	A

Tab. 17　窯道具一覧（4）

平成27・28年度飯洞甕窯跡出土（トチン）
※高／径が1.0以上

分類の基準		
	A	「Ｉ」形を呈するもの
	B	円柱形を呈するもの
	C	下端のみ広がり「　」形を呈するもの
	（　）	判断が難しいもの

Ｎｏ	計測（注記）No	調査地	出土地点	器　種	色調（胎土）	表面のガラス化	歪み	法量（ｃｍ）		備　考（付着物等）	残存率	経の比率 中／上・下	分類
								高さ	径				
67	76	YH05	22T	トチン	灰(Hue5Y5/1)	中	無	13.0	上部 8.2 中部 4.1 下部 8.7	— — —	1/1 1/1 2/3	0.47	A
68	77	YH05	22T	トチン	灰(Hue5Y6/1)	高	無	13.5	上部 6.4 中部 3.6 下部 6.2	— — —	一部欠損 1/1 3/4	0.58	A
69	78	YH05	22T	トチン	灰(Hue5Y7/1)	高	無	(12.6)	上部 — 中部 3.9 下部 7.3	— — —	— 1/1 1/1	0.53	A
70	79	YH05	22T	トチン	灰(Hue5Y7/1)	高	無	(11.2)	上部 7.8 中部 3.9 下部 —	— — —	1/1 1/1 —	0.5	A
71	80	YH05	22T	トチン	灰(Hue5Y7/1)	高	大	(10.8)	上部 7.0 中部 3.9 下部 —	— 陶片 —	1/1 2/3 —	0.56	A
72	81	YH05	22T	トチン	灰黄(Hue2.5Y7/2)	高	小	(9.2)	上部 7.5 中部 3.6 下部 —	— — —	1/1 2/3 —	0.48	A
73	82	YH05	22T	トチン	にぶい黄橙(Hue10YR7/3)	高	無	13.5	上部 6.3 中部 3.5 下部 6.4	— — —	1/1 1/1 1/1	0.55	A
74	83	YH05	22T	トチン	灰白(Hue2.5Y7/1)	高	無	(6.8)	上部 7.6 中部 3.8 下部 —	— — —	1/1 1/2 —	0.5	A
75	84	YH05	22T	トチン	灰白(HueN8/)	高	小	16.0	上部 8.6 中部 3.7 下部 7.7	— — —	1/1 1/1 一部欠損	0.48	A
76	85	YH05	22T	トチン	灰白(HueN7/)	高	無	11.9	上部 6.0 中部 3.2 下部 6.1	— — —	1/2 1/1 1/1	0.52	A
77	86	YH05	22T	トチン	灰黄(Hue2.5Y7/2)	高	大	(12.2)	上部 6.6 中部 3.2 下部 (4.1)	— — —	1/1 1/1 1/5	0.48	A
78	87	YH05	22T	トチン	灰白(HueN7/)	中	小	11.3	上部 6.7 中部 2.9 下部 (5.3)	— — —	一部欠損 1/1 一部欠損	0.43	A
79	88	YH05	22T	トチン	灰白(HueN7/)	中	無	10.3	上部 6.0 中部 3.3 下部 5.6	高台片 — —	1/1 1/1 1/1	0.59	A
80	89	YH05	22T	トチン	灰黄(Hue2.5Y7/2)	中	無	(9.8)	上部 — 中部 3.2 下部 6.4	— — —	— 2/3 1/1	0.5	A
81	90	YH05	22T	トチン	灰白(HueN8/)	高	小	(8.2)	上部 6.9 中部 3.3 下部 —	— — —	1/1 1/2 —	0.48	A
82	91	YH05	22T	トチン	灰白(HueN8/)	高	大	(9.4)	上部 — 中部 3.5 下部 6.8	— — —	— 2/3 1/1	0.51	A
83	92	YH05	22T	トチン	灰白(HueN8/)	高	大	(8.8)	上部 — 中部 3.3 下部 6.1	— — —	— 2/3 3/4	0.54	A
84	93	YH05	22T	トチン	灰白(HueN7/)	中	小	(6.9)	上部 — 中部 3.3 下部 (6.3)	— — —	— 1/2 1/2	0.52	A
85	94	YH05	22T	トチン	灰白(HueN8/)	高	無	(6.0)	上部 — 中部 3.2 下部 7.0	— — —	— 1/2 一部欠損	0.46	A
86	95	YH05	22T	トチン	灰白(HueN7/)	高	無	(7.1)	上部 6.7 中部 3.3 下部 —	— — —	1/1 1/2 —	0.49	A
87	96	YH05	22T	トチン	灰白(Hue5Y7/1)	高	無	(6.4)	上部 — 中部 3.1 下部 7.0	— — —	— 1/2 1/1	0.44	A
88	97	YH05	22T	トチン	灰白(HueN8/)	高	無	(6.0)	上部 — 中部 3.6 下部 6.2	— — —	— 1/3 1/1	0.58	A
89	98	YH05	22T	トチン	灰白(HueN8/)	高	無	12.2	上部 6.5 中部 3.0 下部 (4.8)	— — —	1/1 1/1 1/4	0.46	A
90	99	YH05	22T	トチン	灰白(HueN8/)	高	無	(4.8)	上部 6.7 中部 3.2 下部 —	高台片 — —	1/1 1/4 —	0.48	A
91	100	YH05	22T	トチン	灰白(HueN8/)	高	無	10.4	上部 6.0 中部 3.1 下部 4.5	— — —	一部欠損 1/1 1/1	0.52	A
92	101	YH05	22T	トチン	灰白(HueN7/)	高	無	(11.5)	上部 — 中部 2.9 下部 6.0	— — —	— 1/1 1/1	0.48	A
93	102	YH05	22T	トチン	灰白(HueN8/)	中	無	11.1	上部 6.5 中部 2.9 下部 7.1	— — —	1/1 1/1 1/1	0.41	A
94	103	YH05	22T	トチン	灰白(Hue5Y7/1)	中	無	10.2	上部 5.4 中部 2.7 下部 5.8	— — —	1/1 1/1 1/1	0.47	A
95	104	YH05	22T	トチン	灰白(HueN8/)	高	無	(8.1)	上部 — 中部 2.9 下部 6.3	— — —	— 2/3 1/1	0.46	A
96	105	YH05	22T	トチン	灰白(HueN7/)	中	無	(11.3)	上部 (6.0) 中部 3.0 下部 —	— — —	1/5 1/1 —	—	A
97	106	YH05	22T	トチン	灰白(HueN7/)	高	無	(6.5)	上部 6.5 中部 2.8 下部 —	— — —	1/1 1/2 —	0.43	A
98	107	YH05	22T	トチン	黄灰(Hue2.5Y6/1)	高	無	(5.5)	上部 5.6 中部 2.8 下部 —	— — —	1/1 1/2 —	0.5	A
99	108	YH05	22T	トチン	灰白(HueN7/)	高	無	(6.0)	上部 — 中部 2.7 下部 6.4	— — —	— 1/2 1/1	0.42	A

Tab. 17　窯道具一覧（５）

平成27・28年度飯洞甕窯跡出土（トチン）
※高／径が1.0以上

分類の基準		
	A	「Ｉ」形を呈するもの
	B	円柱形を呈するもの
	C	下端のみ広がり「　」形を呈するもの
	（　）	判断が難しいもの

Ｎｏ	計測（注記）No	調査地	出土地点	器　種	色調（胎土）	表面のガラス化	歪み	法量（ｃｍ）		備　考（付着物等）	残存率	経の比率 中／上・下	分類
								高さ	径				
100	109	YH05	22T	トチン	灰白(HueN7/)	高	小	(5.4)	上部 — 中部 2.7 下部 5.6	—	— 1/3 1/1	0.48	A
101	110	YH05	22T	トチン	灰白(Hue5Y7/1)	高	無	(6.2)	上部 — 中部 2.9 下部 4.4	— — —	— 1/2 1/1	0.66	A
102	111	YH05	22T	トチン	灰白(HueN8/)	高	無	(3.1)	上部 6.1 中部 2.7 下部 —	— — —	1/1 一部残存 —	0.44	A
103	113	YH05	22T	トチン	灰白(Hue5Y7/1)	低	無	(5.2)	上部 — 中部 2.7 下部 5.8	— — —	— 1/2 1/2	0.47	A
104	114	YH05	22T	トチン	灰白(Hue5Y7/1)	高	無	12.3	上部 6.7 中部 3.0 下部 6.7	— — —	1/1 1/1 3/4	0.45	A
105	115	YH05	22T	トチン	灰白(Hue5Y7/1)	中	無	(8.3)	上部 6.2 中部 2.6 下部 —	— — —	1/1 2/3 —	0.42	A
106	116	YH05	22T	トチン	灰白(Hue5Y7/1)	中	無	10.5	上部 5.1 中部 2.5 下部 5.2	— — —	2/3 1/1 1/1	0.48	A
107	117	YH05	22T	トチン	灰白(Hue5Y7/1)	中	無	(7.5)	上部 6.0 中部 2.6 下部 —	— — —	一部欠損 2/3 —	0.43	A
108	118	YH05	22T	トチン	灰白(HueN8/)	高	無	(6.9)	上部 4.8 中部 2.7 下部 —	— — —	1/1 2/3 —	0.56	A
109	119	YH05	22T	トチン	灰白(Hue7.5Y8/1)	高	無	(6.3)	上部 5.0 中部 2.6 下部 —	— — —	2/3 1/2 —	0.52	A
110	120	YH05	22T	トチン	灰白(HueN8/)	高	小	(6.5)	上部 — 中部 2.6 下部 4.6	— — —	— 1/2 1/1	0.57	A
111	121	YH05	22T	トチン	灰白(HueN8/)	高	無	(6.3)	上部 — 中部 2.6 下部 4.7	— — —	— 1/2 1/1	0.55	A
112	122	YH05	22T	トチン	灰白(HueN7/)	高	無	(5.6)	上部 — 中部 2.7 下部 4.2	— — —	— 1/2 1/1	0.64	A
113	123	YH05	22T	トチン	灰白(Hue7.5Y7/1)	高	無	(6.0)	上部 — 中部 2.6 下部 4.8	— — —	— 1/2 一部欠損	0.54	A
114	124	YH05	22T	トチン	灰白(Hue5Y7/1)	高	無	(5.5)	上部 — 中部 2.5 下部 4.0	— — —	— 1/2 1/1	0.63	A
115	125	YH05	22T	トチン	灰白(Hue5Y7/1)	中	無	(5.5)	上部 4.5 中部 2.5 下部 —	— — —	一部残存 1/2 —	0.56	A
116	126	YH05	22T	トチン	灰白(Hue5Y7/1)	低	無	(4.7)	上部 — 中部 2.2 下部 3.7	— — —	— 1/2 1/1	0.59	A
117	127	YH05	22T	トチン	灰白(HueN8/)	高	無	(5.0)	上部 6.9 中部 2.4 下部 —	— — —	1/1 1/3 —	0.35	A
118	128	YH05	22T	トチン	灰白(HueN7/)	高	無	(5.0)	上部 — 中部 2.7 下部 6.8	— — —	— 1/3 1/1	0.4	A
119	129	YH05	22T	トチン	灰白(HueN7/)	高	無	(3.9)	上部 — 中部 2.6 下部 5.1	— — —	— 1/4 1/2	0.51	A
120	130	YH05	22T	トチン	灰白(HueN7/)	高	無	(4.5)	上部 4.4 中部 2.6 下部 —	— — —	1/1 1/4 —	0.59	A
121	131	YH05	22T	トチン	灰白(HueN8/)	高	無	(3.9)	上部 — 中部 2.6 下部 7.5	— — —	— 1/4 1/1	0.35	A
122	132	YH05	22T	トチン	灰白(Hue5Y7/1)	中	無	(8.1)	上部 5.2 中部 2.5 下部 —	— — —	一部欠損 1/1 —	0.48	A
123	133	YH05	22T	トチン	灰白(Hue5Y7/1)	中	無	(8.0)	上部 4.9 中部 2.6 下部 —	— — —	1/1 1/1 —	0.53	A
124	134	YH05	22T	トチン	灰白(Hue5Y7/1)	高	無	(7.5)	上部 — 中部 2.5 下部 5.1	— — —	— 2/3 一部欠損	0.49	A
125	135	YH05	22T	トチン	灰白(Hue5Y7/1)	中	無	(6.3)	上部 4.4 中部 2.3 下部 —	— — —	2/3 2/3 —	0.52	A
126	136	YH05	22T	トチン	灰白(Hue5Y7/1)	中	無	(7.0)	上部 4.9 中部 2.4 下部 —	— — —	1/1 2/3 —	0.49	A
127	137	YH05	22T	トチン	灰白(Hue5Y7/1)	高	無	(6.2)	上部 — 中部 2.4 下部 4.3	— — —	— 1/2 1/1	0.56	A
128	138	YH05	22T	トチン	灰白(HueN7/)	高	無	(6.1)	上部 — 中部 2.2 下部 4.5	— — —	— 1/2 1/1	0.49	A
129	139	YH05	22T	トチン	灰白(Hue5Y7/1)	高	無	(5.9)	上部 — 中部 2.3 下部 4.0	— — —	— 1/2 3/4	0.58	A
130	140	YH05	22T	トチン	灰白(HueN7/)	中	無	(5.5)	上部 — 中部 2.3 下部 4.1	— — —	— 1/2 3/4	0.56	A
131	141	YH05	22T	トチン	灰白(HueN8/)	低	無	(5.5)	上部 4.0 中部 2.2 下部 —	— — —	1/1 1/2 —	0.55	A
132	142	YH05	22T	トチン	灰白(HueN8/)	低	無	(5.1)	上部 4.0 中部 2.1 下部 —	— — —	1/1 1/2 —	0.53	A

Tab. 17　窯道具一覧（6）

平成27・28年度飯洞甕窯跡出土（トチン）
※高／径が1.0以上

分類の基準		
	A	「Ｉ」形を呈するもの
	B	円柱形を呈するもの
	C	下端のみ広がり「　」形を呈するもの
	（　）	判断が難しいもの

Ｎｏ	計測（注記）No	調査地	出土地点	器　種	色調（胎土）	表面のガラス化	歪み	法量（ｃｍ） 高さ	法量（ｃｍ） 径	備　考（付着物等）	残存率	経の比率 中／上・下	分類
133	143	YH05	22T	トチン	灰白(HueN8/)	低	無	(4.2)	上部 — 中部 2.0 下部 4.3	— — —	— 1/3 一部欠損	0.47	A
134	144	YH05	22T	トチン	灰白(HueN8/)	高	無	(3.8)	上部 — 中部 2.2 下部 4.1	— — —	— 1/3 1/1	0.54	A
135	145	YH05	22T	トチン	灰白(HueN8/)	中	無	(3.3)	上部 5.5 中部 2.3 下部 —	— — —	1/2 1/4 —	0.42	A
136	146	YH05	22T	トチン	灰白(HueN8/)	高	無	(3.0)	上部 — 中部 2.2 下部 4.7	— — —	— 1/4 1/1	0.47	A
137	147	YH05	22T	トチン	灰白(HueN8/)	高	無	(8.5)	上部 4.0 中部 2.1 下部 3.8	— — —	1/1 1/1 1/1	0.55	A
138	148	YH05	22T	トチン	灰白(HueN7/)	低	無	(7.0)	上部 4.6 中部 2.2 下部 —	— — —	1/1 2/3 —	0.48	A
139	149	YH05	22T	トチン	灰白(HueN8/)	高	無	(5.0)	上部 — 中部 2.0 下部 4.5	— — —	— 1/2 1/1	0.44	A
140	150	YH05	22T	トチン	灰白(HueN8/)	中	小	(5.1)	上部 — 中部 2.3 下部 4.3	— — —	— 1/2 1/1	0.53	A
141	151	YH05	22T	トチン	灰白(HueN8/)	高	無	(5.2)	上部 3.9 中部 2.0 下部 —	— — —	3/4 1/2 —	0.51	A
142	152	YH05	22T	トチン	灰白(HueN8/)	低	無	(5.1)	上部 3.7 中部 1.8 下部 —	— — —	2/3 1/2 —	0.49	A
143	153	YH05	22T	トチン	灰白(HueN8/)	高	無	7.1	上部 4.0 中部 1.9 下部 4.0	— — —	1/1 1/1 一部欠損	0.48	A
144	154	YH05	22T	トチン	灰白(HueN8/)	中	無	15.3	上部 9.7 中部 4.5 下部 10.5	— — —	2/3 1/1 1/1	0.43	A
145	155	YH05	22T	トチン	—	高	無	11.5	上部 6.5 中部 4.1 下部 6.5	— 陶片 —	1/1 1/1 1/1	0.63	A
146	156	YH05	22T	トチン	灰白(HueN8/)	高	無	11.1	上部 7.4 中部 4.1 下部 7.8	— — —	1/1 1/1 2/3	0.53	A
147	157	YH05	22T	トチン	灰白(HueN8/)	高	無	(5.6)	上部 4.4 中部 2.1 下部 —	— — —	1/2 1/2 —	0.48	A
148	158	YH05	22T	トチン	灰白(HueN8/)	高	無	18.1	上部 10.3 中部 6.4 下部 (9.4)	— — —	1/1 1/1 1/3	0.62	A
149	159	YH05	22T	トチン	—	高	無	11.8	上部 6.6 中部 3.9 下部 6.4	— — —	1/1 1/1 1/1	0.61	A
150	160	YH05	22T	トチン	灰白(HueN8/)	高	小	10.1	上部 — 中部 3.5 下部 5.6	— — —	— 2/3 2/3	0.63	A
151	161	YH05	22T	トチン	灰白(HueN8/)	高	小	10.4	上部 4.5 中部 2.7 下部 4.8	— 陶片 —	一部欠損 1/1 1/1	0.56	A
152	162	YH05	22T	トチン	灰白(HueN7/)	高	小	10.3	上部 4.0 中部 2.7 下部 4.2	— — —	1/1 1/1 1/1	0.64	A
153	163	YH05	22T	トチン	灰白(Hue5Y7/1)	高	無	(6.4)	上部 7.3 中部 4.2 下部 —	高台片 — —	1/1 1/3 —	0.58	A
154	164	YH05	22T	トチン	にぶい赤橙(Hue5YR5/4)	低	無	10.9	上部 6.3 中部 4.1 下部 (3.0)	— — —	1/1 1/1 1/3	0.65	A
155	166	YH05	22T	トチン	明赤褐(Hue2.5YR5/6)	低	大	11.0	上部 5.9 中部 3.7 下部 (5.5)	— — —	1/1 1/1 1/3	0.63	A
156	167	YH05	22T	トチン	灰黄褐(Hue10Y5/2)	高	小	12.2	上部 7.7 中部 5.5 下部 8.0	— — —	1/1 1/1 1/3	0.69	A
157	168	YH05	22T	トチン	—	低	小	10.6	上部 7.5 中部 5.5 下部 8.0	— — —	1/1 1/1 1/1	0.69	A
158	63	YH05	22T	トチン	—	高	小	14.5	上部 6.8 中部 4.9 下部 6.9	高台片 — —	1/1 1/1 1/1	0.71	(A)
159	65	YH05	22T	トチン	—	高	小	11.2	上部 5.5 中部 4.4 下部 5.9	— — —	1/1 1/1 1/1	0.75	(A)
160	66	YH05	22T	トチン	黄灰(Hue2.5Y4/1)	高	大	(9.0)	上部 5.4 中部 4.1 下部 5.3	高台痕跡 陶片 —	1/1 1/1 1/2	0.76	(A)
161	169	YH05	22T	トチン	—	高	無	13.0	上部 7.2 中部 4.7 下部 6.0	— 陶片 —	1/1 1/1 1/2	0.65	(A)
162	68	YH05	22T	トチン	—	高	大	8.6	上部 5.5 中部 4.7 下部 6.3	高台片 — —	1/1 1/1 1/1	0.75	B
163	69	YH05	22T	トチン	—	高	無	8.6	上部 4.7 中部 4.5 下部 5.1	— — —	1/1 1/1 1/1	0.88	B
164	70	YH05	22T	トチン	—	高	無	9.1	上部 5.8 中部 4.6 下部 4.7	— — —	1/1 1/1 1/1	0.79	B
165	71	YH05	22T	トチン	黄灰(Hue2.5Y4/1)	中	無	8.4	上部 5.3 中部 4.7 下部 5.6	— — —	1/3 1/1 1/1	0.84	B

Tab. 17　窯道具一覧（7）

平成27・28年度飯洞甕窯跡出土（トチン）
※高／径が1.0以上

分類の基準		
	A	「Ｉ」形を呈するもの
	B	円柱形を呈するもの
	C	下端のみ広がり「　」形を呈するもの
	（　）	判断が難しいもの

Ｎｏ	計測（注記）No	調査地	出土地点	器　種	色調（胎土）	表面のガラス化	歪み	法量（ｃｍ）		備　考（付着物等）	残存率	経の比率 中／上・下	分類
								高さ	径				
166	172	YH05	22T	トチン	灰(Hue5Y6/1)	高	無	(6.6)	上部 — 中部 4.9 下部 5.8	—	— 1/3 1/1	0.84	B
167	173	YH05	22T	トチン	-	高	無	9.9	上部 5.8 中部 4.8 下部 5.8	— — —	1/1 1/1 1/1	0.83	B
168	175	YH05	22T	トチン	黄灰(Hue2.5Y4/1)	高	無	8.0	上部 5.8 中部 4.9 下部 5.6	— — —	1/2 1/1 1/1	0.88	B
169	176	YH05	22T	トチン	黄灰(Hue2.5Y5/1)	中	小	7.2	上部 6.9 中部 6.0 下部 6.5	— — —	一部欠損 1/1 2/3	0.92	B
170	177	YH05	22T	トチン	-	低	小	8.3	上部 6.2 中部 4.4 下部 5.1	— — —	1/1 1/1 1/1	0.86	B
171	178	YH05	22T	トチン	-	高	大	8.0	上部 6.0 中部 6.1 下部 5.4	— — —	1/1 1/1 1/1	1.13	B
172	179	YH05	22T	トチン	黄灰(Hue2.5Y4/1)	中	無	6.6	上部 5.2 中部 4.2 下部 (3.3)	— — —	1/1 1/1 1/3	0.81	B
173	165	YH05	22T	トチン	明赤褐(Hue2.5YR5/6)	低	無	11.8	上部 5.8 中部 4.1 下部 (4.4)	— — —	1/1 1/1 1/3	0.71	(B)
174	64	YH05	22T	トチン	—	高	無	13.5	上部 6.2 中部 5.4 下部 6.8	— — —	1/1 1/1 1/1	0.79	(B)
175	67	YH05	22T	トチン	—	高	大	8.6	上部 5.3 中部 4.7 下部 5.3	— 陶片 —	1/1 1/1 1/1	0.89	(B)
176	112	YH05	22T	トチン	灰白(Hue5Y7/1)	高	無	9.0	上部 4.0 中部 2.6 下部 4.1	— — —	1/2 1/1 1/2	0.63	(B)
177	170	YH05	22T	トチン	灰白(Hue5Y7/1)	高	無	11.6	上部 5.2 中部 4.4 下部 6.0	— 陶片 —	一部欠損 1/1 3/4	0.73	(B)
178	171	YH05	22T	トチン	-	高	小	9.8	上部 6.1 中部 5.0 下部 6.9	— — —	1/1 1/1 1/2	0.72	(B)
179	174	YH05	22T	トチン	-	中	大	10.7	上部 6.9 中部 5.6 下部 8.3	— — —	3/4 1/1 1/1	0.67	C
180	195	YH05	22T	トチン	—	高	大	9.1	上部 7.6 中部 5.8 下部 11.2	陶片 — —	1/2 1/1 1/1	0.52	C
181	180	YH05	23T	トチン	灰白(Hue5Y7/1)	中	無	9.2	上部 4.0 中部 2.2 下部 4.0	— — —	1/1 1/1 1/1	0.55	A
182	181	YH05	23T	トチン	—	低	無	9.8	上部 4.3 中部 2.1 下部 4.2	— — —	1/1 1/1 1/1	0.5	A
183	182	YH05	23T	トチン	—	低	無	8.7	上部 3.8 中部 2.2 下部 3.9	— — —	1/1 1/1 1/1	0.56	A
184	183	YH05	24T	トチン	灰白(Hue2.5Y7/1)	高	小	(9.9)	上部 — 中部 6.4 下部 10.5	— — —	— 1/2 1/1	0.61	A
185	184	YH05	24T	トチン	灰白(Hue5Y7/1)	高	無	(6.1)	上部 — 中部 3.7 下部 7.8	— — —	— 1/2 1/1	0.47	A
186	185	YH05	24T	トチン	灰白(Hue2.5Y7/1)	高	無	(8.1)	上部 — 中部 2.9 下部 7.0	— — —	— 2/3 1/1	0.41	A
187	186	YH05	24T	トチン	灰白(Hue10YR8/2)	高	無	(7.0)	上部 — 中部 3.1 下部 6.7	— — —	— 1/2 1/1	0.46	A
188	187	YH05	24T	トチン	灰白(Hue10YR8/2)	低	無	(7.4)	上部 6.0 中部 2.7 下部 —	— — —	1/1 1/2 —	0.45	A
189	188	YH05	24T	トチン	灰白(Hue10YR8/2)	高	無	(6.6)	上部 7.0 中部 2.5 下部 —	— — —	1/1 1/2 —	0.36	A
190	189	YH05	24T	トチン	灰白(Hue2.5Y8/1)	低	無	(5.2)	上部 6.3 中部 3.1 下部 —	— — —	1/1 1/3 —	0.49	A
191	190	YH05	24T	トチン	灰白(HueN8/)	高	無	(4.5)	上部 6.3 中部 3.0 下部 —	— — —	1/1 1/4 —	0.48	A
192	191	YH05	24T	トチン	橙(Hue2.5YR6/6)	低	無	(5.8)	上部 — 中部 2.7 下部 5.8	— — —	— 1/3 1/1	0.47	A
193	192	YH05	24T	トチン	灰黄(Hue2.5Y7/2)	中	小	(5.0)	上部 4.5 中部 2.6 下部 —	— — —	1/1 1/2 —	0.58	A
194	193	YH05	24T	トチン	—	高	無	9.0	上部 5.5 中部 3.3 下部 5.4	— — —	1/1 1/1 一部欠損	0.6	A
195	194	YH05	24T	トチン	—	高	無	6.5	上部 5.1 中部 3.0 下部 4.8	— — —	1/1 1/1 1/1	0.63	A

Tab. 17　窯道具一覧（8）

平成27・28年度飯洞甕窯跡出土（ハマ）
※高／径が1.0以下

分類の基準		
	A	断面の角が丸いもの
	B	断面が長方形に近いもの
	C	下部が広がり「凸」型を呈するもの
	（　）	判断が難しいもの

No	計測（注記）No	調査地	出土地点	器種	色調（胎土）	表面のガラス化	法量（cm）		貝目	備考（付着物等）	残存率	厚経の比率 厚／径	分類
							厚さ	径					
1	1	YH05	15TNG	ハマ	褐灰（Hue10YR4/1）	高	1.9	7.5	— —	— —	1 / 1	0.25	A
2	2	YH05	15TNG	ハマ	灰（HueN5/1）	中	3.0	6.2	— 1	高台片 —	1 / 1	0.48	A
3	3	YH05	15TNG	ハマ	—	中	1.9	6.0	— —	— —	1 / 1	0.32	A
4	4	YH05	15TNG	ハマ	—	低	1.7	5.5	— —	— —	1 / 1	0.31	A
5	5	YH05	15TNG	ハマ	—	低	2.3	6.5	— —	— —	1 / 1	0.35	B
6	6	YH05	15TNG	ハマ	—	低	2.4	7.2	— —	— —	1 / 1	0.33	B
7	7	YH05	18T	ハマ	—	高	2.8	10.2	5+α —	— —	1 / 1	0.27	A
8	8	YH05	18T	ハマ	—	高	2.3	10.1	6+α —	— —	1 / 1	0.23	A
9	9	YH05	18T	ハマ	—	高	2.4	9.5	5 —	— —	1 / 1	0.25	A
10	10	YH05	18T	ハマ	—	高	2.8	9.8	5+α —	— —	1 / 1	0.29	A
11	11	YH05	18T	ハマ	—	高	2.2	9.4	5 3	— —	1 / 1	0.23	A
12	12	YH05	18T	ハマ	—	高	2.5	9.7	6+α —	— —	1 / 1	0.26	A
13	13	YH05	18T	ハマ	—	高	2.2	10.1	7+α 6	— —	1 / 1	0.22	A
14	14	YH05	18T	ハマ	—	高	2.2	9.3	7 8	— —	1 / 1	0.24	A
15	15	YH05	18T	ハマ	—	高	2.1	9.4	3 5	— —	1 / 1	0.22	A
16	16	YH05	18T	ハマ	—	高	2.2	9.3	2+α —	— —	1 / 1	0.24	A
17	17	YH05	18T	ハマ	—	高	1.7	9.3	5 —	— —	1 / 1	0.18	A
18	18	YH05	18T	ハマ	—	高	2.1	9.5	4 4+α	— —	1 / 1	0.22	A
19	19	YH05	18T	ハマ	—	高	2.1	9.4	5 5+α	— —	1 / 1	0.22	A
20	20	YH05	19T	ハマ	褐灰（Hue5YR4/1）	高	2.9	11.7	5+α 2+α	— —	5/6	0.25	A
21	21	YH05	19T	ハマ	—	高	3.2	10.9	7+α 2+α	— —	一部欠損	0.29	A
22	22	YH05	19T	ハマ	—	高	3.1	9.7	— —	高台片 —	1 / 1	0.32	A
23	23	YH05	19T	ハマ	暗赤灰（Hue2.5YR3/1）	高	2.6	10.1	5 —	— —	1 / 1	0.26	A
24	24	YH05	19T	ハマ	—	高	2.1	9.7	— —	陶器底部 —	1 / 1	0.22	A
25	25	YH05	19T	ハマ	—	高	2.6	10.0	4 —	— —	1 / 1	0.26	A
26	27	YH05	19T	ハマ	にぶい赤褐（Hue5YR5/3）	高	2.1	10.1	4+α 4	— —	3/4	0.21	A
27	29	YH05	19T	ハマ	—	高	2.0	9.3	5 —	— —	1 / 1	0.22	A
28	30	YH05	19T	ハマ	褐灰（Hue10YR4/1）	高	2.7	9.0	6+α 3+α	— —	1 / 1	0.30	A
29	31	YH05	19T	ハマ	—	中	2.7	8.7	— —	— —	1 / 1	0.31	A
30	32	YH05	19T	ハマ	—	高	3.1	8.8	— —	— —	1 / 1	0.35	A
31	33	YH05	19T	ハマ	—	高	2.6	9.1	— —	高台片 —	1 / 1	0.29	A
32	34	YH05	19T	ハマ	—	高	2.5	8.3	— —	— —	1 / 1	0.30	A
33	35	YH05	19T	ハマ	—	高	1.8	8.2	— —	— —	1 / 1	0.22	A
34	36	YH05	19T	ハマ	—	中	1.9	7.7	— —	— —	1 / 1	0.25	A
35	37	YH05	19T	ハマ	褐灰（Hue5YR4/1）	中	1.6	7.4	— —	高台片 —	一部欠損	0.22	A
36	38	YH05	19T	ハマ	—	高	1.6	6.8	— —	— —	1 / 1	0.24	A

Tab. 17　窯道具一覧（9）

平成27・28年度飯洞甕窯跡出土（ハマ）
※高／径が1.0以下

分類の基準		
	A	断面の角が丸いもの
	B	断面が長方形に近いもの
	C	下部が広がり「凸」型を呈するもの
	（　）	判断が難しいもの

No	計測（注記）No	調査地	出土地点	器種	色調（胎土）	表面のガラス化	法量（cm）		貝目	備考（付着物等）	残存率	厚経の比率 厚／径	分類
							厚さ	径					
37	39	YH05	19T	ハマ	—	高	2.3	6.9	1 —	陶片 —	1 / 1	0.33	A
38	40	YH05	19T	ハマ	—	高	2.2	7.0	3 —	— 高台片	1 / 1	0.31	A
39	41	YH05	19T	ハマ	—	高	1.5	7.2	— —	高台片 —	1 / 1	0.21	A
40	42	YH05	19T	ハマ	—	低	2.0	6.9	— —	— —	1 / 1	0.29	A
41	43	YH05	19T	ハマ	—	高	1.5	6.9	— —	— —	1 / 1	0.22	A
42	44	YH05	19T	ハマ	灰（Hue5Y5/1）	高	1.2	6.8	— —	— —	一部欠損	0.18	A
43	26	YH05	19T	ハマ	—	低	2.3	9.8	5 —	— —	1 / 1	0.23	B
44	28	YH05	19T	ハマ	—	高	2.4	9.9	7+α —	— —	1 / 1	0.24	B
45	45	YH05	20T	ハマ	—	高	2.8	10.7	5+α 4+α	— —	1 / 1	0.26	A
46	46	YH05	20T	ハマ	—	高	2.4	9.1	— —	高台 —	1 / 1	0.26	A
47	47	YH05	20T	ハマ	—	高	2.6	8.5	— —	陶器底部 —	1 / 1	0.31	A
48	49	YH05	20T	ハマ	—	高	1.6	6.1	— —	高台片 —	1 / 1	0.26	A
49	50	YH05	20T	ハマ	灰褐（Hue5YR4/2）	高	2.0	10.4	3+α —	— —	1 /2	0.19	A
50	48	YH05	20T	ハマ	—	中	2.7	7.0	— —	— —	1 / 1	0.39	B
51	51	YH05	21T	ハマ	—	高	2.4	10.9	8+α —	— —	1 / 1	0.22	A
52	52	YH05	21T	ハマ	—	高	2.3	10.1	6+α —	— —	1 / 1	0.23	A
53	53	YH05	21T	ハマ	—	高	2.7	9.7	5+α —	— —	1 / 1	0.28	A
54	54	YH05	21T	ハマ	—	中	2.1	9.8	4+α 5+α	— —	1 / 1	0.21	A
55	55	YH05	21T	ハマ	にぶい赤褐（Hue2.5YR4/3）	高	2.6	9.5	6+α —	— —	1 / 1	0.27	A
56	56	YH05	21T	ハマ	—	高	1.9	9.7	6 —	— —	1 / 1	0.20	A
57	57	YH05	21T	ハマ	灰（Hue5Y5/1）	高	2.2	9.6	5+α —	— —	1 / 1	0.23	A
58	58	YH05	21T	ハマ	—	高	2.4	8.9	— 5+α	— —	1 / 1	0.27	A
59	59	YH05	21T	ハマ	—	高	2.1	8.5	— —	— —	1 / 1	0.25	A
60	60	YH05	21T	ハマ	黒（HueN1.5/）	高	1.6	8.3	— —	— —	1 / 1	0.19	A
61	61	YH05	21T	ハマ	黒褐（Hue10YR3/2）	高	2.6	8.5	— —	高台片 —	1 / 1	0.31	A
62	62	YH05	21T	ハマ	—	高	2.6	8.2	— —	高台片 —	1 / 1	0.32	A
63	64	YH05	21T	ハマ	—	高	2.2	7.0	— —	— —	1 / 1	0.31	A
64	65	YH05	21T	ハマ	—	低	1.8	6.7	— —	高台片 —	1 / 1	0.27	A
65	66	YH05	21T	ハマ	灰褐（Hue5YR4/2）	中	2.4	10.3	4 —	高台片 —	1 /2	0.23	A
66	67	YH05	21T	ハマ	褐灰（Hue7.5YR5/1）	高	2.3	（9.2）	2 —	— —	1 /3	—	A
67	68	YH05	21T	ハマ	赤褐（Hue10R4/3）	中	1.2	8.0	— —	— —	1 /2	0.15	A
68	69	YH05	21T	ハマ	灰赤（Hue10R4/2）	中	1.7	7.8	— —	— —	1 /2	0.22	A
69	63	YH05	21T	ハマ	—	中	2.2	6.9	— —	— —	1 / 1	0.32	B
70	70	YH05	22T	ハマ	—	高	2.0	10.2	3 —	陶片 —	1 / 1	0.20	A
71	71	YH05	22T	ハマ	—	高	2.2	9.7	6 —	— —	1 / 1	0.23	A
72	72	YH05	22T	ハマ	—	高	2.6	9.0	6 —	— —	1 / 1	0.29	A

Tab. 17　窯道具一覧（10）

平成27・28年度飯洞甕窯跡出土（ハマ）
※高／径が1.0以下

分類の基準		
	A	断面の角が丸いもの
	B	断面が長方形に近いもの
	C	下部が広がり「凸」型を呈するもの
	（　）	判断が難しいもの

No	計測（注記）No	調査地	出土地点	器種	色調（胎土）	表面のガラス化	法量（cm）		貝目	備考（付着物等）	残存率	厚経の比率 厚／径	分類
							厚さ	径					
73	74	YH05	22T	ハマ	—	高	2.4	8.6	—	—	1 / 1	0.28	A
74	75	YH05	22T	ハマ	—	高	2.0	8.1	—	—	1 / 1	0.25	A
75	76	YH05	22T	ハマ	—	高	3.3	8.5	—	—	1 / 1	0.39	A
76	77	YH05	22T	ハマ	—	高	3.3	8.3	—	—	1 / 1	0.40	A
77	78	YH05	22T	ハマ	—	中	2.0	7.9	—	—	1 / 1	0.25	A
78	79	YH05	22T	ハマ	—	高	1.4	8.0	—	高台片	1 / 1	0.18	A
79	80	YH05	22T	ハマ	—	高	1.9	7.6	—	—	1 / 1	0.25	A
80	81	YH05	22T	ハマ	—	高	2.1	7.8	—	—	1 / 1	0.27	A
81	83	YH05	22T	ハマ	—	高	2.3	7.3	—	—	1 / 1	0.32	A
82	84	YH05	22T	ハマ	—	高	1.5	7.1	—	—	1 / 1	0.21	A
83	86	YH05	22T	ハマ	—	高	1.8	6.9	—	高台片	1 / 1	0.26	A
84	87	YH05	22T	ハマ	—	低	3.1	6.7	—	—	1 / 1	0.46	A
85	89	YH05	22T	ハマ	—	中	1.5	6.5	—	—	1 / 1	0.23	A
86	91	YH05	22T	ハマ	—	高	1.7	5.7	—	高台片	1 / 1	0.30	A
87	93	YH05	22T	ハマ	—	低	1.9	4.9	—	—	1 / 1	0.39	A
88	96	YH05	22T	ハマ	—	低	2.3	11.2	—	高台片	1 / 1	0.21	A
89	97	YH05	22T	ハマ	—	低	1.9	11.9	5	—	1 / 1	0.16	A
90	98	YH05	22T	ハマ	—	中	1.6	11.2	—	—	1 / 1	0.14	A
91	99	YH05	22T	ハマ	—	低	2.0	11.6	—	—	1 / 1	0.17	A
92	100	YH05	22T	ハマ	—	低	1.7	10.5	—	—	1 / 1	0.16	A
93	101	YH05	22T	ハマ	—	低	1.7	10.0	—	—	1 / 1	0.17	A
94	102	YH05	22T	ハマ	—	低	2.2	10.1	—	—	1 / 1	0.22	A
95	103	YH05	22T	ハマ	—	低	1.8	10.1	—	—	1 / 1	0.18	A
96	104	YH05	22T	ハマ	—	低	1.6	10.4	—	—	1 / 1	0.15	A
97	105	YH05	22T	ハマ	—	低	1.7	9.9	—	—	1 / 1	0.17	A
98	106	YH05	22T	ハマ	黒褐(Hue2.5Y3/1)	中	1.6	10.0	—	—	1 / 1	0.16	A
99	107	YH05	22T	ハマ	—	低	1.7	9.4	—	—	1 / 1	0.18	A
100	108	YH05	22T	ハマ	—	中	2.3	11.0	—	—	1 / 1	0.21	A
101	109	YH05	22T	ハマ	—	中	1.6	9.3	—	—	1 / 1	0.17	A
102	110	YH05	22T	ハマ	—	低	1.2	9.3	—	—	1 / 1	0.13	A
103	111	YH05	22T	ハマ	灰(HueN4/)	低	1.5	9.2	—	—	1 / 1	0.16	A
104	112	YH05	22T	ハマ	にぶい赤褐(Hue5YR5/4)	低	1.8	9.7	—	—	1 /2	0.19	A
105	113	YH05	22T	ハマ	にぶい赤褐(Hue5YR5/3)	低	1.3	9.9	—	—	1 /2	0.13	A
106	114	YH05	22T	ハマ	—	高	3.6	9.9	—	—	1 / 1	0.36	A
107	115	YH05	22T	ハマ	—	高	2.8	10.1	—	高台片	1 / 1	0.28	A
108	116	YH05	22T	ハマ	—	高	3.3	9.8	—	—	1 / 1	0.34	A

Tab. 17　窯道具一覧（11）

平成27・28年度飯洞甕窯跡出土（ハマ）
※高／径が1.0以下

分類の基準		
	A	断面の角が丸いもの
	B	断面が長方形に近いもの
	C	下部が広がり「凸」型を呈するもの
	（　）	判断が難しいもの

No	計測（注記）No	調査地	出土地点	器種	色調（胎土）	表面のガラス化	法量（cm）		貝目	備考（付着物等）	残存率	厚経の比率 厚／径	分類
							厚さ	径					
109	117	YH05	22T	ハマ	—	高	3.5	9.2	— —	高台片 —	1 / 1	0.38	A
110	118	YH05	22T	ハマ	—	中	3.0	9.6	— —	— —	1 / 1	0.31	A
111	119	YH05	22T	ハマ	—	高	2.7	8.8	— —	— —	1 / 1	0.31	A
112	120	YH05	22T	ハマ	—	高	3.0	9.4	— —	— —	1 / 1	0.32	A
113	121	YH05	22T	ハマ	にぶい黄褐(Hue10YR4/3)	中	5.0	10.3	— —	— —	1 / 1	0.49	A
114	122	YH05	22T	ハマ	—	中	3.7	9.2	— —	— —	1 / 1	0.40	A
115	123	YH05	22T	ハマ	—	高	3.4	10.0	— —	— —	1 / 1	0.34	A
116	125	YH05	22T	ハマ	—	高	3.1	8.0	— —	高台片 —	1 / 1	0.39	A
117	127	YH05	22T	ハマ	—	中	3.3	8.0	— —	— —	1 / 1	0.41	A
118	128	YH05	22T	ハマ	—	高	3.4	8.4	— —	— —	1 / 1	0.40	A
119	129	YH05	22T	ハマ	—	中	3.7	8.1	— —	— —	1 / 1	0.46	A
120	130	YH05	22T	ハマ	—	中	3.3	8.3	— —	— —	1 / 1	0.40	A
121	131	YH05	22T	ハマ	—	高	3.1	8.3	— —	— —	1 / 1	0.37	A
122	132	YH05	22T	ハマ	—	高	3.3	8.2	— —	— —	1 / 1	0.40	A
123	133	YH05	22T	ハマ	—	高	2.0	8.7	— —	— —	1 / 1	0.23	A
124	135	YH05	22T	ハマ	—	高	3.0	8.3	— —	— —	1 / 1	0.36	A
125	136	YH05	22T	ハマ	—	高	2.5	8.5	— —	— —	1 / 1	0.29	A
126	137	YH05	22T	ハマ	—	高	2.2	7.8	— —	高台片 —	1 / 1	0.28	A
127	139	YH05	22T	ハマ	—	高	2.4	8.2	— —	— 陶片	1 / 1	0.29	A
128	140	YH05	22T	ハマ	—	高	3.1	7.9	— —	— —	1 / 1	0.39	A
129	141	YH05	22T	ハマ	—	高	2.5	7.9	— —	— —	1 / 1	0.32	A
130	142	YH05	22T	ハマ	—	高	3.8	8.0	— —	— —	1 / 1	0.48	A
131	144	YH05	22T	ハマ	—	中	2.7	8.0	— —	高台片 高台片	1 / 1	0.34	A
132	145	YH05	22T	ハマ	—	高	3.8	7.5	— —	— —	1 / 1	0.51	A
133	146	YH05	22T	ハマ	—	高	3.1	8.3	— —	高台片 —	1 / 1	0.37	A
134	147	YH05	22T	ハマ	—	高	2.6	7.2	— —	— —	1 / 1	0.36	A
135	148	YH05	22T	ハマ	—	高	2.5	7.8	— —	高台片 —	1 / 1	0.32	A
136	149	YH05	22T	ハマ	—	高	1.9	8.4	— —	— —	1 / 1	0.23	A
137	151	YH05	22T	ハマ	—	高	3.3	7.5	— —	高台片 —	1 / 1	0.44	A
138	152	YH05	22T	ハマ	—	高	2.9	7.6	— —	高台片 —	1 / 1	0.38	A
139	153	YH05	22T	ハマ	—	高	2.7	7.1	— —	— —	1 / 1	0.38	A
140	155	YH05	22T	ハマ	—	中	3.4	6.5	— —	— —	1 / 1	0.52	A
141	156	YH05	22T	ハマ	—	高	2.7	7.3	— —	— —	1 / 1	0.37	A
142	157	YH05	22T	ハマ	—	高	1.8	7.5	— —	高台片 —	1 / 1	0.24	A
143	158	YH05	22T	ハマ	—	高	1.8	7.3	— —	— —	1 / 1	0.25	A
144	161	YH05	22T	ハマ	—	高	2.6	6.8	— —	— —	1 / 1	0.38	A

Tab. 17　窯道具一覧（12）

平成27・28年度飯洞甕窯跡出土（ハマ）
※高／径が1.0以下

分類の基準		
	A	断面の角が丸いもの
	B	断面が長方形に近いもの
	C	下部が広がり「凸」型を呈するもの
	（ ）	判断が難しいもの

No	計測（注記）No	調査地	出土地点	器種	色調（胎土）	表面のガラス化	法量（cm）		貝目	備考（付着物等）	残存率	厚経の比率 厚／径	分類
							厚さ	径					
145	162	YH05	22T	ハマ	—	高	3.6	7.2	— —	— 陶片	1 / 1	0.50	A
146	163	YH05	22T	ハマ	—	高	2.4	7.0	— —	— —	1 / 1	0.34	A
147	164	YH05	22T	ハマ	—	高	1.7	6.8	— —	— —	1 / 1	0.25	A
148	165	YH05	22T	ハマ	—	高	2.9	6.8	— —	— —	1 / 1	0.43	A
149	167	YH05	22T	ハマ	—	高	3.1	7.1	— —	高台片 陶片	1 / 1	0.44	A
150	170	YH05	22T	ハマ	—	中	1.8	6.4	— —	— —	1 / 1	0.28	A
151	173	YH05	22T	ハマ	—	低	2.1	6.2	— —	— —	1 / 1	0.34	A
152	174	YH05	22T	ハマ	—	高	2.4	6.3	— —	— —	1 / 1	0.38	A
153	176	YH05	22T	ハマ	—	高	2.6	8.1	— —	— —	一部欠損	0.32	A
154	177	YH05	22T	ハマ	—	高	2.5	7.8	— —	高台片 —	1 / 1	0.32	A
155	178	YH05	22T	ハマ	—	高	2.1	6.5	— —	— —	1 / 1	0.32	A
156	179	YH05	22T	ハマ	—	低	1.4	5.8	— —	— —	1 / 1	0.24	A
157	181	YH05	22T	ハマ	—	低	1.9	6.9	— —	高台片 —	1 / 1	0.28	A
158	182	YH05	22T	ハマ	—	低	1.8	7.0	— —	— —	1 / 1	0.26	A
159	186	YH05	22T	ハマ	—	高	1.6	4.6	— —	— —	1 / 1	0.35	A
160	187	YH05	22T	ハマ	—	高	1.3	4.5	— —	— —	1 / 1	0.29	A
161	189	YH05	22T	ハマ	—	低	1.2	3.6	— —	— —	1 / 1	0.33	A
162	190	YH05	22T	ハマ	灰（HueN5/）	中	3.5	8.0	— —	— —	1 /2	0.44	A
163	191	YH05	22T	ハマ	灰（HueN5/） 橙（Hue5YR6/6）	低	1.6	（7.1）	— —	— —	1 /4	-0.23	A
164	192	YH05	22T	ハマ	—	高	3.7	9.5	3 —	— —	一部欠損	0.39	A
165	166	YH05	22T	ハマ	—	高	2.1	6.8	— —	— —	1 / 1	0.31	（A）
166	180	YH05	22T	ハマ	—	低	1.8	5.9	— —	— —	1 / 1	0.31	（A）
167	183	YH05	22T	ハマ	—	低	2.3	5.0	— —	— —	1 / 1	0.46	（A）
168	185	YH05	22T	ハマ	—	低	1.4	4.8	— —	— —	1 / 1	0.29	（A）
169	188	YH05	22T	ハマ	—	低	1.5	4.4	— —	— —	1 / 1	0.34	（A）
170	73	YH05	22T	ハマ	—	高	3.5	8.7	— —	— —	1 / 1	0.40	B
171	82	YH05	22T	ハマ	—	高	2.7	7.5	— —	— 陶片	1 / 1	0.36	B
172	85	YH05	22T	ハマ	—	高	2.1	6.8	— —	高台片 —	1 / 1	0.31	B
173	88	YH05	22T	ハマ	—	高	2.1	6.1	— —	高台片 —	1 / 1	0.34	B
174	90	YH05	22T	ハマ	—	高	2.1	6.0	— —	高台片 —	1 / 1	0.35	B
175	92	YH05	22T	ハマ	—	高	2.1	5.5	— —	— —	1 / 1	0.38	B
176	126	YH05	22T	ハマ	—	高	4.4	8.9	— —	— —	一部欠損	0.49	B
177	138	YH05	22T	ハマ	—	高	3.1	8.1	— —	— —	1 / 1	0.38	B
178	154	YH05	22T	ハマ	—	高	1.9	6.6	— —	高台片 —	1 / 1	0.29	B
179	169	YH05	22T	ハマ	—	高	2.0	6.6	— —	高台痕跡 —	1 / 1	0.30	B
180	172	YH05	22T	ハマ	—	高	3.4	6.0	— —	高台片 —	1 / 1	0.57	B

Tab. 17　窯道具一覧（13）

平成27・28年度飯洞甕窯跡出土（ハマ）
※高／径が1.0以下

分類の基準		
	A	断面の角が丸いもの
	B	断面が長方形に近いもの
	C	下部が広がり「凸」型を呈するもの
	（　）	判断が難しいもの

Ｎｏ	計測（注記）No	調査地	出土地点	器　種	色調（胎土）	表面のガラス化	法量（ｃｍ）		貝　目	備　考（付着物等）	残存率	厚経の比率 厚／径	分類
							厚さ	径					
181	184	YH05	22T	ハマ	—	低	2.0	4.7	—	—	1 / 1	0.43	B
182	193	YH05	22T	ハマ	—	中	5.0	5.5	—	—	1 / 1	0.91	B
183	194	YH05	22T	ハマ	灰褐（Hue7.5YR5/2）	中	4.7	4.9	—	—	一部欠損	0.96	B
184	195	YH05	22T	ハマ	—	高	3.2	5.8	—	—	1 / 1	0.55	B
185	196	YH05	22T	ハマ	—	高	3.3	5.7	—	—	1 / 1	0.58	B
186	124	YH05	22T	ハマ	—	高	3.7	8.5	—	—	1 / 1	0.44	（B）
187	134	YH05	22T	ハマ	—	高	4.6	8.3	—	—	1 / 1	0.55	（B）
188	143	YH05	22T	ハマ	—	高	3.3	7.4	—	高台片	1 / 1	0.45	（B）
189	150	YH05	22T	ハマ	—	高	3.1	7.0	—	—	1 / 1	0.44	（B）
190	159	YH05	22T	ハマ	—	高	3.6	7.0	—	—	1 / 1	0.51	（B）
191	160	YH05	22T	ハマ	—	高	2.8	6.9	—	—	1 / 1	0.41	（B）
192	168	YH05	22T	ハマ	—	高	3.6	6.7	—	—	1 / 1	0.54	（B）
193	171	YH05	22T	ハマ	—	高	2.1	6.5	—	—	1 / 1	0.32	（B）
194	175	YH05	22T	ハマ	—	高	2.0	5.6	—	高台片 高台片	1 / 1	0.36	（B）
195	94	YH05	22T	ハマ	—	高	7.2	7.3	—	—	1 / 1	0.99	C
196	95	YH05	22T	ハマ	—	高	5.0	5.7	—	—	1 / 1	0.88	C
197	197	YH05	24T	ハマ	—	低	1.4	10.0	—	—	1 / 1	0.14	A
198	198	YH05	24T	ハマ	—	低	1.2	9.3	—	—	1 / 1	0.13	A
199	199	YH05	24T	ハマ	—	高	3.0	9.2	—	—	1 / 1	0.33	A
200	200	YH05	24T	ハマ	—	高	2.3	9.1	—	—	1 / 1	0.25	A
201	202	YH05	24T	ハマ	—	高	2.3	7.8	—	—	1 / 1	0.29	A
202	203	YH05	24T	ハマ	—	低	2.8	7.3	—	—	1 / 1	0.38	A
203	204	YH05	24T	ハマ	—	高	2.4	7.9	—	—	一部欠損	0.30	A
204	205	YH05	24T	ハマ	—	高	2.1	8.1	—	—	1 / 1	0.26	A
205	207	YH05	24T	ハマ	—	低	1.3	6.2	—	—	1 / 1	0.21	A
206	208	YH05	24T	ハマ	—	高	1.4	5.6	—	—	1 / 1	0.25	A
207	211	YH05	22T	ハマ	—	高	3.4	12.0	—	陶片	1 / 1	0.28	A
208	206	YH05	24T	ハマ	—	低	1.5	6.3	—	—	1 / 1	0.24	（A）
209	201	YH05	24T	ハマ	—	高	2.7	8.0	—	—	1 / 1	0.34	B
210	209	YH05	22T	ハマ	—	高	6.0	12.0	—	—	1 / 1	0.50	C
211	210	YH05	22T	ハマ	—	高	6.4	10.4	—	高台片 陶片	1 / 1	0.62	C
212	212	YH05	22T	ハマ	—	高	7.3	10.6	—	—	1 / 1	0.69	C
213	213	YH05	22T	ハマ	—	中	6.3	10.2	—	陶片	1 / 1	0.62	C
214	214	YH05	22T	ハマ	—	高	4.8	9.8	—	高台痕跡	1 / 1	0.49	C
215	215	YH05	22T	ハマ	—	高	5.8	9.5	—	—	1 / 1	0.61	C
216	216	YH05	24T	ハマ	—	高	5.1	10.9	2	高台片	1 / 1	0.47	C

Tab. 17　窯道具一覧（14）

《主要参考文献》

浅川巧(2004)『朝鮮陶磁名考（復刻版)』草風社
大橋康二(1984)「肥前陶磁の変遷と出土分布－発掘資料を中心として－『国内出土の肥前陶磁』佐賀県立九州陶磁文化館
大橋康二(1993)『肥前陶磁』考古学ライブラリー55ニューサイエンス杜
大橋康二(2008)「土の美　古唐津－肥前陶器のすべて－」『土の美　古唐津－肥前陶器のすべて－』佐賀県立九州陶磁文化館
大橋康二(2004)『世界をリードした磁器窯－肥前窯－』シリーズ「遺跡を学ぶ」新泉社
笠谷和比古・黒田慶一(2015)『豊臣大阪城』新潮選書　新潮社
片山まび(1998)「一六世紀の朝鮮陶磁と草創期の唐津焼との比較研究－「近世的な窯業」の萌芽を視座として－」『朝鮮学報』第167輯朝鮮学会
片山まび(2004)「倭城出土の陶磁器に関する予察－日本出土品を視座として－」『韓国の倭城と壬辰倭乱』黒田慶一編　岩田書店
片山まび(2004)「韓国陶磁史からみた高麗茶碗」『茶陶の創成』茶陶の美　第1巻　淡交社
片山まび(2005)「朝鮮時代の陶器について」『十六・十七世紀における九州陶磁をめぐる技術交流』九州近世陶磁学会
片山まび(2014)「韓国・東亜大学校博物館所蔵の釜山窯出土片について」『東洋陶磁』第43号　東洋陶磁学会
北波多村教育委員会(2000)『岸岳古窯跡群I』北波多村文化財調査報告書第4集
木島孝之(2004)「唐津焼創時期－1580年代節－を問う－岸嶽城の縄張り構造の解明を通して」『韓国の倭城と壬辰倭乱』岩田書院
唐津市教育委員会(2006)『岸岳古窯跡群Ⅱ』唐津市文化財調査報告書第132集
唐津市教育委員会(2007)『北波多村史－資料編－』北波多村史執筆委員会
唐津市教育委員会(2008)『北波多村史－自然、集落誌・民俗編－』北波多村史執筆委員会
唐津市教育委員会(2011)『北波多村史－通史編Ⅰ－』北波多村史執筆委員会
唐津市教育委員会(2011)『北波多村史－通史編Ⅱ－』北波多村史執筆委員会
唐津市教育委員会(2011)『岸岳古窯跡群Ⅲ』唐津市文化財調査報告書第159集
九州近世陶磁学会(2000)『九州陶磁の編年』
九州近世陶磁学会(2005)『十六・十七世紀における九州陶磁をめぐる技術交流』
慶南大学校博物館・雲門ダム水没地域発掘調査団・清道郡(1994)『清道蓴池里甕器가마터』雲門ダム水没地域文化遺跡発掘調査報告書5
瀬戸市埋蔵文化財センター(2001)『瀬戸大窯とその時代』
堺市博物館(2006)『茶道具拝見－出土品から見た堺の茶の湯－』
佐賀県肥前古陶磁窯跡保存対策連絡会(1999)『肥前古陶磁窯跡』
佐賀県立九州陶磁文化館(1995)『北波多村帆柱窯跡』肥前地区古窯跡調査報告書第12集
佐賀県立九州陶磁文化館(2008)『 土の美　古唐津－肥前陶器のすべて－』佐賀県立九州陶磁文化館
佐賀県立九州陶磁文化館(2012)『 将軍家献上の　鍋島・平戸・唐津－精巧なるやきもの－』佐賀県立九州陶磁文化館
佐賀県立名護屋城博物館(1998)『特別史跡名護屋城跡』佐賀県立名護屋城博物館調査報告第1集
佐藤進三編(1947)『唐津』陶磁叢書第2巻　日本陶磁協会　寶雲社
陣内康光(2001)「岸岳古窯跡群の調査」『東洋陶磁』第30号　東洋陶磁学会
積山洋(1997)「近世初期大坂の肥前陶磁」『陶説』532号 日本陶磁協会
高瀬哲郎(1997)「九州に於ける近世城郭の石垣について(その三)」『研究紀要』第3集佐賀県立名護屋城博物館
田口昭二(1983)『美濃焼』考古学ライブラリー17ニュー・サイエンス社

徳永貞紹(2001)「九州の様相－瀬戸・美濃大窯製品の流通と肥前陶器の出現－」『戦国・織豊期の陶磁器流通と瀬戸・美濃大窯製品－資料集』　財団法人瀬戸市埋蔵文化財センター

徳永貞紹(2010)「生産地周辺の消費地からみた肥前陶器（唐津焼）の出現」『関西近世考古学研究18－消費地からみた国産陶磁器の出現と展開』関西近世考古学研究会

中里逢庵(2004)『唐津焼の研究』中里太郎右衛門陶房

張替清司(2012)「桃山陶生産の背景－美濃と肥前の様相から－」『京三条せともの屋町』茶道資料館

東中川忠美(1989)「岸岳飯胴甕下窯跡について」『生産と流通の考古学横山浩一生退官記念論文集I』横山浩一先生退官記念論文集刊行会

東中川忠美(2004)「唐津焼「縁立皿」について」『陶説』612号　日本陶磁協会

東中川忠美(2004)「江戸時代の唐津焼入門（1）～（8)」『陶説』650～657号　日本陶磁協会

東中川忠美(2010)「肥前陶器の窯から見た古唐津生産の変遷」『関西近世考古学研究18－消費地からみた国産陶磁器の出現と展開』関西近世考古学研究会

東中川忠美(2013～2014)「肥前における三島手の変遷（1）～（12)」『陶説』721～736号　日本陶磁協会

水町和三郎・鍋島直紹(1963)『唐津』白鳳社

水町和三郎(1973)『古唐津(上)』出光美術館選書6　平凡社

村上伸之(1997)「肥前における初期陶器生産にみられる地域性について」『陶説』532号　日本陶磁協会

村上伸之(1997)「肥前における初期の登窯について」『東洋陶磁』V0L27東洋陶磁学会

村上伸之(2005)「肥前磁器の技術」『十六・十七世紀における九州陶磁をめぐる技術交流』九州近世陶磁学会

森毅(1997)「城下町大坂における唐津焼出現期の様相」『陶説』532号　日本陶磁協会

森本朝子・片山まび(2001)「博多出土の高麗・朝鮮陶磁の分類試案－生産地編年を視座として－」『博多研究会誌』第８号博多研究会

図　　版

PLATE

1

2

4

3

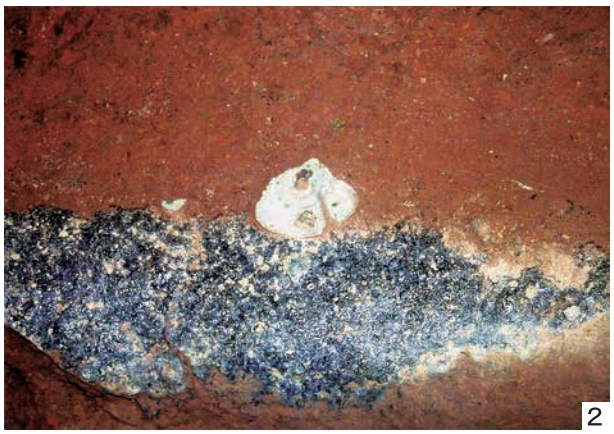
5

皿屋窯跡

1　ＡＴ　全景（南西から）
2　ＡＴ　煙出しの空間
3　ＡＴ　第１室・西壁
4　ＡＴ　第１室・東壁
5　ＡＴ　第３・４室（南西から）

1

5


2

6

3

7

4

8

皿屋窯跡

1　ＢＴ　第１・２室（南から）
2　ＢＴ　第２室　火床境の陶器釉着
3　ＢＴ　燃焼室（南西から）
4　２Ｔ（南から）
5　４～７Ｔ（北から）
6　７Ｔ　焼土壙
7　ＡＴ　第２室（南から）
8　窯跡の現状（南西から）

1

2

4

3

5

皿屋上窯跡

1　１Ｔ　燃焼室（南西から）
2　２Ｔ（北から）
3　２Ｔ（南から）
4　２Ｔ（東から）
5　２Ｔ（藁灰釉碗出土状況）

1

3

2

4

5

皿屋上窯跡

1　２Ｔ　断面（南西から）
2　１Ｔ（南西から）
3　１Ｔ　発掘前（南西から）
4　皿屋上窯（溜池）跡遠景

帆柱窯跡

5　２Ｔ　第５室奥壁（南西から）

1

5

2

6

3

7

4

8

帆柱窯跡

1　1Ｔ　第１室窯尻
2　1Ｔ　第２室奥壁
3　2Ｔ（南東から）
4　2Ｔ　第３室奥壁の通焔孔
5　3Ｔ　第５室奥壁
6　5Ｔ　焼成室
7　6Ｔ　SK01（北西から）
8　10Ｔ　遺物出土状況

1

2

4

3

5

飯洞甕上窯跡

1　ＡＴ（北東から）
2　ＡＴ　第１室（南東から）
3　ＡＴ　窯尻
4　ＡＴ（東から）
5　ＡＴ（南東から）

1

2

4

3

5

飯洞甕上窯跡

1　ＡＴ　第１～３室（南西から）
2　ＡＴ　第１室隔壁・火床（南東から）
3　ＡＴ　第２室隔壁・火床（北西から）
4　ＡＴ　第２室火床境ハマ釉着状況
5　ＢＴ（南西から）

1

2

4

3

5

飯洞甕下窯跡

1　完掘状況（南西から）
2　発掘前（北西から）
3　焼成室（北西から）
4　第６室奥壁（北西から）
5　第７室奥壁（南西から）

1

2

4

3

5

飯洞甕下窯跡

1　第５室～燃焼室（南東から）
2　第６室奥壁（北西から）
3　燃焼室奥壁（北西から）
4　第６室北側の焼土硬化面（北から）
5　燃焼室発掘風景

1

2

4

3

5

飯洞甕下窯跡

1　燃焼室（北西から）
2　燃焼室（北西から）
3　燃焼室（北東から）
4　焚口遺物出土状況（南東から）
5　焚口（南東から）

1

2

4

3

5

飯洞甕下窯跡

1　第３室隔壁（南西から）
2　第３室隔壁（南東から）
3　第１・２室（北西から）
4　第１室側壁（南から）
5　隔壁断面（南から）

1

5

2

6

3

7

4

8

飯洞甕窯跡周辺

1　12T（西から）
2　12T　礫群（東から）
3　13T（南から）
4　13T　P-1
5　14T（南西から）
6　14T　P-1
7　14T　P-2
8　14T　南東隅の落ち込み

1

2

4

3

5

飯洞甕窯跡周辺

1　15T（北から）
2　15T　遺物出土状況（北から）
3　15T　遺物出土状況（西から）
4　15T　SK01（北から）
5　15T（南から）

飯洞甕窯跡周辺

1　15T-NG（東から）
2　15T-NG　SX01石組み遺構（南から）
3　15T-NG　SX01石組み遺構（西から）
4　15T　SK02土層断面（南面）
5　窯跡西を流れる小川の河床（岩盤節理）

1

2

4

3

5

飯洞甕窯跡周辺

1　15T-WG　青銅製箸出土状況
2　15T-WG（東から）
3　15T-NG　白色粘土塊検出状況
4　15T-NG　陶器（椀）出土状況
5　15T-NG　陶製錘出土状況

1

2

3

4

飯洞甕窯跡周辺

1　22T（東から）
2　22T　白色粘土塊検出状況
3　22T　線刻岩？
4　24T（北から）

1

5

2

6

3

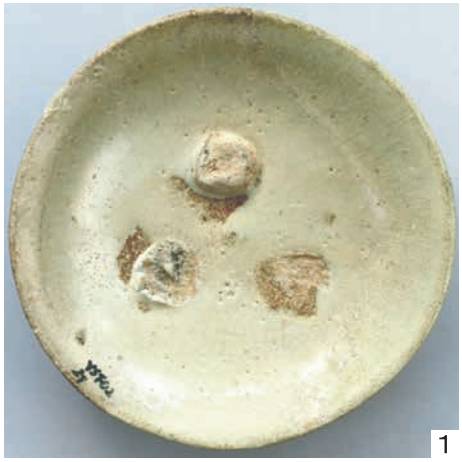
7

4

8

飯洞甕窯跡周辺

1　15T-EG（西から）
2　15T-EG　南面土層
3　18T（北東から）
4　18T　東面土層
5　19T（南東から）
6　20T（南西から）
7　21T（西から）
8　21T　陶器皿出土状況


1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

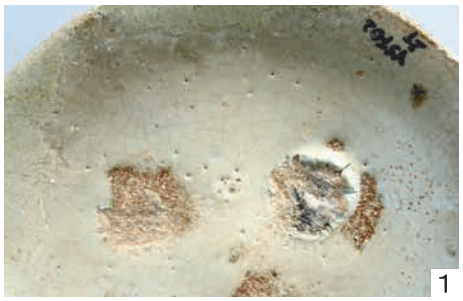
11

12

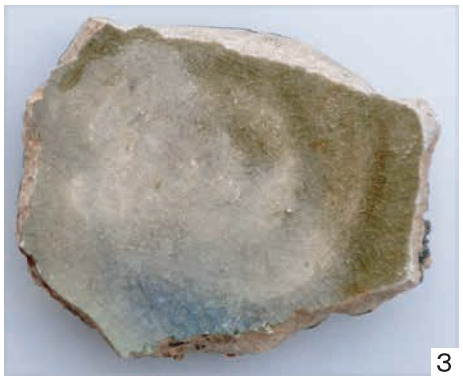
13

1　皿屋窯跡　Fig19－13表
2　皿屋窯跡　Fig19－13裏
3　皿屋窯跡　Fig23－17
4　帆柱窯跡　Fig48－14
5　帆柱窯跡　Fig48－12表
6　帆柱窯跡　Fig48－12裏
7　飯洞甕窯跡　Fig68－ 7
8　飯洞甕窯跡　Fig68－ 9
9　飯洞甕窯跡　Fig77－16
10　飯洞甕窯跡　Fig77－15
11　飯洞甕窯跡　Fig70－ 7
12　飯洞甕窯跡　Fig68－21
13　飯洞甕窯跡　Fig77－14

ＰＬ－18　重ね積みの痕跡


1

2


3

4

5

6

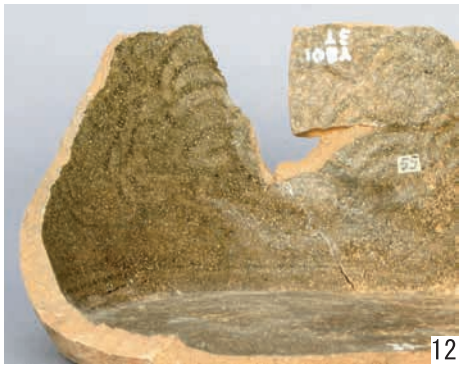
7

8

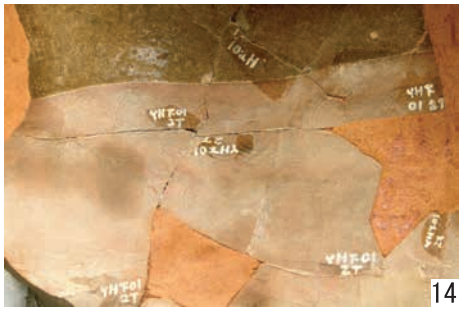
9

10

11


12

13


14

15

1　皿屋窯跡　Fig19－13
2　飯洞甕窯跡　Fig69－1
3　飯洞甕窯跡　表採
4　飯洞甕窯跡　Fig68－6
5　皿屋窯跡　Fig27－24

6　皿屋窯跡　Fig19－14
7　皿屋窯跡　Fig22－16
8　飯洞甕窯跡　Fig67－26
9　皿屋上窯跡　Fig35－6
10　飯洞甕窯跡　表採
11　帆柱窯跡　Fig53－12
12　帆柱窯跡　Fig54－3
13　飯洞甕窯跡　Fig80－5
14　飯洞甕窯跡　Fig79－10
15　皿屋上窯跡　Fig37－1

釉薬・底部調整

タタキ痕

皿屋窯跡出土遺物（集合）

皿屋上窯跡出土遺物（集合）

帆柱窯跡出土遺物（集合）

飯洞甕窯跡出土遺物（第１次～第３次 集合）

飯洞甕窯跡出土遺物（第４次～第５次 集合）

1

9

17

2

10

18

3

11

19

4

12

20

5

13

21

6

14

22

7

15

8

16

23

ＰＬ－25　皿屋窯跡出土遺物

1

9

17

2

10

18

3

10の底部
11

19

3の底部
4

12

20

5

13

21

6

14

22

7

15

22の底部
23

8

16

ＰＬ－26　皿屋窯跡出土遺物

1

2

4の見込
3

4

4の底部
5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

PL－27　皿屋窯跡出土遺物

1

2

3

4

5

6

7

8

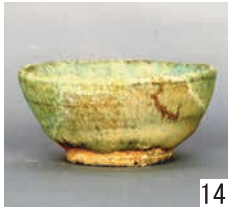
9

10

11

12

13


14

15

16

17

17 の底部
18

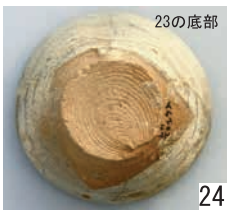
19

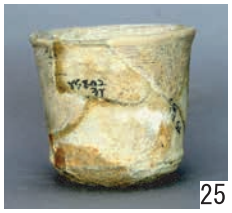
20

21

21の底部
22

23


23の底部
24


25

26

27

28

29

30

31

32

PL－28　皿屋窯跡出土遺物

1

2

3

4

5

6

7

8

10の見込

9

10

11

12

13

14

15

16

皿屋窯跡出土遺物（１～６）

皿屋上窯跡出土遺物（７～16）

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

皿屋上窯跡出土遺物（１～６）

帆柱窯跡出土遺物（７～20）

1

2

3

4

5

5の底部

6

7

8

9

10

11

12

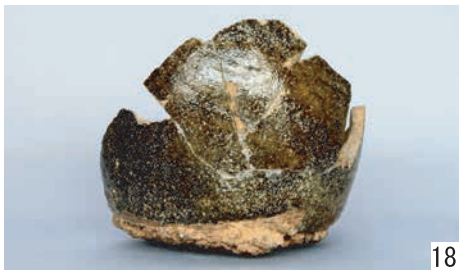
13

14

15

16

17


18

19

20

21

22

23

24

25

帆柱窯跡出土遺物（１～20）

飯洞甕窯跡出土遺物（第１次～３次）

1

2

3

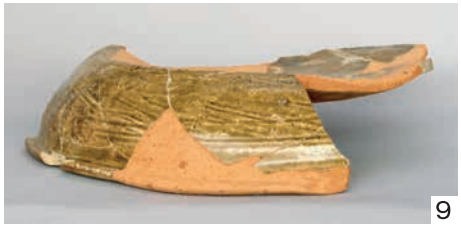
4

5

6

7

8


9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

飯洞甕窯跡出土遺物（第１次～３次）

1

9

17

2

10

18

3

11

19

4

12

20

5

13

21

6

14

22

7

15

23

8

16

24

飯洞甕窯跡出土遺物（第４次～５次）

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

PＬ－34　飯洞甕窯跡出土遺物（第４次～５次）

1

5

6

2

7

3

9

4

8

10

飯洞甕窯跡出土遺物（第４次～５次）

報 告 書 抄 録

ふ り が な	きしだけこようしぐん Ⅳ
書 名	岸岳古窯跡群 Ⅳ
副 書 名	総括報告書
巻 次	
シ リ ー ズ 名	唐津市文化財調査報告書
シ リ ー ズ 番 号	178
編 著 者 名	陣内 康光
編 集 機 関	唐津市教育委員会
所 在 地	〒847-8511 佐賀県唐津市南城内１－１ 大手口別館６F TEL 0955－72－9171
発 行 年 月 日	西暦2018年３月30日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所 在 地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯	東経	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
皿屋窯跡	佐賀県唐津市 北波多稗田 字杉谷	41202	1101	33度21分46秒	129度57分７秒	1997.９～1997.11 2001.10～2002.3	500 200	重要遺跡 確認調査
皿屋上窯跡	佐賀県唐津市 北波多稗田 字杉谷	41202	1103	33度21分55秒	129度57分13秒	1999.10～1999.11	500	重要遺跡 確認調査
帆柱窯跡	佐賀県唐津市 北波多 帆柱国有林	41202	1115	33度21分14秒	129度57分27秒	2000.10～2000.12 2003.１～2003.１	200 50	重要遺跡 確認調査
飯洞甕上窯跡	佐賀県唐津市 北波多稗田 字帆柱	41202	1116	33度21分29秒	129度57分52秒	1998.10～1999.１	500	重要遺跡 確認調査
飯洞甕下窯跡	佐賀県唐津市 北波多稗田 字帆柱	41202	1118	33度21分30秒	129度57分52秒	1999.11～1999.12 2017.７～2017.11	50 100	重要遺跡 確認調査
帆柱(飯洞甕)遺跡	佐賀県唐津市 北波多稗田 字帆柱	41202	1117	33度21分29秒	129度57分52秒	2015.７～2015.８ 2016.６～2016.11	150	重要遺跡 確認調査

所収遺跡名	種 別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特 記 事 項
皿屋窯跡 皿屋上窯跡 帆柱窯跡 飯洞甕上窯跡 飯洞甕下窯跡	窯跡	近世	窯跡	陶器	岸岳古窯群の残存状況、遺構・遺物の特徴を確認し、遺跡保存のための基礎資料を蓄積するための確認調査及び、史跡整備のための事前調査。
帆柱(飯洞甕)遺跡	散布地	近世	窯場遺構	陶器	

唐津市文化財調査報告書　第178集
岸岳古窯跡群Ⅳ
平成30年３月印刷
平成30年３月発行
編集・発行者　唐津市教育委員会
唐津市南城内１－１
大手口別館６階
印　刷　所　呼川プリント
〒847-0853 唐津市江川町７０２
☎(0955)72－6023